

履修の手引き

二〇二四（令和六年度）

兵庫県立大学理学部

2024年度（令和6年度）

# 履修の手引き



兵庫県立大学理学部

# 目 次

はじめに	1
令和6年度学年暦	2
DP（ディプロマポリシー）について	4
CP（カリキュラムポリシー）について	5
物質科学科カリキュラムマップ	7
生命科学科カリキュラムマップ	10
オフィスアワー一覧	23
令和6年度理学部クラス担任等	26
講座等及び教員組織表	27
経営部組織表	29

## 第1章 授業科目の履修に関するガイダンス

1. 履修に関すること	
(1) 履修について	
① 教務関連ガイダンス	31
② 集中講義の履修	32
③ 教職科目の履修	32
④ 大学院講義の履修	32
(2) 履修許可及び先修条件	32
(3) 履修できる単位数	32
(4) 履修登録について	33
(5) 他学部の授業科目の履修手続	35
(6) 遠隔授業の履修	35
2. 授業・休講・試験・成績等に関すること	
(1) 授業	35
(2) 休講	36
(3) 試験について	
① 注意事項	40
② 試験の不正行為	40
③ 定期試験を受験できない者に対する処置	41
④ 成績評価に対する不服申出制度	41
(4) 成績評価について	41
(5) その他	
① 転学部について	41
② 秋季卒業について	41
3. 教職課程履修の手引	
(1) 理学部で取得できる免許状の種類と教科	42
(2) 基礎資格及び所要単位数	42
(3) 履修上の注意	43
(4) 教育実習について	43
(5) 「介護等体験」について	44

(6) 免許状申請手続	44
第2章 令和6年度開講授業科目	
授業科目	47
1. 全学共通科目	
(1) 令和6年度入学生	49
(2) 令和5年度以前の入学生のための読み替え科目一覧	54
2. 専門科目	
(1) 令和6年度入学生	57
(2) 令和5年度入学生	62
(3) 令和4年度入学生	67
(4) 令和3年度入学生	72
(5) 平成29～31年度、令和2年度入学生	77
3. 教職科目	
(1) 令和6年度入学生	82
(2) 令和4・5年度入学生	89
(3) 令和3年度入学生	96
(4) 2019年度(平成31年度)～令和2年度入学生	103
(5) 平成30年度入学生	110
第3章 専門科目に関するガイダンス	
1. 理学部の特色	117
2. 学科の概要	118
3. 各学科に置くコースのめざすところ	119
4. 各コースにおける標準的な履修モデル	121
5. 4年間の学習のあらまし	134
第4章 履修関連規程	
1. 兵庫県立大学学則	139
2. 兵庫県立大学理学部規程	151
3. 兵庫県立大学理学部履修規程	224
4. 兵庫県立大学定期試験を受験できない者に対する処置規程	226
5. 兵庫県立大学試験の不正行為に対する処置規程	227
6. 兵庫県立大学他大学等の授業科目の履修に関する規程	229
7. 兵庫県立大学副専攻規程	231
8. 兵庫県立大学GPA制度要綱	233
9. 成績に対する確認および不服申立てに関する要綱	236
10. 全学共通科目および教職科目に係る成績に対する確認及び不服申立てに関する取扱	239
11. 理学部の専門科目で履修する科目の成績に対する不服申立てに関する取扱	241

## はじめに

学生諸君は、履修に関する決まりごとに従って、計画的に履修し、所定の単位を修得しなければなりません。もし履修の方法や順序を誤ると、留年することになったり、卒業できない事態に陥る場合もあります。

履修に関する決まりごととして、学則、理学部規程を定めています。折りに触れて読み返し、理解を深めてください（この冊子では、巻末に学則及び理学部規程を掲載しています。）。

理学部では、学際的な研究を教育の中に取り入れる趣旨により、幅広い選択制を採用しています。

この冊子では理学部の理念、教育体系、標準的な履修モデル等をまとめていますので、履修計画を作成する際に参考としてください。

また、兵庫県立大学では、主専攻（所属学部の専攻）以外にも学びの機会を拡げるため、副専攻を提供しています。詳しくは「副専攻履修の手引きを参照してください。

なお、この冊子に記載されている事項のほか、**理学部学務課等からのお知らせは、ユニバーサルパスポートや掲示により行います**ので、毎日確認するように心がけてください（一度掲示したものは、皆さんが承知したものとみなします。正当な理由がない限り、掲示を見なかったという理由で事後に異議等を申し立てることはできません。）。

最後に、履修に関する疑問点や相談したいこと等がある場合は、クラス担任、ガイダンス担当教員、指導教員に遠慮なく問い合わせてください。

## 令和6年度学年暦

### 【前期】

	月	火	水	木	金	土	日	行事
4月	1	2	3	4	5	6	7	4月5日 入学宣誓式
	8	9	10	11	12	13	14	4月8日～前期の授業開始日(豊岡キャンパス:4月9日～)
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						
5月								5月3日 憲法記念日・5月4日 みどりの日
			1	2	3	4	5	5月5日 こどもの日・5月6日 振替休日
	6	7	8	9	10	11	12	5月10日～16日 履修取消期間
	13	14	15	16	17	18	19	5月12日 テクノフェスタ
	20	21	22	23	24	25	26	5月18日 開学記念日(平常授業あり)
	27	28	29	30	31			
6月						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
7月								
	1	2	3	4	5	6	7	7月7日 エコフェス
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	7月15日 海の日(平常授業あり)
	22	<b>23</b>	<b>24</b>	<b>25</b>	<b>26</b>	<b>27</b>	28	7月24日(水)は5/6(月)の振替授業日
<b>29</b>	<b>30</b>	<b>31</b>					7月26日(金)・27日(土)は5/3(金)・5/4(土)の振替授業日	
8月				1	2	3	4	7月23日・25日・29日～8月10日補講・試験日
	5	6	7	8	9	10	11	8月11日 山の日
	12	13	14	15	16	17	18	8月12日 振替休日
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
9月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	9月16日 敬老の日 9月22日 秋分の日
	23	24	25	26	27	28	29	9月23日 振替休日
	30							

※授業日数は、各曜日とも15日(定期試験の日を除く)。

※二重線は振替授業日。

※防災リーダー教育プログラム(H29年度入学生以前は防災教育ユニット)専門科目は、原則土曜日開講。

☐で表示。

なお、同一の科目を複数回開講する日もあり。また、前期は夏季集中講義による開講もあり。

※太字は補講・試験日。

※場合により、上記以外で休業日に授業を開講する場合もあり。

令和6年度学年暦

【後期】

	月	火	水	木	金	土	日	行事
10月		1	2	3	4	5	6	10月1日 後期の授業開始日 10月14日 スポーツの日
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
11月					1	2	3	11月3日 文化の日 11月4日 振替休日
	4	5	6	7	8	9	10	11月1日～3日 大学祭(予定)
	11	12	13	14	15	16	17	11月5日～11日 履修取消期間
	18	19	20	21	22	23	24	11月9日～10日 関西六公立大学総合競技大会(予定)
	25	26	27	28	29	30		11月23日 勤労感謝の日
12月							1	12月25日～1月4日 冬季休業
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						
令和7年1月			1	2	3	4	5	1月6日 授業再開、1月13日 成人の日
	6	7	8	9	10	11	12	1月17日 大学入学共通テスト準備 ← ※ただし、播磨理学キャンパスでは補講を行うことがある
	13	14	15	16	17	18	19	1月18日・19日 大学入学共通テスト
	20	21	22	23	24	25	26	1/29(水)・1/21(火)・1/28(火)・1/30(木) は、 10/14(月)・11/1(金)・11/2(土)・11/23(土)の振替授業日
	27	28	29	30	31			
令和7年2月						1	2	2月4日～2月18日 補講・試験日
	3	4	5	6	7	8	9	2月11日 建国記念日
	10	11	12	13	14	15	16	2月23日 天皇誕生日
	17	18	19	20	21	22	23	2月24日 振替休日
	24	25	26	27	28			
令和7年3月						1	2	3月20日 春分の日 3月25日 学位記授与式
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							

※授業日数は、各曜日とも15日(定期試験の日を除く)。

※二重線は振替授業日。

※防災リーダー教育プログラム(H29年度入学生以前は防災教育ユニット)専門科目は、原則土曜日開講。

■で表示。

なお、同一の科目を複数回開講する日もあり。

※太字は補講・試験日。

※場合により、上記以外で休業日に授業を開講する場合もあり。

## DP（ディプロマポリシー）について

理学部では、「物質科学」と「生命科学」を2本の柱とした教育と研究を展開している。数学、物理学、化学、生物学及び地学の学際領域に芽生える新たな科学と技術に対応するため、物質科学科と生命科学科の2学科構成により、互いに連携しながら下記に示す学生を育成し学位を授与する。

- DP1: 物質科学や生命科学の基礎となる体系的な知識や実験技術・情報処理能力を身につけている
- DP2: 物質科学や生命科学に関わる問題解決に貢献できる、深い理解と洞察力を身につけている
- DP3: 自身の学習した領域に加えて、自然科学の学際領域において今後芽生える種々の問題にも関心を示し、倫理観をもって行動できる
- DP4: 地域の資源も活用しながら、世界レベルの視点に立ち、国際的に通用する感覚を身につけている

以上に加えて、学科ごとに以下の能力を身につけていることを必要とする。

### 物質科学科

物性を支配する原理や法則・物性の発現機構、物性制御の手法や物質創製のための反応機構について体系的に理解できている下記学生を育成する。

- DP5: 物質科学の基礎となる数学、物理学や化学の分野の専門知識と実験技術・情報処理能力を身につけている
- DP6: 物質科学研究の基礎となる物性を支配する原理や法則、物性制御の手法や物質創製のための反応機構に関わる専門知識と実験技術を身につけており、得られた実験データを正しく解釈・評価できる
- DP7: 物質科学の基礎に関する深い理解と洞察力に基づき、専門・学際領域の問題解決に関心を示すことができる
- DP8: 物質科学における世界レベルの研究を体験することにより、国際的に通用する感覚を身につけている

### 生命科学科

生物が持つ複雑かつ巧妙な構造と機能の関係について、原子・分子レベルで理解する力を身につけている下記学生を育成する。

- DP9: 生命科学の諸分野を理解するための、数学、物理学、化学や生物学や、地球科学の基礎知識と基礎実験技術、情報処理能力を身につけている
- DP10: 生命科学の基礎となる生物の構造と機能に関わる細胞についての原子・分子レベルにおける専門知識と実験技術を身につけており、得られた実験データを正しく解釈・評価できる
- DP11: 生命科学の基礎に関する深い理解と洞察力に基づき、専門・学際領域の問題解決に意欲と関心を示すことができる
- DP12: 生命科学における世界レベルの研究を体験することにより、国際的に通用する感覚を身につけている

## CP（カリキュラムポリシー）について

学際的な研究と教育をめざす本学部は、狭い専門分野に限った学科とせず、物質科学、生命科学を2本の柱とした学科としている。あえて対応をつけるとすれば、物質科学科は数学、物理学と化学の内容に相当し、生命科学科は基礎的な数学、物理学、化学と生物学および地球科学の講義内容になっている。両学科とも、講義の理解を深めるために、演習や実験など以下のカリキュラムを充実させている。学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的な方法で行う。

- CP1: 講義内容を自然の現象と対応させて理解し、また、問題を解くことで応用力を身につけ、科学に対する興味を高めることを目的に、1年次から3年次まで必修の実験・演習科目を配当している
- CP2: 英語力やコミュニケーション能力の充実のために、2年次では基礎ゼミナールや英語による専門講義を、4年次では配属講座で科学英語のゼミナールを行う
- CP3: 情報科学関連科目を1年次から3年次まで配当し、高度な情報処理能力の習得を目指す
- CP4: 1、2年次学生に対して、科学に対する興味・関心を継続的に刺激することを目的として、最先端の研究成果を紹介する基礎ゼミナール（物質科学科）や生命科学入門（生命科学科）などの科目を配当している
- CP5: 両学科にはそれぞれ下記のように3つのコースをおき、履修モデルには、各専門科目を「標準科目」あるいは「推奨科目」として挙げている。本カリキュラムを通して自然科学の基本原則を解明するための基礎知識、実験技術やコミュニケーション能力、遭遇した問題解決に貢献できる判断力と深い洞察力や新しい分野を開拓するための旺盛な好奇心を育成し、理学部の目指すディプロマポリシーを保証する

### 物質科学科

エレクトロニクスや新素材といった先端技術の基礎にある物質の原子的、分子的構造に立脚して、その物質の示す性質、物性がどう発現するかを理解し、また、そのような物質を作り出す創造力を養う。

- CP6: 物性基礎コース  
物質の持つ諸物性を電子・原子レベルで理解し、新しい物性の探索を理論的・実験的に追究する方法を習得する。基礎学問的な色彩が濃いコースであるため、物質科学に代表される専門科目に加え、数学演習や解析学等の専門基礎科目、および生命科学科の基礎的専門科目も含む多くを標準科目や推奨科目として挙げている。
- CP7: 物性コース  
物質のもつ諸特性を電子・原子レベルで理解し、実験的に解明する手法を習得する。物質科学に代表される物理系・数学系・化学系専門科目を中心に、生命科学科の専門科目も含む多くを標準科目や推奨科目として挙げている。

CP8: 物質コース

物質の持つ諸物性を電子・原子・分子レベルで理解し、物質を作り出す手法を修得する。物質科学の中でも物理化学、無機化学、有機化学、生物化学など化学系専門科目を中心として、基礎物理系科目および生命科学科の専門科目も含む多くを標準科目や推奨科目として挙げている。

## 生命科学科

生物を構成している最も基本的な単位は細胞で、細胞を構成しているのは、物質と同様に原子や分子である。物質を支配する基本的な原理を理解し、その上に立って原子、分子および細胞レベルの生命現象の解明に迫るための必須の知識や方法論を学び、判断力を磨く。

CP9: 生体物性コース

生命現象を原子・分子レベルにおいて、主として物理化学的手法によって解明することを学ぶ。生体分子構造と機能の理解において学際的色彩が濃いコースであるため、生物物理学に代表される専門科目に加え数学や物理学の専門基礎科目や物質科学科の専門科目の多くを標準科目や推奨科目として挙げている。

CP10: 生体分子コース

生命現象を分子レベルにおいて、主として化学的な手法によって解明することを学ぶ。生物化学をはじめとする専門科目に加え、生命現象を化学の言葉で理解するため、専門基礎科目や物質科学科の専門科目の多くを標準科目や推奨科目として挙げている。

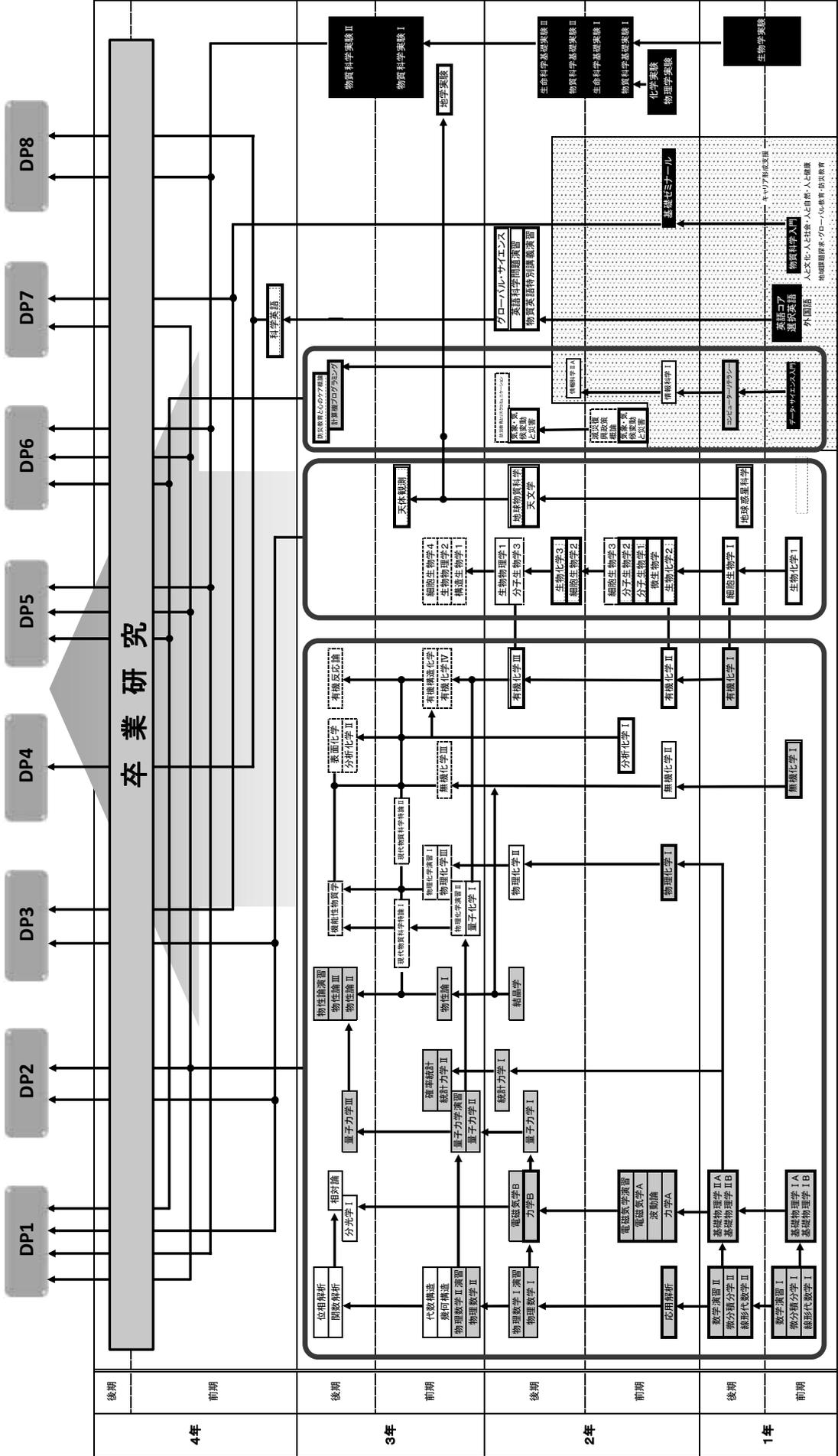
CP11: 細胞コース

生命現象を細胞レベルにおいて、主として細胞生理学的な手法によって解明することを学ぶ。分子生物学をはじめとする専門科目に加え、細胞から個体にいたる複雑な生理現象を理解するために、専門基礎科目や細胞生物学や発生学の専門科目の多くを標準科目や推奨科目として挙げている。

# 物質科学科 カリキュラムマップ

**物性基礎コース** 諸物性を電子・原子レベルで理解し、新物性を理論的・実験的に探索する

- 専門基礎科目
- 必修科目
- 選択科目
- 推薦科目
- その他科目

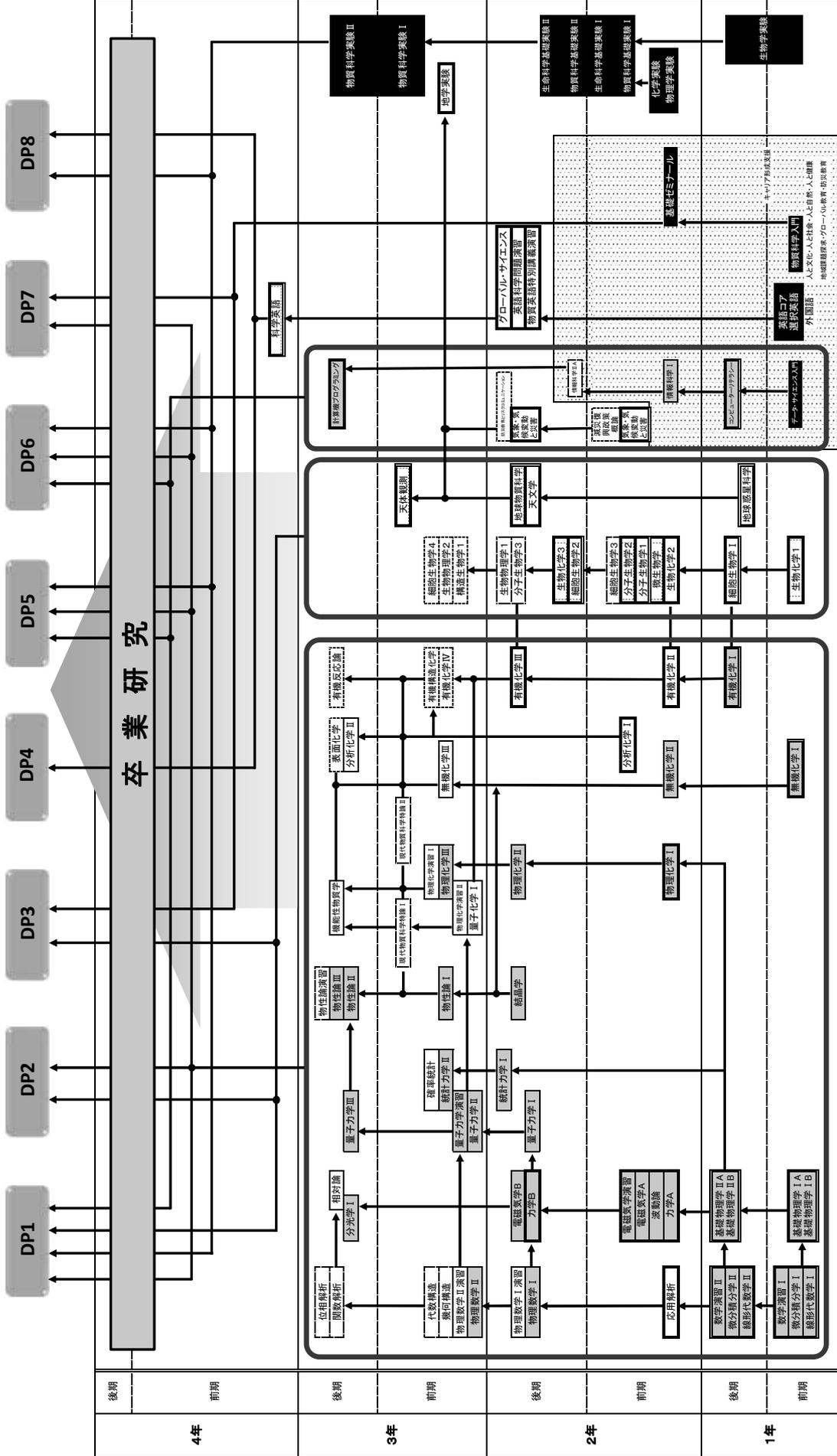


(数学) (力学・電磁気) (物性) (物理・量子力学) (無機・分析化学) (有機化学) (生物科学関連科目) (地球科学) (実験・研究)

# 物質科学科 カリキュラムマップ

物質性を電子・原子レベルで理解し、実験的に解明する

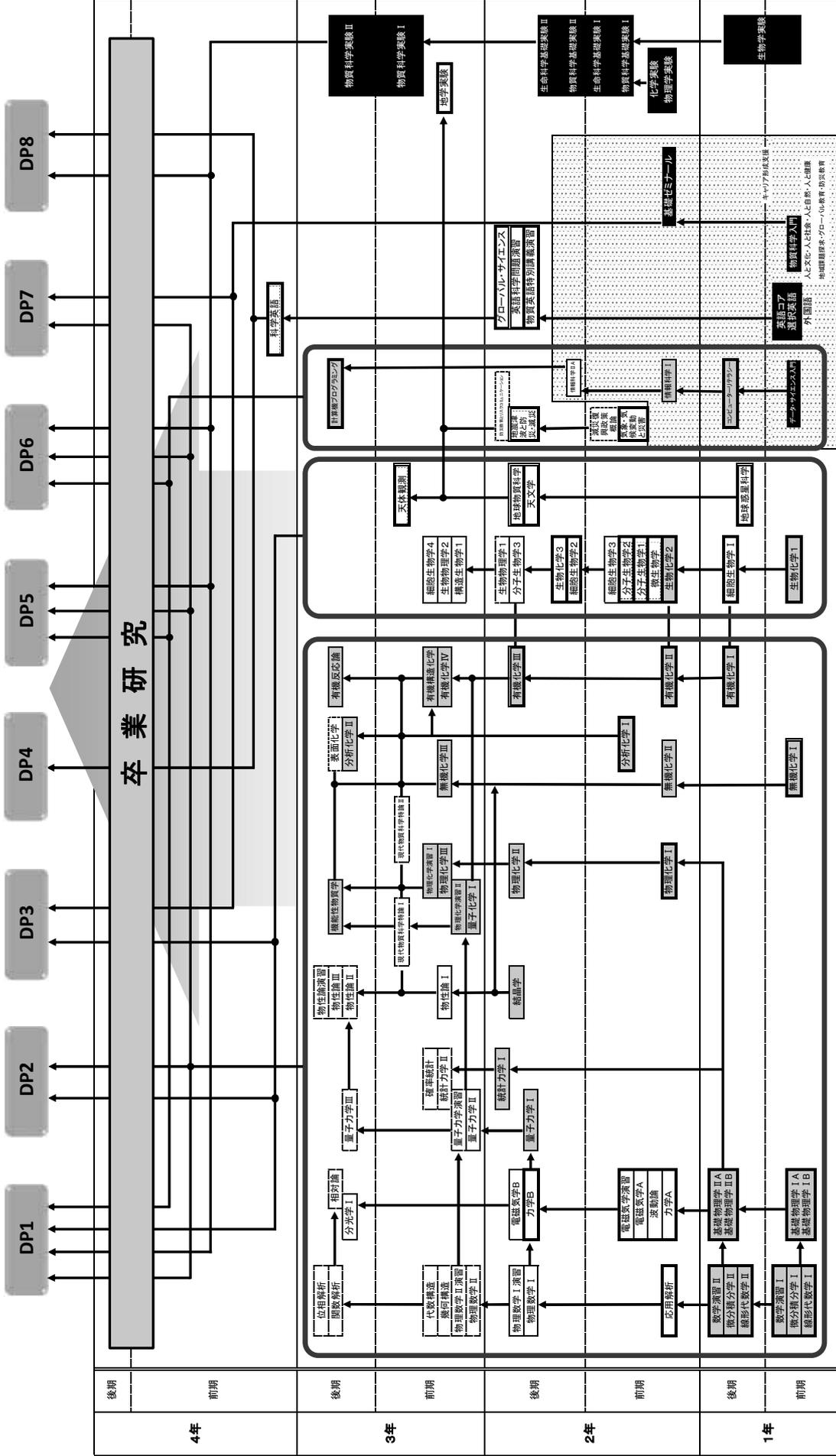
- 専門基礎科目
- 必修科目
- 履修科目
- 推奨科目
- その他科目



# 物質科学科 カリキュラムマップ

物質コース 諸物性を電子・原子レベルで理解し、物質を創成する

- 専門基礎科目
- 必修科目
- 選択科目
- 推薦科目
- その他科目

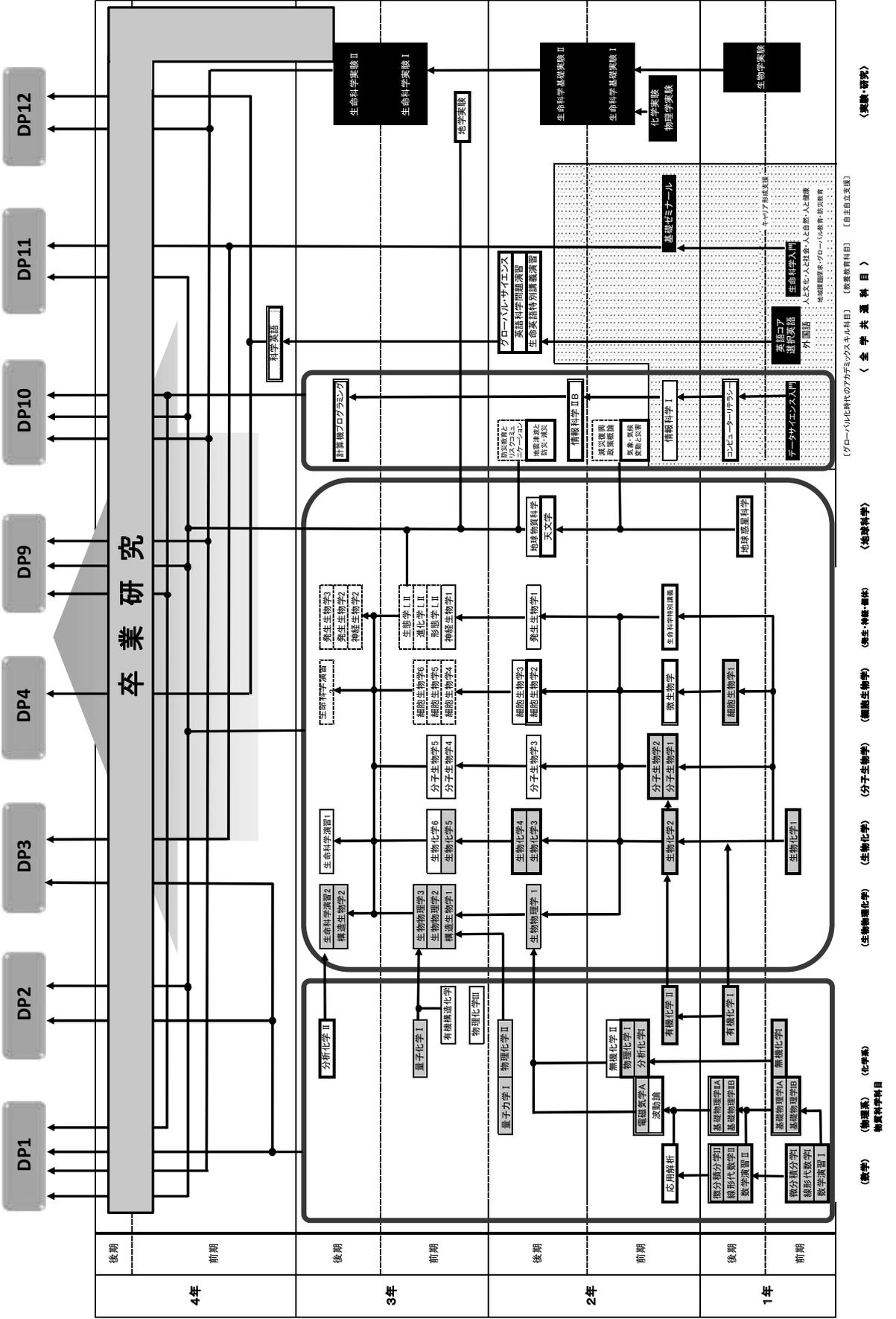


(数学) (力学・電磁気) (量子力学・統計力学) (物性) (物理・量子化学) (無機・分析化学) (有機化学) (生物科学基礎科目) (地球科学) (実験・研究)

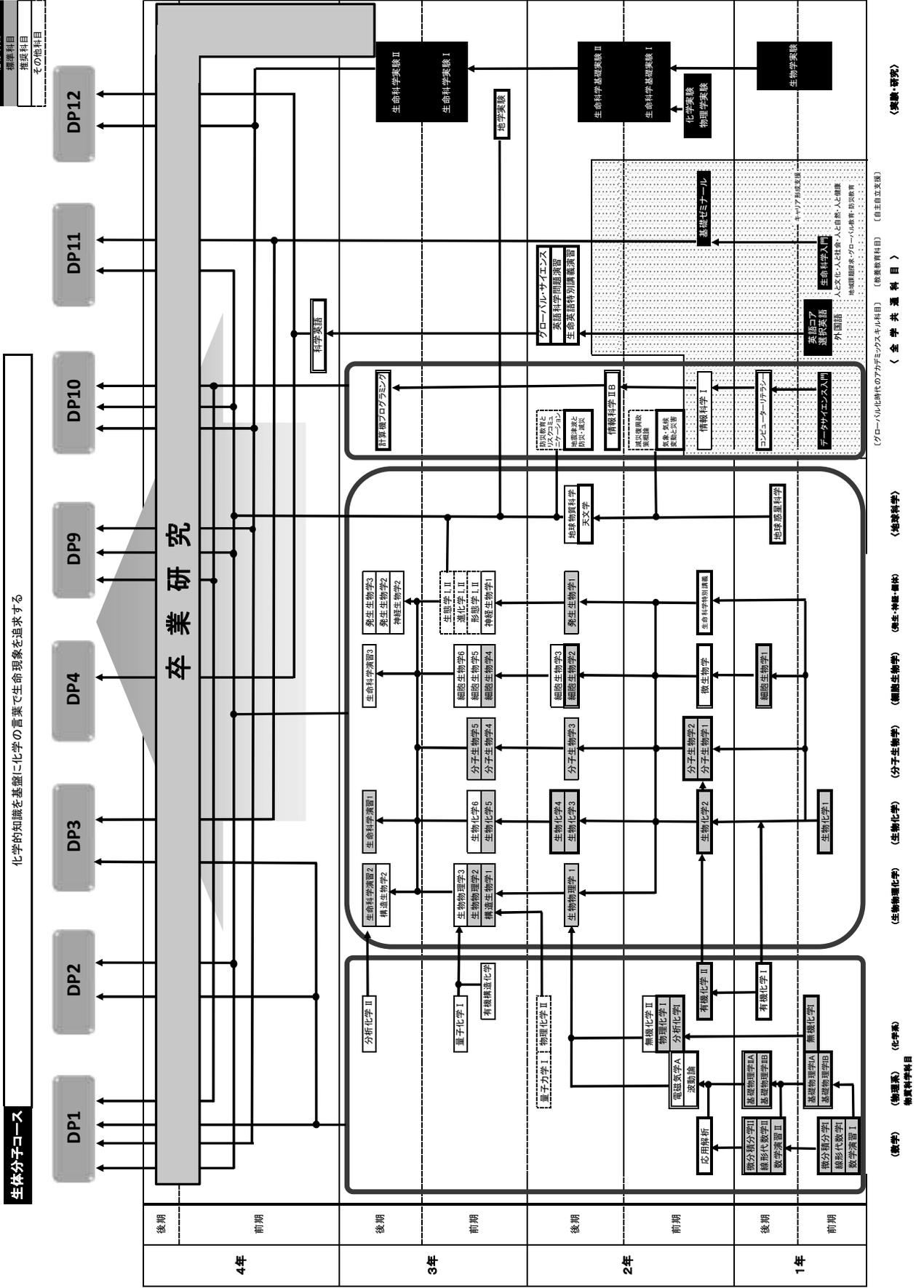
# 生命科学科カリキュラムマップ

物理化学的な手法によって構造と機能の関係を理解する

- 専門選修科目
- 必修科目
- 推薦科目
- 推薦科目
- その他科目



# 生命科学科カリキュラムマップ

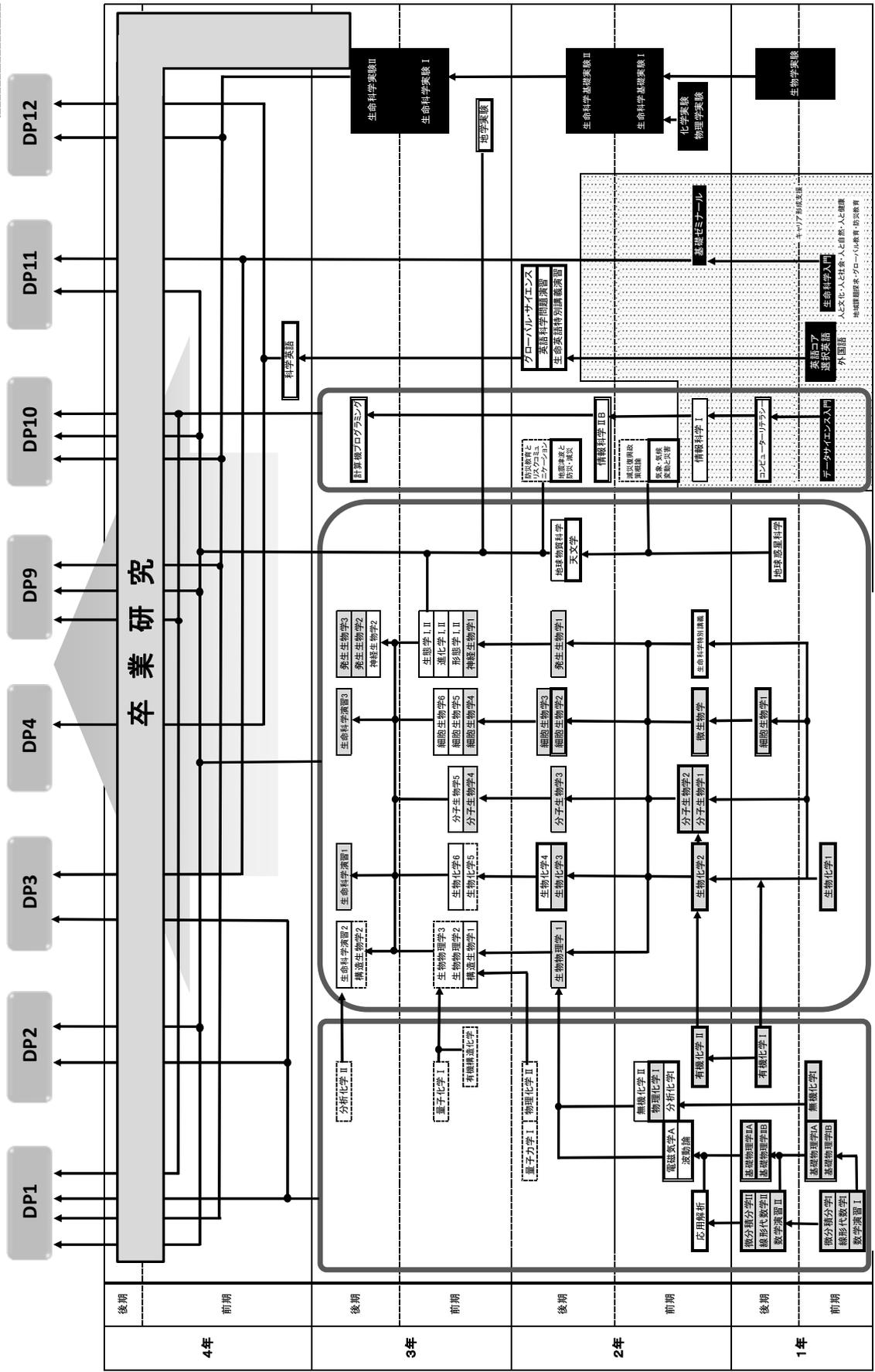


# 生命科学科カリキュラムマップ

細胞における分化、発生と個体の形態形成を学ぶ

細胞コース

- 専門必修科目
- 必修科目
- 標準科目
- 推薦科目
- その他科目



## カリキュラムマトリクス

学部DP

学部名：理学部物質科学科

- DP1 ・物質科学や生命科学の基礎となる体系的な知識や実験技術・情報処理能力を身につけている
- DP2 ・物質科学や生命科学に関わる問題解決に貢献できる、深い理解と洞察力を身につけている
- DP3 ・自身の学習した領域に加えて、自然科学の学際領域において今後芽生える種々の問題にも関心を示すことができる
- DP4 ・地域の資源も活用しながら、世界レベルの視点に立ち、国際的に通用する感覚を身につけている
- DP5 ・物質科学の基礎となる数学、物理学や化学の分野の専門知識と実験技術・情報処理能力を身につけている
- DP6 ・物質科学研究の基礎となる物性を支配する原理や法則、物性制御の手法や物質創製のための反応機構に関わる専門知識と実験技術を身につけており、得られた実験データを正しく解釈・評価できる
- DP7 ・物質科学の基礎に関する深い理解と洞察力に基づき、専門・学際領域の問題解決に関心を示すことができる
- DP8 ・物質科学における世界レベルの研究を体験することにより、国際的に通用する感覚を身につけている

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
基礎ゼミナール	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
キャリアデザイン入門	2	講義・演習		○	◎			○		
Reading and Discussion 1	1	講義・演習			○	◎				◎
Reading and Discussion 2	1	講義・演習			○	◎				◎
Listening and Speaking 1	1	講義・演習			○	◎				◎
Listening and Speaking 2	1	講義・演習			○	◎				◎
Writing 1	1	講義・演習			○	◎				◎
Writing 2	1	講義・演習			○	◎				◎
Intensive English 1	1	講義・演習			○	◎				◎
Intensive English 2	1	講義・演習			○	◎				◎
Communicative English Basic 1	1	講義・演習			○	◎				◎
Communicative English Basic 2	1	講義・演習			○	◎				◎
TOEIC総合1	1	講義・演習			○	◎				◎
TOEIC総合2	1	講義・演習			○	◎				◎
科学技術英語1	1	講義・演習			○	◎				◎
科学技術英語2	1	講義・演習			○	◎				◎
英語海外研修	2	講義・実習			○	◎				◎
英語表現	1	講義・演習			○	◎				◎
英語実習	1	講義・演習			○	◎				◎
中国語1	1	講義・演習			○	◎				○
中国語2	1	講義・演習			○	◎				○
フランス語1	1	講義・演習			○	◎				○
フランス語2	1	講義・演習			○	◎				○
ドイツ語1	1	講義・演習			○	◎				○
ドイツ語2	1	講義・演習			○	◎				○
韓国・朝鮮語1	1	講義・演習			○	◎				○
韓国・朝鮮語2	1	講義・演習			○	◎				○
中国語海外研修	2	講義・演習			○	◎				○
データサイエンス入門	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	
情報科学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	
情報科学ⅡA	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	◎	○	
情報科学ⅡB	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	◎	○	
哲学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
論理学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
心理学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
国文学(演劇)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
国文学(小説)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
国際社会と文化	2	講義・演習		○	○	◎			○	
教育学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本史	2	講義・演習		○	◎	○			○	
東洋史	2	講義・演習		○	○	◎			○	
環境芸術論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
芸術学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
文化人類学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
食文化と環境	2	講義・演習		○	◎	○			○	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
暮らしと道具	2	講義・演習		○	◎	○			○	
法学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
生活の中の法律	2	講義・演習		○	◎	○			○	
政治学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
環境と政治	2	講義・演習		○	◎	○			○	
社会学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
現代社会論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
男女共同参画社会	2	講義・演習		○	◎	○			○	
現代都市社会とまちづくり	2	講義・演習		○	◎	○			○	
経営学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
経営戦略論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本国憲法	2	講義・演習		○	◎	○			○	
人文地理学概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ひょうごの子育て支援	2	講義・演習		○	◎	○			○	
福祉と社会	2	講義・演習		○	◎	○			○	
環境の社会学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
情報技術と現代社会	2	講義・演習		○	◎	○			○	
物質科学入門	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
医療と工学のフロンティア	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
科学技術論	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
宇宙科学	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
生命倫理	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
応用倫理	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
生物科学	2	講義・演習	◎	◎	◎	○			○	
生命体の科学	2	講義・演習	◎	◎	◎	○			○	
分子生物学とバイオテクノロジー	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
社会統計学	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
マテリアル科学への招待	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
現代化学への招待	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
一般有機化学	2	講義・演習			◎				◎	
放射光科学のフロンティア	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
環境問題と国際協力	2	講義・演習		○	◎	○			○	
人と自然の共生	2	講義・演習		○	◎	○			○	
物理学の基本概念	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
健康・スポーツ科学演習1	1	講義・実技		○	◎	○			○	
健康・スポーツ科学演習2	1	講義・実技		○	◎	○			○	
栄養健康科学入門	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ヒューマンヘルスサイエンス	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ひょうご地域課題概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
緑景観マネジメント論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源の保全と活用	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地方公共団体の行政を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域プロジェクト概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源マネジメント概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
兵庫のものづくり	2	講義・演習		○	◎	○			○	
化学と環境技術	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域気候と住環境	2	講義・演習		○	◎	○			○	
兵庫の里山	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ジオパークと地域	2	講義・演習		○	◎	○			○	
共生博物学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域社会とマネジメント	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域社会と健康	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源フィールドワーク(田園生態系の保全と再生)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源フィールドワーク(ジオパークの地質と文化)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
フィールドワーク基礎技術論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
フィールドワーク基礎技術演習	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域プロジェクト実践論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域プロジェクト演習	2	講義・演習		○	◎	○			○	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
現代の経営問題	2	講義・演習		○	◎	○			○	
宗教概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
建築文化ツーリズム学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル科学入門	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル社会と文化	2	講義・演習		○	◎	○			○	
播磨学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバルリーダー入門	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル教養概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバルプロジェクト入門 (海外)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル社会を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本の思想と文化を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
先端科学を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地球の営みと災害	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
兵庫の歴史と自然災害史	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
生活と防災	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
社会特性と減災復興	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
災害支援とボランティア	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
兵庫の災害と防災	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
減災復興まちづくり	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
災害現場と防災	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
微分積分学Ⅰ	2	講義・演習	○	○	○	○	◎	○	○	
微分積分学Ⅱ	2	講義・演習	○	○	○	○	◎	○	○	
線形代数学Ⅰ	2	講義・演習	○	○	○	○	◎	○	○	
線形代数学Ⅱ	2	講義・演習	○	○	○	○	◎	○	○	
数学演習Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	
数学演習Ⅱ	2	講義・演習	○	○	○	○	◎	○	○	
基礎物理学ⅠA	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	
基礎物理学ⅠB	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	
基礎物理学ⅡA	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	
基礎物理学ⅡB	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	
力学A	2	講義・演習	○	◎	○	○	○	◎	◎	○
波動論	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
力学B	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	
電磁気学A	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
電磁気学演習	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	
応用解析	2	講義・演習	○	◎	○	○	◎	◎	○	○
有機化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	
無機化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	
有機化学Ⅱ	2	講義・演習	○	◎	○	○	◎	◎	○	
物理化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	
有機化学Ⅲ	2	講義・演習	○	◎	○	○	◎	◎	○	
生物化学4	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	
分析化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	
細胞生物学1	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生物化学1	2	講義・演習	◎	○	◎	○				
生物化学2	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎			
細胞生物学2	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
分子生物学1	2	講義・演習	◎	◎	○	○				
微生物学	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生物化学3	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
分子生物学2	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	
生命科学特別講義	1	講義・演習	○	◎	◎	◎				
地球惑星科学	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	
地球物質科学	2	講義・演習	◎	◎	◎	○	○	○		
計算機プログラミング	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	○
科学英語	1	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	○	◎
天文学	2	講義・演習	◎	○	◎	○	○		◎	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
天体観測	1	講義・演習	◎	○	◎	○	○		◎	
生態学と生物多様性の保全	2	講義・演習	○	○	◎	○				
英語科学問題演習	2	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
グローバルサイエンス	2	講義・演習	○	○		◎			○	◎
減災復興政策概論	2	講義・演習	◎	○	◎	○	○	○		
防災教育とリスクコミュニケーション	2	講義・演習	◎	○	◎	○	○	○		
物質英語特別講義演習Ⅰ	1	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
生命英語特別講義演習Ⅰ	1	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
コンピューターリテラシー	2	講義・演習	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
地震津波と防災・減災	2	講義・演習	◎	○	◎	○	○	○		
生物学実験	1	講義・実験	◎	◎	◎	○	○	○		○
物理学実験	1	講義・実験	◎	○	○		◎	◎	○	○
化学実験	1	講義・実験	◎	○			◎	◎	○	○
物質科学基礎実験Ⅰ	1	講義・実験	○	○	○		◎	◎	◎	○
物質科学基礎実験Ⅱ	1	講義・実験	◎	○	○		◎	◎	○	○
生命科学基礎実験Ⅰ	1	講義・実験	◎	◎	◎	○	○	○		○
生命科学基礎実験Ⅱ	1	講義・実験	◎	◎	◎	○	○	○		○
地学実験	1	講義・実験	◎	○	○		◎	○	◎	○
代数構造	2	講義・演習	○	○			◎	○	○	
幾何構造	2	講義・演習	○	○	○		◎	○	○	
位相解析	2	講義・演習	○	○	○		◎	○	○	
関数解析	2	講義・演習	○	○	○		◎	○	○	
統計力学Ⅰ	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	◎	○	○
量子力学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
結晶学	2	講義・演習	○	◎			◎	◎	○	
電磁気学B	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	○	○	
物理数学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
物理数学Ⅰ演習	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
物理数学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
物理数学Ⅱ演習	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
量子力学Ⅱ	2	講義・演習	○	◎	○		◎	○	◎	
量子力学演習	2	講義・演習	○	◎	○		◎	○	◎	
統計力学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
物性論Ⅰ	2	講義・演習	○	○	○	○	◎	◎	◎	○
確率統計	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	◎	○
量子力学Ⅲ	2	講義・演習	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
相対論	2	講義・演習	○	◎	○		○	◎	◎	○
物性論Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	◎	◎	○
物性論演習	2	講義・演習	○	◎	○	○	○	◎	◎	○
分光学Ⅰ	2	講義・演習	○	◎	○		○	○	◎	
物性論Ⅲ	2	講義・演習	○	◎	○		○	◎	◎	○
現代物質科学特論Ⅰ	2	講義・演習	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
物理化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	◎		◎	◎	◎	
有機化学Ⅳ	2	講義・演習	○	○			◎	◎	○	
無機化学Ⅱ	2	講義・演習	○	◎	○		◎	◎	○	
物理化学Ⅲ	2	講義・演習	◎	○			◎	◎	○	
物理化学演習Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎			◎	○	○	
無機化学Ⅲ	2	講義・演習	○	◎	○		◎	◎	○	
有機構造化学	2	講義・演習	○	◎	○		◎	◎	○	
物理化学演習Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	◎	○	
量子化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○			◎	◎	○	
分析化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○		○	◎	◎	
機能性物質学	2	講義・演習	○	○	○		◎	◎	◎	
表面化学	2	講義・演習	○	○	○		◎	◎	◎	
有機反応論	2	講義・演習	○	○			◎	◎	○	
生物物理学1	2	講義・演習	◎	◎	○	○	○	○	○	
細胞生物学3	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生物化学5	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
分子生物学3	2	講義・演習	◎	○	◎		○		○	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
発生生物学1	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
生物化学6	2	講義・演習	◎	◎	◎	○	○		○	
神経生物学1	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
構造生物学1	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	○	
分子生物学4	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生物物理学3	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生命科学演習2	2	講義・演習	○	◎	◎	◎				
生命科学演習1	2	講義・演習	○	◎	◎	◎				
生命科学演習3	2	講義・演習	◎	◎	◎					
発生生物学3	2	講義・演習	◎	◎	○	○				
生物物理学2	2	講義・演習	◎	◎	○		○	○	○	
細胞生物学4	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
細胞生物学5	2	講義・演習	◎	◎	◎					
細胞生物学6	2	講義・演習	○	◎	◎	◎				
進化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
進化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生態学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
生態学Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
形態学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
形態学Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
構造生物学2	2	講義・演習	◎	◎	◎	○				
物質科学実験Ⅰ	2	講義・実験	◎	○	○		◎	◎	○	○
物質科学実験Ⅱ	2	講義・実験	◎	○	○		◎	◎	○	○
卒業研究	6	講義・実験	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

## カリキュラムマトリクス

学部DP

学部名：理学部生命科学科

- DP1 ・物質科学や生命科学の基礎となる体系的な知識や実験技術・情報処理能力を身につけている
- DP2 ・物質科学や生命科学に関わる問題解決に貢献できる、深い理解と洞察力を身につけている
- DP3 ・自身の学習した領域に加えて、自然科学の学際領域において今後芽生える種々の問題にも関心を示すことができる
- DP4 ・地域の資源も活用しながら、世界レベルの視点に立ち、国際的に通用する感覚を身につけている
- DP9 ・生命科学の諸分野を理解するための、数学、物理学、化学や生物学や、地球科学の基礎知識と基礎実験技術、情報処理能力を身につけている
- DP10 ・生命科学研究の基礎となる生物の構造と機能に関わる細胞についての原子・分子レベルにおける専門知識と実験技術を身につけており、得られた実験データを正しく解釈・評価できる
- DP11 ・生命科学の基礎に関する深い理解と洞察力に基づき、専門・学際領域の問題解決に意欲と関心を示すことができる
- DP12 ・生命科学における世界レベルの研究を体験することにより、国際的に通用する感覚を身につけている

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP9	DP10	DP11	DP12
基礎ゼミナール	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
キャリアデザイン入門	2	講義・演習		○	◎				○	
Reading and Discussion 1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Reading and Discussion 2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Listening and Speaking 1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Listening and Speaking 2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Writing 1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Writing 2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Intensive English 1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Intensive English 2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Communicative English Basic 1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
Communicative English Basic 2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
TOEIC総合1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
TOEIC総合2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
科学技術英語1	1	講義・演習		○	○	◎				◎
科学技術英語2	1	講義・演習		○	○	◎				◎
英語海外研修	2	講義・実習		○	○	◎				◎
英語表現	1	講義・演習		○	○	◎				◎
英語実習	1	講義・演習		○	○	◎				◎
中国語1	1	講義・演習		○	○	◎				○
中国語2	1	講義・演習		○	○	◎				○
フランス語1	1	講義・演習			○	◎				○
フランス語2	1	講義・演習			○	◎				○
ドイツ語1	1	講義・演習		○	○	◎				○
ドイツ語2	1	講義・演習		○	○	◎				○
韓国・朝鮮語1	1	講義・演習		○	○	◎				○
韓国・朝鮮語2	1	講義・演習		○	○	◎				○
中国語海外研修	2	講義・演習		○	○	◎				○
データサイエンス入門	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	
情報科学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	
情報科学ⅡA	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	◎	○	
情報科学ⅡB	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	◎	○	
哲学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
論理学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
心理学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
国文学(演劇)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
国文学(小説)	2	講義・演習		○	◎	○			○	
国際社会と文化	2	講義・演習		○	○	◎			○	
教育学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本史	2	講義・演習		○	◎	○			○	
東洋史	2	講義・演習		○	○	◎			○	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP9	DP10	DP11	DP12
環境芸術論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
芸術学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
文化人類学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
食文化と環境	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本文化	2	講義・演習		○	◎	○			○	
暮らしと道具	2	講義・演習		○	◎	○			○	
法学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
生活の中の法律	2	講義・演習		○	◎	○			○	
政治学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
環境と政治	2	講義・演習		○	◎	○			○	
社会学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
現代社会論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
男女共同参画社会	2	講義・演習		○	◎	○			○	
現代都市社会とまちづくり	2	講義・演習		○	◎	○			○	
経営学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
経営戦略論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本国憲法	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本国憲法	2	講義・演習		○	◎	○			○	
人文地理学概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ひょうごの子育て支援	2	講義・演習		○	◎	○			○	
福祉と社会	2	講義・演習		○	◎	○			○	
環境の社会学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
情報技術と現代社会	2	講義・演習		○	◎	○			○	
スポーツと生活	2	講義・演習		○	◎	○			○	
生命科学入門	2	講義・演習	◎	○	◎	○	◎	○	○	○
医療と工学のフロンティア	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
科学技術論	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
宇宙科学	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
生命倫理	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
応用倫理	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
生物科学	2	講義・演習	○	◎	◎	○			○	
生命体の科学	2	講義・演習	◎	○	◎		◎		○	
分子生物学とバイオテクノロジー	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
社会統計学	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
マテリアル科学への招待	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
現代化学への招待	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
一般有機化学	2	講義・演習			◎		○	○	○	
放射光科学のフロンティア	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
環境問題と国際協力	2	講義・演習		○	◎	○			○	
人と自然の共生	2	講義・演習		○	◎	○			○	
物理学の基本概念	2	講義・演習	◎	○	◎	○			○	
健康・スポーツ科学演習1	1	講義・実技		○	◎	○			○	
健康・スポーツ科学演習2	1	講義・実技		○	◎	○			○	
栄養健康科学入門	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ヒューマンヘルスサイエンス	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ひょうご地域課題概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
緑景観マネジメント論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源の保全と活用	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地方公共団体の行政を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域プロジェクト概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源マネジメント概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
兵庫のものづくり	2	講義・演習		○	◎	○			○	
化学と環境技術	2	講義・演習		○	◎	○			○	
兵庫の里山	2	講義・演習		○	◎	○			○	
ジオパークと地域	2	講義・演習		○	◎	○			○	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP9	DP10	DP11	DP12
共生生物学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域社会と健康	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源フィールドワーク（田園生	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域資源フィールドワーク（ジオパ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域社会とマネジメント	2	講義・演習		○	◎	○			○	
フィールドワーク基礎技術論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
フィールドワーク基礎技術演習	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域気候と住環境	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域プロジェクト実践論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地域プロジェクト演習	2	講義・演習		○	◎	○			○	
現代の経営問題	2	講義・演習		○	◎	○			○	
宗教概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
建築文化ツーリズム学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル科学入門	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル社会と文化	2	講義・演習		○	◎	○			○	
播磨学	2	講義・演習		○	◎	○			○	
姫路城特別講義	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバルリーダー入門	2	講義・演習		○	◎	○			○	
兵庫の国際交流	2	講義・演習		○	◎	◎			○	○
グローバル教養概論	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバルプロジェクト入門（海外	2	講義・演習		○	◎	○			○	
グローバル社会を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
日本の思想と文化を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
先端科学を学ぶ	2	講義・演習		○	◎	○			○	
地球の営みと災害	2	講義・演習		○	◎	○			○	
兵庫の歴史と自然災害史	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
生活と防災	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
社会特性と減災復興	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
兵庫の災害と防災	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
災害支援とボランティア	2	講義・演習	○	○	◎	○			○	
減災復興まちづくり	2	講義・演習		○	◎	○			○	
災害現場と防災	2	講義・演習		○	◎	○			○	
微分積分学Ⅰ	2	講義・演習	○	○	◎	○				
微分積分学Ⅱ	2	講義・演習	○	○	◎	○				
線形代数学Ⅰ	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
線形代数学Ⅱ	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
数学演習Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
数学演習Ⅱ	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
基礎物理学ⅠA	2	講義・演習	◎	○	○		◎			
基礎物理学ⅠB	2	講義・演習	◎	○	◎		◎		○	
基礎物理学ⅡA	2	講義・演習	◎	○	○		◎			
基礎物理学ⅡB	2	講義・演習	◎	○	◎		◎		○	
力学A	2	講義・演習	○	◎	○		◎	◎	○	○
波動論	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
力学B	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	○	
電磁気学A	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
電磁気学演習	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	○	○	
応用解析	2	講義・演習	○	◎	○	○	◎	○	◎	○
有機化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
無機化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
有機化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
物理化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
有機化学Ⅲ	2	講義・演習	○	◎	○		◎	○	◎	
生物化学4	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
分析化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○		◎		○	

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP9	DP10	DP11	DP12
細胞生物学1	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
生物化学1	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
生物化学2	2	講義・演習	◎	○	◎		○	◎	○	
細胞生物学2	2	講義・演習	◎	◎	○	○	○	○	◎	○
分子生物学1	2	講義・演習	◎	○	◎		○	◎	○	
微生物学	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	◎	
生物化学3	2	講義・演習	◎	◎	○	○	○	○	◎	○
分子生物学2	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
生命科学特別講義	1	講義・演習	○	◎	○	○	○	○	◎	◎
地球惑星科学	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
地球物質科学	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
計算機プログラミング	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	○	◎	○
科学英語	1	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	○	◎
天文学	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	◎	
英語科学問題演習	2	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
グローバルサイエンス	2	講義・演習	○	○	◎	◎				◎
減災復興政策概論	2	講義・演習	◎	◎	○		○	○		
防災教育とリスクコミュニケーション	2	講義・演習	◎	◎	○		○	○		
生態学と生物多様性の保全	2	講義・演習	○	◎	○		○	○	○	
天体観測	1	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	◎	
物質英語特別講義演習Ⅰ	1	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
生命英語特別講義演習Ⅰ	1	講義・演習	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
コンピューターリテラシー	2	講義・演習	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
地震津波と防災・減災	2	講義・演習	◎	◎	○		○	○		
生物学実験	1	講義・実験	◎	○			◎	◎		○
物理学実験	1	講義・実験	◎	○	○		◎	○		○
化学実験	1	講義・実験	◎	○			◎	○		○
物質科学基礎実験Ⅰ	1	講義・実験	◎	◎	○		◎	○	○	○
物質科学基礎実験Ⅱ	1	講義・実験	◎	○	○		◎	○	◎	○
生命科学基礎実験Ⅰ	1	講義・実験	◎		○		◎	◎		○
生命科学基礎実験Ⅱ	1	講義・実験	◎		○		◎	◎		○
地学実験	1	講義・実験	◎	○	○		◎	○	◎	○
代数構造	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
幾何構造	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
位相解析	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
関数解析	2	講義・演習	○	○	○		◎		○	
統計力学Ⅰ	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	◎	○
量子力学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
結晶学	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
電磁気学B	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	○	○	
物理数学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
物理数学Ⅰ演習	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
物理数学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
物理数学Ⅱ演習	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
量子力学Ⅱ	2	講義・演習	○	○	◎		◎			
量子力学演習	2	講義・演習	○	○	◎		◎			
統計力学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
物性論Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
確率統計	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	○	◎	○
量子力学Ⅲ	2	講義・演習	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
相対論	2	講義・演習	○	◎	○		◎	◎	○	○
物性論Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	○		○			
物性論演習	2	講義・演習	○	◎	◎	○	○	◎	○	○
分光学Ⅰ	2	講義・演習	○	◎	○		○		○	
物性論Ⅲ	2	講義・演習	○	◎	○		◎	◎	○	○

授業科目名	単位数	授業形態	DP1	DP2	DP3	DP4	DP9	DP10	DP11	DP12
物理化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	○		
有機化学Ⅳ	2	講義・演習	◎	○	○		◎			
無機化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
物理化学Ⅲ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎		○	
物理化学演習Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
無機化学Ⅲ	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
有機構造化学	2	講義・演習	◎	○	○		◎	○	◎	
物理化学演習Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎		○	
量子化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎		○	
分析化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	◎	○		◎		○	
機能性物質学	2	講義・演習	○	◎	◎		◎	○	○	
表面化学	2	講義・演習	○	◎	◎		○	○	◎	
有機反応論	2	講義・演習	○	◎	○		◎			
生物物理学1	2	講義・演習	○	○		○	◎	◎	○	○
細胞生物学3	2	講義・演習	◎	◎	◎	○	○	○	○	
生物化学5	2	講義・演習	◎	○	◎		○	◎	○	
分子生物学3	2	講義・演習	◎	○	◎		○	○	○	
発生生物学1	2	講義・演習	◎	○	◎		◎	○	○	
生物化学6	2	講義・演習	○	○	◎	○	◎	◎	○	○
神経生物学1	2	講義・演習	○	◎	○	◎	○	○	◎	
構造生物学1	2	講義・演習	○	◎	○		○	◎	◎	
分子生物学4	2	講義・演習	○	○	◎	○	○	◎	◎	
生物物理学3	2	講義・演習	○	◎	○	○	○	◎	◎	
生命科学演習2	2	講義・演習	○	○	○	◎	○	◎	◎	
生命科学演習1	2	講義・演習	○	◎	○	◎	○	◎	○	○
生命科学演習3	2	講義・演習	◎	○	○		◎	◎	○	
発生生物学3	2	講義・演習	◎	○	◎		○	◎	○	
生物物理学2	2	講義・演習	◎	◎	○		◎	○	○	
細胞生物学4	2	講義・演習	◎	○	◎	○	○	○	◎	
細胞生物学5	2	講義・演習	○	◎	○		○	◎	◎	
細胞生物学6	2	講義・演習	○	◎	○	◎	○	○	◎	○
進化学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
進化学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
生態学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
生態学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
形態学Ⅰ	2	講義・演習	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
形態学Ⅱ	2	講義・演習	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
構造生物学2	2	講義・演習	○	◎	◎		○	○	◎	
生命科学実験Ⅰ	4	講義・実験	◎	○			◎	◎	○	○
生命科学実験Ⅱ	4	講義・実験	◎	○			◎	◎	○	○
卒業研究	6	講義・実験	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

# オフィスアワー 一覧

- ・メールによる事前連絡が望ましい。
- ・メールのタイトルには、学籍番号と氏名を明記すること

名前	オフィスアワー・場所	メールアドレス
相賀 則宏 アイガ ノリヒロ	随時：研究棟212号室	aiga@sci.u-hyogo.ac.jp
香郷 友宏 トモヒロ	随時：研究棟316号室	agou@sci.u-hyogo.ac.jp
阿部 正明 アベ、マサアキ	随時：研究棟203号室	mabe@sci.u-hyogo.ac.jp
井澤 俊明 イザワ トシアキ	随時：研究棟503号室	izawa@sci.u-hyogo.ac.jp
石川 深 イシカワ キシフ	随時：研究棟205号室	ユニバの授業Q&Aにより事前連絡
石須 慶一 イシズ ケイイチ	随時：工学C445	k.ishizu@sci.u-hyogo.ac.jp
磯崎 勇志 イソザキ ユウシ	随時：研究棟402号室	yisozaki@sci.u-hyogo.ac.jp
梅園 良彦 ウメノリョウ	随時：研究棟614号室	yumesono@sci.u-hyogo.ac.jp
衣斐 義一 エミ、ヨシカズ	随時：研究棟606号室	emys@sci.u-hyogo.ac.jp
生沼 泉 オイヌマ イズミ	随時：研究棟406号室	izumi@sci.u-hyogo.ac.jp
大岩 和弘 オオイワ カズヒロ	随時：研究棟604号室	oiwa@nict.go.jp
緒方 英明 オホウチ ヒデアキ	随時：研究棟301号室	ogata@sci.u-hyogo.ac.jp
小澤 芳樹 オサワ ヨシキ	随時：研究棟201号室	ozawa@sci.u-hyogo.ac.jp
尾嶋 拓 オシマ ヒラク	随時：研究棟709号室	oshima@sci.u-hyogo.ac.jp
織井 秀文 オリイ ヒデアキ	随時：研究棟615号室	orii@sci.u-hyogo.ac.jp
籠島 靖 カゴシマ ヤスシ	随時：研究2期棟S212号室	kagosima@sci.u-hyogo.ac.jp
菓子野 康浩 カシノ ヤスヒロ	随時：研究棟639号室	kashino@sci.u-hyogo.ac.jp
金島 圭佑 カネシマ ケイスケ	随時：研究棟205号室	kns@sci.u-hyogo.ac.jp
川久保 哲 カワクボ サトシ	随時：工学C421	kawakubo@sci.u-hyogo.ac.jp
河智 史朗 カワチ シロウ	随時：研究棟215号室	kawachi@sci.u-hyogo.ac.jp
北谷 基治 キタタニ モトシ	随時：研究棟711号室	kitatani@sci.u-hyogo.ac.jp
草部 浩一 クサベ コウイチ	随時：研究棟708号室	kusakabe@sci.u-hyogo.ac.jp
久保 和也 クボ カズヤ	随時：研究棟317号室	kubo@sci.u-hyogo.ac.jp
久保 稔 クボ ミノル	随時：研究棟311号室	minoru@sci.u-hyogo.ac.jp
下條 竜夫 ゲジョウ リウオウ	随時：研究棟212号室	gejo@sci.u-hyogo.ac.jp
小泉 昭久 コイズミ アキヒサ	随時：研究棟215号室	akihisa@sci.u-hyogo.ac.jp

オフィスアワー・場所		メールアドレス
名前 光明 新 コウミョウ アラタ	随時：工学C429	akomyo@sci.u-hyogo.ac.jp
後藤 忠徳 ゴトウ タダノリ	随時：工学C443	t.n.goto@sci.u-hyogo.ac.jp
小林 寿夫 コバヤシ ヒサオ	随時：研究棟214号室	kobayash@sci.u-hyogo.ac.jp
小箕 剛 コミ タケ	随時：研究棟714号室	kominono@sci.u-hyogo.ac.jp
坂井 徹 サカイ トウヂ	随時：研究棟710号室	sakai@sci.u-hyogo.ac.jp
桜井 一 サクライ ハジメ	随時：研究棟509号室	saki@sci.u-hyogo.ac.jp
佐々木 桂奈江 ササキ カナエ	随時：研究棟509号室	sasaki@sci.u-hyogo.ac.jp
佐藤 井一 サトウ セイイチ	随時：研究棟715号室	sato@sci.u-hyogo.ac.jp
澤井 仁美 サワイ ヒトミ	随時：研究2期棟S205号室	sawai@sci.u-hyogo.ac.jp
塩原 泰史 シノハラ ヤスシ	随時：研究棟540号室	shiomi@sci.u-hyogo.ac.jp
柴田 直樹 シバタ ナオキ	随時：研究棟304号室	shibach@sci.u-hyogo.ac.jp
柴田 実央 シバタ ミツオ	随時：研究棟415号室	shimogaki@sci.u-hyogo.ac.jp
鈴木 雅登 スズキ マサト	随時：研究棟402号室	suzuki@sci.u-hyogo.ac.jp
園部 誠司 ソノベ セイジ	随時：研究棟503号室	sonobe@sci.u-hyogo.ac.jp
高山 裕貴 タカヤマ ユウキ	随時：研究2期棟S201号室	takayama@sci.u-hyogo.ac.jp
竹内 佐年 タケウチ サトシ	随時：研究棟213号室	stake@sci.u-hyogo.ac.jp
田中 義人 タナカ ヨシヒト	随時：研究棟207号室	tanaka@sci.u-hyogo.ac.jp
田原 主志朗 タハラ ナシラウ	随時：研究棟201号室	taharak@sci.u-hyogo.ac.jp
津坂 佳幸 ツサカ ヨシユキ	随時：研究2期棟S211号室	tsusaka@sci.u-hyogo.ac.jp
當倉 武彦 トウクラ タケヒコ	随時：研究2期棟S208号室	ttosha@sci.u-hyogo.ac.jp
中井 朋則 ナカイ トモノリ	随時：工学C455	naka it@sci.u-hyogo.ac.jp
中井 祐介 ナカイ ユウスケ	随時：研究棟102号室	nakai@sci.u-hyogo.ac.jp
中田 勝 ナカタ スケル	随時：研究棟717号室	nakata@sci.u-hyogo.ac.jp
中野 博生 ナカノ ヒロキ	随時：研究棟737号室	ユニバの授業Q&Aにより事前連絡
永安 聖 ヨシカズ セン	随時：工学C419	sei@sci.u-hyogo.ac.jp
西谷 秀男 ニシタ ヒデアキ	随時：研究棟520号室	hideon@sci.u-hyogo.ac.jp
西野 有里 ニシノ エリ	随時：研究2期棟S309号室	ynishino@sci.u-hyogo.ac.jp
萩谷 健治 ハギヤ ケンジ	随時：研究棟310号室	hagiya@sci.u-hyogo.ac.jp
八田 公平 ハッタ コウヘイ	随時：研究棟516号室	khatta@sci.u-hyogo.ac.jp

オフィスアワー・場所		メールアドレス
名前 林 晃世 ハヤシ アキヨ	随時：研究棟540号室	akiyoh@sci.u-hyogo.ac.jp
平野 克博 ヒラノ カツヒロ	随時：工学C431	hirano@sci.u-hyogo.ac.jp
廣瀬 富美子 ヒロセ フミコ	随時：研究棟407号室	fhirose@sci.u-hyogo.ac.jp
藤井 拓斗 フジイ タク	随時：研究棟102号室	fujii@sci.u-hyogo.ac.jp
藤田 英伸 フジタ ヒデアキ	随時：研究棟634号室	h.fujita@sci.u-hyogo.ac.jp
藤田 守文 フジタ モリフミ	随時：研究棟415号室	fujii@sci.u-hyogo.ac.jp
松原 則男 マツハラ ノリオ	随時：研究棟432号室	matsubar@sci.u-hyogo.ac.jp
水島 恒裕 ミズシマ ツネヒロ	随時：工学C449	mizushi@sci.u-hyogo.ac.jp
水戸 毅 ミト ユキケン	随時：研究棟703号室	mito@sci.u-hyogo.ac.jp
三宅 由寛 ミヤケ ヨシヒロ	随時：研究棟416号室	miyake@sci.u-hyogo.ac.jp
宮澤 淳夫 ミヤザワ アツシ	随時：研究2期棟S301号室	atsuo@sci.u-hyogo.ac.jp
村本 和優 ムラモト カズユキ	随時：研究2期棟S206号室	muramoto@sci.u-hyogo.ac.jp
餅井 真 モチイ マコト	随時：研究棟615号室	mmochoii@sci.u-hyogo.ac.jp
守屋 克洋 モリヤ カツヒロ	随時：工学C427	moriyaka@sci.u-hyogo.ac.jp
安川 智之 ヤスカワ トモユキ	随時：研究棟403号室	yasu@sci.u-hyogo.ac.jp
柳澤 幸子 ヤナギザワ サチコ	随時：研究棟309号室	sachi.y@sci.u-hyogo.ac.jp
山内 淳生 ヤマウチ アツオ	随時：工学C425	ayamauch@sci.u-hyogo.ac.jp
山内 大輔 ヤマウチ ダイスケ	随時：工学C451	dyamauch@sci.u-hyogo.ac.jp
山口 明 ヤマグチ アキラ	随時：研究棟704号室	yamagu@sci.u-hyogo.ac.jp
山田 大智 ヤマダ ダイチ	随時：研究棟308号室	d.yamada@sci.u-hyogo.ac.jp
山根 悠 ヤマネ ユウ	随時：研究棟706号室	y-yamane@sci.u-hyogo.ac.jp
横田 悦雄 ヨコタ エツオ	随時：研究棟502号室	yokota@sci.u-hyogo.ac.jp
吉田 秀郎 ヨシダ ヒデロウ	随時：研究棟507号室	hide@sci.u-hyogo.ac.jp
吉久 徹 ヨシキウ トオル	講義日午後12:15～13:00研究棟501号室(2限以外の講義は予め連絡のこと。電子メールにての質問は随時)	tyoshihi@sci.u-hyogo.ac.jp
若林 貞夫 ワカハヤシ サダオ	随時：研究棟508号室	wakabaya@sci.u-hyogo.ac.jp
和達 大樹 ワダチ ヒロキ	随時：研究棟716号室	wadati@sci.u-hyogo.ac.jp

## 令和6年度理学部クラス担任等

### (1) クラス担任

#### ① 1年生

クラス	姫路工学キャンパス	播磨理学キャンパス
I	光明 新	津坂 佳幸
II	後藤 忠徳	西谷 秀男
III	永安 聖	安川 智之
IV	山内 淳生	佐々木 桂奈江

#### ② 2年生

クラス	姫路工学キャンパス	播磨理学キャンパス
I	平野 克博	中野 博生
II	水島 恒裕	當舎 武彦
III	永安 聖	三宅 由寛
IV	山内 大輔	衣斐 義一

### (2) ガイダンス主任 (※印のガイダンス主任は、学科のガイダンス主任を兼ねる。)

学 科	コ ー ス	教 員 名
物質科学科	物性基礎コース	竈島 靖
	物 性コース	※阿部 正明
	物 質コース	三宅 由寛
生命科学科	生体物性コース	當舎 武彦
	生体分子コース	※緒方 英明
	細 胞コース	宮澤 淳夫

### (3) 教務委員 (★は教務委員長)

- 1年生クラス担任 (姫路工学キャンパス) から2名  

永安 聖
------

後藤 忠徳
-------
- 2年生クラス担任 (播磨理学キャンパス) から2名  

三宅 由寛
-------

當舎 武彦
-------
- 物質科学科のガイダンス主任から2名  

阿部 正明
-------

★竈島 靖
-------
- 生命科学科のガイダンス主任から2名  

緒方 英明
-------

宮澤 淳夫
-------

## 講座等及び教員組織表

令和6年4月1日現在

区 分	講 座	教 授	准教授	講 師	助 教
理 学 部  物 質 科 学 科	電磁物性学	みと たけし 水戸 毅	なかい ゆうすけ 中井 祐介		ふじい たくと 藤井 拓斗
	光物性学	たなか よしひと 田中 義人	いしかわ きよし 石川 潔		かねしま けいすけ 金島 圭佑
	電子物性学	みやさか しげき 宮坂 茂樹	やまぐち あきら 山口 明		やまね ゆう 山根 悠
	量子物性学	こばやし ひさお 小林 寿夫	こいずみ あきひさ 小泉 昭久		かわち しろう 河智 史朗
	数理解析学	さかい とおる 坂井 徹	なかの ひろき 中野 博生		いのうえ りょう 井上 僚
	応用数学	くさかべ こういち 草部 浩一			きたたにもとはる 北谷 基治
	構造物性学	あべ まさあき 阿部 正明	おざわ よしき 小澤 芳樹		たかはら かずま 高原 一真
	極限状態物性学	わだち ひろき 和達 大樹			なかつ すぐる 中田 勝
	機能性物質学Ⅰ	えぐち りつこ 江口 律子	こみのたけし 小箕 剛		さとう せいいち 佐藤 井一
	機能性物質学Ⅱ	あごう ともひろ 吾郷 友宏	くぼ かずや 久保 和也		
	物質反応論Ⅰ	たけうち さとし 竹内 佐年	げじょう たつお 下條 竜夫		あいが のりひろ 相賀 則宏
	物質反応論Ⅱ	みやけ よしひろ 三宅 由寛	ふじた もりふみ 藤田 守文		しもがき みお 下垣 実央
	化学分析学	やすかわ ともゆき 安川 智之	すずき まさと 鈴木 雅登		いそざき ゆうし 磯崎 勇志
	エックス線光学	かごしま やすし 籠島 靖	つさか よしゆき 津坂 佳幸		おざわ けいすけ 小澤 佳祐
	数理科学Ⅰ	ながやす せい 永安 聖  かとう まさかず 加藤 正和	こうみょうあらた 光明 新  ひらの かつひろ 平野 克博		
数理科学Ⅱ	かわくぼ さとし 川久保 哲  もりや かつひろ 守屋 克洋	やまうち あつお 山内 淳生 ただの ゆきひで 只野 之英			

区分	講座	教授	准教授	講師	助教	
理 学 部	生 命 学 科	分子機械学	よしひさ とおる 吉久 徹	いざわ としあき 井澤 俊明		よこた えつお 横田 悦雄
		生体物質構造学Ⅰ	おがた ひであき 緒方 英明	しばた なおき 柴田 直樹		まつうら ひろあき 松浦 滉明
		生体物質構造学Ⅱ	くぼ みのる 久保 稔	やなぎさわ さちこ 柳澤 幸子		さとう わたる 佐藤 航
		細胞構造学	みやざわ あつお 宮澤 淳夫	かしの やすひろ 菓子野 康浩		にしの ゆり 西野 有里
		細胞制御学Ⅰ	うめそのよしひこ 梅園 良彦	もちい まこと 餅井 真		おりい ひでふみ 織井 秀文
		細胞制御学Ⅱ	とうしゃ たけひこ 當舎 武彦	むらもと かずまさ 村本 和優		とうだ れい 東田 怜
		細胞機能学	おいぬまいずみ 生沼 泉	ひろせ ふみこ 廣瀬 富美子		
		生体情報学Ⅰ	はった こうへい 八田 公平	ゆきなが ひろこ 幸長 弘子		きどころ ひなこ 城所 比奈子
		生体情報学Ⅱ	にしたに ひでお 西谷 秀男	しおみ やすし 塩見 泰史		はやしあきよ 林 晃世
		生体物質化学Ⅰ	いなき みきこ 稲木 美紀子	えみ よしかず 衣斐 義一		
		生体物質化学Ⅱ	よしだ ひでろう 吉田 秀郎	ささき かなえ 佐々木桂奈江		さくらい はじめ 桜井 一
		生体分子生合成	みずしまつねひろ 水島 恒裕	やまうち だいすけ 山内 大輔		なかい とものり 中井 朋則
		地球科学	ごとう ただのり 後藤 忠徳		はぎや けんじ 萩谷 健治	いしず けいいち 石須 慶一

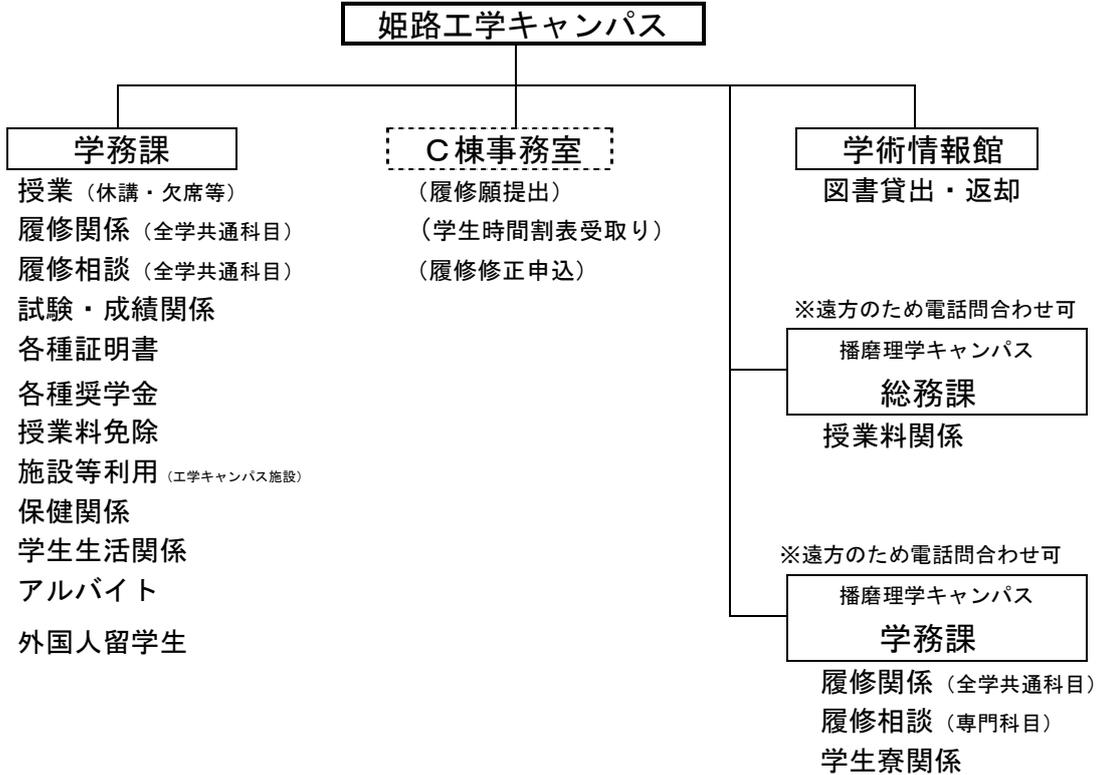
#### 情報理学研究室

講座	教授	准教授	講師	助教
情報理学研究室	おおいわ かずひろ 大岩 和弘	おしま ひらく 尾嶋 拓		

# 経営部組織表

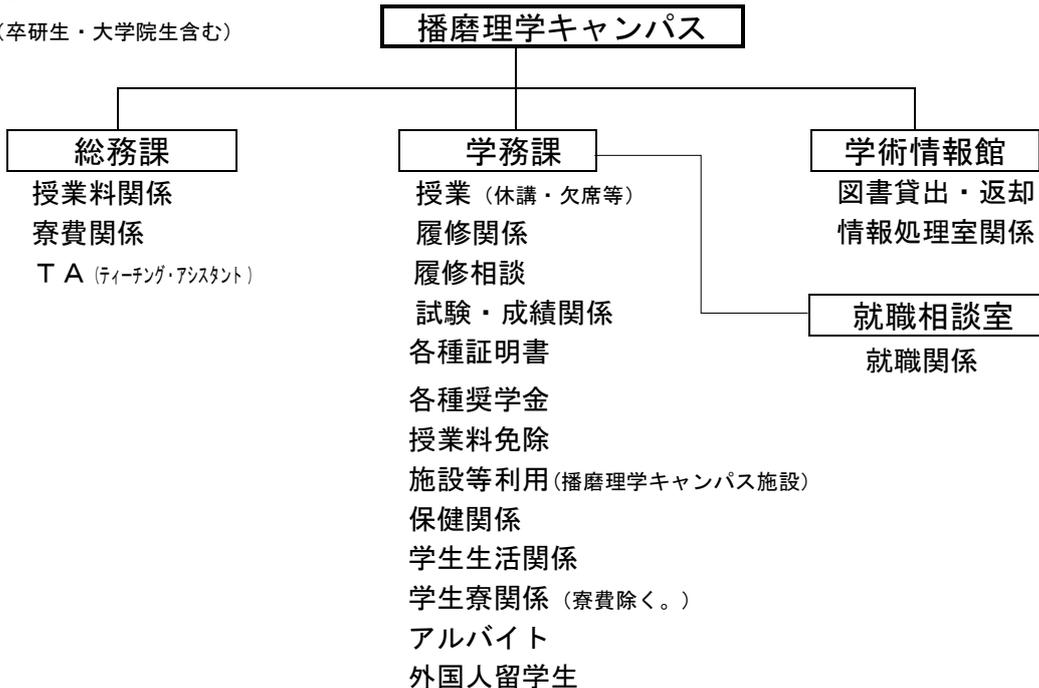
★提出・受取・相談等は、該当する担当課窓口まで来てください。★  
 《受付時間》 平日 9:00-12:00、12:45-17:00

## ◎学部1年生



## ◎学部2年生以上

（卒研生・大学院生含む）





# 第 1 章 授業科目の履修に関するガイダンス



## 1. 履修に関すること

### (1) 履修について

入学年度によりカリキュラム（履修許可及び先修条件を含む。）が異なっています。入学時に配布した履修の手引きに記載されている科目が開講されなくなったり、それ以外の科目が開講されたりする場合があります。したがって、必ずこの冊子で自分の入学年度のカリキュラムを確認してください。また、不合格となった科目が翌年度以降に履修できるとは限らないので、配当年次に確実に単位を修得できるように心がけてください。なお、各科目の講義内容は学生情報システム（以下、ユニバーサルパスポート）からシラバスを参照してください。

#### ① 教務関連ガイダンス

##### ・ 新入生対象・・・

下記日程で教務関連（履修に関する）ガイダンスを行います。

**必ず出席してください。**

また、ガイダンスは、他の時期にも必要に応じて適宜行います。

掲示に注意してください。

- 1) 日 時 令和6年4月4日（木）物質科学科 9時30分～  
生命科学科 13時30分～

（同日実施される新入生オリエンテーションの一環として実施します。）

- 2) 場 所 播磨理学キャンパス 本部棟4階大講義室

##### ・ 新2年生対象・・・

- 1) 日 時 令和6年4月5日（金）物質科学科・生命科学科 9時30分～

（対象は、令和6年度に2年次実験を履修する学生です。また、別途実験ごとのガイダンスが実施される場合もありますので、掲示に注意してください。）

（2年次実験履修不許可となった学生には、一部ガイダンスの内容にそぐわない箇所もありますが、播磨理学キャンパスでの学習や生活についての話もありますので、参加してください。）

- 2) 場 所 播磨理学キャンパス 本部棟4階大講義室

##### ・ 新3年生対象・・・

- 1) 日 時 令和6年4月3日（水）物質科学科 10時30分～  
生命科学科 13時30分～

（留年生で3年次実験の単位未修得の学生も参加してください。）

- 2) 場 所 播磨理学キャンパス 本部棟4階大講義室

##### ・ 新卒研究生対象・・・講座ごとに実施（所属講座の指示に従うこと。）

② 集中講義の履修

夏季休暇等を実施する集中講義は、同一日程に複数の集中講義が重なることがあります。このような場合は、一つを選択し履修登録してください。なお、日程変更により開講日が重なった集中講義については、どちらかの履修の取消しを、履修登録変更期間内に受付けます。

③ 教職科目の履修

教育職員免許状を取得しようとする者は、「3. 教職課程履修の手引」に従って履修してください。

④ 大学院講義の履修

第4年次の卒業研究生も、大学院分野共通科目「大講座横断プログラム」を履修することができます。本学理学研究科に進学した場合には、その履修単位が修了所要単位の一部として認められます。

大講座横断プログラムとして登録されている科目は、以下のとおりです。

受講を希望する場合は、履修登録期間中に所定の様式による申請が必要です。詳細については学務課に問い合わせてください。

【物質科学専攻】

- ・放射光物性論      ・放射光X線結像光学      ・錯体構造論
- ・放射光特別実習      ・先端光ビーム科学      ・量子シミュレーション科学
- ・化学物理学

(2) 履修許可及び先修条件

- ① 平成31年度以降入学生      ② 平成29・30年度入学生
- ③ 平成28年度入学生

履修許可及び先修条件については、入学年度毎に異なるので、理学部規程別表第6を参照してください。

(3) 履修できる単位数

令和4年度以降入学生については、履修の届出を行うことのできる単位数は、通年で50単位以内、前期・後期各々28単位以内です。

令和2年度、3年度入学生については、通年で入学年次は56単位、次年次以降は54単位以内です。平成31年度以前入学生については、通年で56単位以内です。

#### <CAP制度について>

CAP制度は、単位制度を実質化し、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身につけることを目的として、学生が履修科目として登録できる単位数の上限を定め、各年次にわたって適切に授業科目を履修してもらうために導入しています。

履修登録単位数の上限設定については、令和4年度以降入学生から次のとおり扱います。

(1) 通年の履修登録単位数の上限を50単位とし、前期・後期各々28単位とする。(理学部規程第11条第2項)

(2) 集中講義による授業科目、卒業所要単位数に算入されない教職課程科目及び副専攻科目のうち指定された科目(副専攻履修のてびきに記載)は、CAP制に含まないものとする。

令和2年度及び3年度入学生については、次のとおり扱います。

(1) 通年の履修登録単位数の上限を入学年次は56単位、次年次以降は54単位とする。

(2) 集中講義による授業科目、卒業所要単位数に算入されない教職課程科目及び副専攻科目のうち指定された科目(副専攻履修のてびきに記載)は、CAP制に含まないものとする。

平成31年度以前入学生については、従前の通りです。

(1) 通年の履修登録単位数の上限を56単位とする。

(2) 卒業所要単位数に算入されない教職課程科目及び副専攻科目のうち、指定された科目はCAP制に含まないものとする。

#### (4) 履修登録について

履修登録は、年2回(4月、9月)、ユニバーサルパスポートより下記のとおり行います。申請、確認等の期限は厳守してください。変更がある場合は、随時、ユニバーサルパスポートにてお知らせしますので確認するようにしてください。

なお、履修登録の手続きを怠ると、たとえ授業に出席し試験を受験しても単位は認定されませんのでご注意ください。

#### <前 期>

**【前期履修登録期間】4月4日(木)9:00~4月12日(金)23:59**

**※科目によって登録期間が異なりますのでご注意ください**

- ① 抽選科目・アンケート科目(前期集中講義以外)  
(履修登録期間)4月4日(木)~4月9日(火)
- ② 抽選科目・アンケート科目(前期集中講義以外)の結果揭示  
(抽選結果揭示)4月12日(金)
- ③ アンケート科目(前期集中講義)  
(履修登録期間)4月15日(月)~4月18日(木)

**【前期履修登録修正期間】** 4月19日（金）9：00～4月25日（木）17：00  
科目の追加や削除の申請が可能です。先修条件、卒業要件を確認の上、申請をしてください。

※ユニバーサルパスポートにて様式「履修登録修正願（修正期間用）」を掲示しますので、修正を希望する場合は学務課に提出してください。

※抽選科目・アンケート科目の削除は出来ません

※上限を超えた履修登録は認められません

**【前期履修取消期間】** 5月10日（金）9：00～5月16日（木）17：00

履修の継続が難しいと思われる場合に限り削除申請が可能です。削除しても問題が無いか先修条件や卒業要件を確認の上、申請をしてください。（平成31年度以降入学生対象）

※ユニバーサルパスポートにて様式「履修登録修正願（取消期間用）」を掲示しますので、取消を希望する場合は学務課に提出してください。

※抽選科目・アンケート科目の削除は出来ません

## ＜後 期＞

**【後期履修登録期間】** 9月24日（火）9：00～10月4日（金）23：59

※科目によって登録期間が異なりますのでご注意ください

① 抽選科目・アンケート科目（後期）

（履修登録期間）9月24日（火）～9月27日（金）

② 抽選科目・アンケート科目（後期）の結果発表

（抽選結果掲示）10月1日（火）

**【後期履修修正期間】** 10月15日（火）9：00～10月18日（金）17：00

科目の追加や削除の申請が可能です。先修条件、卒業要件を確認の上、申請をしてください。

※ユニバーサルパスポートにて様式「履修登録修正願（修正期間用）」を掲示しますので、修正を希望する場合は学務課に提出してください。

※抽選科目・アンケート科目の削除は出来ません

※上限を超えた履修登録は認められません

**【後期履修取消期間】** 11月5日（火）9：00～11月11日（月）17：00

履修の継続が難しいと思われる場合に限り削除申請が可能です。削除しても問題が無いか先修条件や卒業要件を確認の上、申請をしてください。（平成31年度以降入学生対象）

※ユニバーサルパスポートにて様式「履修登録修正願（取消期間用）」を掲示しますので、取消を希望する場合は学務課に提出してください。

※抽選科目・アンケート科目の削除は出来ません

## (5) 他学部の授業科目の履修手続

- 1) 本学では、他学部の授業科目の履修ができます。他学部の授業科目の履修を希望する者は、他学部の時間割、シラバスで履修を希望する科目を確認した上、所定の期日までに、学務課まで他学部授業科目履修許可願を提出してください。
- 2) 提出期日については、通常の履修登録の前に行うこととします。  
詳細は学務課に事前に相談してください。

## (6) 遠隔授業の履修

- 1) 遠隔授業  
本学では、キャンパスが分散している状況をかんがみ、総合大学としての利点を生かすため、離れたキャンパス間での遠隔授業を導入しています。遠隔授業により、全学共通科目において科目選択の幅が広がるとともに、教職課程科目の履修が可能となります。開講科目については、第2章「開講授業科目」を参照してください。
- 2) 遠隔授業についての注意事項  
遠隔授業は、複数のキャンパスにおいて同時に実施するため、受信教室と発信教室のいずれかにおいて、気象警報等により遠隔授業が実施できない場合は、学生間の公平を図る観点から、発信教室及び受信教室ともに授業を中止（又は休講）します。交通途絶及び気象警報が発令された場合の休講措置は、「第1章 2（2）休講について」のページを確認してください。

## 2. 授業・休講・試験・成績等に関すること

### (1) 授 業

#### 教 室

授業時間割には、その講義が行われる教室を指定していますが、最初のうちは受講者数の関係で変更されることがあります。教室変更は、掲示板（播磨理学キャンパス：本部棟2階、姫路工学キャンパス：A棟2階掲示フロア）に掲示しています。

#### 講義時間

1 時限	9 : 00 ~ 10 : 30
2 時限	10 : 40 ~ 12 : 10
3 時限	13 : 00 ~ 14 : 30
4 時限	14 : 40 ~ 16 : 10
5 時限	16 : 20 ~ 17 : 50
6 時限	18 : 00 ~ 19 : 30

## (2) 休 講

休講の場合は、ユニバーサルパスポートから休講情報の配信及び休講通知を掲示板に掲示します。随時確認するようにしてください。

※姫路工学キャンパスでは紙での掲示はありませんので注意して下さい。

※ユニバーサルパスポートにメールアドレスを登録することにより、休講・補講情報をメールで受け取ることができます。必ずメールアドレスの登録を行ってください。

なお、休講情報の配信及び休講通知の掲示もなく、授業開始時間を30分経過した後も担当教員が来ない場合は、学務課に問い合わせて指示を受けてください。

このほか、交通途絶・気象警報発令の場合は、次のとおりとします。ユニバーサルパスポートからの配信及び学内掲示板等への掲示や、必要に応じて校内放送なども行いますが、各自で情報を収集し、対応するように留意してください。

### 【交通途絶の場合】

#### 1) 基準時間

	交通途絶の状況	授業の取扱
ア	午前7時までに解決	1時限目から授業（通常どおり）
イ	午前7時現在継続し、午前11時までに解決	午前中休講となり、3時限目から授業
ウ	午前11時を過ぎても解決しない	午後休講
エ	交通途絶が授業開始後に発生した場合	原則として、その時限の授業は、平常どおり実施し、次の時限以降の授業は、上記イ～ウのとおり

#### 2) 休講に係る交通途絶の要件

##### ア 神戸商科キャンパス

神戸市営地下鉄が不通の場合又は大阪－姫路間で次のいずれかに該当する場合

- ① JR線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合
- ② JR線、山陽電鉄が共に不通の場合
- ③ JR線、神戸高速鉄道が共に不通の場合

- イ 神戸情報科学キャンパス  
ポータライナーが不通の場合又は大阪－姫路間で次のいずれかに該当する場合
- ① JR線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合
  - ② JR線、山陽電鉄が共に不通の場合
  - ③ JR線、神戸高速鉄道及び神戸市営地下鉄が共に不通の場合
- ウ 明石看護キャンパス  
大阪－姫路間で次のいずれかに該当する場合
- ① JR線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合
  - ② JR線、山陽電鉄が共に不通の場合
- エ 姫路工学キャンパス  
次のいずれかに該当する場合
- ① 神姫バスが不通の場合
  - ② JR山陽本線及び山陽電鉄の各姫路駅を含む区間が共に不通の場合
- オ 姫路環境人間キャンパス  
次のいずれかに該当する場合
- ② 神姫バスが不通の場合
  - ② JR山陽本線及び山陽電鉄の各姫路駅を含む区間が共に不通の場合
- カ 播磨理学キャンパス  
次のいずれかに該当する場合
- ① 神姫バスが不通の場合
  - ② JR線（大阪～岡山間）が不通の場合
- キ 淡路緑景観キャンパス  
次のいずれかに該当する場合
- ① 明石海峡大橋（本州四国連絡道路）が不通の場合
  - ② JR線、山陽電鉄が共に不通の場合
  - ③ 淡路ジェノバライン、淡路交通バス、神姫バス、山陽バス、本四海峡バス、JRバスが共に不通の場合
- ク 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス  
次に該当する場合
- ① 全但バス（豊岡駅－キャンパス間）が不通の場合
- ケ 神戸防災キャンパス  
大阪－姫路間で次のいずれかに該当する場合
- ① JR線、阪急電鉄及び阪神電鉄が共に不通の場合
  - ② JR線、山陽電鉄が共に不通の場合
  - ③ JR線、神戸高速鉄道及び神戸市営地下鉄が共に不通の場合
- ※ 学外実習の場合は、教員の指示に従うこと。

## 【気象警報発令の場合】

### 1) 種類

神戸地方気象台が発令する気象警報とし、以下の7種類を対象とします。

#### <対象とする気象警報>

【警報】「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」

【特別警報】「大雨特別警報」「暴風特別警報」「暴風雪特別警報」「大雪特別警報」

### 2) 基準時間

#### 【前日判断】

判断目安	翌日の通勤・通学状況	翌日の授業の取扱
午後5時まで	気象警報の発令や気象予測等に基づく公共交通機関の計画運休が発表されるなど、翌日の通勤・通学が困難であると判断できる場合	以下の取扱いのいずれかを判断 A：【当日判断】の条件を適用する B：原則、終日オンライン授業に切り替えて実施（注記）

（注記）

- ・実習、実験科目などオンラインでの実施が困難な授業科目は、オンライン授業に切り替えずに休講とする場合があります。
- ・居住地域の気象状況や通信施設の被災等による通信不能、自宅から避難所等へ避難したなどの事情によりオンライン授業が受講できなかった場合は、教員に相談してください。

#### 【当日判断】

	上記気象警報発令の状況	授業の取扱い
ア	午前7時までに解除	1時限目から授業（通常どおり）
イ	午前7時現在発令中で、午前11時までに解除	午前中休講となり、3時限目から授業
ウ	午前11時を過ぎても解除されない	午後休講
エ	上記気象警報が授業開始後に発令された場合	原則として、その時限の授業は、平常どおり実施し、次の時限以降の授業は、上記イ～ウのとおり。ただし、当該授業の継続が困難な場合は、各キャンパスの判断で授業を即座に中止することができる。

※ なお、河川の氾らんや道路の冠水、浸水、土砂崩れなどにより、キャンパスからすぐに自宅へ帰宅することで「生命・身体に危険が生じる恐れがある」とキャンパスが判断した場合には、キャンパス教職員の指示に従い、キャンパス内の安全な場所に避難するなどの行動を取ること。

### 3) 休講に関する気象警報発令対象市町

- ア 神戸商科キャンパス・神戸情報科学キャンパス・神戸防災キャンパス  
神戸市
- イ 明石看護キャンパス  
明石市または神戸市
- ウ 姫路工学キャンパス・姫路環境人間キャンパス  
姫路市
- エ 播磨理学キャンパス  
姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町のうち、いずれかの市町
- オ 淡路緑景観キャンパス  
淡路市
- カ 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス  
豊岡市

※学外実習の場合は、教員の指示に従うこと。

#### 【対面形態によらない授業の休講要件について】

オンライン配信やオンデマンド配信など、対面形態によらない授業における交通途絶、気象警報発令が発令された場合の休講要件を以下のとおりとします。

#### 1. オンライン配信による授業

原則、現行の休講要件に関わらず授業を実施しますが、以下の場合には、休講とします。休講の場合は、ユニバーサルサポートや所属学部・研究科のホームページなどで連絡します。

なお、居住地域の気象状況や通信施設の被災等による通信不能などにより、オンライン配信を視聴できなかった場合は、教員に相談してください。

##### 【休講となる場合】

- ・教員が移動中に交通途絶が発生し授業開始時間から30分以内に配信できない場合
- ・気象警報による公共交通機関の計画運休や自治体からの避難指示等により、教員が授業開始時間から30分以内に配信できない場合

#### 2. 録画配信や課題等による授業

現行の休講要件に関わらず授業を実施します。

##### 【集中講義における取り扱い】

- ・交通途絶、気象警報発令時ともに、2) 対応表ア、イ、ウと同様とする。
- ・2) 対応表エについても基本的には同様とする。
- ・翌日以降の日程については、教員が学生及びキャンパス経営部と協議する。また、遠隔授業の場合は、キャンパス事務部間でも協議し、大学本部事務局とも調整する。

##### 【定期試験における取り扱い】

- ・交通途絶、気象警報発令時ともに、基本的には上記対応表と同様とする。

- ・上記2) 対応表ア～エに該当しない場合であっても、定時に実施することにより、複数の学生に対し著しく不利益が生じると予測される場合は、各キャンパスの判断により、開始時間の繰り下げ、試験の延期等の措置を講じる場合がある。また、遠隔授業の場合は、他キャンパスの状況も考慮し措置を講じる。

### 【遠隔授業における取り扱い】

- ・遠隔授業については、発信側と受信側のいずれかのキャンパスが休講となった場合には、原則、いずれのキャンパスも休講とする。必ずキャンパスに確認すること。

### 【その他】

- ・気象警報発令による休講の取扱については、対象外の警報であっても、「生命・身体に危険が生じる恐れがある」とキャンパスが判断した場合は、休講の措置を講じることがある。
- ・上記の事情にかかわらず、キャンパス全体の授業実施に大きな支障をきたす恐れがあるとキャンパスが判断した場合は、休講の措置を講じることがある。

## (3) 試験について

### ① 注意事項

- ア 試験中は、「学生証」を必ず机の右上に掲示しなければなりません。  
学生証を紛失した人は、学務課で再発行の手続きをしてください。  
(手続きの際、写真「4 cm × 3 cm」が1枚必要です。)  
なお、試験当日に学生証を忘れた場合は、学務課で仮受験票を発行しますので、手続きをしてください。
- イ 入退室の時間制限
  - ・ 試験開始後、30分を過ぎると入室できません。
  - ・ 試験開始後、40分までは退室できません。
- ウ 試験中の座席については、担当教員の指示がある場合は、それに従ってください。
- エ 筆記用具、時計以外のもの、例えば、教科書、ノート、参考書等（特に許可したものは除く。）は、床の上においてください。
- オ 携帯電話等の電源は、必ず切っておいてください。

### ② 試験の不正行為

- 1) 試験の不正行為とは、次の各号のいずれかに該当する行為とします。
  - ア 使用を許されない書籍、ノート、紙片等を見ること。
  - イ 携帯電話その他の電子機器を用いること。
  - ウ 他人の答案をのぞき見ること、又は故意にそれを許すこと。
  - エ 試験の内容に関して私語すること。
  - オ その他通念上受験者として正当でないと思われる行為をすること。

- 2) 不正行為があった場合は、当該試験の学期の全科目及び通年の全科目の単位を無効とします。

また、関係教授会等での審議の結果、必要と認められた場合は、その氏名を公表することがあります。さらに、特に悪質な不正行為に対しては、懲戒することがありますので不正行為がないように十分留意してください。

③ 定期試験を受験できない者に対する処置

- 1) やむを得ない事由により所定の期日に定期試験を受けることができない者は、試験欠席承認願を提出し、適宜の方法により成績評価を受けることができます。やむを得ない事由については、次の各号のいずれかに該当するものとします。

- ア 病気
- イ 災害及び不慮の事故
- ウ 父母、配偶者又は子の死亡
- エ 兄弟姉妹又は祖父母の死亡
- オ その他前各号に準ずる事由

- 2) 試験欠席承認願を提出する場合は、原則として、定期試験開始までに学務課に連絡し、その後速やかに提出してください。その場合、病気の場合にあっては医師の診断書、その他の場合にあっては、その事由を証明する書類を提出する必要があります。

- 3) 試験欠席の承認や適宜の方法については、別途通知します。

④ 成績評価に対する不服申出制度

自らの成績評価に関して疑問がある場合、成績開示日から7日以内にまず教員または学務課に確認してください。それでも不服がある場合、担当教員からの回答受理日から3日以内に学務課に書面で不服申出を行うことができます。

**※不服申出は期間厳守としますので注意して下さい。**

教員は、当該不服申出に対して学務課を通じて、学生に対し説明する義務を負います。

#### (4) 成績評価について

成績評価については、理学部規程第23条(本冊子第4章)に定めています。

#### (5) その他

① 転学部について

本学では、一定の条件を満たした上で選考に合格した場合は、転学部をすることができます。

転学部を希望する学生は学務課に問い合わせをしてください。

② 秋季卒業について

本学では、4年次以上在学して、卒業の要件を満たした者に9月末の卒業(秋季卒業)を認めます。

秋季卒業を希望する者は、4月末までに秋季卒業を希望する旨を申し立てなければなりません。申し出がない場合は、自動的に翌年3月の卒業となります。

### 3. 教職課程履修の手引

#### (1) 理学部で取得できる免許状の種類と教科

平成16年度以降入学生（兵庫県立大学）

学科名	免許状の種類	教科
物質科学科	中学校教諭一種免許状	数 学 理 科
	高等学校教諭一種免許状	
生命科学科	中学校教諭一種免許状	理 科
	高等学校教諭一種免許状	

#### (2) 基礎資格及び所要単位数

##### ① 平成31年度以降入学生（兵庫県立大学）

免許状の種類	所要資格 基礎資格	最低必要単位数			
		教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教員免許法施行規則第66条の6に定める科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	27単位	4単位 (※注)	28単位	日本国憲法 2単位 体 育 2単位
高等学校教諭一種免許状		23単位	12単位 (※注)	24単位	外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作 2単位

(※注) 「大学が独自に設定する科目」は、中一種2単位、高一種2単位のみ開講となるため、次のとおり単位を修得すること。

(中一種免取得の場合)

4単位のうち、2単位は「大学が独自に設定する科目」(介護等体験)により修得し、2単位は最低必要単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位により修得すること。

(高一種免取得の場合)

12単位は「大学が独自に設定する科目」及び最低必要単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位により修得すること。

##### ② 平成12年度以降入学生（兵庫県立大学）

免許状の種類	所要資格 基礎資格	最低必要単位数			
		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	教員免許法施行規則第66条の6に定める科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	31単位	8単位 (※注)	数学20単位	日本国憲法 2単位 体 育 2単位 外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作 2単位
高等学校教諭一種免許状		23単位	16単位 (※注)	理科20単位 (※注)	

(※注) 「教科又は教職に関する科目」は、中一種2単位、高一種2単位のみ開講とな

るため、次のとおり単位を修得すること。

(中一種免取得の場合)

8単位のうち、2単位は「教科又は教職に関する科目」(介護等体験)により修得し、6単位は最低必要単位数を超えて修得した「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の単位により修得すること。

(高一種免取得の場合)

16単位は「教科又は教職に関する科目」及び最低必要単位数を超えて修得した「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の単位により修得すること。

### (3) 履修上の注意

- ① 教職関係科目の履修は専門科目の履修にとって負担となるので、専門科目の履修に支障を来さないよう、計画的な履修が求められます。
- ② 入学年度や免許状の種類・教科ごとに、免許状取得に必要な科目・単位数が異なるので、「取得する免許状と必要な科目、単位」を十分に把握し、計画的に履修してください。
- ③ 教職科目は、時間割上、同一時限に編成されることがあるので、配当された学年で確実に履修することが必要です。
- ④ 1年次生は、「教育の基礎的理解に関する科目等(平成30年度以前入学生は「教職に関する科目」)」のうち、『教職論』及び「日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作」の科目と姫路工学キャンパスで開講される「教科及び教科の指導法(平成30年度以前入学生は「教科に関する科目」)」の「免許状を取得する場合の必修科目」の単位を必ず修得しなければなりません。(ただし「日本国憲法」は、1年次で履修できなかった者に対して2年次に夏期集中講義として開講します。)

### (4) 教育実習について

- ① 教育実習は、各校の好意により受け入れてもらっています。したがって、将来教員になろうという強い希望のある人のみ履修してください。
- ② 教育実習は、次の教育実習履修許可条件をすべて満たしている者のみ履修を許可します。

ア 卒業研究履修許可者であること(又は卒業研究を終了していること。)

イ 特別な事情がある場合を除いて、「教育の基礎的理解に関する科目等(平成30年度以前入学生は「教職に関する科目」)」のうち、次の科目の単位を修得していること。

令和5年度以前入学生	教育原論、教育心理学、生徒指導論、教科指導法(数学科指導法又は理科指導法)Ⅰ・Ⅱを含む12単位以上を修得していること
令和6年度以降入学生	特別な事情がある場合を除いて、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等(平成30年度以前入学生は「教職に関する科目」)」の必修単位のうち、3分の2以上の単位を修得していること。

ウ 「教科及び教科の指導法（専門科目）（平成30年度以前入学生は「教科に関する科目）」及び「大学が独自に設定する科目（平成30年度以前入学生は「教科又は教職に関する科目）」の必修単位数のうち、3分の2以上の単位を修得していること。

エ 教科指導法Ⅰ・Ⅱ（理科・数学のうち免許を取得しようとする科目のもの）の単位を修得していること。

オ 中学校教員免許（理科・数学）取得希望者については、「介護等体験」の単位を修得していること。

- ③ 教育実習ガイダンスは、前年（3年次）の4～5月頃に行います。実習希望者は、ガイダンスに参加し、学務課に申込み手続きを行い、受入の内諾を得るために9月末までに実習希望校を訪問しなければなりません。
- ④ 教育実習の手続や日程等は、すべて掲示でお知らせしますので、掲示には日頃から十分注意してください。

(5) 「介護等体験」について

- ① 中学校教諭の教員免許状を取得しようとする者は、「介護等体験」を行い、教員免許状の申請時に介護等体験終了証明書を提出しなければなりません。
- ② 介護等体験の期間は、「社会福祉施設等」5日間、「特別支援学校等」2日間の計7日間です。
- ③ 介護等体験は、3年次で行います。
- ④ 介護等体験の申込説明会を、体験を行う前年（2年次）の12月に行いますので、申込希望者は、説明会に参加し、学務課に申込み手続きを行い、2月に行われる事前指導に出席しなければなりません。  
(なお、説明会や事前指導を欠席した者は履修を認めません。)
- ⑤ 介護等体験の手続や日程等は、すべて掲示でお知らせしますので、掲示には日頃から十分注意してください。

(6) 免許状申請手続

教育職員免許状は、各都道府県の教育委員会が定める所定の手続に基づいて申請し、授与されます。

免許状の申請手続には、一括申請と個人申請があります。

- ① 一括申請  
一括申請とは、大学が免許状の授与を希望する卒業予定者の書類を一括して教育委員会に申請することをいいます。この場合、卒業式の当日に免許状が授与されます。一括申請の手続等は、12月頃に掲示でお知らせします。
- ② 個人申請  
一括申請による場合のほかは、免許状の授与を希望する者が直接各都道府県の教育委員会に申請しなければなりません。これを個人申請といいます。既卒者及び科目等履修生は、一括申請できませんので、個人申請することになります。  
申請は、申請者の住所地の都道府県教育委員会に対して行います。

申請は、随時受け付けられており、申請後約1か月～1か月半程度で免許状が授与されます。ただし、2月～3月頃に申請したものは、授与までに2～3か月かかることがあります。

申請は、免許状の種類、教科ごとに次のような書類が必要です。

- ア 免許状授与申請書、履歴書、誓約書等（各都道府県所定の様式）
- イ 卒業証明書
- ウ 学力に関する証明書（2以上の大学で単位を修得した場合、それぞれの証明書が必要）
- エ 手数料（各都道府県の収入証紙）

③ 免許状申請先（兵庫県の場合）

〒650-8567

兵庫県教育委員会事務局教職員課 管理・職員係 (Tel078-341-7711(代表))

URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kyoshokuin-bo/>



## 第2章 令和6年度開講授業科目



# 授 業 科 目

## (1) 基本的考え方

本学の学部教育は、豊かな人間性と公共の精神とともに、幅広い教養や専門知識・技能を含めた課題探究能力とグローバル・リテラシー（国際対話能力）を備えた、地域社会や国際社会で活躍できる創造力と自律性を有する人材の育成をめざす。

このため、授業科目を「全学共通科目」「専門基礎（関連）科目」「専門教育科目」の3つから構成し、くさび形の履修体系を基本に、それぞれを有機的に結びつけて展開する柔軟な教育カリキュラムを設定している。

また、全学共通教育については、1年次の間、神戸商科キャンパスと姫路工学キャンパスの2ヶ所に集約して実施するほか、キャンパスが分散している状況からテレビ会議方式の遠隔授業を導入し、他キャンパスで開講される科目の履修を可能としている。

さらに、地域課題の探究と対応、グローバル社会への対応、災害等リスクへの対応をテーマとし、学部の枠を超えて選抜した有志学生を対象とする全学横断の副専攻プログラムを設置している。（別冊「副専攻履修の手引き」を参照）

## (2) 全学共通科目

全学共通科目は「自主自律支援科目」「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」「教養教育科目」から構成される。

### ①自主自律支援科目

基礎ゼミナールとキャリア形成支援科目から構成され、学生が大学における主体的な学修や生活の基本的態度、自己のキャリア形成に向け生涯学び続ける姿勢を身につけることを目的とする。

### ②グローバル化時代のアカデミックスキル科目

学生が大学での学修に必要な基本スキルを初年次に身につけることを目的として、英語、外国語、統計・情報を開講している。

#### ア 英語

英語コミュニケーション能力を養成するため、オーラル・コミュニケーション、リスニング、リーディング、ライティングの4スキルの総合的向上を図る英語コア科目（6科目）を開講している。

さらに、スキルアップを図る科目、学生のインセンティブを高める科目、TOEIC等の資格試験での得点アップを目指した科目、英語圏の海外研修など、学生のニーズに応じた多彩な選択英語科目を開講している。

#### イ 外国語

グローバル化社会において活動領域を広げ、社会性の涵養に役立つ実践的コミュニケーション能力の育成と異文化理解を深めることを目的として、外国語を開講している。

## ウ 統計・情報

統計処理や情報処理の基礎力を身につけ、多様な情報を収集・分析して、モラルに則って効果的に活用できることを目的として、情報倫理、コンピュータの基本操作、ネットワーク利用などを学ぶ科目を開講している。

### ③教養教育科目

教養教育科目は、「人間性の基盤教育科目」及び「ひょうご県大特色科目」から構成される。

#### ア 人間性の基盤教育科目

学生が自己の存在を歴史・社会・自然と関連づけて理解し、人間としての在り方や生き方に関する深い洞察ができるとともに、文化・社会・自然の諸科学を幅広く理解し、多面的なものの見方ができる素養・能力を身につけることを目的として、多彩な科目を開講している。

#### イ ひょうご県大特色科目

学生が少子・高齢社会、グローバル経済社会、地球環境問題、防災・減災等の諸課題を身近な問題として捉え、課題解決に向けて学際的に考え、行動できる素養・能力を身につけることを目的として、地域課題探究科目、グローバル教育科目、防災教育科目を開講している。

### (3) 専門教育科目、専門基礎科目(専門関連科目)

専門教育科目、専門基礎科目(専門関連科目)については、第3章「専門科目に関するガイダンス」を参照すること。

### (4) 副専攻プログラム

兵庫県立大学では、主専攻(所属学部の専攻)以外にも学びの機会を拡げるため、副専攻を提供している。詳しくは別冊「副専攻履修の手引き」を参照すること。

# 1 全学共通科目

(1) 令和6年度入学生

1

姫路工学キャンパス開講（1年次配当）の授業は、1年生及び2年実験不許可者で今年度姫路工学キャンパスの授業のみを履修する旨、学務課に申請した学生のみ受講できます。

それ以外の学生は、播磨理学キャンパス開講の授業（配当年次・2年）を履修すること。

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	
						前期	後期			
自主自律 支援科目	基礎ゼミ ナール	939000 939001	基礎ゼミナール	2	2		2	草部・緒方	基礎ゼミナール必修 播磨理学キャンパス開講	
		キャリア 形成支援 科目	920261	キャリアデザイン入門（A）	2	1		2	前田	キャリアデザイン入門は、 いずれか1つのみ履修できる
	920262		キャリアデザイン入門（B）	2	1		2	戎		
	920260		キャリアデザイン入門（C）	2	1		2	戎		
グロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	英 語	【英語コア科目】							次の科目の中から6単位選択必修 ・英語コア科目（6科目） ・Communicative English Basic 1 ・Communicative English Basic 2 ・Intensive English 1 ・Intensive English 2	
		950300	Reading and Discussion 1	1	1	①	2	崎川		英語コア科目(6科目)は1年次に 必ず受講する。
		950301	"	1	1	②	2	谷川		
		950302	"	1	1	③	2	宮下		
		950303	"	1	1	④	2	岡部		
		950304	"	1	1	⑤	2	ケイト		
		950305	"	1	1	⑥	2	宮下		
		950306	"	1	1	⑦	2	ヒューズ		
		950307	"	1	1	⑧	2	岡部		
		950400	Reading and Discussion 2	1	1	①		2		バード
		950401	"	1	1	②		2		柳楽
		950402	"	1	1	③		2		内山
		950403	"	1	1	④		2		木本
		950404	"	1	1	⑤		2		柳楽
		950405	"	1	1	⑥		2		内山
		950406	"	1	1	⑦		2		バード
		950407	"	1	1	⑧		2		木本
		950100	Listening and Speaking 1	1	1	①	2			石野
		950101	"	1	1	②	2			崎野
		950102	"	1	1	③	2			ケイト
		950103	"	1	1	④	2		水野	
		950104	"	1	1	⑤	2		石野	
		950105	"	1	1	⑥	2		崎野	
		950106	"	1	1	⑦	2		ケイト	
		950107	"	1	1	⑧	2		水野	
		950200	Listening and Speaking 2	1	1	①	2		ロドリゲス	
		950201	"	1	1	②	2		岡部	
		950202	"	1	1	③	2		川上	
		950203	"	1	1	④	2		崎川	
		950204	"	1	1	⑤	2		ロドリゲス	
		950205	"	1	1	⑥	2		木津	
		950206	"	1	1	⑦	2		崎野	
		950207	"	1	1	⑧	2		川上	
		950500	Writing 1	1	1	①	2		内山	
		950501	"	1	1	②	2		ケイト	
		950502	"	1	1	③	2		谷川	
		950503	"	1	1	④	2		上原	
		950504	"	1	1	⑤	2		川上	
		950505	"	1	1	⑥	2		上原	
		950506	"	1	1	⑦	2		谷川	
		950507	"	1	1	⑧	2		ロドリゲス	
		950600	Writing 2	1	1	①	2		崎野	
		950601	"	1	1	②	2		ロドリゲス	
		950602	"	1	1	③	2		水野	
		950603	"	1	1	④	2		石野	
		950604	"	1	1	⑤	2		崎野	
		950605	"	1	1	⑥	2		ロドリゲス	
950606	"	1	1	⑦	2		水野			
950607	"	1	1	⑧	2		石野			

区 分	授業コード	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	ク ラ ス	週 時 間 数		担 当 教 員	備 考		
						前 期	後 期				
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	英 語	【選択英語科目】									
		970101	Intensive English 1	1	2		集中	宮下	選択必修		
		970102	Intensive English 2	1	2		集中	宮下	選択必修		
		955200	Communicative English Basic 1	1	2		2	石野	選択必修		
		955201	Communicative English Basic 2	1	2		2	石野	選択必修		
		949100	TOEIC総合1	1	2		集中	木津			
		949200	TOEIC総合2	1	2		集中	崎野			
		955190	科学技術英語1	1	2		2	ケイト			
	955191	科学技術英語2	1	2		2	ケイト				
	970000	英語海外研修	2	1			石倉				
		〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉							グローバルリーダー教育プログラム		
		920750	英語表現 (A)	1	1			2	ケイト		
		920751	英語表現 (B)	1	1			2	ヒューズ		
		920780	英語実習 (A)	1	1			2	ケイト		
		920781	英語実習 (B)	1	1			2	ケイト		
		外 国 語	932400	中国語1	1	1	①	2		鄭	
			932410	"	1	1	②	2		金 英	
			932420	"	1	1	③	2		李	
			932440	"	1	1	④	2		王	
			932450	"	1	1	⑤	2		孟	
	932430		"	1	1	⑥	2		沈		
	932401		中国語2	1	1	①	2		鄭		
	932411		"	1	1	②	2		金 英		
	932421		"	1	1	③	2		李		
	932441		"	1	1	④	2		王		
	932451		"	1	1	⑤	2		孟		
	932431		"	1	1	⑥	2		沈		
	931410		フランス語1	1	1		2		福本		
	931411		フランス語2	1	1		2		福本		
	930410		ドイツ語1	1	1		2		毛利		
	930411		ドイツ語2	1	1		2		毛利		
	933400	韓国・朝鮮語1	1	1		2		千			
	933401	韓国・朝鮮語2	1	1		2		千			
	902000	中国語海外研修	2	1				鄧			
	統 計 ・ 情 報	976020	データサイエンス入門	2	1	①	2		草部 他	データサイエンス入門は必修	
		976021	"	2	1	②	2		水島 他		
		976022	"	2	1	③	2		草部 他		
		976023	"	2	1	④	2		水島 他		
		535441	情報科学 I	2	2		2		佐藤		
		976004	情報科学 II A	2	2		2		草部		
		976005	情報科学 II B	2	2		2		緒方		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考		
						前期	後期				
教養教育科目	人と文化	906010	哲学	2	1		2	佐藤	(人と文化から2単位以上必修)		
		906230	論理学	2	1		2	伊藤			
		906111	心理学(A)	2	1		2	保坂			
		906112	心理学(B)	2	1		2	神田			
		910220	心理学(C)	2	1		2	井上(靖)			
		910221	心理学(D)	2	1		2	加納			
		906101	国文学(演劇)	2	1	2		元田			
		906102	国文学(小説)	2	1		2	元田			
		908852	国際社会と文化	2	2		集中	長友		播磨理学キャンパス開講	
		910030	教育学	2	1		集中	松本			
		906140	日本史	2	1	2		平良			
		906123	東洋史	2	1		2	磯部			
		910240	環境芸術論	2	1	2		竹田			
		910250	芸術学	2	1	2		横原			
		906131	文化人類学(S)	2	1		集中	石川			
		906132	文化人類学(A)	2	1		2	中谷			
		910180	食文化と環境	2	1		2	坂本			
		906241	暮らしと道具	2	1		2	本田			
	人と社会	913073	法学	2	1		2	砂川	(人と社会から2単位以上必修)		
		904100	生活の中の法律	2	1	2		園田・竹内			
		913010	政治学	2	1	2		柳下			
		913150	環境と政治	2	1		2	原田			
		904081	社会学	2	1		2	西牟田			
		913190	現代社会論	2	1	2		井関			
		913230	男女共同参画社会	2	1		集中	鴨谷			
		913151	現代都市社会とまちづくり	2	1		2	太田			
		913040	経営学	2	1		2	西田			
		908851	経営戦略論	2	2	2		西田		播磨理学キャンパス開講	
		904060	日本国憲法(A)	2	1	2		篠原			
		913020	日本国憲法(B)	2	1	2		喜友名			
		913030	日本国憲法(C)	2	1		2	中川・吉谷			
		913031	日本国憲法(D)	2	1		2	竹内			
		990204	日本国憲法(S)	2	2		集中	湯田			教職希望者で1年次に抽選に外れた者優先
		906211	人文地理学概論	2	1		2	杉山			
		920400	ひょうごの子育て支援	2	1		集中	濱田			
		913240	福祉と社会	2	1	2		竹端			
	904200	環境の社会学	2	1	2		原田				
	904201	情報技術と現代社会	2	1		2	木庭				
	人と自然	916130	医療と工学のフロンティア	2	1		2	小橋	(人と自然から2単位以上必修)		
		908822	科学技術論	2	1		2	鳥塚・川瀬			
		916150	宇宙科学	2	1	2		石田			
		908881	生命倫理	2	2		集中	紀平		(看)と(理)で隔年開講 令和6年度は(看)開講	
		916140	応用倫理	2	1		2	伊藤			
		903121	生物科学	2	1	2		宮澤			
		903030	生命体の科学	2	1	2		水島			
		903020	分子生物学とバイオテクノロジー	2	1		2	山内			
904030		社会統計学	2	1	2		江口				
905020		マテリアル科学への招待	2	1	2		住友				
905120		現代化学への招待	2	1		2	今高 他				
920292		一般有機化学	2	1		2	山田				
905100		放射光科学のフロンティア	2	1		2	橋本				
905080		環境問題と国際協力	2	1	2		増原				
903110		人と自然の共生	2	1	2		鈴木 他				
916180		物理学の基本概念	2	1		2	庄司				
916160		物質科学入門	2	1	2		三宅 他	物質科学科必修 生命科学科必修			
916170		生命科学入門	2	1	2		水島 他				
人と健康	900221	健康・スポーツ科学演習1	1	1		2	野村 他				
	900222	健康・スポーツ科学演習2	1	1		2	福田 他				
	920140	栄養健康科学入門	2	1	2		村上 他				
	900400	ヒューマンヘルスサイエンス	2	1	2		大村				

区 分	授業コード	授 業 科 目	単位	配当 年次	クラ ス	週時間数		担当教員	備 考				
						前期	後期						
教 養 教 育 科 目	ひょうご 県大 特色 科目	地域 課題 探究 科目	920390	ひょうご地域課題概論	2	1		2	内平	「地域課題探求科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上選択必修			
			903155	緑景観マネジメント論	2	1		2	岩崎 他				
			903160	地域資源の保全と活用	2	1		2	三宅				
			920800	地方公共団体の行政を学ぶ	2	1		2	内平 他				
			920810	地域プロジェクト概論	2	1		2	内平				
			903156	地域資源マネジメント概論	2	1			2		内藤		
			920150	兵庫のものづくり	2	1			2		応化教務委員		
			905130	化学と環境技術	2	1			2		前田		
			929000	地域気候と住環境	2	1			2		土川		
			920161	兵庫の里山	2	1			集中		大橋		
			920300	ジオパークと地域	2	1			集中		松原 他		
			903152	共生生物学	2	1			集中		高野 他		
			903170	地域社会とマネジメント	2	1					2	小宮	
			920910	地域社会と健康	2	1					2	令和6年度非開講	
			920820	地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	2	3			集中			布野 他	
			920830	地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	2	3			集中			佐野 他	
					〈副専攻の地域創生人材教育プログラムの科目〉								地域創生人材教育プログラム 履修方法問合せ先：地域創造機構
					920414	フィールドワーク基礎技術論	2	1			集中	大瀬	2021年度以前入学生履修不可
					920415	フィールドワーク基礎技演習	2	1			集中	前田	2021年度以前入学生履修不可
					920412	地域プロジェクト実践論	2	2		集中	尾分 他		
		920413	地域プロジェクト演習	2	2		集中	内平 他					

区 分	授業コード	授 業 科 目	単位	配当 年次	クラ ス	週時間数		担当教員	備 考		
						前期	後期				
教 養 教 育 科 目	グ ロ ー バ ル 教 育 科 目	920900	現代の経営問題	2	1		2		令和6年度非開講		
		910160	宗教概論	2	1		2	大島			
		910230	建築文化ツーリズム学	2	1		2	三田村			
		920190	グローバル科学入門	2	1		2	河南			
		920860	グローバル社会と文化	2	1			2		白井	
		910200	播磨学	2	1			集中		宇那木	
		920170	グローバルリーダー入門	2	1		2			乾 他	
		〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉							グローバルリーダー教育プログラム履修方法問合せ先：国際交流機構		
		920740	グローバル教養概論	2	1			2	石倉 他	GLEP必修	
		920870	グローバルプロジェクト入門（海外）（A）	2	1			集中	末弘 他	GLEP必修（（A）又は（B）のどちらか一方のみ履修可）	
		920871	グローバルプロジェクト入門（海外）（B）	2	2			集中	末弘 他		
		920884	グローバル社会を学ぶ	2	1			集中	易	GLEP選択必修	
		920885	日本の思想と文化を学ぶ	2	1			集中	星山	GLEP選択必修	
		920883	先端科学を学ぶ	2	1			集中	天野	GLEP選択必修	
		防 災 教 育 科 目	920210	地球の営みと災害	2	1		2		永野 他	
			920380	兵庫の歴史と自然災害史	2	1			2	青田 他	
			920220	生活と防災	2	1			2	桶川 他	
			920840	社会特性と減災復興	2	1		2		紅谷 他	
			920120	兵庫の災害と防災	2	1			集中	青田 他	
			913200	災害支援とボランティア	2	1		2		阪本 他	
			920850	減災復興まちづくり	2	1			集中	濱田	
		920230	災害現場と防災	2	1			集中	馬場 他		

## 履修上の注意

- ・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。
- ・英語コア科目（6科目）及び指定された選択英語科目（Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2）から、6単位以上修得しなければならない。
- ・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。
- ・集中科目についてはCAP（キャップ）制の対象外とする。



区分	令和6年度開講科目	令和5年度開講科目	令和4年度開講科目	令和3年度開講科目	令和2年度入学生	30・31年度入学生
人  と  社会	法学 生活の中の法律 政治学 環境と政治 社会学 現代社会論 男女共同参画社会	法学 生活の中の法律 政治学 環境と政治 社会学 現代社会論 男女共同参画社会	法学 生活の中の法律 政治学 環境と政治 社会学 現代社会論 男女共同参画社会	法学 生活の中の法律 政治学 環境と政治 社会学 現代社会論 男女共同参画社会	法学 生活の中の法律 政治学 環境と政治 社会学 現代社会論 男女共同参画社会	法学 生活の中の法律 政治学 環境と政治 社会学 現代社会論 男女共同参画社会
	現代都市社会とまちづくり 社会保障と経済 経営学 経営戦略論 日本国憲法(A)(B)(C)(D)(S) 人文地理学概論 ひょうごの子育て支援 福祉と社会	現代都市社会とまちづくり 社会保障と経済 経営学 経営戦略論 日本国憲法(A)(B)(C)(D)(S) 人文地理学概論 ひょうごの子育て支援 福祉と社会	現代都市社会とまちづくり 社会保障と経済 経営学 経営戦略論 日本国憲法(A)(B)(C)(D)(S) 人文地理学概論 ひょうごの子育て支援 福祉と社会	現代都市社会とまちづくり 社会保障と経済 経営学 経営戦略論 日本国憲法(A)(B)(C)(D)(S) 人文地理学概論 ひょうごの子育て支援 福祉と社会	現代都市社会とまちづくり 社会保障と経済 経営学 経営戦略論 日本国憲法(A)(B)(C)(S) 人文地理学概論 ひょうごの子育て支援 福祉と社会 社会思想入門 芸術社会学 環境の社会学 情報技術と社会	現代都市社会とまちづくり 社会保障と経済 経営学 経営戦略論 日本国憲法(A)(B)(C)(S) 人文地理学概論 ひょうごの子育て支援 福祉と社会 社会思想入門 芸術社会学 環境の社会学 情報技術と社会
人  と  自然	医療と工学のフロンティア 科学技術論 宇宙科学 生命倫理 応用倫理 生物科学 生命体の科学 分子生物学とバイオテクノロジー 社会統計学 マテリアル科学への招待 現代化学への招待 一般有機化学	医療と工学のフロンティア 科学技術論 宇宙科学 生命倫理 応用倫理 生物科学 生命体の科学 分子生物学とバイオテクノロジー 社会統計学 マテリアル科学への招待 現代化学への招待 一般有機化学	医療と工学のフロンティア 科学技術論 宇宙科学 生命倫理 応用倫理 生物科学 生命体の科学 分子生物学とバイオテクノロジー 社会統計学 マテリアル科学への招待 現代化学への招待 一般有機化学	医療と工学のフロンティア 科学技術論 宇宙科学 生命倫理 応用倫理 生物科学 生命体の科学 分子生物学とバイオテクノロジー 社会統計学 マテリアル科学への招待 現代化学への招待	医療と工学のフロンティア 科学技術論 宇宙科学 生命倫理 応用倫理 生物科学 生命体の科学 分子生物学とバイオテクノロジー 社会統計学 マテリアル科学への招待 現代化学への招待	医療と工学のフロンティア 科学技術論 宇宙科学 生命倫理 応用倫理 生物科学 生命体の科学 分子生物学とバイオテクノロジー 社会統計学 マテリアル科学への招待 現代化学への招待 現代物理化学
	放射光科学のフロンティア 環境問題と国際協力 人と自然の共生 物質科学入門 生命科学入門 物理学の基本概念	放射光科学のフロンティア 環境問題と国際協力 人と自然の共生 物質科学入門 生命科学入門 物理学の基本概念	放射光科学のフロンティア 環境問題と国際協力 人と自然の共生 物質科学入門 生命科学入門 物理学の基本概念	放射光科学のフロンティア 環境問題と国際協力 人と自然の共生 物質科学入門 生命科学入門 物理学の基本概念	放射光科学のフロンティア 環境問題と国際協力 人と自然の共生 物質科学入門 生命科学入門 物理学の基本概念	放射光科学のフロンティア 環境問題と国際協力 人と自然の共生 物質科学入門 生命科学入門 物理学の基本概念
人  と  健康	健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2 栄養健康科学入門 ヒューマンヘルスサイエンス	健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2 栄養健康科学入門 ヒューマンヘルスサイエンス	健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2 栄養健康科学入門 ヒューマンヘルスサイエンス	健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2 栄養健康科学入門 ヒューマンヘルスサイエンス	健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2 栄養健康科学入門 ヒューマンヘルスサイエンス	健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2 栄養健康科学入門 ヒューマンヘルスサイエンス (30年度のみ)
地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論 緑景観マネジメント論 地域資源の保全と活用 地方公共団体の行政を学ぶ 地域プロジェクト概論 地域資源マネジメント概論 兵庫のものづくり 兵庫の里山 ジオパークと地域	ひょうご地域課題概論 緑景観マネジメント論 地域資源の保全と活用 地方公共団体の行政を学ぶ 地域プロジェクト概論 地域資源マネジメント概論 兵庫のものづくり 兵庫の里山 ジオパークと地域	ひょうご地域課題概論 緑景観マネジメント論 地域資源の保全と活用 地方公共団体の行政を学ぶ 地域プロジェクト概論 地域資源マネジメント概論 兵庫のものづくり 兵庫の里山 ジオパークと地域	ひょうご地域課題概論 緑景観マネジメント論 地域資源の保全と活用 地方公共団体の行政を学ぶ 地域プロジェクト概論 地域資源マネジメント概論 兵庫のものづくり 兵庫の里山 ジオパークと地域	ひょうご地域課題概論 緑景観マネジメント論 地域資源の保全と活用 地方公共団体の行政を学ぶ 地域プロジェクト概論 地域資源マネジメント概論 兵庫のものづくり 兵庫の里山 ジオパークと地域	ひょうご地域課題概論 緑景観マネジメント論 地域資源の保全と活用 地方公共団体の行政を学ぶ 地域プロジェクト概論 地域資源マネジメント概論 兵庫のものづくり 兵庫の里山 ジオパークと地域
ひょうご県大特色科目	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)
教養教育科目	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)	共生博物館 化学と環境技術 地域資源フィールドワーク (田園生態系の保全と再生) 地域資源フィールドワーク (ジオパークの地質と文化)



## 2 専門科目

(1) 令和6年度入学生

△ . . . . . 2年次実験許可条件科目 ○ . . . . . 3年次実験許可条件科目 (2年次実験許可条件科目を含む) ■ . . . . . 卒業研究許可条件科目 詳しくは、学部規則の「先修条件及び履修許可」をご覧ください。
---

1

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	
						前期	後期			
A 数 学 系	専門基礎科目(共通科目)	531041	△微分積分学Ⅰ	2	1	I	2		土井 護	
		531042	"	2	1	Ⅱ	2		保城 寿彦	
		531043	"	2	1	Ⅲ	2		土井 護	
		531044	"	2	1	Ⅳ	2		山内 淳生	
		531051	△微分積分学Ⅱ	2	1	I		2	加藤 正和	
		531052	"	2	1	Ⅱ		2	土井 護	
		531053	"	2	1	Ⅲ		2	濱中 翔太	
		531054	"	2	1	Ⅳ		2	川久保 哲	
		531061	△線形代数学Ⅰ	2	1	I	2		只野 之英	
		531062	"	2	1	Ⅱ	2		山内 淳生	
	531063	"	2	1	Ⅲ	2		川久保 哲		
	531064	"	2	1	Ⅳ	2		平野 克博		
	531073	△線形代数学Ⅱ	2	1	I		2	光明 新		
	531074	"	2	1	Ⅱ		2	山内 淳生		
	531075	"	2	1	Ⅲ		2	永安 聖		
	531076	"	2	1	Ⅳ		2	只野 之英		
	531081	△数学演習Ⅰ	2	1	I	2		守屋 克洋		
	531082	"	2	1	Ⅱ	2		加藤 正和		
	531083	"	2	1	Ⅲ	2		加藤 正和		
	531084	"	2	1	Ⅳ	2		守屋 克洋		
531091	△数学演習Ⅱ	2	1	I		2	光明 新			
531092	"	2	1	Ⅱ		2	栢田 幹也			
531093	"	2	1	Ⅲ		2	栢田 幹也			
531094	"	2	1	Ⅳ		2	光明 新			
物質科学科専門教育科目(学科独自科目)	531511	代数構造	2	3		2		光明 新		
	531512	幾何構造	2	3		2		光明 新		
	531513	位相解析	2	3			2	平野 克博		
	531514	関数解析	2	3			2	平野 克博		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考
						前期	後期		
B 物理系	専門基礎科目 (共通科目)	532111	△基礎物理学ⅠA	2	1		2		シラバスを参考にⅠA、ⅠBのうち一方を選択すること。  シラバスを参考にⅡA、ⅡBのうち一方を選択すること。
		532112	△基礎物理学ⅠB	2	1		2		
		532120	○力学A	2	2		2		
		532130	○波動論	2	2		2		
		532141	△基礎物理学ⅡA	2	1			2	
		532142	△基礎物理学ⅡB	2	1			2	
		532150	力学B	2	2			2	
		532160	電磁気学A	2	2		2		
		532170	電磁気学演習	2	2		2		
		532180	応用解析	2	2		2		
	物質科学科 専門教育科目 (学科独自科目)	532521	統計力学Ⅰ	2	2			2	量子力学Ⅰは2つの授業のうち、一方を選択すること。
		532522	量子力学Ⅰ	2	2			2	
		532523	〃	2	2			2	
		532524	結晶学	2	2			2	
		532525	電磁気学B	2	2			2	
		532527	物理数学Ⅰ	2	2			2	
		532528	物理数学Ⅰ演習	2	2			2	
		532529	物理数学Ⅱ	2	3		2		
		532531	物理数学Ⅱ演習	2	3		2		
532532		量子力学Ⅱ	2	3		2			
532533	量子力学演習	2	3		2				
532534	統計力学Ⅱ	2	3		2				
532535	物性論Ⅰ	2	3		2				
532536	確率統計	2	3		2				
532537	量子力学Ⅲ	2	3			2			
532538	相対論	2	3			2			
532539	物性論Ⅱ	2	3			2			
532541	物性論演習	2	3			2			
532542	分光学Ⅰ	2	3			2			
532543	物性論Ⅲ	2	3			2			
532549	現代物質科学特論Ⅰ	2	3			集中			

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	
						前期	後期			
C 化学系	専門基礎科目(共通科目)	533211	△有機化学Ⅰ	2	1			2	吾郷 友宏	
		533221	○有機化学Ⅱ	2	2		2		三宅 由寛	
		533231	△無機化学Ⅰ	2	1		2		小蓑 剛	
		533241	物理化学Ⅰ	2	2		2		江口 律子	
		533251	有機化学Ⅲ	2	2	主に物質科学科		2	久保 和也	
		533252	生物化学4	2	2	主に生命科学科		2	衣斐 義一	
		533261	分析化学Ⅰ	2	2		2		安川 智之	
	物質科学科専門教育科目(学科独自科目)	533551	物理化学Ⅱ	2	2			2	下條 竜夫	
		533552	有機化学Ⅳ	2	3		2		藤田 守文	
		533553	無機化学Ⅱ	2	2		2		阿部 正明	
		533554	物理化学Ⅲ	2	3		2		和達 大樹	
		533555	物理化学演習Ⅰ	2	3		2		和達 大樹	
		533556	無機化学Ⅲ	2	3		2		阿部 正明	
		533557	有機構造化学	2	3		2		三宅 由寛	
		533558	物理化学演習Ⅱ	2	3		2		竹内 佐年	
		533559	量子化学Ⅰ	2	3		2		〃	
		533561	分析化学Ⅱ	2	3			2	鈴木 雅登	
		533573	機能性物質学	2	3			2	吾郷・和達	
		533566	表面化学	2	3			2	西山 覚	
		533571	有機反応論	2	3			2	三宅 由寛	
	現代物質科学特論Ⅱ	2	3			集中		令和6年度非開講		
	化学反応論	2	4		2		(開講せず)			
	量子化学Ⅱ	2	3			2	〃			
	有機化学演習	2	3			2	〃			

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	
						前期	後期			
D 生 命 科 学 系	専 門 基 礎 科 目 ( 共 通 科 目 )	534310	△細胞生物学1	2	1			2	稲木 美紀子	
		534321	○生物化学2	2	2		2		當舎 武彦	
		534331	○細胞生物学2	2	2			2	井澤 俊明	
		534341	△生物化学1	2	1		2		久保 稔	
		534350	分子生物学1	2	2		2		梅園 良彦	
		534360	微生物学	2	2		2		宮澤 淳夫	
		534370	生物化学3	2	2			2	佐々木 桂奈江	
		534380	分子生物学2	2	2		2		塩見 泰史	
		534711	生物物理学1	2	2			2	柴田 直樹	
		534712	細胞生物学3	2	2			2	吉田 秀郎	
		534713	生物化学5	2	3			2	當舎 武彦	
		534714	分子生物学3	2	2			2	西谷 秀男	
		534715	発生生物学1	2	2			2	餅井 真	
		534716	生物化学6	2	3		2		菓子野 康浩	
		534740	構造生物学2	2	3			2	水島 恒裕	
		534717	神経生物学1	2	3		2		八田 公平	
		534718	構造生物学1	2	3		2		緒方 英明	
		534719	分子生物学4	2	3		2		廣瀬 富美子	
		534721	生物物理学3	2	3		2		久保 稔	
		534739	発生生物学2	2	3			2	(開講せず)	
		534722	生命科学演習2	2	3			2	八田 公平	
		534723	生命科学演習1	2	3			2	稲木 美紀子	
		534724	生命科学演習3	2	3			2	吉久 徹	
		534725	発生生物学3	2	3			2	梅園 良彦	
		534726	生物物理学2	2	3		2		村本 和優	
		534727	細胞生物学4	2	3		2		西谷 秀男	
		534728	細胞生物学5	2	3		2		吉久 徹	
	534729	細胞生物学6	2	3			2	吉田 秀郎		
	534731	分子生物学5	2	3		2		(開講せず)		
	534732	神経生物学2	2	3			2	幸長 弘子		
	534733	進化学Ⅰ	2	3			集中	荒木・永野		
	534734	進化学Ⅱ	2	3			集中	田村 実		
	534735	生態学Ⅰ	2	3			集中	宮竹 貴久		
	534736	生態学Ⅱ	2	3			集中	石井 弘明		
	534737	形態学Ⅰ	2	3			集中	峰雪 芳宣		
	534738	形態学Ⅱ	2	3			集中	大谷 哲久		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	
						前期	後期			
E	専門基礎科目 (共通科目)	535420	地球惑星科学	2	1			2	後藤 忠徳	HAT神戸開講 HAT神戸開講 (卒業要件外) HAT神戸開講 (卒業要件外) 受講対象は、卒研配属者に限る。授業は、講座単位で実施する。 随時開講 随時開講 随時開講 随時開講 HAT神戸開講
		535482	コンピューターリテラシー	2	1			2	草部 浩一	
		535450	地球物質科学	2	2			2	萩谷 健治	
		981004	地震津波と防災・減災	2	2			2	平井	
		983005	※ 減災復興政策概論	2	2			2	青田	
		982005	※ 防災教育とリスクコミュニケーション	2	3			2	阪本	
		535481	計算機プログラミング	2	3			2	草部 浩一	
		535491	科学英語	1	4	物質科学科		2	和達 大樹 他	
		535501	〃	1	4	生命科学科		前期2又は後期2	緒方 英明 他	
		508812	生命科学特別講義	1	2			集中	玉田 太郎	
		535440	天文学	2	2			2	伊藤 洋一	
		535443	天体観測	1	3			集中	本田・伊藤洋	
		534741	生態学と生物多様性の保全	2	3			2	佐川・出口	
		535560	英語科学問題演習	2	2			2	梅園 良彦	
		535570	グローバル・サイエンス	2	2			2	大内 幹雄	
		535591	物質英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	
		535592	生命英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	
		981007	気象・気候変動と災害	2	2			集中	谷口	
		F	専門基礎科目 (共通科目)	536511	△生物学実験	1	1	I		
536512	〃			1	1	II		3	〃	
536513	〃			1	1	III		3	〃	
536514	〃			1	1	IV		3	〃	
536531	○物理学実験			1	2			3	久保 稔 他	
536541	○化学実験			1	2			3	安川 智之 他	
536551	○物質科学基礎実験Ⅰ			1	2	I		3	田中 義人 他	
536552	〃			1	2	II		3	〃	
536553	〃			1	2	III		3	〃	
536554	〃			1	2	IV		3	〃	
536561	○物質科学基礎実験Ⅱ			1	2	I		3	三宅 由寛 他	
536562	〃			1	2	II		3	〃	
536563	〃			1	2	III		3	〃	
536564	〃			1	2	IV		3	〃	
536571	○生命科学基礎実験Ⅰ			1	2	I		3	梅園 良彦 他	
536572	〃			1	2	II		3	〃	
536573	〃			1	2	III		3	〃	
536574	〃			1	2	IV		3	〃	
536581	○生命科学基礎実験Ⅱ			1	2	I		3	〃	
536582	〃			1	2	II		3	〃	
536583	〃			1	2	III		3	〃	
536584	〃			1	2	IV		3	〃	
536521	地学実験			1	3			集中	後藤 忠徳 他	
物質科学科 専攻科目 (学科独自科目)	536671	■物質科学実験Ⅰ	2	3			6	阿部 正明 他		
	536672	■物質科学実験Ⅱ 卒業研究	2 6	3 4			6 通年	〃 各指導教員		
生命科学科 専攻科目 (学科独自科目)	536741	■生命科学実験Ⅰ	4	3			12	吉久 徹 他		
	536742	■生命科学実験Ⅱ 卒業研究	4 6	3 4			12 通年	久保 稔 他 各指導教員		

## (2) 令和5年度入学生

△ . . . . . 2年次実験許可条件科目
○ . . . . . 3年次実験許可条件科目 (2年次実験許可条件科目を含む)
■ . . . . . 卒業研究許可条件科目
詳しくは、学部規則の「先修条件及び履修許可」をご覧ください。

1

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考
						前期	後期		
A 数 学 系	531041	△微分積分学Ⅰ	2	1	I	2		土井 護	
	531042	"	2	1	II	2		保城 寿彦	
	531043	"	2	1	III	2		土井 護	
	531044	"	2	1	IV	2		山内 淳生	
	531051	△微分積分学Ⅱ	2	1	I		2	加藤 正和	
	531052	"	2	1	II		2	土井 護	
	531053	"	2	1	III		2	濱中 翔太	
	531054	"	2	1	IV		2	川久保 哲	
	531061	△線形代数学Ⅰ	2	1	I	2		只野 之英	
	531062	"	2	1	II	2		山内 淳生	
	531063	"	2	1	III	2		川久保 哲	
	531064	"	2	1	IV	2		平野 克博	
	531073	△線形代数学Ⅱ	2	1	I		2	光明 新	
	531074	"	2	1	II		2	山内 淳生	
	531075	"	2	1	III		2	永安 聖	
	531076	"	2	1	IV		2	只野 之英	
	531081	△数学演習Ⅰ	2	1	I	2		守屋 克洋	
	531082	"	2	1	II	2		加藤 正和	
	531083	"	2	1	III	2		加藤 正和	
	531084	"	2	1	IV	2		守屋 克洋	
531091	△数学演習Ⅱ	2	1	I		2	光明 新		
531092	"	2	1	II		2	柘田 幹也		
531093	"	2	1	III		2	柘田 幹也		
531094	"	2	1	IV		2	光明 新		
物質科学科 専門教育科目 (学科独自科目)	531511	代数構造	2	3		2		光明 新	
	531512	幾何構造	2	3		2		光明 新	
	531513	位相解析	2	3			2	平野 克博	
	531514	関数解析	2	3			2	平野 克博	

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考
						前期	後期		
B 物理系 専門基礎科目(共通科目)	532111	△基礎物理学ⅠA	2	1		2		水戸 毅	シラバスを参考にⅠA、ⅠBのうち一方を選択すること。  シラバスを参考にⅡA、ⅡBのうち一方を選択すること。
	532112	△基礎物理学ⅠB	2	1		2		柳澤 幸子	
	532120	○力学A	2	2		2		津坂 佳幸	
	532130	○波動論	2	2		2		山口 明	
	532141	△基礎物理学ⅡA	2	1			2	宮坂 茂樹	
	532142	△基礎物理学ⅡB	2	1			2	尾島 拓 後藤 忠徳	
	532150	力学B	2	2			2	小泉 昭久	
	532160	電磁気学A	2	2		2		中井 祐介	
	532170	電磁気学演習	2	2		2		津坂 佳幸	
	532180	応用解析	2	2		2		坂井 徹	
B 物理系 物質科学科専門教育科目(学科独自科目)	532521	統計力学Ⅰ	2	2			2	坂井 徹	量子力学Ⅰは2つの授業のうち、一方を選択すること。
	532522	量子力学Ⅰ	2	2			2	田中 義人	
	532523	〃	2	2			2	和達 大樹	
	532524	結晶学	2	2			2	小澤 芳樹	
	532525	電磁気学B	2	2			2	石川 潔	
	532527	物理数学Ⅰ	2	2			2	中野 博生	
	532528	物理数学Ⅰ演習	2	2			2	草部 浩一	
	532529	物理数学Ⅱ	2	3		2		中野 博生	
	532531	物理数学Ⅱ演習	2	3		2		草部 浩一	
	532532	量子力学Ⅱ	2	3		2		宮坂 茂樹	
	532533	量子力学演習	2	3		2		〃	
	532534	統計力学Ⅱ	2	3		2		中野 博生	
	532535	物性論Ⅰ	2	3		2		田中 義人	
	532536	確率統計	2	3		2		北谷 基治	
	532537	量子力学Ⅲ	2	3			2	坂井 徹	
	532538	相対論	2	3			2	伊達 伸	
	532539	物性論Ⅱ	2	3			2	水戸 毅	
	532541	物性論演習	2	3			2	小林 寿夫	
	532542	分光学Ⅰ	2	3			2	籠島 靖	
532543	物性論Ⅲ	2	3			2	小林 寿夫		
532549	現代物質科学特論Ⅰ	2	3			集中	有田・村上		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	
						前期	後期			
C 化学系	専門基礎科目（共通科目）	533211	△有機化学Ⅰ	2	1			2	吾郷 友宏	
		533221	○有機化学Ⅱ	2	2		2		三宅 由寛	
		533231	△無機化学Ⅰ	2	1		2		小簗 剛	
		533241	物理化学Ⅰ	2	2		2		江口 律子	
		533251	有機化学Ⅲ	2	2	主に物質科学科		2	久保 和也	
		533252	生物化学4	2	2	主に生命科学科		2	衣斐 義一	
		533261	分析化学Ⅰ	2	2		2		安川 智之	
	物質科学科専門教育科目（学科独自科目）	533551	物理化学Ⅱ	2	2			2	下條 竜夫	
		533552	有機化学Ⅳ	2	3		2		藤田 守文	
		533553	無機化学Ⅱ	2	2		2		阿部 正明	
		533554	物理化学Ⅲ	2	3		2		和達 大樹	
		533555	物理化学演習Ⅰ	2	3		2		和達 大樹	
		533556	無機化学Ⅲ	2	3		2		阿部 正明	
		533557	有機構造化学	2	3		2		三宅 由寛	
		533558	物理化学演習Ⅱ	2	3		2		竹内 佐年	
		533559	量子化学Ⅰ	2	3		2		〃	
		533561	分析化学Ⅱ	2	3			2	鈴木 雅登	
		533573	機能性物質学	2	3			2	吾郷・和達	
		533566	表面化学	2	3			2	西山 覚	
		533571	有機反応論	2	3			2	三宅 由寛	
	現代物質科学特論Ⅱ	2	3			集中			令和6年度非開講	
	化学反応論	2	4		2		(開講せず)			
	量子化学Ⅱ	2	3			2	〃			
	有機化学演習	2	3			2	〃			

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考
						前期	後期		
D 生 命 系	専門基礎科目 (共通科目)	534310	△細胞生物学1	2	1		2	稲木 美紀子	
		534321	○生物化学2	2	2		2	當舎 武彦	
		534331	○細胞生物学2	2	2		2	井澤 俊明	
		534341	△生物化学1	2	1		2	久保 稔	
		534350	分子生物学1	2	2		2	梅園 良彦	
		534360	微生物学	2	2		2	宮澤 淳夫	
		534370	生物化学3	2	2		2	佐々木 桂奈江	
		534380	分子生物学2	2	2		2	塩見 泰史	
	生命科学 科専門 教育科目 (学科 独自 科目)	534711	生物物理学1	2	2		2	柴田 直樹	
		534712	細胞生物学3	2	2		2	吉田 秀郎	
		534713	生物化学5	2	3		2	當舎 武彦	
		534714	分子生物学3	2	2		2	西谷 秀男	
		534715	発生生物学1	2	2		2	餅井 真	
		534716	生物化学6	2	3		2	菓子野 康浩	
		534740	構造生物学2	2	3		2	水島 恒裕	
		534717	神経生物学1	2	3		2	八田 公平	
		534718	構造生物学1	2	3		2	緒方 英明	
		534719	分子生物学4	2	3		2	廣瀬 富美子	
		534721	生物物理学3	2	3		2	久保 稔	
		534739	発生生物学2	2	3		2	(開講せず)	
		534722	生命科学演習2	2	3		2	八田 公平	
		534723	生命科学演習1	2	3		2	稲木 美紀子	
		534724	生命科学演習3	2	3		2	吉久 徹	
		534725	発生生物学3	2	3		2	梅園 良彦	
		534726	生物物理学2	2	3		2	村本 和優	
		534727	細胞生物学4	2	3		2	西谷 秀男	
		534728	細胞生物学5	2	3		2	吉久 徹	
		534729	細胞生物学6	2	3		2	吉田 秀郎	
534731	分子生物学5	2	3		2	(開講せず)			
534732	神経生物学2	2	3		2	幸長 弘子			
534733	進化学I	2	3		集中	荒木・永野			
534734	進化学II	2	3		集中	田村 実			
534735	生態学I	2	3		集中	宮竹 貴久			
534736	生態学II	2	3		集中	石井 弘明			
534737	形態学I	2	3		集中	峰雪 芳宣			
534738	形態学II	2	3		集中	大谷 哲久			

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考		
						前期	後期				
E	専門基礎科目 (共通科目)	535420	地球惑星科学	2	1			2	後藤 忠徳		
		535482	コンピューターリテラシー	2	1			2	草部 浩一		
		535450	地球物質科学	2	2			2	萩谷 健治		
		981004	地震津波と防災・減災	2	2			2	平井	HAT神戸開講	
		983005	※ 減災復興政策概論	2	2			2	青田	HAT神戸開講 (卒業要件外)	
		982005	※ 防災教育とリスクコミュニケーション	2	3			2	阪本	HAT神戸開講 (卒業要件外)	
		535481	計算機プログラミング	2	3			2	草部 浩一		
		535491	科学英語	1	4	物質科学科		2	和達 大樹 他	受講対象は、卒研配属者に限る。授業は、講座単位で実施する。	
		535501	〃	1	4	生命科学科		前期2又は後期2	緒方 英明 他		
		508812	生命科学特別講義	1	2			集中	玉田 太郎	随時開講	
		535440	天文学	2	2			2	伊藤 洋一		
		535443	天体観測	1	3			集中	本田・伊藤洋		
		534741	生態学と生物多様性の保全	2	3			2	佐川・出口		
		535560	英語科学問題演習	2	2			2	梅園 良彦		
		535570	グローバル・サイエンス	2	2			2	大内 幹雄		
		535591	物質英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	随時開講	
		535592	生命英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	随時開講	
		981007	気象・気候変動と災害	2	2			集中	谷口	HAT神戸開講	
F	専門基礎科目 (共通科目)	536511	△生物学実験	1	1	I		3	水島 恒裕 他		
		536512	〃	1	1	II		3	〃		
		536513	〃	1	1	III		3	〃		
		536514	〃	1	1	IV		3	〃		
		536531	○物理学実験	1	2			3	久保 稔 他		
		536541	○化学実験	1	2			3	安川 智之 他		
		536551	○物質科学基礎実験Ⅰ	1	2	I		3	田中 義人 他		
		536552	〃	1	2	II		3	〃		
		536553	〃	1	2	III		3	〃		
		536554	〃	1	2	IV		3	〃		
		536561	○物質科学基礎実験Ⅱ	1	2	I		3	三宅 由寛 他		
		536562	〃	1	2	II		3	〃		
		536563	〃	1	2	III		3	〃		
		536564	〃	1	2	IV		3	〃		
		536571	○生命科学基礎実験Ⅰ	1	2	I		3	梅園 良彦 他		
		536572	〃	1	2	II		3	〃		
		536573	〃	1	2	III		3	〃		
		536574	〃	1	2	IV		3	〃		
		536581	○生命科学基礎実験Ⅱ	1	2	I		3	〃		
		536582	〃	1	2	II		3	〃		
		536583	〃	1	2	III		3	〃		
		536584	〃	1	2	IV		3	〃		
		536521	地学実験	1	3			集中	後藤 忠徳 他		
		物質科学科 専攻科目 (学科学科独自科目)	536671	■物質科学実験Ⅰ	2	3			6	阿部 正明 他	
			536672	■物質科学実験Ⅱ 卒業研究	2 6	3 4			6 通年	〃 各指導教員	
		生命科学科 専攻科目 (学科学科独自科目)	536741	■生命科学実験Ⅰ	4	3			12	吉久 徹 他	
536742	■生命科学実験Ⅱ 卒業研究		4 6	3 4			12 通年	久保 稔 他 各指導教員			

(3) 令和4年度入学生

△ . . . . . 2年次実験許可条件科目
○ . . . . . 3年次実験許可条件科目 (2年次実験許可条件科目を含む)
■ . . . . . 卒業研究許可条件科目
詳しくは、学部規則の「先修条件及び履修許可」を見てください。

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点	
						前期	後期				
A 数 学 系	専 門 基 礎 科 目 ( 共 通 科 目 )	531041	△微分積分学Ⅰ	2	1	I	2		土井 護		
		531042	"	2	1	II	2		保城 寿彦		
		531043	"	2	1	III	2		土井 護		
		531044	"	2	1	IV	2		山内 淳生		
		531051	△微分積分学Ⅱ	2	1	I		2	加藤 正和		
		531052	"	2	1	II		2	土井 護		
		531053	"	2	1	III		2	濱中 翔太		
		531054	"	2	1	IV		2	川久保 哲		
		531061	△線形代数学Ⅰ	2	1	I	2		只野 之英		
		531062	"	2	1	II	2		山内 淳生		
		531063	"	2	1	III	2		川久保 哲		
		531064	"	2	1	IV	2		平野 克博		
		531073	△線形代数学Ⅱ	2	1	I		2	光明 新		
		531074	"	2	1	II		2	山内 淳生		
		531075	"	2	1	III		2	永安 聖		
		531076	"	2	1	IV		2	只野 之英		
		531081	△数学演習Ⅰ	2	1	I	2		守屋 克洋		
		531082	"	2	1	II	2		加藤 正和		
		531083	"	2	1	III	2		加藤 正和		
		531084	"	2	1	IV	2		守屋 克洋		
531091	△数学演習Ⅱ	2	1	I		2	光明 新				
531092	"	2	1	II		2	柘田 幹也				
531093	"	2	1	III		2	柘田 幹也				
531094	"	2	1	IV		2	光明 新				
物質科学科 専門教育科目 ( 学 科 独 自 科 目 )	531511	代数構造	2	3			2		光明 新		
	531512	幾何構造	2	3			2		光明 新		
	531513	位相解析	2	3				2	平野 克博		
	531514	関数解析	2	3				2	平野 克博		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点	
						前期	後期				
B 物理系	専門基礎科目(共通科目)	532111	△基礎物理学ⅠA	2	1		2		水戸 毅	シラバスを参考にⅠA、ⅠBのうち一方を選択すること。	
		532112	△基礎物理学ⅠB	2	1		2		柳澤 幸子		
		532120	○力学A	2	2		2		津坂 佳幸		
		532130	○波動論	2	2		2		山口 明		
		532141	△基礎物理学ⅡA	2	1		2		宮坂 茂樹		
		532142	△基礎物理学ⅡB	2	1		2		尾島 拓 後藤 忠徳		
		532150	力学B	2	2		2		小泉 昭久		
		532160	電磁気学A	2	2		2		中井 祐介		
		532170	電磁気学演習	2	2		2		津坂 佳幸		
	532180	応用解析	2	2		2		坂井 徹			
	物質科学科専門教育科目(学科独自科目)	532521	統計力学Ⅰ	2	2		2		坂井 徹	量子力学Ⅰは2つの授業のうち、一方を選択すること。	
		532522	量子力学Ⅰ	2	2		2		田中 義人		
		532523	〃	2	2		2		和達 大樹		
		532524	結晶学	2	2		2		小澤 芳樹		
		532525	電磁気学B	2	2		2		石川 潔		
		532527	物理数学Ⅰ	2	2		2		中野 博生		
		532528	物理数学Ⅰ演習	2	2		2		草部 浩一		
		532529	物理数学Ⅱ	2	3		2		中野 博生		
		532531	物理数学Ⅱ演習	2	3		2		草部 浩一		
532532		量子力学Ⅱ	2	3		2		宮坂 茂樹			
532533	量子力学演習	2	3		2		〃				
532534	統計力学Ⅱ	2	3		2		中野 博生				
532535	物性論Ⅰ	2	3		2		田中 義人				
532536	確率統計	2	3		2		北谷 基治				
532537	量子力学Ⅲ	2	3		2		坂井 徹				
532538	相対論	2	3		2		伊達 伸				
532539	物性論Ⅱ	2	3		2		水戸 毅				
532541	物性論演習	2	3		2		小林 寿夫				
532542	分光学Ⅰ	2	3		2		籠島 靖				
532543	物性論Ⅲ	2	3		2		小林 寿夫				
532549	現代物質科学特論Ⅰ	2	3		集中		有田・村上				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講 科目注意点	
						前期	後期				
C 化学系	専門基礎科目 (共通科目)	533211	△有機化学Ⅰ	2	1			2	吾郷 友宏		
		533221	○有機化学Ⅱ	2	2		2		三宅 由寛		
		533231	△無機化学Ⅰ	2	1		2		小蓑 剛		
		533241	物理化学Ⅰ	2	2		2		江口 律子		
		533251	有機化学Ⅲ	2	2	主に物質科学科		2	久保 和也		
		533252	生物化学4	2	2	主に生命科学科		2	衣斐 義一		
		533261	分析化学Ⅰ	2	2		2		安川 智之		
	533551	物理化学Ⅱ	2	2			2	下條 竜夫			
	533552	有機化学Ⅳ	2	3		2		藤田 守文			
	533553	無機化学Ⅱ	2	2		2		阿部 正明			
	533554	物理化学Ⅲ	2	3		2		和達 大樹			
	533555	物理化学演習Ⅰ	2	3		2		和達 大樹			
	533556	無機化学Ⅲ	2	3		2		阿部 正明			
	533557	有機構造化学	2	3		2		三宅 由寛			
	533558	物理化学演習Ⅱ	2	3		2		竹内 佐年			
	533559	量子化学Ⅰ	2	3		2		〃			
	533561	分析化学Ⅱ	2	3			2	鈴木 雅登			
	533573	機能性物質学	2	3			2	吾郷・和達			
	533566	表面化学	2	3			2	西山 覚			
	533571	有機反応論	2	3			2	三宅 由寛			
		現代物質科学特論Ⅱ	2	3			集中		令和6年度非開講		
		化学反応論	2	4		2	(開講せず)				
		量子化学Ⅱ	2	3			2	〃			
		有機化学演習	2	3			2	〃			

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点		
						前期	後期					
D 生命系	専門基礎科目(共通科目)	534310	△細胞生物学1	2	1			2	稲木 美紀子			
		534321	○生物化学2	2	2		2		當舎 武彦			
		534331	○細胞生物学2	2	2			2		井澤 俊明		
		534341	△生物化学1	2	1		2			久保 稔		
		534350	分子生物学1	2	2		2			梅園 良彦		
		534360	微生物学	2	2		2			宮澤 淳夫		
		534370	生物化学3	2	2			2		佐々木 桂奈江		
		534380	分子生物学2	2	2		2			塩見 泰史		
	生命科学科専門教育科目(学科独自科目)	534711	生物物理学1	2	2			2		柴田 直樹		
		534712	細胞生物学3	2	2			2		吉田 秀郎		
		534713	生物化学5	2	3			2		當舎 武彦		
		534714	分子生物学3	2	2			2		西谷 秀男		
		534715	発生生物学1	2	2			2		餅井 真		
		534716	生物化学6	2	3		2			菓子野 康浩		
		534740	構造生物学2	2	3			2		水島 恒裕		
		534717	神経生物学1	2	3		2			八田 公平		
		534718	構造生物学1	2	3		2			緒方 英明		
		534719	分子生物学4	2	3		2			廣瀬 富美子		
		534721	生物物理学3	2	3		2			久保 稔		
		534739	発生生物学2	2	3			2		(開講せず)		
		534722	生命科学演習2	2	3			2		八田 公平		
		534723	生命科学演習1	2	3			2		稲木 美紀子		
		534724	生命科学演習3	2	3			2		吉久 徹		
		534725	発生生物学3	2	3			2		梅園 良彦		
		534726	生物物理学2	2	3		2			村本 和優		
		534727	細胞生物学4	2	3		2			西谷 秀男		
		534728	細胞生物学5	2	3		2			吉久 徹		
		534729	細胞生物学6	2	3			2		吉田 秀郎		
		534731	分子生物学5	2	3		2			(開講せず)		
		534732	神経生物学2	2	3			2		幸長 弘子		
		534733	進化学I	2	3			集中		荒木・永野		
		534734	進化学II	2	3			集中		田村 実		
		534735	生態学I	2	3			集中		宮竹 貴久		
		534736	生態学II	2	3			集中		石井 弘明		
		534737	形態学I	2	3			集中		峰雪 芳宣		
		534738	形態学II	2	3			集中		大谷 哲久		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点
						前期	後期			
E	535420	地球惑星科学	2	1			2	後藤 忠徳		地震津波と防災・減災  防災教育とリスクコミュニケーション
	535482	コンピューターリテラシー	2	1			2	草部 浩一		
	535450	地球物質科学	2	2			2	萩谷 健治		
	981004	★自然災害と防災	2	2			2	平井	HAT神戸開講	
	983005	減災復興政策概論	2	2			2	青田	HAT神戸開講	
	982005	★防災教育と心のケア概論	2	3			2	阪本	HAT神戸開講	
	535481	計算機プログラミング	2	3			2	草部 浩一		
	535491	科学英語	1	4	物質科学科		2	和達 大樹 他	受講対象は、卒研配属者に限る。授業は、講座単位で実施する。	
	535501	〃	1	4	生命科学科	前期2又は後期2		緒方 英明 他		
	508812	生命科学特別講義	1	2			集中	玉田 太郎	随時開講	
	535440	天文学	2	2			2	伊藤 洋一		
	535443	天体観測	1	3			集中	本田・伊藤洋		
	534741	生態学と生物多様性の保全	2	3			2	佐川・出口		
	535560	英語科学問題演習	2	2			2	梅園 良彦		
	535570	グローバル・サイエンス	2	2			2	大内 幹雄		
	535591	物質英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	随時開講	
535592	生命英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	随時開講		
F	536511	△生物学実験	1	1	I		3	水島 恒裕 他		
	536512	〃	1	1	II		3	〃		
	536513	〃	1	1	III		3	〃		
	536514	〃	1	1	IV		3	〃		
	536531	○物理学実験	1	2			3	久保 稔 他		
	536541	○化学実験	1	2			3	安川 智之 他		
	536551	○物質科学基礎実験Ⅰ	1	2	I		3	田中 義人 他		
	536552	〃	1	2	II		3	〃		
	536553	〃	1	2	III		3	〃		
	536554	〃	1	2	IV		3	〃		
	536561	○物質科学基礎実験Ⅱ	1	2	I		3	三宅 由寛 他		
	536562	〃	1	2	II	3		〃		
	536563	〃	1	2	III		3	〃		
	536564	〃	1	2	IV		3	〃		
	536571	○生命科学基礎実験Ⅰ	1	2	I		3	梅園 良彦 他		
	536572	〃	1	2	II		3	〃		
	536573	〃	1	2	III	3		〃		
	536574	〃	1	2	IV	3		〃		
	536581	○生命科学基礎実験Ⅱ	1	2	I		3	〃		
	536582	〃	1	2	II		3	〃		
536583	〃	1	2	III		3	〃			
536584	〃	1	2	IV		3	〃			
536521	地学実験	1	3			集中	後藤 忠徳 他			
物質科学科専門教育科 (甲) (学) 第4期課程	536671	■物質科学実験Ⅰ	2	3			6	阿部 正明 他		
	536672	■物質科学実験Ⅱ 卒業研究	2 6	3 4			6 通年	〃 各指導教員		
生命科学科専門教育科 (甲) (学) 第4期課程	536741	■生命科学実験Ⅰ	4	3			12	吉久 徹 他		
	536742	■生命科学実験Ⅱ 卒業研究	4 6	3 4			12 通年	久保 稔 他 各指導教員		

(4) 令和3年度入学生

△・・・・・・2年次実験許可条件科目  
 ○・・・・・・3年次実験許可条件科目（2年次実験許可条件科目を含む）  
 ■・・・・・・卒業研究許可条件科目

詳しくは、学部規則の「先修条件及び履修許可」を見てください。

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点
						前期	後期			
A 数 学 系	531041	△微分積分学Ⅰ	2	1	I	2		土井 護		
	531042	"	2	1	II	2		保城 寿彦		
	531043	"	2	1	III	2		土井 護		
	531044	"	2	1	IV	2		山内 淳生		
	531051	△微分積分学Ⅱ	2	1	I		2	加藤 正和		
	531052	"	2	1	II		2	土井 護		
	531053	"	2	1	III		2	濱中 翔太		
	531054	"	2	1	IV		2	川久保 哲		
	531061	△線形代数学Ⅰ	2	1	I	2		只野 之英		
	531062	"	2	1	II	2		山内 淳生		
	531063	"	2	1	III	2		川久保 哲		
	531064	"	2	1	IV	2		平野 克博		
	531073	△線形代数学Ⅱ	2	1	I		2	光明 新		
	531074	"	2	1	II		2	山内 淳生		
	531075	"	2	1	III		2	永安 聖		
	531076	"	2	1	IV		2	只野 之英		
	531081	△数学演習Ⅰ	2	1	I	2		守屋 克洋		
	531082	"	2	1	II	2		加藤 正和		
	531083	"	2	1	III	2		加藤 正和		
	531084	"	2	1	IV	2		守屋 克洋		
531091	△数学演習Ⅱ	2	1	I		2	光明 新			
531092	"	2	1	II		2	栢田 幹也			
531093	"	2	1	III		2	栢田 幹也			
531094	"	2	1	IV		2	光明 新			
物質科学科専門教育科目（学科独自科目）	531511	代数構造	2	3		2		光明 新		
	531512	幾何構造	2	3		2		光明 新		
	531513	位相解析	2	3		2		平野 克博		
	531514	関数解析	2	3		2		平野 克博		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点	
						前期	後期				
B 物理系 物質科学科専門教育科目(学科独自科目)	532111	△基礎物理学ⅠA	2	1			2	水戸 毅	シラバスを参考にⅠA、ⅠBのうち一方を選択すること。		
	532112	△基礎物理学ⅠB	2	1			2	柳澤 幸子			
	532120	○力学A	2	2			2	津坂 佳幸			
	532130	○波動論	2	2			2	山口 明			
	532141	△基礎物理学ⅡA	2	1			2	宮坂 茂樹			シラバスを参考にⅡA、ⅡBのうち一方を選択すること。
	532142	△基礎物理学ⅡB	2	1			2	尾島 拓 後藤 忠徳			
	532150	力学B	2	2			2	小泉 昭久			
	532160	電磁気学A	2	2			2	中井 祐介			
	532170	電磁気学演習	2	2			2	津坂 佳幸			
	532180	応用解析	2	2			2	坂井 徹			
	532521	統計力学Ⅰ	2	2			2	坂井 徹	量子力学Ⅰは2つの授業のうち、一方を選択すること。		
	532522	量子力学Ⅰ	2	2			2	田中 義人			
	532523	"	2	2			2	和達 大樹			
	532524	結晶学	2	2			2	小澤 芳樹			
	532525	電磁気学B	2	2			2	石川 深			
	532527	物理数学Ⅰ	2	2			2	中野 博生			
	532528	物理数学Ⅰ演習	2	2			2	草部 浩一			
	532529	物理数学Ⅱ	2	3			2	中野 博生			
	532531	物理数学Ⅱ演習	2	3			2	草部 浩一			
532532	量子力学Ⅱ	2	3			2	宮坂 茂樹				
532533	量子力学演習	2	3			2	"				
532534	統計力学Ⅱ	2	3			2	中野 博生				
532535	物性論Ⅰ	2	3			2	田中 義人				
532536	確率統計	2	3			2	北谷 基治				
532537	量子力学Ⅲ	2	3			2	坂井 徹				
532538	相対論	2	3			2	伊達 伸				
532539	物性論Ⅱ	2	3			2	水戸 毅				
532541	物性論演習	2	3			2	小林 寿夫				
532542	分光学Ⅰ	2	3			2	籠島 靖				
532543	物性論Ⅲ	2	3			2	小林 寿夫				
532549	現代物質科学特論Ⅰ	2	3			集中	有田・村上				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点
						前期	後期			
C 化学系	専門基礎科目(共通科目)	533211	△有機化学Ⅰ	2	1		2	香郷 友宏		
		533221	○有機化学Ⅱ	2	2		2	三宅 由寛		
		533231	△無機化学Ⅰ	2	1		2	小袋 剛		
		533241	物理化学Ⅰ	2	2		2	江口 律子		
		533251	有機化学Ⅲ	2	2	主に物質科学科	2	久保 和也		
		533252	生物化学4	2	2	主に生命科学科	2	衣斐 義一		
		533261	分析化学Ⅰ	2	2		2	安川 智之		
	物質科学科専門教育科目(学科独自科目)	533551	物理化学Ⅱ	2	2		2	下條 竜夫		
		533552	有機化学Ⅳ	2	3		2	藤田 守文		
		533553	無機化学Ⅱ	2	2		2	阿部 正明		
		533554	物理化学Ⅲ	2	3		2	和達 大樹		
		533555	物理化学演習Ⅰ	2	3		2	和達 大樹		
		533556	無機化学Ⅲ	2	3		2	阿部 正明		
		533557	有機構造化学	2	3		2	三宅 由寛		
		533558	物理化学演習Ⅱ	2	3		2	竹内 佐年		
		533559	量子化学Ⅰ	2	3		2	〃		
		533561	分析化学Ⅱ	2	3		2	鈴木 雅登		
		533573	機能性物質学	2	3		2	香郷・和達		
		533568	表面化学	2	3		2	西山 覚		
533571	有機反応論	2	3		2	三宅 由寛				
	現代物質科学特論Ⅱ	2	3		集中		令和6年度非開講			
	化学反応論	2	4		2	(開講せず)				
	量子化学Ⅱ	2	3		2	〃				
	有機化学演習	2	3		2	〃				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注重点	
						前期	後期				
D 生命系	専門基礎科目(共通科目)	534310	△細胞生物学1	2	1			2	稲木 美紀子		
		534321	○生物化学2	2	2		2		富倉 武彦		
		534331	○細胞生物学2	2	2			2	井澤 俊明		
		534341	△生物化学1	2	1		2		久保 稔		
		534350	分子生物学1	2	2		2		梅園 良彦		
		534360	微生物学	2	2		2		宮澤 淳夫		
		534370	生物化学3	2	2			2	佐々木 桂奈江		
		534380	分子生物学2	2	2		2		塩見 泰史		
	534711	生物物理学1	2	2			2	柴田 直樹			
	534712	細胞生物学3	2	2			2	吉田 秀郎			
	534713	生物化学5	2	3			2	富倉 武彦			
	534714	分子生物学3	2	2			2	西谷 秀男			
	534715	発生生物学1	2	2			2	餅井 真			
	534716	生物化学6	2	3		2		菓子野 康浩			
	534740	構造生物学2	2	3			2	水島 恒裕			
	534717	神経生物学1	2	3		2		八田 公平			
	534718	構造生物学1	2	3		2		緒方 英明			
	534719	分子生物学4	2	3		2		廣瀬 高美子			
	534721	生物物理学3	2	3		2		久保 稔			
	534739	発生生物学2	2	3			2	(開講せず)			
	534722	生命科学演習2	2	3			2	八田 公平			
	534723	生命科学演習1	2	3			2	稲木 美紀子			
	534724	生命科学演習3	2	3			2	吉久 徹			
	534725	発生生物学3	2	3			2	梅園 良彦			
	534726	生物物理学2	2	3		2		村本 和優			
	534727	細胞生物学4	2	3		2		西谷 秀男			
	534728	細胞生物学5	2	3		2		吉久 徹			
	534729	細胞生物学6	2	3			2	吉田 秀郎			
	534731	分子生物学5	2	3		2		(開講せず)			
	534732	神経生物学2	2	3			2	幸長 弘子			
	534733	進化学I	2	3			集中	荒木・永野			
	534734	進化学II	2	3			集中	田村 実			
	534735	生態学I	2	3			集中	宮竹 貴久			
534736	生態学II	2	3			集中	石井 弘明				
534737	形態学I	2	3			集中	峰雪 芳宜				
534738	形態学II	2	3			集中	大谷 哲久				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点
						前期	後期			
E 専門基礎科目(共通科目)	535420	地球惑星科学	2	1			2	後藤 忠徳		
	976004	★情報科学Ⅱ	2	2			2			情報科学ⅡA(物質)
	976005	★情報科学Ⅱ	2	2			2			情報科学ⅡB(生命)
	535482	コンピューターリテラシー	2	1			2	草部 浩一		
	535450	地球物質科学	2	2			2	萩谷 健治		
	981004	★自然災害と防災	2	2			2	平井	HAT神戸開講	地震津波と防災・減災
	983005	減災復興政策概論	2	2			2	青田	HAT神戸開講	
	982005	★防災教育と心のケア概論	2	3			2	阪本	HAT神戸開講	防災教育とリスクコミュニケーション
	535481	計算機プログラミング	2	3			2	草部 浩一		
	535491	科学英語	1	4	物質科学科	2		和達 大樹 他		受講対象は、卒業記号者に限る。授業は、講義単位で実施する。
	535501	"	1	4	生命科学科	2		緒方 英明 他		
	508812	生命科学特別講義	1	2			集中	玉田 太郎	随時開講	
	535440	天文学	2	2			2	伊藤 洋一		
	535443	天体観測	1	3			集中	本田・伊藤洋		
	534741	生態学と生物多様性の保全	2	3			2	佐川・出口		
	535560	英語科学問題演習	2	2			2	梅園 良彦		
	535570	グローバル・サイエンス	2	2			2	大内 幹雄		
	535591	物質英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	随時開講	
535592	生命英語特別講義演習Ⅲ	1	2			集中	ゲーレ・梅園	随時開講		
F 専門基礎科目(共通科目)	536511	△生物学実験	1	1	I	3		水島 恒裕 他		
	536512	"	1	1	II	3		"		
	536513	"	1	1	III	3		"		
	536514	"	1	1	IV	3		"		
	536531	○物理学実験	1	2		3		小林 寿夫 他		
	536541	○化学実験	1	2		3		安川 智之 他		
	536551	○物質科学基礎実験Ⅰ	1	2	I	3		和達 大樹 他		
	536552	"	1	2	II	3		"		
	536553	"	1	2	III	3		"		
	536554	"	1	2	IV	3		"		
	536561	○物質科学基礎実験Ⅱ	1	2	I	3		三宅 由寛 他		
	536562	"	1	2	II	3		"		
	536563	"	1	2	III	3		"		
	536564	"	1	2	IV	3		"		
	536571	○生命科学基礎実験Ⅰ	1	2	I	3		梅園 良彦 他		
	536572	"	1	2	II	3		"		
	536573	"	1	2	III	3		"		
	536574	"	1	2	IV	3		"		
	536581	○生命科学基礎実験Ⅱ	1	2	I	3		"		
	536582	"	1	2	II	3		"		
	536583	"	1	2	III	3		"		
	536584	"	1	2	IV	3		"		
536521	地学実験	1	3		集中		後藤 忠徳 他			
536671	■物質科学実験Ⅰ	2	3		6		水戸 毅 他			
536672	■物質科学実験Ⅱ	2	3		6		"			
	卒業研究	6	4		通年		各指導教員			
536741	■生命科学実験Ⅰ	4	3		12		吉久 徹 他			
536742	■生命科学実験Ⅱ	4	3		12		久保 稔 他			
	卒業研究	6	4		通年		各指導教員			

(5) 平成29・30・31・令和2年度入学生

△・・・・・・2年次実験許可条件科目  
 ○・・・・・・3年次実験許可条件科目（2年次実験許可条件科目を含む）  
 ■・・・・・・卒業研究許可条件科目  
 詳しくは、学部規則の「先修条件及び履修許可」をご覧ください。

授業科目名に★印のある科目は、入学当時の科目名が変更になっています。  
 ★印のある科目は、『令和4年度開講科目名』欄に記載の科目を履修することで、★印の科目に読み替えます。  
 ★印のある科目を履修する際は、この点に留意すること。

1

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点
						前期	後期			
A 数 学 系	531041	△微分積分学Ⅰ	2	1	I	2		土井 護		
	531042	〃	2	1	II	2		保城 寿彦		
	531043	〃	2	1	III	2		土井 護		
	531044	〃	2	1	IV	2		山内 淳生		
	531051	△微分積分学Ⅱ	2	1	I		2	加藤 正和		
	531052	〃	2	1	II		2	土井 護		
	531053	〃	2	1	III		2	濱中 翔太		
	531054	〃	2	1	IV		2	川久保 哲		
	531061	△線形代数学Ⅰ	2	1	I	2		只野 之英		
	531062	〃	2	1	II	2		山内 淳生		
	531063	〃	2	1	III	2		川久保 哲		
	531064	〃	2	1	IV	2		平野 克博		
	531073	△線形代数学Ⅱ	2	1	I		2	光明 新		
	531074	〃	2	1	II		2	山内 淳生		
	531075	〃	2	1	III		2	永安 聖		
	531076	〃	2	1	IV		2	只野 之英		
	531081	△数学演習Ⅰ	2	1	I	2		守屋 克洋		
	531082	〃	2	1	II	2		加藤 正和		
	531083	〃	2	1	III	2		加藤 正和		
	531084	〃	2	1	IV	2		守屋 克洋		
531091	△数学演習Ⅱ	2	1	I		2	光明 新			
531092	〃	2	1	II		2	栢田 幹也			
531093	〃	2	1	III		2	栢田 幹也			
531094	〃	2	1	IV		2	光明 新			
物質科学科 専門教育科目 (学科独自科目)	531511	代数構造	2	3		2		光明 新		
	531512	幾何構造	2	3		2		光明 新		
	531513	位相解析	2	3			2	平野 克博		
	531514	関数解析	2	3			2	平野 克博		

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点
						前期	後期			
B 物理系	専門基礎科目（共通科目）	532111	△基礎物理学ⅠA	2	1		2		シラバスを参考にⅠA、ⅠBのうち一方を選択すること。  シラバスを参考にⅡA、ⅡBのうち一方を選択すること。	
		532112	△基礎物理学ⅠB	2	1		2	水戸 毅		
		532120	○力学A	2	2		2	柳澤 幸子		
		532130	○波動論	2	2		2	津坂 佳幸		
		532141	△基礎物理学ⅡA	2	1		2	山口 明		
		532142	△基礎物理学ⅡB	2	1		2	宮坂 茂樹 尾島 拓 後藤 忠徳		
		532150	力学B	2	2		2	小泉 昭久		
		532160	電磁気学A	2	2		2	中井 祐介		
		532170	電磁気学演習	2	2		2	津坂 佳幸		
		532180	応用解析	2	2		2	坂井 徹		
	物質科学科専門教育科目（学科独自科目）	532521	統計力学Ⅰ	2	2		2	坂井 徹	量子力学Ⅰは2つの授業のうち、一方を選択すること。	物性論Ⅱ
		532522	量子力学Ⅰ	2	2		2	田中 義人		
		532523	〃	2	2		2	和達 大樹		
		532524	結晶学	2	2		2	小澤 芳樹		
		532525	電磁気学B	2	2		2	石川 潔		
		532527	物理数学Ⅰ	2	2		2	中野 博生		
		532528	物理数学Ⅰ演習	2	2		2	草部 浩一		
		532529	物理数学Ⅱ	2	3	2	2	中野 博生		
		532531	物理数学Ⅱ演習	2	3	2	2	草部 浩一		
		532532	量子力学Ⅱ	2	3	2	2	宮坂 茂樹		
		532533	量子力学演習	2	3	2	2	〃		
		532534	統計力学Ⅱ	2	3	2	2	中野 博生		
		532535	物性論Ⅰ	2	3	2	2	田中 義人		
		532536	確率統計	2	3	2	2	北谷 基治		
		532537	量子力学Ⅲ	2	3	2	2	坂井 徹		
		532538	相対論	2	3	2	2	伊達 伸		
		532539	★物性論Ⅱ（固体電子論）	2	3	2	2	水戸 毅		
532541	物性論演習	2	3	2	2	小林 寿夫				
532542	分光学Ⅰ	2	3	2	2	籠島 靖				
532543	物性論Ⅲ	2	3	2	2	小林 寿夫				
532549	現代物質科学特論Ⅰ	2	3	集中		有田・村上				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点	
						前期	後期				
C 化学系	専門基礎科目 (共通科目)	533211	△有機化学Ⅰ	2	1			2	吾郷 友宏		
		533221	○有機化学Ⅱ	2	2			2	三宅 由寛		
		533231	△無機化学Ⅰ	2	1			2	小蓑 剛		
		533241	物理化学Ⅰ	2	2			2	江口 律子		
		533251	有機化学Ⅲ	2	2	主に物質科学科		2	久保 和也		
		533252	生物化学4	2	2	主に生命科学科		2	衣斐 義一		
		533261	分析化学Ⅰ	2	2			2	安川 智之		
	物質科学科専門 教育科目(学科独自科目)	533551	物理化学Ⅱ	2	2			2	下條 竜夫		
		533552	有機化学Ⅳ	2	3			2	藤田 守文		
		533553	無機化学Ⅱ	2	2			2	阿部 正明		
		533554	物理化学Ⅲ	2	3			2	和達 大樹		
		533555	物理化学演習Ⅰ	2	3			2	和達 大樹		
		533556	無機化学Ⅲ	2	3			2	阿部 正明		
		533557	有機構造化学	2	3			2	三宅 由寛		
		533558	物理化学演習Ⅱ	2	3			2	竹内 佐年		
		533559	量子化学Ⅰ	2	3			2	〃		
		533561	分析化学Ⅱ	2	3			2	鈴木 雅登		
		533573	機能性物質学	2	3			2	吾郷・和達		
		533566	表面化学	2	3			2	西山 覚		
		533571	有機反応論	2	3			2	三宅 由寛		
	現代物質科学特論Ⅱ	2	3			集中			令和6年度非開講		
	化学反応論	2	4			2	(開講せず)				
	量子化学Ⅱ	2	3			2	〃				
	有機化学演習	2	3			2	〃				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点		
						前期	後期					
D 生 命 系	専 門 基 礎 科 目 ( 共 通 科 目 )	534310	△細胞生物学1	2	1			2	稲木 美紀子			
		534321	○生物化学2	2	2			2	當舎 武彦			
		534331	○細胞生物学2	2	2				2	井澤 俊明		
		534341	△生物化学1	2	1				2	久保 稔		
		534350	分子生物学1	2	2				2	梅園 良彦		
		534360	微生物学	2	2				2	宮澤 淳夫		
		534370	生物化学3	2	2				2	佐々木 桂奈江		
		534380	分子生物学2	2	2				2	塩見 泰史		
	生 命 科 学 科 専 門 教 育 科 目 ( 学 科 独 自 科 目 )	534711	生物物理学1	2	2				2	柴田 直樹		
		534712	細胞生物学3	2	2				2	吉田 秀郎		
		534713	生物化学5	2	3				2	當舎 武彦		
		534714	分子生物学3	2	2				2	西谷 秀男		
		534715	発生生物学1	2	2				2	餅井 真		
		534716	生物化学6	2	3			2		菓子野 康浩		
		534740	構造生物学2	2	3				2	水島 恒裕		
		534717	神経生物学1	2	3			2		八田 公平		
		534718	構造生物学1	2	3			2		緒方 英明		
		534719	分子生物学4	2	3			2		廣瀬 富美子		
		534721	生物物理学3	2	3			2		久保 稔		
		534739	発生生物学2	2	3				2	(開講せず)		
		534722	生命科学演習2	2	3				2	八田 公平		
		534723	生命科学演習1	2	3				2	稲木 美紀子		
		534724	生命科学演習3	2	3				2	吉久 徹		
		534725	発生生物学3	2	3				2	梅園 良彦		
		534726	生物物理学2	2	3			2		村本 和優		
		534727	細胞生物学4	2	3			2		西谷 秀男		
		534728	細胞生物学5	2	3			2		吉久 徹		
		534729	細胞生物学6	2	3				2	吉田 秀郎		
		534731	分子生物学5	2	3			2		(開講せず)		
		534732	神経生物学2	2	3				2	幸長 弘子		
		534733	進化学I	2	3				集中	荒木・永野		
		534734	進化学II	2	3				集中	田村 実		
		534735	生態学I	2	3				集中	宮竹 貴久		
		534736	生態学II	2	3				集中	石井 弘明		
534737	形態学I	2	3				集中	峰雪 芳宣				
534738	形態学II	2	3				集中	大谷 哲久				

区分	授業コード	授業科目	単位	配当年次	クラス	週時間数		担当教員	備考	★令和6年度開講科目注意点	
						前期	後期				
E	535420	地球惑星科学	2	1			2	後藤 忠徳			
	976004	★情報科学Ⅱ	2	2			2	草部 浩一		情報科学ⅡA（物質）	
	976005	★情報科学Ⅱ	2	2			2	緒方 英明		情報科学ⅡB（生命）	
	535482	コンピューターリテラシー	2	1		2		草部 浩一			
	535450	地球物質科学	2	2			2	萩谷 健治			
	981004	★自然災害と防災	2	2			2	平井	HAT神戸開講	地震津波と防災・減災	
	983005	減災復興政策概論	2	2		2		青田	HAT神戸開講		
	982005	★防災教育と心のケア概論	2	3			2	阪本	HAT神戸開講	防災教育とリスクコミュニケーション	
	535481	計算機プログラミング	2	3			2	草部 浩一			
	535491	科学英語	1	4	物質科学科	2		和達 大樹 他	受講対象は、卒研配属者に限る。授業は、講座単位で実施する。		
	535501	〃	1	4	生命科学科	前期2又は後期2		緒方 英明 他			
	508812	生命科学特別講義	1	2		集中		玉田 太郎		随時開講	
	535440	天文学	2	2			2	伊藤 洋一			
	535443	天体観測	1	3		集中		本田・伊藤洋			
	534741	生態学と生物多様性の保全	2	3			2	佐川・出口			
	535560	英語科学問題演習	2	2			2	梅園 良彦			
	535570	グローバル・サイエンス	2	2			2	大内 幹雄			
535591	物質英語特別講義演習Ⅲ	1	2		集中		ゲーレ・梅園	随時開講			
535592	生命英語特別講義演習Ⅲ	1	2		集中		ゲーレ・梅園	随時開講			
F	536511	△生物学実験	1	1	I	3		水島 恒裕 他			
	536512	〃	1	1	II	3		〃			
	536513	〃	1	1	III	3		〃			
	536514	〃	1	1	IV	3		〃			
	536531	○物理学実験	1	2		3		小林 寿夫 他			
	536541	○化学実験	1	2		3		安川 智之 他			
	536551	○物質科学基礎実験Ⅰ	1	2	I	3		和達 大樹 他			
	536552	〃	1	2	II	3		〃			
	536553	〃	1	2	III	3		〃			
	536554	〃	1	2	IV	3		〃			
	536561	○物質科学基礎実験Ⅱ	1	2	I	3		三宅 由寛 他			
	536562	〃	1	2	II	3		〃			
	536563	〃	1	2	III	3		〃			
	536564	〃	1	2	IV	3		〃			
	536571	○生命科学基礎実験Ⅰ	1	2	I	3		梅園 良彦 他			
	536572	〃	1	2	II	3		〃			
	536573	〃	1	2	III	3		〃			
	536574	〃	1	2	IV	3		〃			
	536581	○生命科学基礎実験Ⅱ	1	2	I	3		〃			
	536582	〃	1	2	II	3		〃			
	536583	〃	1	2	III	3		〃			
536584	〃	1	2	IV	3		〃				
536521	地学実験	1	3		集中		後藤 忠徳 他				
物質科学科独自科目	536671	■物質科学実験Ⅰ	2	3		6		水戸 毅 他			
	536672	■物質科学実験Ⅱ 卒業研究	2 6	3 4		6 通年		〃 各指導教員			
生命科学科独自科目	536741	■生命科学実験Ⅰ	4	3		12		吉久 徹 他			
	536742	■生命科学実験Ⅱ 卒業研究	4 6	3 4		12 通年		久保 稔 他 各指導教員			

### 3 教職科目

入学年度、免許状の種類・教科により、履修科目や必要単位数が異なります。  
 教職科目の履修にあたっては、「3. 教職課程履修の手引」をよく読んでください。

(1) 令和6年度以降入学生

① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（令和4年度以降入学生）

必修 8単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		担当教員	備考
			中	高		前期	後期		
	日本国憲法 (S)	2			2	集中講義			姫路環境人間キャンパスから遠隔
	日本国憲法 (A)	2	2	2	1				「日本国憲法(A)」, 「日本国憲法(B)」, 「日本国憲法(C)」 「日本国憲法(D)」 「日本国憲法(S)」のいずれかを受講すること。
	日本国憲法 (B)	2			1				
	日本国憲法 (C)	2			1				
	日本国憲法 (D)	2			1				
	健康・スポーツ科学演習 1	1			1				
	健康・スポーツ科学演習 2	1	2	2	1				
	Reading and Discussion 1	1			1				授業コード、教員及び履修方法は、「1 全学共通科目」を参照すること。
	Reading and Discussion 2	1			1				
	Listening and Speaking 1	1			1				
	Listening and Speaking 2	1			1				
	Writing 1	1	2	2	1				
	Writing 2	1			1				
	TOEIC 総合 1	1			2				
	TOEIC 総合 2	1			2				
	データサイエンス入門	2	2	2	1				

② 教育の基礎的理解に関する科目等(令和6年度以降入学生)

必修 中一種免27単位 (注1)  
高一種免23単位

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990002	教育原論	2	2		2		1	集中講義		
990132	教職論	2	2		2		1	集中講義		
990022	教育制度論	2	2		2		2	集中講義		
990012	教育心理学	2	2		2		2	集中講義		
990602	特別支援教育論	1	1		1		2	集中講義	3年次までに履修すること	
990702	教育課程論	1	1		1		2	集中講義		
990092	道徳教育論	2	2			2	2	集中講義	高校は選択だが単位修得することが望ましい	
990802	総合的な学習の指導法	1	1		1		2	集中講義		
990902	特別活動論	1	1		1		2	集中講義	3年次までに履修すること	
990292	教育方法・通信技術活用論	2	2		2		2	集中講義	3年次までに履修すること	
990112	生徒指導論	2	2		2		3	集中講義		
990182	教育相談	2	2		2		2	集中講義		
990215	教育実習Ⅰ	3	—		3		4		中高両方の免許を取得する場合は、教育実習Ⅱを必修とする。	
990225	教育実習Ⅱ	5	5		—		4			
990192	教職実践演習	2	2		2		4	集中講義	教育実習を履修済みの学生対象	

(注1) 免許法上における最低必要単位数は、中一種27単位、高一種23単位であるが、**本学においては上記修得単位欄のとおり単位修得すること。**

なお、**最低必要単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。**

(注2) 教育実習は、前年度の4～5月頃に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続を行った者で、前年度末までに下記の履修許可条件を満たした者のみ履修を認める。

ア 卒業研究履修許可者であること。

イ 特別な事情がある場合を除いて、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」(H30年度以前入学生は「教職に関する科目」の必修単位のうち、3分の2以上の単位を修得していること)

ウ 「教科及び教科の指導法に関する科目(H30年度以前入学生は「教科に関する科目」)」の必修単位のうち、3分の2以上を修得していること。

エ 教科指導法Ⅰ・Ⅱ(数学・理科のうち免許を取得しようとする科目のもの)の単位を修得していること。

オ 中学校教員免許(数学・理科)取得希望者については、「介護等体験」の単位を取得していること。

## ③ 大学が独自に設定する科目(令和6年度入学生)

必修 中一種免 4単位 (注1)  
高一種免 12単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
990242	介護等体験(注2)	2	2		3	7日間		必修(中一種のみ) 高一種の単位としては認めない
990012	教育実践体験	2	2		2			令和6年入学生対象

(注1) 開講科目が中一種2単位、高一種2単位のみであるため、下記のとおり単位を修得すること。

中一種免 (4単位必修)	「 <u>教科及び教科の指導法に関する科目</u> 」又は「 <u>教育の基礎的理解に関する科目等</u> 」において、必修単位とは別に合計2単位以上修得すること。
高一種免 (12単位必修)	「 <u>道徳教育論</u> 」(選択)又は「 <u>教科及び教科の指導法に関する科目</u> 」若しくは「 <u>教育の基礎的理解に関する科目等</u> 」において、必修単位とは別に合計10単位以上修得すること。

(注2) 介護等体験は、前年度の12月に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続きを行い、2月に事前指導に出席した者のみ履修を認める。  
(詳細は、「3. 教職課程履修の手引(5)介護等体験についてを参照すること。)

## ④ 教科及び教科の指導法に関する科目(令和6年度入学生)

必修 中一種免 28単位  
高一種免 24単位

ただし、必修の単位(中一種免28単位、高一種24単位)とは別に「大学が独自に設定する科目」の単位を「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得しなければならない。

(上記 ③ 大学が独自に設定する科目 の(注1)を参照すること。)

## ア 物質科学科

## 数 学

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	
代数学	○線形代数学Ⅰ	2	
	線形代数学Ⅱ	2	
	代数構造	2	
幾何学	○幾何構造	2	
	相対論	2	
	数学演習Ⅰ	2	
	数学演習Ⅱ	2	
解析学	○微分積分学Ⅰ	2	
	微分積分学Ⅱ	2	
	位相解析	2	
	関数解析	2	
	応用解析	2	
	物理数学Ⅰ	2	
	物理数学Ⅰ演習	2	
	物理数学Ⅱ	2	
	物理数学Ⅱ演習	2	
確率論 統計学	○確率統計	2	
	統計力学Ⅰ	2	
	統計力学Ⅱ	2	
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2	
	情報科学ⅡA	2	
	情報科学ⅡB	2	
	計算機プログラミング	2	
	コンピューターリテラシー	1	

免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990067	数学科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990068	数学科指導法Ⅱ	2	2		2		3		2	
990069	数学科指導法Ⅲ	2	2			2	3	2		
990070	数学科指導法Ⅳ	2	2			2	4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## ア 物質科学科 理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	
	○基礎物理学ⅠB	2	
	力学A	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	力学B	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
	電磁気学B	2	
	量子力学Ⅱ	2	
	量子力学演習	2	
	物性論Ⅰ	2	
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2	
	物性論演習	2	
分光学Ⅰ	2		
物性論Ⅲ	2		
化学	○有機化学Ⅰ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅲ	2	
	物理化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅳ	2	
	物理化学Ⅲ	2	
	無機化学Ⅱ	2	
	無機化学Ⅲ	2	
	有機構造化学	2	
	物理化学演習Ⅱ	2	
	量子化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
分析化学Ⅱ	2		

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	
化学	機能性物質学	2	
	有機反応論	2	
生物学	○細胞生物学 1	2	
	○細胞生物学 2	2	
	生物物理学 1	2	
	細胞生物学 3	2	
地学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
物理学実験、化学実験 生物学実験、地学実験	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験 I	1	
	物質科学実験 I	2	
	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験 II	1	
	物質科学実験 II	2	
	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験 I	1	
	生命科学基礎実験 II	1	
	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
			必：選 修：択	必：選 修：択				
990077	理科指導法 I	2	2	2	3	2		
990078	理科指導法 II	2	2	2	3	2		
990079	理科指導法 III	2	2	2	3		2	
990080	理科指導法 IV	2	2	2	4	集中講義		

(注1)○印は、免許状を取得する場合の必修科目（「基礎物理学 I A」及び「基礎物理学 I B」、「基礎物理学 II A」及び「基礎物理学 II B」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。）。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3)各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科について I から順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法 III、IV は、中一種免のみ必修

イ 生命科学科

(令和6年度入学生)

理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	
	○基礎物理学ⅠB	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
	化 学	○有機化学Ⅰ	2
有機化学Ⅱ		2	
○無機化学Ⅰ		2	
分析化学Ⅰ		2	
生物化学4		2	
無機化学Ⅱ		2	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	分子生物学1	2	
	分子生物学2	2	
	分子生物学3	2	
	分子生物学4	2	
	分子生物学5	2	
	構造生物学1	2	
	構造生物学2	2	
	細胞生物学3	2	
	細胞生物学4	2	
	細胞生物学5	2	
	細胞生物学6	2	
	神経生物学1	2	
	神経生物学2	2	
	生命科学演習1	2	
	生命科学演習2	2	
	生命科学演習3	2	
	生物化学2	2	
	生物化学5	2	
	生物化学6	2	
	生物物理学1	2	
	生物物理学2	2	
	微生物学	2	
	発生生物学1	2	
	発生生物学2	2	
	発生生物学3	2	
	生態学Ⅰ	2	
	生態学Ⅱ	2	
	形態学Ⅰ	2	
	形態学Ⅱ	2	

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	
地 学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
	地震津波と防災・減災	2	
物理学実験、化学実験 生物学実験、地学実験	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
	生命科学実験Ⅰ	4	
	生命科学実験Ⅱ	4	
	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
			必 修	選 択				
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		3	2		
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2		3		2	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2		4	集中講義		

(注1)○印は、免許状を取得する場合の必修科目（「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。）。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## (2) 令和4・5年度入学生

## ① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（令和4年度以降入学生）

## 必修 8単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
	日本国憲法（S）	2			2	集中講義		姫路環境人間キャンパスから遠隔
	日本国憲法（A）	2	2	2	1			「日本国憲法(A)」、「日本国憲法(B)」、「日本国憲法(C)」、「日本国憲法(D)」、「日本国憲法(S)」のいずれかを受講すること。
	日本国憲法（B）	2			1			
	日本国憲法（C）	2			1			
	日本国憲法（D）	2			1			
	健康・スポーツ科学演習1	1			1			
	健康・スポーツ科学演習2	1	2	2	1			
	Reading and Discussion 1	1			1			授業コード、教員及び履修方法は、「1 全学共通科目」を参照すること。
	Reading and Discussion 2	1			1			
	Listening and Speaking 1	1			1			
	Listening and Speaking 2	1			1			
	Writing 1	1	2	2	1			
	Writing 2	1			1			
	TOEIC 総合1	1			2			
	TOEIC 総合2	1			2			
	データサイエンス入門	2	2	2	1			

## ② 教育の基礎的理解に関する科目等(令和3年度以降入学生)

必修 中一種免27単位 (注1)  
高一種免23単位

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990002	教育原論	2	2		2		集中講義			
990132	教職論	2	2		2	1	集中講義			
990022	教育制度論	2	2		2		集中講義			
990012	教育心理学	2	2		2		2			
990602	特別支援教育論	1	1		1	2	集中講義			
990702	教育課程論	1	1		1	2	集中講義			
990092	道徳教育論	2	2		2		集中講義			
990802	総合的な学習の指導法	1	1		1	2	集中講義			
990902	特別活動論	1	1		1	2	集中講義			
990292	教育方法・通信技術 活用論	2	2		2	2	集中講義			
990112	生徒指導論	2	2		2	3	集中講義			
990182	教育相談	2	2		2	2	集中講義			
990215	教育実習Ⅰ	3	—		3	4			中高両方の免許を取得する場合は、教育実習Ⅱを必修とする。	
990225	教育実習Ⅱ	5	5		—	4				
990192	教職実践演習	2	2		2	4	集中講義	教育実習を履修済みの学生対象		

(注1) 免許法上における最低必要単位数は、中一種27単位、高一種23単位であるが、**本学においては上記修得単位欄のとおり単位修得すること。**

なお、最低必要単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

(注2) 教育実習は、前年度の4～5月頃に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続を行った者で、前年度末までに下記の履修許可条件を満たした者のみ履修を認める。

ア 卒業研究履修許可者であること。

イ 教育原論、教育心理学、生徒指導論、数学科又は理科指導法Ⅰ・Ⅱを含む12単位以上を修得していること。

ウ 「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」の必修単位数のうち3分の2以上の単位を修得していること。

## ③ 大学が独自に設定する科目(2019年度(平成31年度以降入学生))

必修 中一種免 4単位  
高一種免 12単位 (注1)

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
990242	介護等体験 (注2)	2	2		3	7日間		必修(中一種のみ) 高1種の単位としては認めない

(注1) 開講科目が中一種2単位、高一種2単位のみであるため、下記のとおり単位を修得すること。

中一種免 (4単位必修)	「 <u>教科及び教科の指導法に関する科目</u> 」又は「 <u>教育の基礎的理解に関する科目等</u> 」において、 <u>必修単位とは別に合計2単位以上</u> 修得すること。
高一種免 (12単位必修)	「 <u>道徳教育論</u> 」(選択)又は「 <u>教科及び教科の指導法に関する科目</u> 」若しくは「 <u>教育の基礎的理解に関する科目等</u> 」において、 <u>必修単位とは別に合計10単位以上</u> 修得すること。

(注2) 介護等体験は、前年度の12月に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続きを行い、2月に事前指導に出席した者のみ履修を認める。

(詳細は、「3. 教職課程履修の手引(5)介護等体験についてを参照すること。)

## ④ 教科及び教科の指導法に関する科目(令和4年度入学生)

必修 中一種免 28単位  
高一種免 24単位

ただし、必修の単位(中一種免28単位、高一種24単位)とは別に「大学が独自に設定する科目」の単位を「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得しなければならない。

(上記 ③ 大学が独自に設定する科目 の(注1)を参照すること。)

## ア 物質科学科

## 数 学

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
代数学	○線形代数学Ⅰ	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	線形代数学Ⅱ	2	
	代数構造	2	
幾何学	○幾何構造	2	
	相対論	2	
	数学演習Ⅰ	2	
	数学演習Ⅱ	2	
解析学	○微分積分学Ⅰ	2	
	微分積分学Ⅱ	2	
	位相解析	2	
	関数解析	2	
	応用解析	2	
	物理数学Ⅰ	2	
	物理数学Ⅰ演習	2	
	物理数学Ⅱ	2	
	物理数学Ⅱ演習	2	
確率論 統計学	○確率統計	2	
	統計力学Ⅰ	2	
	統計力学Ⅱ	2	
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2	
	情報科学ⅡA	2	
	情報科学ⅡB	2	
	計算機プログラミング	2	
	コンピューターリテラシー	2	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990067	数学科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990068	数学科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990069	数学科指導法Ⅲ	2	2		2		3		2	
990070	数学科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## ア 物質科学科

## 理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○基礎物理学ⅠB	2	
	力学A	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	力学B	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
	電磁気学B	2	
	量子力学Ⅱ	2	
	量子力学演習	2	
	物性論Ⅰ	2	
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2	
	物性論演習	2	
分光学Ⅰ	2		
物性論Ⅲ	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
	物質科学実験Ⅰ	2	
化学	○有機化学Ⅰ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅲ	2	
	物理化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅳ	2	
	物理化学Ⅲ	2	
	無機化学Ⅱ	2	
	無機化学Ⅲ	2	
	有機構造化学	2	
	物理化学演習Ⅱ	2	
	量子化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
分析化学Ⅱ	2		

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
化学	機能性物質学	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	有機反応論	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
	物質科学実験Ⅱ	2	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	生物物理学1	2	
	細胞生物学3	2	
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
地学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2			2	3		2	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2			2	4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。)

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## イ 生命科学科

(令和4・5年度入学生)

## 理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備 考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○基礎物理学ⅠB	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
化 学	○有機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
	生物化学4	2	
	無機化学Ⅱ	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	分子生物学1	2	
	分子生物学2	2	
	分子生物学3	2	
	分子生物学4	2	
	分子生物学5	2	
	構造生物学1	2	
	構造生物学2	2	
	細胞生物学3	2	
	細胞生物学4	2	
	細胞生物学5	2	
	細胞生物学6	2	
	神経生物学1	2	
	神経生物学2	2	
	生命科学演習1	2	
	生命科学演習2	2	
	生命科学演習3	2	
	生物化学2	2	
	生物化学5	2	
	生物化学6	2	
	生物物理学1	2	
	生物物理学2	2	
	微生物学	2	
	発生生物学1	2	
	発生生物学2	2	
	発生生物学3	2	
	生態学Ⅰ	2	
	生態学Ⅱ	2	
	形態学Ⅰ	2	
	形態学Ⅱ	2	
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
	生命科学実験Ⅰ	4	
	生命科学実験Ⅱ	4	

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
地 学	○地球惑星科学	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
	自然災害と防災	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		担当教員	備考
			中		高			前期	後期		
			必修	選択	必修	選択					
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		工 義尚	
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		天野 智博	
990079	理科指導法Ⅲ	2	2			2	3		2	平松 紳一	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2				4	集中講義		天野 智博	

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目（「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。）。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

(3) 令和3年度入学生

入学年度、免許状の種類・教科により、履修科目や必要単位数が異なります。  
 教職科目の履修にあたっては、「3. 教職課程履修の手引」をよく読んでください。

① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (平成29年度～令和3年度入学生)

必修 8単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		担当教員	備考
			中	高		前期	後期		
	日本国憲法 (S)	2			2	集中講義			姫路環境人間キャンパスから遠隔
	日本国憲法 (A)	2	2	2	1				「日本国憲法(A)」, 「日本国憲法(B)」, 「日本国憲法(C)」 「日本国憲法(D)」 「日本国憲法(S)」のいずれかを受講すること。
	日本国憲法 (B)	2			1				
	日本国憲法 (C)	2			1				
	日本国憲法 (D)	2			1				
	健康・スポーツ科学演習 1	1			1				
	健康・スポーツ科学演習 2	1	2	2	1				
	Reading and Discussion 1	1			1				授業コード、教員及び履修方法は、「1 全学共通科目」を参照すること。
	Reading and Discussion 2	1			1				
	Listening and Speaking 1	1			1				
	Listening and Speaking 2	1			1				
	Writing 1	1	2	2	1				
	Writing 2	1			1				
	TOEIC 総合 1	1			2				
	TOEIC 総合 2	1			2				
	情報処理基礎	2	2	2	1				

## ② 教育の基礎的理解に関する科目等 (令和3年度以降入学生)

必修 中一種免27単位 (注1)  
高一種免23単位

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990002	教育原論	2	2		2		集中講義			
990132	教職論	2	2		2	1	集中講義			
990022	教育制度論	2	2		2		集中講義			
990012	教育心理学	2	2		2		2			
990602	特別支援教育論	1	1		1	2	集中講義			
990702	教育課程論	1	1		1	2	集中講義			
990092	道徳教育論	2	2		2	2	集中講義			
990802	総合的な学習の指導法	1	1		1	2	集中講義			
990902	特別活動論	1	1		1	2	集中講義			
990292	教育方法・通信技術 活用論	2	2		2	2	集中講義			
990112	生徒指導論	2	2		2	3	集中講義			
990182	教育相談	2	2		2	2	集中講義			
990215	教育実習Ⅰ	3	—		3	4			中高両方の免許を取得する場合は、教育実習Ⅱを必修とする。	
990225	教育実習Ⅱ	5	5		—	4				
990192	教職実践演習	2	2		2	4	集中講義	教育実習を履修済みの学生対象		

(注1) 免許法上における最低必要単位数は、中一種27単位、高一種23単位であるが、**本学においては上記修得単位欄のとおり単位修得すること。**

なお、最低必要単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

(注2) 教育実習は、前年度の4～5月頃に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続を行った者で、前年度末までに下記の履修許可条件を満たした者のみ履修を認める。

ア 卒業研究履修許可者であること。

イ 教育原論、教育心理学、生徒指導論、数学科又は理科指導法Ⅰ・Ⅱを含む12単位以上を修得していること。

ウ 「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」の必修単位数のうち3分の2以上の単位を修得していること。

## ③ 大学が独自に設定する科目 (2019年度(平成31年度)以降入学生)

必修 中一種免 4単位  
高一種免 12単位 (注1)

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
990242	介護等体験 (注2)	2	2		3	7日間		必修(中一種のみ) 高一種の単位としては認めない

(注1) 開講科目が中一種2単位、高一種2単位のみであるため、下記のとおり単位を修得すること。

中一種免 (4単位必修)	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」において、必修単位とは別に合計2単位以上修得すること。
高一種免 (12単位必修)	「道徳教育論」(選択)又は「教科及び教科の指導法に関する科目」若しくは「教育の基礎的理解に関する科目等」において、必修単位とは別に合計10単位以上修得すること。

(注2) 介護等体験は、前年度の12月に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続きを行い、2月に事前指導に出席した者のみ履修を認める。

(詳細は、「3. 教職課程履修の手引(5)介護等体験についてを参照すること。)

## ④ 教科及び教科の指導法に関する科目 (2019年度(平成31年度)～令和3年度入学生)

必修 中一種免 28単位  
高一種免 24単位

ただし、必修の単位(中一種免28単位、高一種24単位)とは別に「大学が独自に設定する科目」の単位を「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得しなければならない。

(上記 ③ 大学が独自に設定する科目 の(注1)を参照すること。)

## ア 物質科学科

## 数 学

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
代数学	○線形代数学Ⅰ	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	線形代数学Ⅱ	2	
	代数構造	2	
幾何学	○幾何構造	2	
	相対論	2	
	数学演習Ⅰ	2	
	数学演習Ⅱ	2	
解析学	○微分積分学Ⅰ	2	
	微分積分学Ⅱ	2	
	位相解析	2	
	関数解析	2	
	応用解析	2	
	物理数学Ⅰ	2	
	物理数学Ⅰ演習	2	
	物理数学Ⅱ	2	
物理数学Ⅱ演習	2		
確率論 統計学	○確率統計	2	
	統計力学Ⅰ	2	
	統計力学Ⅱ	2	
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2	
	情報科学Ⅱ	2	
	計算機プログラミング	2	
	コンピューターリテラシー	2	

免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990067	数学科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990068	数学科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990069	数学科指導法Ⅲ	2	2		2		3		2	
990070	数学科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		

(注1)○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## ア 物質科学科

## 理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○基礎物理学ⅠB	2	
	力学A	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	力学B	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
	電磁気学B	2	
	量子力学Ⅱ	2	
	量子力学演習	2	
	物性論Ⅰ	2	
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2	
	物性論演習	2	
分光学Ⅰ	2		
物性論Ⅲ	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
	物質科学実験Ⅰ	2	
化学	○有機化学Ⅰ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅲ	2	
	物理化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅳ	2	
	物理化学Ⅲ	2	
	無機化学Ⅱ	2	
	無機化学Ⅲ	2	
	有機構造化学	2	
	物理化学演習Ⅱ	2	
	量子化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
分析化学Ⅱ	2		

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
化学	機能性物質学	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	有機反応論	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
	物質科学実験Ⅱ	2	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	生物物理学1	2	
	細胞生物学3	2	
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
地学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2		2		3		2	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目（「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。）。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

イ 生命科学科

(令和3年度入学生)

理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備 考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○基礎物理学ⅠB	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
結晶学	2		
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
化 学	○有機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
	生物化学4	2	
	無機化学Ⅱ	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	分子生物学1	2	
	分子生物学2	2	
	分子生物学3	2	
	分子生物学4	2	
	分子生物学5	2	
	構造生物学1	2	
	構造生物学2	2	
	細胞生物学3	2	
	細胞生物学4	2	
	細胞生物学5	2	
	細胞生物学6	2	
	神経生物学1	2	
	神経生物学2	2	
	生命科学演習1	2	
	生命科学演習2	2	
	生命科学演習3	2	
	生物化学2	2	
	生物化学5	2	
	生物化学6	2	
	生物物理学1	2	
	生物物理学2	2	
	微生物学	2	
	発生生物学1	2	
	発生生物学2	2	
	発生生物学3	2	
	生態学Ⅰ	2	
	生態学Ⅱ	2	
	形態学Ⅰ	2	
	形態学Ⅱ	2	
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
	生命科学実験Ⅰ	4	
	生命科学実験Ⅱ	4	

(令和3年度入学生)

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
地 学	○地球惑星科学	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
	自然災害と防災	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2		2		3		2	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目（「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。）。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

(4)2019年度(平成31年度)・令和2年度入学生

入学年度、免許状の種類・教科により、履修科目や必要単位数が異なります。  
教職科目の履修にあたっては、「3. 教職課程履修の手引」をよく読んでください。

① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (平成29年度～令和3年度入学生)

必修 8単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		担当教員	備考
			中	高		前期	後期		
	日本国憲法 (S)	2			2	集中講義			姫路環境人間キャンパスから遠隔 「日本国憲法(A)」, 「日本国憲法(B)」, 「日本国憲法(C)」 「日本国憲法(D)」 「日本国憲法(S)」のいずれかを受講すること。
	日本国憲法 (A)	2	2	2	1				
	日本国憲法 (B)	2			1				
	日本国憲法 (C)	2			1				
	日本国憲法 (D)	2			1				
	健康・スポーツ科学演習 1	1	2	2	1				授業コード、教員及び履修方法は、「1 全学共通科目」を参照すること。
	健康・スポーツ科学演習 2	1			1				
	Reading and Discussion 1	1			1				
	Reading and Discussion 2	1			1				
	Listening and Speaking 1	1			1				
	Listening and Speaking 2	1			1				
	Writing 1	1	2	2	1				
	Writing 2	1			1				
	TOEIC 総合 1	1			2				
	TOEIC 総合 2	1			2				
	情報処理基礎	2	2	2	1				

## ② 教育の基礎的理解に関する科目等

必修 中一種免27単位 (注1)  
高一種免23単位

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990002	教育原論	2	2		2		集中講義			
990132	教職論	2	2		2	1	集中講義			
990022	教育制度論	2	2		2		集中講義			
990012	教育心理学	2	2		2	2				
990602	特別支援教育論	1	1		1	2	集中講義			
990702	教育課程論	1	1		1	2	集中講義			
990092	道德教育論	2	2		2	2	集中講義			
990802	総合的な学習の指導法	1	1		1	2	集中講義			
990902	特別活動論	1	1		1	2	集中講義			
990052	教育方法・技術論	2	2		2	2	集中講義			
990112	生徒指導論	2	2		2	3	集中講義			
990182	教育相談	2	2		2	2	集中講義			
990215	教育実習Ⅰ	3	—		3	4			中高両方の免許を取得する場合は、教育実習Ⅱを必修とする。	
990225	教育実習Ⅱ	5	5		—	4				
990192	教職実践演習	2	2		2	4	集中講義		教育実習を履修済みの学生対象	

(注1) 免許法上における最低必要単位数は、中一種27単位、高一種23単位であるが、**本学においては上記修得単位欄のとおり単位修得すること。**

なお、最低必要単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

(注2) 教育実習は、前年度の4～5月頃に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続を行った者で、前年度末までに下記の履修許可条件を満たした者のみ履修を認める。

ア 卒業研究履修許可者であること。

イ 教育原論、教育心理学、生徒指導論、数学科又は理科指導法Ⅰ・Ⅱを含む12単位以上を修得していること。

ウ 「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「大学が独自に設定する科目」の必修単位数のうち3分の2以上の単位を修得していること。

## ③ 大学が独自に設定する科目

必修 中一種免 4単位 (注1)  
高一種免 12単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		担当教員	備考
			中	高		前期	後期		
990242	介護等体験 (注2)	2	2		3	7日間			必修(中一種のみ) 高1種の単位としては認めない

(注1) 開講科目が中一種2単位、高一種2単位のみであるため、下記のとおり単位を修得すること。

中一種免 (4単位必修)	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」において、必修単位とは別に合計2単位以上修得すること。
高一種免 (12単位必修)	「道徳教育論」(選択)又は「教科及び教科の指導法に関する科目」若しくは「教育の基礎的理解に関する科目等」において、必修単位とは別に合計10単位以上修得すること。

(注2) 介護等体験は、前年度の12月に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続きを行い、2月に事前指導に出席した者のみ履修を認める。

(詳細は、「3. 教職課程履修の手引(5)介護等体験についてを参照すること。)

## ④ 教科及び教科の指導法に関する科目

必修 中一種免 28単位  
高一種免 24単位

ただし、必修の単位(中一種免28単位、高一種免24単位)とは別に「大学が独自に設定する科目」の単位を「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得しなければならない。

(上記 ③ 大学が独自に設定する科目 の(注1)を参照すること。)

## ア 物質科学科

## 数 学

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
代数学	○線形代数学Ⅰ	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	線形代数学Ⅱ	2	
	代数構造	2	
幾何学	○幾何構造	2	
	相対論	2	
	数学演習Ⅰ	2	
	数学演習Ⅱ	2	
		2	
解析学	○微分積分学Ⅰ	2	
	微分積分学Ⅱ	2	
	位相解析	2	
	関数解析	2	
	応用解析	2	
	物理数学Ⅰ	2	
	物理数学Ⅰ演習	2	
	物理数学Ⅱ	2	
物理数学Ⅱ演習	2		
確率論 統計学	○確率統計	2	
	統計力学Ⅰ	2	
	統計力学Ⅱ	2	
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2	
	情報科学Ⅱ	2	
	計算機プログラミング	2	
	コンピューターリテラシー	2	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990067	数学科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990068	数学科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990069	数学科指導法Ⅲ	2	2		2		3		2	
990070	数学科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## ア 物質科学科

## 理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○基礎物理学ⅠB	2	
	力学A	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	力学B	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
	電磁気学B	2	
	量子力学Ⅱ	2	
	量子力学演習	2	
	物性論Ⅰ	2	
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2	
	物性論演習	2	
分光学Ⅰ	2		
物性論Ⅲ	2		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
	物質科学実験Ⅰ	2	
化 学	○有機化学Ⅰ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅲ	2	
	物理化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅳ	2	
	物理化学Ⅲ	2	
	無機化学Ⅱ	2	
	無機化学Ⅲ	2	
	有機構造化学	2	
	物理化学演習Ⅱ	2	
	量子化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
分析化学Ⅱ	2		

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
化学	機能性物質学	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	有機反応論	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
	物質科学実験Ⅱ	2	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	生物物理学1	2	
	細胞生物学3	2	
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
地学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2			2	3		2	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2			2	4	集中講義		

(注1)○印は、免許状を取得する場合の必修科目(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。)

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

イ 生命科学科  
理 科

(2019年度(平成31年度)・令和2年度入学生)

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備 考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○基礎物理学ⅠB	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
化 学	○有機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
	生物化学4	2	
	無機化学Ⅱ	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	分子生物学1	2	
	分子生物学2	2	
	分子生物学3	2	
	分子生物学4	2	
	分子生物学5	2	
	構造生物学1	2	
	構造生物学2	2	
	細胞生物学3	2	
	細胞生物学4	2	
	細胞生物学5	2	
	細胞生物学6	2	
	神経生物学1	2	
	神経生物学2	2	
	生命科学演習1	2	
	生命科学演習2	2	
	生命科学演習3	2	
	生物化学2	2	
	生物化学5	2	
	生物化学6	2	
	生物物理学1	2	
	生物物理学2	2	
	微生物学	2	
	発生生物学1	2	
	発生生物学2	2	
	発生生物学3	2	
	生態学Ⅰ	2	
	生態学Ⅱ	2	
	形態学Ⅰ	2	
形態学Ⅱ	2		
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
	生命科学実験Ⅰ	4	
	生命科学実験Ⅱ	4	

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
地学	○地球惑星科学	2	授業コード、配当年次、教員及び履修方法等は、「2 専門科目」を参照すること。
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
	自然災害と防災	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

## 免許法施行規則に定める科目区分

各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2		
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2		2		3		2	
990080	理科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目（「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。）。

(注2) 最低取得単位を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入できる。

(注3) 各教科の指導法の科目については、免許取得希望教科についてⅠから順に単位を修得すること。

(注4) 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## (5)平成30年度入学生

入学年度、免許状の種類・教科により、履修科目や必要単位数が異なります。  
教職科目の履修にあたっては、「3. 教職課程履修の手引」をよく読んでください。

## ① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (平成29年度以降入学生)

## 必修 8単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		担当教員	備考
			中	高		前期	後期		
	日本国憲法 (S)	2			2	集中講義			姫路環境人間キャンパスから遠隔 「日本国憲法(A)」,「日本国憲法(B)」,「日本国憲法(C)」,「日本国憲法(D)」,「日本国憲法(S)」のいずれかを受講すること。
	日本国憲法 (A)	2	2	2	1				
	日本国憲法 (B)	2			1				
	日本国憲法 (C)	2			1				
	日本国憲法 (D)	2			1				
	健康・スポーツ科学演習 1	1			1				授業コード、教員及び履修方法は、「1 全学共通科目」を参照すること。
	健康・スポーツ科学演習 2	1	2	2	1				
	Reading and Discussion 1	1			1				
	Reading and Discussion 2	1			1				
	Listening and Speaking 1	1			1				
	Listening and Speaking 2	1			1				
	Writing 1	1	2	2	1				
	Writing 2	1			1				
	TOEIC 総合 1	1			2				
	TOEIC 総合 2	1			2				
	情報処理基礎	2	2	2	1				

## ② 教職に関する科目

必修 中一種免31単位 (注1)  
高一種免23単位

授業コード	授業科目	単位	修得単位				配当年次	週時間数		備考
			中		高			前期	後期	
			必修	選択	必修	選択				
990132	教職論	2	2		2		1	集中講義		
990002	教育原論	2	2		2		2	集中講義		
990012	教育心理学	2	2		2		2			
990022	教育制度論	2	2		2		2	集中講義		
990152	教育課程論 (特別活動を含む)	2	2		2		2	集中講義		
990092	道徳教育論	2	2		2		2	集中講義		
990052	教育方法・技術論	2	2		2		2	集中講義		
990067	数学科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2	免許取得希望教科について <u>Ⅰから順に単位を修得すること。</u>  数学科指導法Ⅳは 姫路工学キャンパスで開講	
990068	数学科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990069	数学科指導法Ⅲ	2	2		2		3	2		
990070	数学科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		
990077	理科指導法Ⅰ	2	2		2		3	2	中一種のⅣ、高一種のⅢ・Ⅳは指導力向上のため、なるべく履修すること。	
990078	理科指導法Ⅱ	2	2		2		3	2		
990079	理科指導法Ⅲ	2	2		2		3	2		
990080	理科指導法Ⅳ	2	2		2		4	集中講義		
990112	生徒指導論	2	2		2		3	集中講義		
990182	教育相談	2	2		2		2	集中講義		
990215	教育実習Ⅰ	3	—	3			4		中高両方の免許を取得する場合は、教育実習Ⅱを必修とする。	
990225	教育実習Ⅱ									5
990192	教職実践演習	2	2		2		4	集中講義	教育実習を履修済みの学生対象	

(注1) 免許法上における最低必要単位数は、中一種31単位、高一種23単位であるが、**本学においては上記修得単位欄のとおり単位修得すること。**

なお、**最低必要単位数を超えて修得した単位数については、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入することができる(ただし数学科指導法の単位を理科、理科指導法の単位を数学の単位として算入することはできない。)**。

(注2) 教育実習は、前年度の4月に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続を行った者で、前年度末までに下記の履修許可条件を満たした者のみ履修を認める。

ア 卒業研究履修許可者であること。

イ 教育原論、教育心理学、生徒指導論、数学科又は理科指導法Ⅰ・Ⅱを含む12単位以上を修得していること。

ウ 「教科に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の必修単位数のうち3分の2以上の単位を修得していること。

## ③ 教科又は教職に関する科目

必修 中一種免 8単位 (注1)  
高一種免 16単位

授業コード	授業科目	単位	必修単位		配当年次	週時間数		備考
			中	高		前期	後期	
990092	介護等体験 (注2)	2	2		3	7日間		必修(中一種のみ) 高1種の単位としては認めない 高一種のみ
	道徳教育論	2			2	集中講義		

(注1) 開講科目が中一種2単位、高一種2単位のみであるため、下記のとおり単位を修得すること。

中一種免 (8単位必修)	「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」において、必修単位とは別に合計6単位以上修得すること。
高一種免 (16単位必修)	「道徳教育論」(選択)又は「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」において、必修単位とは別に合計16単位以上修得すること。

(注2) 介護等体験は、前年度の12月に実施する説明会に参加し、学務課に申込み手続きを行い、2月に事前指導に出席した者のみ履修を認める。

(詳細は、「3. 教職課程履修の手引(5)介護等体験についてを参照すること。)

## ④ 教科に関する科目

必修 数学 20単位

理科 20単位

ただし、必修の20単位とは別に「教科又は教職に関する科目」の単位を「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から修得しなければならない。

(上記 ③ 教科又は教職に関する科目 の(注1)を参照すること。)

## ア 物質科学科

## 数 学

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位
代数学	○線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	代数構造	2
幾何学	○幾何構造	2
	相対論	2
	数学演習Ⅰ	2
	数学演習Ⅱ	2
解析学	○微分積分学Ⅰ	2
	微分積分学Ⅱ	2
	位相解析	2
	関数解析	2
	応用解析	2
	物理数学Ⅰ	2
	物理数学Ⅰ演習	2
	物理数学Ⅱ	2
物理数学Ⅱ演習	2	
確率論 統計学	○確率統計	2
	統計力学Ⅰ	2
	統計力学Ⅱ	2
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2
	情報科学Ⅱ	2
	計算機プログラミング	2
	コンピューターリテラシー	2

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(注2) 20単位を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入できる。

(平成30年度入学生)

## 理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	
	○基礎物理学ⅠB	2	
	力学A	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	力学B	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
	電磁気学B	2	
	量子力学Ⅱ	2	
	量子力学演習	2	
	物性論Ⅰ	2	
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2	
	物性論演習	2	
分光学Ⅰ	2		
物性論Ⅲ	2		
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
	物質科学実験Ⅰ	2	
化 学	○有機化学Ⅰ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅲ	2	
	物理化学Ⅱ	2	
	有機化学Ⅳ	2	
	物理化学Ⅲ	2	
	無機化学Ⅱ	2	
	無機化学Ⅲ	2	
	有機構造化学	2	
	物理化学演習Ⅱ	2	
	量子化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅱ	2	
	機能性物質学	2	
有機反応論	2		
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
	物質科学実験Ⅱ	2	
生物学	○細胞生物学Ⅰ	2	
	○細胞生物学Ⅱ	2	
	生物物理学Ⅰ	2	
	細胞生物学Ⅲ	2	
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
地 学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。)

(注2) 20単位を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入できる。

(平成30年度入学生)

イ 生命科学科  
理 科

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	
	○基礎物理学ⅠB	2	
	波動論	2	
	○基礎物理学ⅡA	2	
	○基礎物理学ⅡB	2	
	電磁気学A	2	
	電磁気学演習	2	
	量子力学Ⅰ	2	
	結晶学	2	
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅰ	1	
化 学	○有機化学Ⅰ	2	
	有機化学Ⅱ	2	
	○無機化学Ⅰ	2	
	分析化学Ⅰ	2	
	生物化学4	2	
	無機化学Ⅱ	2	
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	
	物質科学基礎実験Ⅱ	1	
生物学	○細胞生物学1	2	
	○細胞生物学2	2	
	分子生物学1	2	
	分子生物学2	2	
	分子生物学3	2	
	分子生物学4	2	
	分子生物学5	2	
	構造生物学1	2	
	構造生物学2	2	
	細胞生物学3	2	
	細胞生物学4	2	
	細胞生物学5	2	
	細胞生物学6	2	
	神経生物学1	2	
	神経生物学2	2	
	生命科学演習1	2	
	生命科学演習2	2	
	生命科学演習3	2	
	生物化学2	2	
	生物化学5	2	
	生物化学6	2	
	生物物理学1	2	
	生物物理学2	2	
	微生物学	2	
	発生生物学1	2	
	発生生物学2	2	
	発生生物学3	2	
	生態学Ⅰ	2	
	生態学Ⅱ	2	
	形態学Ⅰ	2	
	形態学Ⅱ	2	

(平成30年度入学生)

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位	備考
生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1	
	生命科学基礎実験Ⅰ	1	
	生命科学基礎実験Ⅱ	1	
	生命科学実験Ⅰ	4	
	生命科学実験Ⅱ	4	
地学	○地球惑星科学	2	
	○地球物質科学	2	
	天文学	2	
	自然災害と防災	2	
地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1	

(注1) ○印は、免許状を取得する場合の必修科目(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択のうえ履修すること。)

(注2) 20単位を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入できる。



## 第3章 専門科目に関するガイダンス



## 1. 理学部の特色

近年における日本の工業の発展はめざましく、自動車や電気製品などを筆頭に世界の市場で高く評価されています。しかし、これからの新技術を産み出す基礎科学の振興という点については、いまだ充分でないことが内外より指摘されています。私たちの理学部は、このような時代を背景として、科学技術立県を目指す兵庫県によって設立され、次のような特色を持っています。

### 基礎的 . . . . .

私たちが目にする自然—物質や生命の姿は、複雑です。その成り立ちや動きを理解することは、とても困難のように思えます。しかし、それらを支配している基本的な原理は非常に簡単なものなのです。一例を挙げれば、物体の運動は、ニュートンの運動方程式を基礎として理解することができます。

そのように、物質や生命の世界の基本的なことを広く学び、その中からそれらを支配する原理を理解することを目指します。

### 学際的 . . . . .

高校で皆さんが学んだ自然科学は、数学、物理、化学、生物、地学という分類に従ったものでした。もちろんこのような分野は、伝統があり、それぞれの学問体系が確立しています。しかし、最近における科学の発展の特徴は、これらの分野の境目のところにおいてめざましいということ、また、異なる分野の研究対象や研究方法が用いられるといったことにあります。このように、境界領域や複合領域に着目しようということを学際的と表現しています。

### 国際的 . . . . .

交通や通信手段の発達によって、世界は小さくなりました。あらゆるものが国際的な競争の場にさらされるということです。研究や教育も例外ではありません。外国の大学が日本に進出しています。大学教育は、肩書でなく、中身であるという考え方がさらに強まっていく時代です。国際的に通用する研究ができる人材を送り出すことをめざします。

## 2. 学科の概要

### (1) 物質科学科

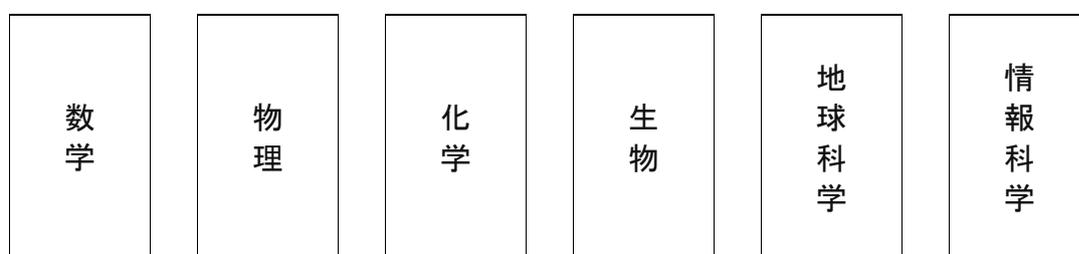
私たちの身の回りにおいて、生活を豊かにしてくれる物質は、それぞれ特徴のある組成や構造を持っているから、有用な性質を示すのです。エレクトロニクスや新素材といった先端技術の基礎にある物質の原子的、分子的構造に立脚して、その物質の示す性質、物性がどう発現するかを理解し、また、そのような物質を作り出すことを学びます。

### (2) 生命科学科

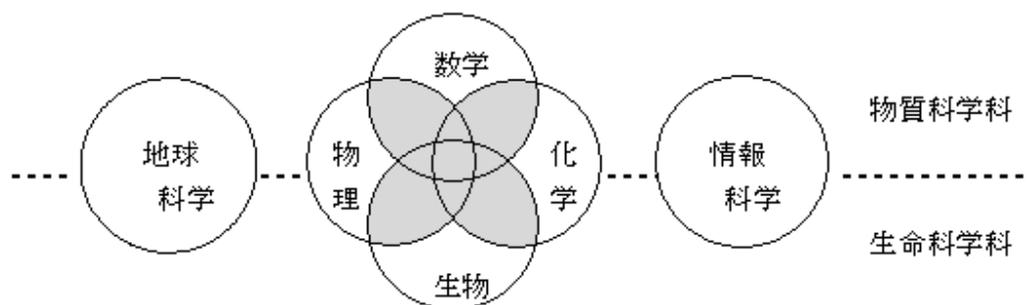
生物にはいろいろな種類がありますが、それらを構成している最も基本的な単位が細胞であるという共通性をもっています。また、細胞を構成しているのは、たくさんの種類の原子、分子です。生命も、物質と同様に、原子、分子から成り立っているのです。物質を支配する基本的な原理を理解し、その上に立って分子レベル、細胞レベルの生命現象に迫ることについて学びます。

### 3. 各学科に置くコースのめざすところ

学際的な研究と教育をめざす本学部は、狭い専門分野に限った学科を作らず、物質科学、生命科学を2本の柱とした学科を作りました。すなわち、従来の学科構成ですと、図Aのように数学、物理、化学、生物及び地球科学、情報科学がそれぞれ独立に運営されています。当理学部では、図Bのように4つの分野が融合し、それを二つに分けたもので、相互間に密接な関係があります。このため、従来の学科ですとそれぞれが2学科、3学科に相当する規模になっています。あえて対応をつけるとすれば、物質科学科は物理学科と化学科の内容に相当し、生命科学科は生物学科に生物物理学や生物化学が付け加わった内容になっています。



図A 従来の学科構成



図B 当学部の学科構成

このように幅広い分野にわたって多くの授業科目が開講され、実験を除くほとんどの科目が選択であることから、どの科目を履修すればよいか戸惑うことがあるかもしれません。そこで、各学科に3つのコースを置き、その目指すことと、そのために履修すべき授業科目を履修モデルとして標準科目と推奨科目として示しました。これに沿って履修すれば系統的な学修が可能になります。しかし、1年次及び

2年次前半は、どのコースをとっても、大差がないようにしてあります。ですから、自分の志望や適性を考えて、どのコースが一番合っているかを見つけ、そのコースの授業科目を履修しながら、2年次後半までに志望を明確にし、以後はそのコースに沿った履修をしてください。

2年次後半及び3年次の科目は、各コースにとって極めて重要で、各講座に配属されて行う卒業研究の基礎となります。

## (1) 物質科学科

### ① 物性基礎コース

物質の持つ諸物性を電子・原子レベルで理解し、新しい物性の探索を理論的・実験的に追求する方法を修得することを目指します。

### ② 物性コース

物質の持つ諸物性を電子・原子レベルで理解し、実験的に解明する手法を修得することを目指します。

### ③ 物質コース

物質の持つ諸物性を電子・原子レベルで理解し、物質を作り出す手法を修得することを目指します。

## (2) 生命科学科

### ① 生体物性コース

生命現象を分子レベルにおいて、主として物理化学的手法によって解明することを学びます。

### ② 生体分子コース

生命現象を分子レベルにおいて、主として化学的な手法によって解明することを学びます。

### ③ 細胞コース

生命現象を分子レベルにおいて、主として細胞生理学的な手法によって解明することを学びます。

## 4. 各コースにおける標準的な履修モデル

本理学部の特徴を最大限に発揮すべく、「必修科目」を必要最低限に抑え、多くを「選択科目」としてしています。必修科目には以下に記した全学共通科目と実験科目があります。

### ●全学共通科目（4科目）

- ・物質科学入門あるいは生命科学入門（1年前期）
- ・データサイエンス入門（令和3年度以前入学生は情報処理基礎）
- ・基礎ゼミナール（2年前期）
- ・英語科目（英語コア科目・6科目、Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2、から6単位選択必修）

### ●専門基礎・専門教育科目に含まれる実験科目

ただし、進級に必要な先修条件にかかわる「選択必修」の講義・演習科目もありますので、よく注意して履修してください。

1年次及び2年次前半で基礎的な科目を広く学ぶところから、諸君自身が自己の適性を見だし志望を明確に把握した後に、系統的な学修を進める上での指針として、6つのコースを用意しました。

両学科それぞれに3つの主要な目標を設定し、それを実現するために各年次において履修するのが必要と思われる科目を「標準科目」とし、これに加えて履修することが望ましい科目を「推奨科目」としました。

次の各コースにおける授業科目の設定の基礎になる考え方を述べます。

### （1）物質科学科

#### ① 物性基礎コース

原子・分子、およびその集合体としての物質の示す種々の性質の理解には、2年次から始まる量子力学、統計力学の素養が必須です。その数学的な基礎となる準備として、1年次には、微分積分学、線形代数学、数学演習の履修を勧めます。物理学の基礎としては基礎物理学があります。2年次以降では、専門科目の基礎となる力学、電磁気学、同演習、波動論の科目があります。とりわけ重要な量子力学、統計力学は、特に力を入れて履修してください。その数学的な面での理解を助けるため、応用解析や物理数学、同演習、確率統計が用意されています。物性論 I-III、分光学などは、これらの基礎に基づいて物性を理解しようと発展してきました。このような科目間の互いの関連性をよく理解し、体系的な履修に心掛けてください。この他にも各自の興味に合わせて化学、生命科学、地球科学や情報科学関連の科目についても適宜履修し、広い視野を養うことも大切です。

## ② 物性コース

物性を学ぶため武器となるのが2、3年次に履修する量子力学、統計力学であり、そのための数学的、物理学的な準備として1年次に履修する科目は、物性基礎コースのところで述べたのと同様です。2年次以降の物理数学、電磁気学の履修についても、同じように考えてください。物性コースの履修科目は、このような基礎の上に立って、現実には我々が目にする物質の性質を解明することを中心に選ばれています。物性論は、その全般的な理解を目指すものであり、その上に分光学等の科目を履修します。自然界に存在する物質の性質の学修に加えて、高真空、超高温、超低温、高圧力などの条件下で生成する新しい物質、人工的に初めて作られた超微粒子、薄膜、クラスターといった物質についても学修します。現在、これらの物質は、今まで知られていない物性を発現することが良く知られています。したがって、新しい物質、構造体を作り出すことに関連した無機化学、結晶学といった科目まで幅広く学ぶことも重要です。生物学、地球科学、情報科学関係の科目についても適宜履修し、視野を広げることを忘れないでください。

## ③ 物質コース

物質の性質や機能と組成や構造との関係を理解し、新しい物質を創り出す能力を身に付けることをめざします。一言で言えば、化学的に物質を研究したり合成したりすることを目的とします。物質の性質を理解するためには、物性基礎・物性コースと同様に量子力学、統計力学が必要であり、その初歩を学びます。そのために必要な数学的、物理学的な準備もします。コースの中心は、化学に基礎を置きますので、学年が進行するに従い、化学系の科目の割合が増えます。有機化学、無機化学、物理化学、分析化学がそれぞれ系統的に1年次から3年次にかけて学習できるようになっています。関連科目として、生物系の化学関連科目、情報科学、地球科学も学習できるようにしてありますから、視野を広げることを心がけてください。

## (2) 生命科学科

### ① 生体物性コース

生命活動における生体分子の働きの理解には、関与する生体物質が細胞中でどのような働きをするかの解析や、生物化学的な手法によって純粹に単離し、回折法や分光学などの物理化学的な手法によってその構造と機能を明らかにすることが必要です。研究対象は、生命科学の他のコースで取り扱われるものと同じですが、用いる手法は、物質科学における物理化学や構造化学で研究される内容と深く関係を持っており、学際的色彩が非常に濃いコースです。そのための準備として、数学、物理の基礎科目、物理化学を中心とした化学の諸分野、生物物理学、生化学、遺伝学などを系統的に履修します。この他、地球科学分野に関心の高い学生は、推奨科目中の△印をつけた科目を系統的に学修することを推奨します。

### ② 生体分子コース

生命現象を分子から細胞レベルに、さらに個体レベルで理解するには、生体物質の化学的、物理的、生物学的な知識が必要となります。このコースでは主に化学的知識を基盤に、生命現象を化学の言葉で理解することを目標とします。研究対象は、生命科学科の他のコースで取り扱われているものと同じですが、用いる手法は、物質科学における化学、物理化学分野で研究されている内容と深く関係しています。そのための準備として、有機化学、生物有機化学、無機化学、分析化学の諸分野、生化学、遺伝学、細胞構造などを系統的に履修します。

### ③ 細胞コース

生命体の最小の単位は、細胞です。その細胞における分化、発生と固体の形態形成などを中心に学びます。生体物性・生体分子両コースにおいて述べたように、物質を扱う基本として適切な数学的、物理学的素養を身に付けることは、いまずぐにこのような方法が適用されることはないにしても、正しい物質観、自然観に基づいて生命を考える上で欠かせないものです。さらに化学のいくつかの分野の学修の基礎を積んで、細胞構造、細胞生理学、生化学、遺伝学、発生学を履修します。生体高分子、微生物学、生体情報学、生物物理学などの関連する科目も、また重要です。生命現象にアプローチするにあたって、物理学的、化学的な手法に立脚しつつ、生きている細胞における複雑な現象へ迫ることを目指します。

物質科学科 1年生 R6入学者 一般 履修モデル 49単位申請

大分類	中分類	小分類	科目名	パターン1 パターン2 パターン3 パターン4				
				単位数	単位数	単位数	単位数	
全学共通科目 (全28単位) (22～26単位取得予定)	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)	英語	Reading and Discussion 1	1	1	1	1	
			Reading and Discussion 2	1	1	1	1	
			Listening and Speaking 1	1	1	1	1	
			Listening and Speaking 2	1	1	1	1	
			Writing 1	1	1	1	1	
			Writing 2	1	1	1	1	
			データサイエンス入門(必修)	2	2	2	2	
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)				8	8	8	8
	教養教育科目(14単位以上)	人と文化 人と社会 人と自然 人と健康 兵庫県大特色科目	<2単位(1科目)選択>	2	2	2	2	
			<2単位(1科目)選択> 物質科学入門(必修)	2	2	2	2	
<地域課題探求科目、グローバル教育科目、防災教育科目の3分野のうち異なる分野で4単位(2科目)選択>			4	4	4	4		
<教養教育科目のすべてより4単位選択>			4	4	4	4		
教養教育科目(14単位以上)				14	14	14	14	
追加の全学共通科目(4単位以上)	<自主自律支援科目、グローバル化時代のアカデミックスキル科目、教養教育科目のいずれかより0～4単位選択>		0	2	2	4		
全学共通科目単位数計				22	24	24	26	
専門基礎科目 (23～27単位取得予定)	専門基礎科目 (23～27単位取得予定)	A 数学系	微分積分学Ⅰ	2	2	2	2	
			微分積分学Ⅱ	2	2	2	2	
			線形代数学Ⅰ	2	2	2	2	
			線形代数学Ⅱ	2	2	2	2	
			数学演習Ⅰ	2	2	2	2	
			数学演習Ⅱ	2	2	2	2	
		B 物理系	基礎物理学ⅠA(またはⅠB)	2	2	2	2	
			基礎物理学ⅡA(またはⅡB)	2	2	2	2	
		C 化学系	有機化学Ⅰ	2	2	2	2	
			無機化学Ⅰ	2	2	2	2	
D 生命系	<細胞生物学1および生物化学1より1科目あるいは2科目>	4	2	4	2			
E その他	<地球惑星科学> (選択あるいは未選択)	2	2	0	0			
F 実験科目	生物学実験 (必修)	1	1	1	1			
専門基礎科目単位数計				27	25	25	23	
全学共通+専門基礎合計				49	49	49	49	

申請した科目は必ず単位を取得するつもりで勉強すること。

(パターン1)細胞生物学1、生物化学I、地球惑星科学の3科目を受講した場合は、全学共通科目は最大でも22単位しか取得できない。播磨理学キャンパスでの全学共通科目は限られているので、できれば集中講義の全学共通科目(CAP範囲外)で2単位取得するのが望ましい。

(パターン2および3)上記3科目から2科目を受講した場合は、追加の全学共通科目を2単位分選択する。

(パターン4)上記3科目から1科目しか申請しない場合(細胞生物学1あるいは生物化学Iのどちらか1科目)は、追加の全学共通科目を4単位分選択する。

2年次以降に、播磨理学キャンパスの全学共通科目として、基礎ゼミナール(必修、2単位)、情報科学I(2単位)、情報科学IIAまたはIIB(2単位)などが取得可能。

物質科学科 1年生 R6入学者 教職履修者履修モデル 49単位申請

大分類	中分類	小分類	科目名	パターン1	パターン2	
				単位数	単位数	
全学共通科目 (全28単位)  (22～24単位取得予定)	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)	英語	Reading and Discussion 1	1	1	
			Reading and Discussion 2	1	1	
			Listening and Speaking 1	1	1	
			Listening and Speaking 2	1	1	
			Writing 1	1	1	
			Writing 2	1	1	
			統計・情報	2	2	
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)				8	8
	教養教育科目(14単位以上)	人と文化	<2単位(1科目)選択>	2	2	
		人と社会	日本国憲法	2	2	
人と自然		物質科学入門(必修)	2	2		
人と健康		スポーツ科学演習1	1	1		
兵庫県大特色科目		スポーツ科学演習2	1	1		
		<地域課題探求科目、グローバル教育科目、防災教育科目の3分野のうち異なる分野で4単位(2科目)選択>	4	4		
<教養教育科目のすべてより2単位選択>				2	2	
教養教育科目(14単位以上)				14	14	
追加の全学共通科目(4単位以上)	<自主自律支援科目、グローバル化時代のアカデミックスキル科目、教養教育科目のいずれかより0～2単位選択>		0	2		
全学共通科目単位数計				22	24	
専門基礎科目 (25～27単位取得予定)	A 数学系		微分積分学Ⅰ	2	2	
			微分積分学Ⅱ	2	2	
			線形代数学Ⅰ	2	2	
			線形代数学Ⅱ	2	2	
			数学演習Ⅰ	2	2	
			数学演習Ⅱ	2	2	
	B 物理系		基礎物理学ⅠA(またはⅠB)	2	2	
			基礎物理学ⅡA(またはⅡB)	2	2	
	C 化学系		有機化学Ⅰ	2	2	
			無機化学Ⅰ	2	2	
D 生命系		細胞生物学1	2	2		
		<生物化学1> (選択あるいは未選択)	2	0		
E その他		地球惑星科学	2	2		
F 実験科目		生物学実験 (必修)	1	1		
専門基礎科目単位数計				27	25	
全学共通+専門基礎合計				49	49	

教職科目 (CAP範囲外、卒業要件外)			教職論(集中)	2	2
			教育原論(集中)	2	2

申請した科目は必ず単位を取得するつもりで勉強すること。

(パターン1)D生命系で細胞生物学と生物化学1の2科目を受講した場合は、全学共通科目は最大でも22単位しか取得できない。

播磨理学キャンパスでの全学共通科目は限られているので、できれば集中講義の全学共通科目(CAP範囲外)で2単位取得するのが望ましい。

(パターン2)D生命系で生物化学1を取得しない場合は、追加の全学共通科目を2単位分選択する。

2年次以降に、播磨理学キャンパスの全学共通科目として、基礎ゼミナール(必修、2単位)、情報科学I(教職必修2単位)、情報科学IIAまたはIIB(2単位)などが取得可能。

生命科学科 1年生 R6入学者 一般 履修モデル 49単位申請

大分類	中分類	小分類	科目名	パターン1	パターン2
				単位数	単位数
全学共通科目 (全28単位) (22~24単位取得予定)	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)	英語	Reading and Discussion 1	1	1
			Reading and Discussion 2	1	1
			Listening and Speaking 1	1	1
			Listening and Speaking 2	1	1
			Writing 1	1	1
			Writing 2	1	1
			統計・情報 データサイエンス入門(必修)	2	2
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)			8	8
	教養教育科目(14単位以上)	人と文化	<2単位(1科目)選択>	2	2
		人と社会	<2単位(1科目)選択>	2	2
人と自然		生命科学入門(必修)	2	2	
人と健康		<地域課題探求科目、グローバル教育科目、防災教育科目の3分野のうち異なる分野で4単位(2科目)選択>	4	4	
兵庫県大特色科目		<教養教育科目のすべてより4単位選択>	4	4	
教養教育科目(14単位以上)			14	14	
追加の全学共通科目(4単位以上)	<自主自律支援科目、グローバル化時代のアカデミックスキル科目、教養教育科目のいずれかより0~2単位選択>		0	2	
全学共通科目単位数計				22	24
専門基礎科目 (25~27単位取得予定)	A 数学系		微分積分学Ⅰ	2	2
			微分積分学Ⅱ	2	2
			線形代数学Ⅰ	2	2
			線形代数学Ⅱ	2	2
			数学演習Ⅰ	2	2
			数学演習Ⅱ	2	2
	B 物理系		基礎物理学ⅠA(またはⅠB)	2	2
			基礎物理学ⅡA(またはⅡB)	2	2
	C 化学系		有機化学Ⅰ	2	2
			無機化学Ⅰ	2	2
D 生命系		細胞生物学1	2	2	
		生物化学1	2	2	
E その他		<地球惑星科学> (選択あるいは未選択)	2	0	
F 実験科目		生物学実験 (必修)	1	1	
専門基礎科目単位数計				27	25
全学共通+専門基礎合計				49	49

申請した科目は必ず単位を取得するつもりで勉強すること。

(パターン1)E分野 地球惑星科学を受講した場合は、全学共通科目は最大でも22単位しか取得できない。

播磨理学キャンパスでの全学共通科目は限られているので、できれば集中講義の全学共通科目(CAP範囲外)で2単位取得するのが望ましい。

(パターン2)E分野 地球惑星科学を受講しない場合は、追加の全学共通科目を2単位分選択する。

播磨理学キャンパスの全学共通科目としては基礎ゼミナール(必修、2単位)、情報科学I(2単位)、情報科学IIAまたはIIB(2単位)などが取得可能。

生命科学科 1年生 R6入学者 教職履修者履修モデル 49単位申請

大分類	中分類	小分類	科目名	単位数	
全学共通科目 (全28単位)  (22単位取得予定)	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)	英語	Reading and Discussion 1	1	
			Reading and Discussion 2	1	
			Listening and Speaking 1	1	
			Listening and Speaking 2	1	
			Writing 1	1	
			Writing 2	1	
			データサイエンス入門(必修)	2	
	グローバル化時代のアカデミックスキル科目(8単位以上)				8
	教養教育科目(14単位以上)	人と文化 人と社会 人と自然 人と健康	<2単位(1科目)選択>		2
			日本国憲法		2
生命科学入門(必修)			2		
スポーツ科学演習1			1		
スポーツ科学演習2			1		
兵庫県大特色科目	<地域課題探求科目、グローバル教育科目、防災教育科目の3分野のうち異なる分野で2科目選択>		4		
	<教養教育科目のすべてより2単位選択>		2		
教養教育科目(14単位以上)				14	
追加の全学共通科目(4単位以上)	<自主自律支援科目、グローバル化時代のアカデミックスキル科目、教養教育科目のいずれかより0~4単位選択>		0		
全学共通科目単位数計				22	
専門基礎科目 (27単位取得予定)		A 数学系	微分積分学Ⅰ	2	
			微分積分学Ⅱ	2	
			線形代数学Ⅰ	2	
			線形代数学Ⅱ	2	
			数学演習Ⅰ	2	
			数学演習Ⅱ	2	
			B 物理系	基礎物理学ⅠA(またはⅠB)	2
		基礎物理学ⅡA(またはⅡB)		2	
C 化学系	有機化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅰ	2			
D 生命系	細胞生物学1	2			
	生物化学1	2			
E その他	地球惑星科学	2			
F 実験科目	生物学実験(必修)	1			
専門基礎科目単位数計				27	
全学共通+専門基礎合計				49	

教職科目 (CAP範囲外、 卒業要件外)		教職論(集中)	2
		教育原論(集中)	2

申請した科目は必ず単位を取得するつもりで勉強すること。

追加全学共通科目が受講できないので、全学共通科目は最大でも22単位しか取得できない。  
播磨理学キャンパスでの全学共通科目は限られているので、できれば集中講義の全学共通科目(CAP範囲外)で2単位取得するのが望ましい。  
播磨理学キャンパスの全学共通科目としては基礎ゼミナール(必修、2単位)、情報科学I(教職必修、2単位)、情報科学IIAまたはIIB(2単位)などが取得可能。

物質科学科の各コースにおける履修モデル表（必修科目を除く）

		物性基礎コース	
		標準科目	推奨科目
1年 ※物質科学科1年生履修モデル参照	前期	数学演習Ⅰ 微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 無機化学Ⅰ 基礎物理学ⅠA 基礎物理学ⅠB	生物化学Ⅰ
	後期	数学演習Ⅱ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 基礎物理学ⅡA 基礎物理学ⅡB 有機化学Ⅰ コンピューターリテラシー	地球惑星科学 細胞生物学Ⅰ
2年	前期	応用解析 波動論 電磁気学A 力学A 物理化学Ⅰ 電磁気学演習	無機化学Ⅱ 分析化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 情報科学Ⅰ（全学共通科目） 微生物学
	後期	物理数学Ⅰ 物理数学Ⅰ演習 電磁気学B 力学B 統計力学Ⅰ 量子力学Ⅰ 結晶学	物理化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 生物物理学Ⅰ 情報科学ⅡA（全学共通科目） 天文学
3年	前期	物理数学Ⅱ 物理数学Ⅱ演習 確率統計 統計力学Ⅱ 量子力学Ⅱ 量子力学演習 物性論Ⅰ	△代数構造 △幾何構造 量子化学Ⅰ
	後期	量子力学Ⅲ 物性論演習 物性論Ⅲ 物性論Ⅱ 計算機プログラミング	△位相解析 △関数解析 相対論 分光Ⅰ
4年	前期		

注（1）基礎物理学ⅠA、ⅠB、基礎物理学ⅡA、ⅡBはシラバスを参考にして、A/Bのうち、どちらかを選択すること。

（2）数理科学Ⅰ・Ⅱ分野に関心のある学生は、△印科目の履修が望ましい。

（3）入学年度により、科目名および全学共通科目／専門基礎科目の分類が異なることがあるので注意すること（情報科学Ⅰ、情報科学ⅡA、ⅡB）。

物質科学科の各コースにおける履修モデル表（必修科目を除く）

		物性コース	
		標準科目	推奨科目
1年 ※物質科学科1年生履修モデル参照	前期	数学演習Ⅰ 微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 無機化学Ⅰ 基礎物理学ⅠA 基礎物理学ⅠB	生物化学Ⅰ
	後期	数学演習Ⅱ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 基礎物理学ⅡA 基礎物理学ⅡB 有機化学Ⅰ コンピューターリテラシー	地球惑星科学 細胞生物学Ⅰ
2年	前期	波動論 電磁気学A 力学A 物理化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 情報科学Ⅰ（全学共通科目） 電磁気学演習	応用解析 分析化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 生物化学Ⅱ
	後期	物理数学Ⅰ 電磁気学B 力学B 統計力学Ⅰ 量子力学Ⅰ 結晶学 物理化学Ⅱ	物理数学Ⅰ演習 有機化学Ⅲ 天文学 情報科学ⅡA（全学共通科目）
3年	前期	物理数学Ⅱ 統計力学Ⅱ 量子力学演習 量子力学Ⅱ 物性論Ⅰ 物理化学Ⅲ	物理数学Ⅱ演習 確率統計 物理化学演習Ⅰ 物理化学演習Ⅱ 量子化学Ⅰ 無機化学Ⅲ
	後期	量子力学Ⅲ 物性論Ⅱ 物性論Ⅲ 計算機プログラミング 分光学Ⅰ	相対論 機能性物質学 分析化学Ⅱ
4年	前期		

注（1）基礎物理学ⅠA、ⅠB、基礎物理学ⅡA、ⅡBはシラバスを参考にして、A/Bのうち、どちらかを選択すること。

（2）入学年度により、科目名および全学共通科目／専門基礎科目の分類が異なることがあるので注意すること（情報科学Ⅰ、情報科学ⅡA、ⅡB）。

物質科学科の各コースにおける履修モデル表（必修科目を除く）

		物質コース	
		標準科目	推奨科目
1年 ※物質科学科1年生履修モデル参照	前期	数学演習Ⅰ 微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 無機化学Ⅰ 基礎物理学ⅠA 基礎物理学ⅠB	生物化学Ⅰ
	後期	数学演習Ⅱ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 基礎物理学ⅡA 基礎物理学ⅡB 有機化学Ⅰ コンピューターリテラシー	地球惑星科学 細胞生物学Ⅰ
2年	前期	物理化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 分析化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 情報科学Ⅰ（全学共通科目）	応用解析 波動論 電磁気学A 力学A 電磁気学演習
	後期	統計力学Ⅰ 量子力学Ⅰ 結晶学 物理化学Ⅱ 有機化学Ⅲ	物理数学Ⅰ 物理数学Ⅰ演習 電磁気学B 力学B 細胞生物学Ⅱ 細胞生物学Ⅲ 分子生物学Ⅲ 生物化学Ⅲ 情報科学ⅡA（全学共通科目） 地球物質科学 天文学
3年	前期	物理化学演習Ⅱ 量子化学Ⅰ 物理化学演習Ⅰ 物理化学Ⅲ 無機化学Ⅲ 有機構造化学 有機化学Ⅳ	物性論Ⅰ 量子力学Ⅱ 細胞生物学Ⅳ 生物物理学Ⅱ 構造生物学Ⅰ
	後期	機能性物質学 分析化学Ⅱ 有機反応論 計算機プログラミング	分光学Ⅰ
4年	前期		

注（1）基礎物理学ⅠA、ⅠB、基礎物理学ⅡA、ⅡBはシラバスを参考にして、A/Bのうち、どちらかを選択すること。

（2）入学年度により、科目名および全学共通科目／専門基礎科目の分類が異なることがあるので注意すること（情報科学Ⅰ、情報科学ⅡA、ⅡB）。

生命科学科の各コースにおける履修モデル表（必修科目を除く）

		生体物性コース	
		標準科目	推奨科目
1年 ※生命科学科1年生履修モデル参照	前期	微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 数学演習Ⅰ 基礎物理学ⅠA 基礎物理学ⅠB 無機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ	
	後期	微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 数学演習Ⅱ 基礎物理学ⅡA 基礎物理学ⅡB 有機化学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ	地球惑星科学 コンピューターリテラシー
2年	前期	電磁気学A 物理化学Ⅰ 分析化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ	応用解析 波動論 無機化学Ⅱ 情報科学Ⅰ（全学共通科目） 微生物学
	後期	量子力学Ⅰ 物理化学Ⅱ 生物物理学Ⅰ 生物化学Ⅲ 生物化学Ⅳ	分子生物学Ⅲ 発生生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 細胞生物学Ⅲ 地球物質科学 情報科学ⅡB（全学共通科目）
3年	前期	量子化学Ⅰ 構造生物学Ⅰ 生物物理学Ⅲ 生物物理学Ⅱ	有機構造化学 生物化学Ⅵ 分子生物学Ⅳ 神経生物学Ⅰ
	後期	生物化学Ⅴ 生命科学演習Ⅱ	分析化学Ⅱ 生命科学演習Ⅰ 計算機プログラミング
4年	前期		

注（1）基礎物理学ⅠA、ⅠB、基礎物理学ⅡA、ⅡBは講義要目を参考にして、A/Bのうち、どちらかを選択すること。

（2）入学年度により、科目名および全学共通科目／専門基礎科目の分類が異なることがあるので注意すること（情報科学Ⅰ、情報科学ⅡA、ⅡB）。

生命科学科の各コースにおける履修モデル表（必修科目を除く）

		生体分子コース	
		標準科目	推奨科目
1年 ※生命科学科1年生履修モデル参照	前期	微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 数学演習Ⅰ 基礎物理学ⅠA 基礎物理学ⅠB 無機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ	
	後期	微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 数学演習Ⅱ 基礎物理学ⅡA 基礎物理学ⅡB 有機化学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ	地球惑星科学
2年	前期	分析化学Ⅰ 物理化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ	電磁気学A 波動論 無機化学Ⅱ 情報科学Ⅰ（全学共通科目） 微生物学
	後期	生物物理学Ⅰ 生物化学Ⅲ 生物化学Ⅳ 分子生物学Ⅲ 発生生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ	細胞生物学Ⅲ 地球物質科学 情報科学ⅡB（全学共通科目）
3年	前期	構造生物学Ⅰ 分子生物学Ⅳ 細胞生物学Ⅳ 生物物理学Ⅱ	量子化学Ⅰ 有機構造化学 生物化学Ⅵ 細胞生物学Ⅴ 細胞生物学Ⅵ 神経生物学Ⅰ 生物物理学Ⅲ
	後期	生物化学Ⅴ 生命科学演習Ⅰ 生命科学演習Ⅱ	分析化学Ⅱ 構造生物学Ⅱ 生命科学演習Ⅲ 発生生物学Ⅲ
4年	前期		

注（1）基礎物理学ⅠA、ⅠB、基礎物理学ⅡA、ⅡBは講義要目を参考にして、A/Bのうち、どちらかを選択すること。

（2）入学年度により、科目名および全学共通科目／専門基礎科目の分類が異なることがあるので注意すること（情報科学Ⅰ、情報科学ⅡA、ⅡB）。

生命科学科の各コースにおける履修モデル表（必修科目を除く）

		細胞コース	
		標準科目	推奨科目
1年 ※生命科学科1年生履修モデル参照	前期	微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 数学演習Ⅰ 基礎物理学ⅠA 基礎物理学ⅠB 無機化学Ⅰ 生物化学Ⅰ	
	後期	微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 数学演習Ⅱ 基礎物理学ⅡA 基礎物理学ⅡB 有機化学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ	地球惑星科学
2年	前期	物理化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 微生物学	応用解析 電磁気学A 波動論 分析化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 情報科学Ⅰ（全学共通科目）
	後期	生物物理学Ⅰ 生物化学Ⅲ 分子生物学Ⅲ 発生生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 細胞生物学Ⅲ	生物化学Ⅳ 地球物質科学 情報科学ⅡB（全学共通科目）
3年	前期	分子生物学Ⅳ 細胞生物学Ⅳ 神経生物学Ⅰ	構造生物学Ⅰ 生物化学Ⅵ 細胞生物学Ⅴ 細胞生物学Ⅵ 形態学Ⅰ・Ⅱ 進化学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ
	後期	生命科学演習Ⅰ 生命科学演習Ⅲ 発生生物学Ⅲ 構造生物学Ⅱ	生命科学演習Ⅱ 細胞生物学Ⅵ 計算機プログラミング
4年	前期		

注（1）基礎物理学ⅠA、ⅠB、基礎物理学ⅡA、ⅡBは講義要目を参考にして、A/Bのうち、どちらかを選択すること。

（2）入学年度により、科目名および全学共通科目／専門基礎科目の分類が異なることがあるので注意すること（情報科学Ⅰ、情報科学ⅡA、ⅡB）。

## 5. 4年間の学習のあらまし

### ○ 第1年次

本理学部は、物質科学科と生命科学科の2つの学科を置いています。この両学科の間に壁を立てることをしないで、緊密な協力の下に学部を運営しようと考えています。これは、学生諸君に自然科学の基礎的な分野を広く学んで基礎的な学力を身に付けたのち、それぞれの専門分野の学習・研究に入っていくことを期待しているためです。現在の自然科学は、高度に発展していますが、諸君には、さらに新しい研究を切り拓いていく能力を身に付けることが求められています。新しい分野は、従来の学問体系の境界領域・複合領域に生まれています。本理学部の設立理念の一つとして挙げられている基礎的・学際的という内容は、このようなものです。

したがって、1年次には、物質科学科、生命科学科のいずれの学科にもほとんど共通の科目が開講されます。数学、物理、化学、生命の各分野での基礎的な科目ですから、できるだけ受講するように勧めます。これらの科目は、2年次の各科目の履修の基礎になるものであり、かつ2年次実験の先修条件ともかかわってきます。先修条件を満たせなかった人は、2年次実験を履修できず、卒業が1年延びることになります。

		先修条件	履修許可条件科目
2年次実験を履修するための先修条件	29年度以降入学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・2年次実験履修許可条件科目のA、B、C、Dの分野において、Aを含む3分野からそれぞれ最低1科目、合計6単位以上必要</li> <li>・物質科学科については、上記に加えて、物質科学入門を履修していること。</li> <li>・生命科学科については、上記に加えて、生命科学入門を履修していること。</li> </ul>	(実験) 生物学実験 A (数学系) 微分積分学Ⅰ、微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ 数学演習Ⅰ、数学演習Ⅱ B (物理系) 基礎物理学ⅠA、基礎物理学ⅠB 基礎物理学ⅡA、基礎物理学ⅡB C (化学系) 有機化学Ⅰ、無機化学Ⅰ D (生命系) 細胞生物学Ⅰ、生物化学Ⅰ

このほか、演習科目がいくつか開講されます。

各コースの履修モデルをよく見て、選択、受講してください。

#### <履修の注意>

卒業所要単位等の詳細は、理学部規程別表第6にありますので、熟読の上、計画的に履修するようにしてください。

### ○ 第2年次

それぞれのコースの履修モデルに従って、履修する科目を決めてください。

#### <物質科学科>

多くの科目が開講され、3つのコースの特徴が現れてきます。個々の授業科目については特に先修条件を設定してはいませんが、各コースの履修モデルは、段階的、系統的な履修が可能であるように設定されたものですから、その趣旨をよく理解して、これを基準に選択科目を決められるよう強く勧めます。

<生命科学科>

学科独自の科目は、あまり多くありません。各コースにほぼ含まれています。コースの特徴は、むしろ両学科共通科目のなかから何を選択するかによって決まるといえます。

なお、2年次に配当されている科目をきちんと履修しておかないと、3年次の学習に差し支えます。また、2年次までの実験をすべて履修しておかないと、3年次実験が受けられないこととなっていますので、注意してください。

		先修条件	履修許可条件科目
3年次実験を履修するための先修条件	27年度以降入学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・2年次及び3年次実験履修許可条件科目のA、B、C、D（2年次実験履修許可条件科目を含む。）の各分野において、最低1科目、合計10単位以上履修していること。</li> </ul>	(実験) 物理学実験、化学実験、 物質科学基礎実験Ⅰ、物質科学基礎実験Ⅱ 生命科学基礎実験Ⅰ、生命科学基礎実験Ⅱ A (数学系) 開講科目なし B (物理系) 力学A、波動論 C (化学系) 有機化学Ⅱ D (生命系) 細胞生物学2、生物化学2

○ 第3年次

各コースの履修モデルに従って、そのままコースを進む時期です。午前中は講義、午後は実験又は演習があって息を抜く暇はありませんが、毎日のことをきちんとやっておれば、学問の面白みをかみしめていけることは間違いありません。

科目選択上の疑問は、ガイダンス担当の教員に質問し、よく相談してください。どのような科目を履修したかは、4年次の卒業研究の講座を選ぶ際に大いに関係します。その点もよく考えてください。

		先修条件	履修許可条件科目
	令和4年度入学生	《専門科目》 ・3年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。 ・専門科目から83単位必要(実験科目単位を含む。) (物質科学科) 2、3年次開講の専門科目(A、B、C分野の専門基礎科目と学科の専門教育科目)から実験科目を除いて36単位以上必要(上記83単位を含む。) (生命科学科) 学科の専門教育科目から実験科目を除いて20単位以上必要(上記83単位を含む。) 《全学共通科目》 ・英語科目 6単位 ・データサイエンス入門 2単位 ・教養科目 10単位以上	(物質科学科) 物質科学実験Ⅰ 物質科学実験Ⅱ (生命科学科) 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ ・英語科目 英語コア科目(6科目)及び指定された選択英語科目 (Communicative English Basic 1.2、Intensive English 1.2)から6単位以上選択必修

卒業研究を履修するための先修条件	31～ 令和3年 度 入学生	<p>《専門科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・専門科目から83単位必要（実験科目単位を含む。）</li> </ul> <p>（物質科学科）</p> <p>2、3年次開講の専門科目（A、B、C分野の専門基礎科目と学科の専門教育科目）から実験科目を除いて36単位以上必要（上記83単位に含む。）</p> <p>（生命科学科）</p> <p>学科の専門教育科目から実験科目を除いて20単位以上必要（上記83単位に含む。）</p> <p>《全学共通科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語科目 6単位</li> <li>・情報処理基礎 2単位</li> <li>・教養科目 10単位以上</li> </ul>	<p>（物質科学科）</p> <p>物質科学実験 I 物質科学実験 II</p> <p>（生命科学科）</p> <p>生命科学実験 I 生命科学実験 II</p> <p>・英語科目</p> <p>英語コア科目（6科目）及び指定された選択英語科目（Communicative English Basic 1.2、Intensive English 1.2）から6単位以上選択必修</p>
	29・ 30 年度 入学生	<p>《専門科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・専門科目から83単位必要（実験科目単位を含む。）</li> </ul> <p>（物質科学科）</p> <p>2、3年次開講の専門科目（A、B、C分野の専門基礎科目と学科の専門教育科目）から実験科目を除いて36単位以上必要（上記83単位に含む。）</p> <p>（生命科学科）</p> <p>学科の専門教育科目から実験科目を除いて20単位以上必要（上記83単位に含む。）</p> <p>《全学共通科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語科目・外国語科目 6単位</li> <li>・情報処理基礎 2単位</li> <li>・教養科目、他専攻科目 10単位以上</li> </ul>	<p>（物質科学科）</p> <p>物質科学実験 I 物質科学実験 II</p> <p>（生命科学科）</p> <p>生命科学実験 I 生命科学実験 II</p> <p>・英語科目</p> <p>Reading and Discussion 1.2 Listening and Speaking 1.2 Writing 1.2</p> <p>6科目を受講していること。</p>

#### ○ 第4年次

中心は、各講座に所属して行う卒業研究です。卒業研究は、単位数こそ多くありませんが、理学部学生としての総仕上げであり、各講座の教員の指導を受けて一定のテーマのもとに研究を行うものです。そのため、必要な単位はほとんど修得しておいて、大部分の時間を卒業研究に充てる状況でなければなりません。したがって、卒業研究の先修条件は厳しくなっており、これをクリアしなければ3年次で足踏みすることになります。そのようなことがないように努力してください。

なお、余裕のある学生は、教授会の許可を得て大学院の最先端講義「大講座横断プログラム」の分野共通科目を受講することができます。その履修単位は、卒業所要単位には算入できませんが、本理学研究科の修了所要単位の一部として認定されます。履修希望者は、指導教員と相談して申請してください。

各コースの卒業研究を行うのに適した講座

物質科学科				生命科学科			
講座名	物性基礎 コース	物性 コース	物質 コース	講座名	生体物性 コース	生体分子 コース	細胞 コース
電磁物性学	◎	○		分子機械学		○	◎
光物性学	◎	○		生体物質構造学Ⅰ	◎	○	
電子物性学	○	◎		生体物質構造学Ⅱ	◎	○	
量子物性学	○	◎		細胞構造学	○	○	◎
数理解析学	◎	○		細胞制御学Ⅰ		○	◎
応用数学	◎	○		細胞制御学Ⅱ	○	◎	
構造物性学		○	◎	細胞機能学		○	◎
極限状態物性学		◎	○	生体情報学Ⅰ	○	○	◎
機能性物質学Ⅰ		○	◎	生体情報学Ⅱ		○	◎
機能性物質学Ⅱ			◎	生体物質化学Ⅰ		◎	○
物質反応論Ⅰ		○	◎	生体物質化学Ⅱ		◎	○
物質反応論Ⅱ			◎	地球科学	◎	物性	物質
化学分析学		生体分子	◎	生体分子生合成		◎	○
エックス線光学		◎					
数理科学Ⅰ	◎						
数理科学Ⅱ	◎						

◎及び○の入っている講座が、各コースの卒業研究をするのに適している講座を示す。  
 化学分析学、地球科学の各講座は、他学科からの卒業研究生を受け入れることができる。  
 網掛けの部分は、他学科のコースを示す。



## 第 4 章 履修関連規定



# 兵庫県立大学学則

## 目次

- 第1章 総則（第1条—第4条）
- 第2章 学年、学期、休業日、修業年限及び在学年限（第5条—第9条）
- 第3章 教育課程及び履修方法等（第10条—第17条）
- 第4章 入学、編入学、転学、転学部、転学科及び卒業（第18条—第29条）
- 第5章 休学、復学、退学、除籍及び再入学（第30条—第33条）
- 第6章 賞罰（第34条・第35条）
- 第7章 学生寮（第36条）
- 第8章 科目等履修生等（第37条—第42条）
- 第9章 外国人留学生（第43条）
- 第10章 公開講座（第44条）
- 第11章 授業料及び入学科等（第45条）
- 第12章 雑則（第46条）
- 附 則

## 第1章 総 則

### （目的）

第1条 兵庫県立大学（以下「本学」という。）は、学術の中心として、豊かな教養をはぐくむとともに、深く専門の学芸を教育研究し、地域社会や国際社会の発展に寄与し得る創造力を持つ人間性豊かな人材の育成に努めるとともに、学術的な新知見を国内外に発信して地域の活性化と我が国の発展、ひいては世界人類の幸せに貢献することを目的とする。

### （学部）

第2条 本学に、国際商経学部、社会情報科学部、工学部、理学部、環境人間学部及び看護学部を置く。

2 学部の学科及び定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
国際商経学部	国際商経学科	360	1,440
社会情報科学部	社会情報科学科	100	400
工学部	電気電子情報工学科	126	504
	機械・材料工学科	126	504
	応用化学工学科	100	400
	小 計	352	1,408
理学部	物質科学科	90	360
	生命科学科	85	340
	小 計	175	700
環境人間学部	環境人間学科	205	820
	(うち食環境栄養課程)	(40)	(160)
看護学部	看護学科	105	420
計		1,297	5,188

- 3 学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、学部規程で定める。

#### (大学院)

**第3条** 本学に大学院を置く。大学院の学則は、別にこれを定める。

#### (職員組織)

**第4条** 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び職員を置く。

### 第2章 学年、学期、休業日、修業年限及び在学年限

#### (学年)

**第5条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 前項の規定にかかわらず、国際商経学部国際商経学科の外国人留学生（外国人留学生選抜により入学する者。以下、「外国人留学生選抜入学者」という。）にあつては学年は、9月20日に始まり、翌年9月19日に終わる。

#### (学期)

**第6条** 学年は、次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、国際商経学部国際商経学科グローバルビジネスコースの学年は、次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月19日まで

秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

#### (休業日)

**第7条** 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）による休日
  - (3) 春季休業 4月1日から4月6日まで
  - (4) 夏季休業 8月1日から9月30日まで
  - (5) 冬季休業 12月25日から翌年1月4日まで
- 2 学長は、前項の休業日のほか、臨時の休業日を定めることができる。
- 3 学長は、学部の事情により特に必要があると認める場合は、学部長の申し出に基づき、当該学部に関し、第1項の休業日を変更することができる。
- 4 学長は、前項に規定するもののほか、特に必要があると認める場合は、第1項の休業日を臨時に変更することができる。

#### (修業年限)

**第8条** 学部の修業年限は、4年とする。

#### (在学年限)

**第9条** 学部の在学年限は、8年を超えることはできない。ただし、編入学により入学した者は、第23条に規定する在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

### 第3章 教育課程及び履修方法等

#### (教育課程)

**第10条** 教育課程は、本学の教育上の目標を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に編成するものとする。

#### (副専攻)

**第10条の2** 前条により編成する教育課程として、特定の分野または課題の授業科目で構成する副専攻を設置し、その学習成果を認定することができる。

2 副専攻に関して必要な事項は別に定める。

#### (授業科目及び授業の方法)

**第10条の3** 授業科目の区分は、全学共通科目、専門基礎科目（専門関連科目）、専門教育科目及び教職課程科目とする。

2 全学共通科目は、高等教育推進機構長の下、全学が協力して開設する。

3 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

4 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

5 前4項に規定するもののほか、授業科目及び授業の方法に関して必要な事項は、学部規程で定める。

### (単位の計算)

- 第11条** 授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、前条第3項に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で学部規程で定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算するものとする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、学部規程で定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- 2 前項の規定にかかわらず、全学共通科目については、次の基準により単位を計算するものとする。
- (1) 講義（基礎ゼミナールを含む。）については、15時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 外国語、演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
  - (3) 実験、実習、実技については、45時間の授業をもって1単位とする。
  - (4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前3号に規定する基準を考慮して高等教育推進機構が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業製作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学修等を考慮して、単位数を学部規程で定めることができる。

### (単位の授与)

- 第12条** 授業科目を履修した者には、試験その他の適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与える。

### (成績の評価)

- 第13条** 授業科目の成績は、S、A、B、C、Dの評語をもって表し、S、A、B、Cを合格とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、合格・不合格又は認定をもって表することが適切と認められる授業科目については、学部規程で定めるところにより、合格・不合格又は認定で表すことができる。

### (他大学等における履修等)

- 第14条** 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学(短期大学を除く。以下同じ。)、短期大学、高等専門学校その他別に定める機関（以下これらを「大学等」という。）と本学との協定に基づき、教授会の意見を聴いた上で、学生に当該大学等の授業科目を履修させることができる。
- 2 前項の規定により、学生が、履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 3 前2項に関して必要な事項は、第1項の協定に定めるもののほか、別に定める。

#### (入学前の既修得単位の認定及び修業年限の通算)

- 第 15 条** 学長は、教育上有益と認めるときは、教授会の意見を聴いた上で、学生が、本学に入学する前に本学、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定により他の大学又は短期大学において履修した授業科目に関し本学において修得したものとみなす単位数は、前条第 2 項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。
- 3 第 1 項に定めるもののうち、学生が第 37 条で定める科目等履修生として修得した単位について、本学に入学した後に修得したものとみなすときは、教授会の意見を聴いた上で、修得した単位数その他の事項を勘案して修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、当該修業年限の二分の一を超えてはならない。
- 4 前 3 項に関して必要な事項は、別に定める。

#### (長期にわたる教育課程の履修)

- 第 16 条** 学長は、学生が、職業を有している等の事情により、第 8 条の規定にかかわらず修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、教授会の意見を聴いた上で、その計画的な履修を認めることができる。
- 2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

#### (教育課程及び履修方法に関する学部規程への委任)

- 第 17 条** この章に定めるもののほか、授業科目の種類、単位数及び履修方法については、学部規程の定めるところによる。この場合において、全学共通科目に関しこれらの事項を定めるときは、高等教育推進機構長と協議しなければならない。

### 第 4 章 入学、編入学、転学、転学部、転学科及び卒業

#### (入学の時期)

- 第 18 条** 入学の時期は、学年の始めとする。
- 2 各学部は、第 5 条及び前項の規定にかかわらず、教育上支障がないと認められる場合に限り、入学の時期を後期の始めとすることができる。

#### (入学資格)

- 第 19 条** 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものでなければならない。
- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
  - (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
  - (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した

外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
  - (6) 文部科学大臣の指定した者
  - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
  - (8) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの
- 2 前項の規定にかかわらず、本学に編入学を希望する者に係る入学資格については、学部規程で定める。

#### （入学志願の手続）

- 第20条** 入学志願者は、本学の指定する入学願書その他の書類を定められた期日までに提出しなければならない。
- 2 前項の必要書類及び期日は、学生募集時にこれを指示する。
  - 3 入学志願者は、必要書類に添えて入学考査料を納付しなければならない。

#### （入学許可）

- 第21条** 学長は、入学志願者に対し、別に定めるところにより入学者の選抜を行い、教授会の意見を聴いた上で、合格者を決定する。
- 2 学長は、前項による合格者のうち、指定の期日までに入学手続に関する書類を添えて入学料を納付した者に入学を許可する。

#### （入学許可の取消）

- 第22条** 学長は、前条の規定により入学を許可した者が次の各号に該当するときは、第1号に該当する場合を除き教授会の意見を聴いた上で、当該入学許可を取り消すものとする。
- (1) 入学の辞退を申し出たとき
  - (2) 入学資格を満たしていないと認められたとき
  - (3) 入学者の選抜において不正があったと認められたとき

#### （編入学者の在学すべき年数等）

- 第23条** 編入学により入学した者の在学すべき年数、既に履修した授業科目及び単位数等の取扱いについては、教授会の意見を聴いた上で、学長が決定する。
- 2 前項に規定するもののほか、編入学に関して必要な事項は、別に定める。

#### （転学）

- 第24条** 学生は、他の大学に転学を希望するときは、学長の許可を得なければならない

い。

- 2 学長は、他の大学の学生で本学に転学を希望する者については、教授会の意見を聴いた上で、相当年次に転学を許可することができる。
- 3 前2項に規定するもののほか、転学に関して必要な事項は、別に定める。

#### (転学部)

- 第 25 条** 学生が、転学部を希望する旨を申し出たときは、学長は、当該学生の所属学部及び志望学部の教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。
- 2 前項に規定するもののほか、転学部に関して必要な事項は、別に定める。

#### (転学科)

- 第 26 条** 学長は、学生が、他の学科に転学科を希望する旨を申し出たときは、教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。
- 2 前項に規定するもののほか、転学科に関して必要な事項は、別に定める。

#### (留学)

- 第 27 条** 学生は、本学との協定に基づく外国の大学又は短期大学に留学しようとするときは、学長の許可を得なければならない。
- 2 前項の許可を受けて留学した期間は、第 8 条の修業年限に算入することができる。
  - 3 第 14 条の規定は、留学について準用する。

#### (卒業認定)

- 第 28 条** 学長は、本学に第 8 条に規定する年数(編入学により入学した者については、第 23 条に規定する在学すべき年数) 在学し、学部規程に従って卒業所要単位以上を修得した者について、教授会の意見を聴いた上で、卒業を認定する。
- 2 学長は、本学に 3 年以上在学し、学部規程に従って卒業所要単位以上を優秀な成績で修得した者について、その願い出に基づき、教授会の意見を聴いた上で、卒業を認定することができる。

#### (学位)

- 第 29 条** 学長は、本学を卒業した者について、学士の学位を授与する。
- 2 学位の授与については、別に定める。

### 第 5 章 休学、復学、退学、除籍及び再入学

#### (休学及び復学)

- 第 30 条** 学生は、病気・事故等やむを得ない事情により 3 箇月以上修学することができないときは、必要書類を添えて学長の許可を得て休学することができる。
- 2 学長は、病気のため修学が適当でない学生については、休学を命ずることができる。
  - 3 休学の期間は、1 年を超えることができない。ただし、学長は、特別の事情があると認められたときは、更に 1 年の範囲内で延長を許可することができる。
  - 4 休学期間は、通算して 3 年を超えることができない。

- 5 休学期間は、在学期間に算入しない。
- 6 学生は、休学期間中にその該当事由がなくなったときは、学長の許可を得て復学することができる。
- 7 前各項に規定するもののほか、休学及び復学に関して必要な事項は、別に定める。

#### (退学)

**第31条** 学生は、退学しようとするときは、学長の許可を得なければならない。

#### (除籍)

**第32条** 学長は、学生が、次の各号のいずれかに該当するときは、教授会の意見を聴いた上で、これを除籍することができる。

- (1) 第30条第4項に定める休学期間を超える者
- (2) 病気その他の理由のため、成業の見込みのない者
- (3) 授業料等の納付を怠り、督促してもなおその納付がない者
- (4) 定められた在学期間を超える者

#### (再入学)

**第33条** 学長は、次の各号のいずれかに該当する者が、再入学を願い出たときは、教授会の意見を聴いた上で、第21条の規定による許可をすることができる。

- (1) 第31条の規定により本学を退学した者
  - (2) 前条第1号から第3号までのいずれかの規定により除籍された者
- 2 前項に規定するもののほか、再入学に関して必要な事項は、別に定める。

### 第6章 賞 罰

#### (表彰)

**第34条** 学長は、表彰に値する行為があった学生を、教育研究審議会の議を経て表彰することができる。

#### (懲戒)

**第35条** 学長は、本学則その他学生に関する諸規程に反し、又は学生としての本分に反した行為のある者を、教育研究審議会の議を経て懲戒することができる。

- 2 懲戒は、訓告、停学及び退学の3種とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。
  - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 正当な事由がなくて修業の実のない者
  - (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
- 4 前3項に規定するもののほか、懲戒に関して必要な事項は、別に定める。

## 第7章 学生寮

### (学生寮)

第36条 本学に学生寮を置く。

- 2 学生寮の位置は、神戸市西区学園西町及びたつの市新宮町光都とする。
- 3 学生寮について必要な事項は、別に定める。

## 第8章 科目等履修生等

### (科目等履修生)

第37条 学長は、授業科目につき履修を願い出る者があるときは、教授会（全学共通科目の履修を願い出る者にあつては高等教育推進機構長を含む。）の意見を聴いた上で、これを科目等履修生として許可することができる。ただし、全学共通科目の履修を願い出る科目等履修生の選考については、高等教育推進機構長と協議しなければならない。

- 2 前項に規定するもののほか、科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

### (特別聴講生)

第38条 学長は、他の大学等との協定に基づき、他の大学等の学生で本学の授業科目を履修しようとする者について、教授会の意見を聴いた上で、これを特別聴講生として、許可することができる。

- 2 前項の協定に定めるもののほか、特別聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

### (聴講生)

第39条 学長は、授業科目につき聴講を願い出る者があるときは、教授会（全学共通科目の聴講を願い出る者にあつては高等教育推進機構長を含む。）の意見を聴いた上で、これを聴講生として許可することができる。ただし、全学共通科目の聴講を願い出る聴講生の選考については、高等教育推進機構長と協議しなければならない。

- 2 前項に規定するもののほか、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

### (研究生)

第40条 学長は、特定の事項について研究を願い出る者があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを研究生として許可することができる。

- 2 前項に規定するもののほか、研究生に関して必要な事項は、別に定める。

### (研修員)

第41条 学長は、大学又はその他の団体から特定事項の研究のため、その所属の職員の出遣について願い出があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを研修員として許可することができる。

- 2 前項に規定するもののほか、研修員に関して必要な事項は、別に定める。

### (規定の準用)

第42条 この章に定めるもののほか、学則のうち必要な規定は、科目等履修生、特別

聴講生、聴講生、研究生及び研修員について準用する。

## 第9章 外国人留学生

### (外国人留学生)

第43条 学長は、外国人で留学のため、本学へ入学を願い出る者がいるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを外国人留学生として許可することができる。

2 この章に定めるもののほか、学則のうち必要な規定は、外国人留学生について準用する。

## 第10章 公開講座

### (公開講座)

第44条 県民の教養を高めるとともに、広く文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

## 第11章 授業料及び入学料等

### (授業料及び入学料等)

第45条 授業料、入学考査料、入学料、研修料、公開講座受講料（以下「授業料等」という。）の額並びに徴収に関しては、別に定める。

2 休学を許可された者に対しては、別に定めるところにより、休学期間の授業料を免除する。

3 特別の理由があると認められる者は、別に定めるところにより、授業料等の全部又は一部の免除を申請することができる。

## 第12章 雑則

### (補則)

第46条 この学則の施行に関して必要な事項は、別に定める。

## 附則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

### 附則（平成27年2月4日改正）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

### 附則（平成27年2月12日改正）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

### 附則（平成27年9月30日改正）

この学則は、平成27年10月1日から施行する。

### 附則（平成28年5月11日改正）

### (施行期日)

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。

### (経過措置)

2 平成29年度から平成31年度における環境人間学部環境人間学科及び看護学部看護学科並びに全学部の計の入学定員及び3年次編入学定員並びに収容定員は、第2条

第2項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学 部	学 科		平成29年度	平成30年度	平成31年度
環境人間学部	環境人間学科 (うち食環境栄養課程)	入学定員	205	205	205
			(40)	(40)	(40)
		3年次編入学定員	—	—	—
			—	—	—
	収容定員	810	810	815	
		(150)	(150)	(155)	
看護学部	看護学科	入学定員	105	105	105
		3年次編入学定員	—	—	—
		収容定員	415	410	415
全学部の計		入学定員	1,267	1,267	1,267
		3年次編入学定員	—	—	—
		収容定員	5,053	5,048	5,058

附 則 (平成 30 年 12 月 5 日改正)

(施行期日)

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 経済学部国際経済学科及び応用経済学科並びに経営学部組織経営学科及び事業創造学科は、第2条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成 31 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 平成 31 年度から平成 33 年度における経済学部国際経済学科及び応用経済学科、経営学部組織経営学科及び事業創造学科、国際商経学部国際商経学科、社会情報科学部社会情報科学科並びに全学部の計の収容定員は、第2条第2項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学 部	学 科	収容定員		
		平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
経済学部	国際経済学科	300	200	100
	応用経済学科	300	200	100
経営学部	組織経営学科	390	260	130
	事業創造学科	300	200	100
国際商経学部	国際商経学科	360	720	1,080
社会情報科学部	社会情報科学科	100	200	300
学部の計		5,088	5,128	5,158

附 則 (平成 31 年 1 月 9 日改正)

(施行期日)

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成 30 年度以前に入学した者の授業科目及び授業の方法については、第 10 条の 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 平成 30 年度以前に入学した者の成績の評価については、第 13 条第 1 項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**（令和 2 年 2 月 5 日改正）

（施行期日）

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（令和 2 年 12 月 2 日改正）

（施行期日）

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（令和 5 年 3 月 27 日改正）

（施行期日）

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（令和 6 年 3 月 28 日改正）

（施行期日）

この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

# 兵庫県立大学理学部規程第1号

## 理学部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、兵庫県立大学学則（平成25年法人規程第75号。以下「学則」という。）に基づき、兵庫県立大学理学部（以下「本学部」という。）に関する教育課程及び履修方法等について、必要な事項を定めるものとする。

(専決事項の規定)

第2条 公立大学法人兵庫県立大学決裁規程（平成25年法人規程第6号）第4条に規定する専決事項として学部長が専決するものについて、この規程においては、学部長が許可又は決定を行うものとして規定する。

(教育研究上の目的)

第3条 本学部では、「物質の科学」及び「生命の科学」を2本の柱とし、教育研究を展開する。数学、物理学、化学、生物学及び地学の学際領域又は境界領域に芽生える新しい科学と技術に対応するため、物質科学科、生命科学科の2学科構成とし、相互に連携しながら、次のとおり学科ごとに特色ある教育研究を推進する。

(1) 物質科学科においては、物性を支配する原理や法則、物性の発現機構、物性制御の手法及び物質創製のための反応機構について体系的な理解を育むことを教育研究上の根幹とする。そのため、物質の物性及び反応について電子、原子及び分子を基礎にした教育研究に取り組み、物質に関する深い理解と洞察力を身につけた人材を育成することを目的とする。

(2) 生命科学科においては、生物が持つ複雑かつ巧妙な構造と機能の理解及び生物の生活基盤である地球の構造の理解を育むことを教育研究上の根幹とする。そのため、生物の構造と機能に関する細胞、分子及び原子レベルにおける教育研究並びに地球表層と内部の性質及びその変遷についての教育研究に取り組み、生命科学及び地球科学への深い理解と洞察力を身につけた人材を育成することを目的とする。

(授業科目)

第4条 授業科目は、全学共通科目、専門基礎科目、専門教育科目、及び教職課程科目とする。なお、専門基礎科目と専門教育科目を合わせて専門科目と表記することがある。

(全学共通科目)

第5条 全学共通科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第1に定めるところによる。

(専門基礎科目)

第6条 専門基礎科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第2に定めるところによる。

(専門教育科目)

第7条 専門教育科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第3に定めるところによる。

(教職課程科目)

第8条 教職課程科目に係る授業科目、単位数その他履修に関する事項は、別表第4に定めるところによる。

第9条 削除

(単位の計算)

第10条 学則第11条の規定による専門基礎科目、専門教育科目、教職課程科目の単位については、次の基準により計算する。ただし、教育実習及び介護等体験については別に定める。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技等については、45時間の授業をもって1単位とする。

(履修方法)

第11条 学生は、履修しようとする授業科目について、毎学年の所定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 履修の届出を行うことのできる単位数は、原則として通年50単位以内、前期、後期各々28単位以内とする。

ただし、集中講義による授業科目、卒業要件に含まない教職課程科目及び副専攻科目等のうち指定された科目は、この単位数に含まない。

(他学部の授業科目の履修)

第12条 学生は、他学部又は他学科の授業科目を履修しようとするときは、他学部授業科目履修許可願(様式第1号)を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。

2 学部長は、前項の規定により、他学部の授業科目の履修に係る許可をする場合にあっては、関係学部長に協議しなければならない。

3 第1項の規定により履修した授業科目について、修得した単位は、30単位を超えない範囲で理学部長が相当と認めるものについては、教授会の意見を聴いた上で、卒業所要単位数に算入することができる。

(大学院理学研究科の授業科目の履修)

第13条 学生は、本学大学院理学研究科所定の博士前期課程授業科目(理学研究科規程第1条に定める別表第1の授業科目のうち★印を付した科目)を履修しようとするときは、大学院理学研究科長の許可を受けなければならない。

2 前項の規定により、履修した授業について修得した単位は、所要単位数に含めることができない。

(他大学等における修得単位の認定)

第14条 学部長は、学則第14条及び兵庫県立大学他大学等における授業科目の履修規程に基づき認定した単位数を別表第1から別表第3に定める卒業所要単位数に算入することができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第15条 学則第15条第1項の規定による既修得単位の認定は、学部長が教授会の意見を聴いた上で、決定することができる。

2 学部長は、前項の規定について、教授会の意見を聴いた上で、単位認定することができる。

3 前項の規定により認定することができる単位数は、編入学により入学する

場合を除き本学において修得した単位以外のものについては、学則第 14 条第 2 項の規定により本学において前項の修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。

4 前 3 項の規定により認定された単位数は、別表第 1 から別表第 3 に定める卒業所要単位数に算入することができる。

(編入学の入学資格)

第 16 条 学則第 19 条第 2 項の学部編入学を希望する者に係る入学資格は、次の各号のいずれかに該当することとする。

- (1) 大学を卒業した者であること。
- (2) 短期大学を卒業した者であること。
- (3) 高等専門学校を卒業した者であること。
- (4) 大学に 2 年以上在学し、退学した者であること。
- (5) 専修学校の専門課程（修学年限が 2 年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者であること。
- (6) 外国において学校教育 14 年の課程を修了した者であること。
- (7) 前各号と同等以上の資格を有すると学部長が認めた者であること。

(編入学者の在学すべき年数)

第 17 条 学則第 23 条の編入学により入学した者の在学すべき年数については、教授会の意見を聴いた上で、これを定める。

(編入学者の既修得単位及び単位数等の取扱い)

第 18 条 学部長は、学則第 23 条の編入学により入学した者の既に履修した授業科目及び単位数等の取扱いについて、教授会の意見を聴いた上で、経てこれを決定することができる。

(転学)

第 19 条 学則第 24 条第 1 項の規定により、他の大学に転学を希望する者は、転学許可願（様式第 2 号）を、所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を受けなければならない。

2 学生は、学則第 24 条第 2 項の規定により、本学部に転学を希望する者は、転学許可願（様式第 3 号）を、所定の期日までに学務所管課に提出し学部長の許可を受けなければならない。

3 学部長は前 2 項の規定について、教授会の意見を聴いた上で、相当年次に転学を許可することができる。

(転学部)

第 20 条 学生は、学則第 25 条に規定する転学部を希望するときは、転学部許可願（様式第 4 号）を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。

2 学部長は、前項の規定について、所属学部と志望学部の教授会の意見を聴いた上で、転学部を許可することができる。

(転学部の出願資格、受入年次及び既修得単位の扱い)

第 21 条 本学部に転学部することができる者は、次の各号のすべてに該当するものでなければならない。

- (1) 他学部において 6 2 単位以上を修得した者であること。

- (2) 本学部での在学年限を4年以上残しておくこと。
- 2 転学部の受け入れ年次については、教授会の意見を聴いた上で、学部長が決定する。
- 3 学部長は、転学部を許可された者の既修得単位について、教授会の意見を聴いた上で、本学部で修得したものとみなすことができる。

(転学科)

第22条 学生は、学則第26条に規定する転学科を希望するときは、転学科許可願(様式第5号)を所定の期日までに学務所管課に提出し、学部長の許可を得なければならない。

- 2 学部長は、他学科への転学科を希望する者があるときは、教務委員会で選考のうえ、教授会の意見を聴いた上で許可することができる。

(転学科の年次)

第23条 転学科の出願資格は、3年次への進級時に限る。

(試験)

第24条 授業科目の評価は、学則第12条に基づき、原則として試験により行う。ただし、学部長が試験以外の方法が適当と認める場合には、他の方法をもって行うことができる。

- 2 学生は、履修した授業科目でなければ試験を受けることができない。
- 3 卒業研究の審査は、論文等で行う。

(成績)

第25条 授業科目の成績は、試験の結果及び日常の学習状況を総合して、次の基準により評価する。

- (1) 成績は100点満点とし、60点以上をもって合格とする。
- (2) 合格した科目には所定の単位を与える。
- (3) 合格した科目の成績は、S、A、B及びCの評語をもって表し、その区分及び評価の基準は、次のとおりとする。

評語	区分	評価の基準
S	90点以上	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
A	80点以上90点未満	到達目標を十分に達成できている優れた成績
B	70点以上80点未満	到達目標を達成できている成績
C	60点以上70点未満	到達目標を最低限達成できている成績

- 2 合格した科目については、再評価しない。
- 3 休学期間中に開講されている科目については、その単位を認めない。
- 4 卒業研究の評価は、合格又は不合格をもって表す。
- 5 英語海外研修、中国語海外研修及びグローバルプロジェクト入門(海外)の評価は、合格又は不合格をもって表す。
- 6 単位互換、他大学等の評価は、認定をもって表す。

(先修条件及び履修許可)

第26条 学生は、2年次実験及び3年次実験の履修については、あらかじめ別

表第6に定めるそれぞれの先修条件を満たさなければならない。

2 卒業研究を履修するためには、別表第6に定める卒業研究先修条件を満たさなければならない。

(卒業)

第27条 学生は、卒業するためには、別表第6に定める卒業要件を満たさなければならない。

(教職員の免許状授与の所要資格の取得)

第28条 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による免許状を取得しようとする者は、同法及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に基づき、学則第28条に規定するもののほか、第7条に定める教職課程科目の単位を修得しなければならない。

2 本学部において取得できる免許の種類及び教科は次のとおりとする。

学科	免許状の種類	免許教科
物質科学科	中学校教諭1種免許状	数学
	高等学校教諭1種免許状	数学
	中学校教諭1種免許状	理科
	高等学校教諭1種免許状	理科
生命科学科	中学校教諭1種免許状	理科
	高等学校教諭1種免許状	理科

第29条 削除

(履修方法に関する学部規程への委任)

第30条 この規程に定めるもののほか、履修方法については、理学部規程の定めるところによる。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成30年度以前に入学した者の成績の評価については、第25条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成31年度以前に入学した者の履修方法については、第11条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年10月20日改正)

(施行期日)

この規程は、令和3年11月1日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則 (令和4年3月20日改正)

(施行期日)

1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 令和2年度及び3年度に入学した者の履修方法については、第11条第2項の規定にかかわらず、履修の届け出を行うことのできる単位数は、原則として入学年次は通年56単位以内、次年度以降は54単位以内とする。

3 平成31年度以前に入学した者の履修方法については、第11条第2項の規定にかかわらず、原則として通年56単位以内とする。

別表第1（第5条関係）  
全学共通科目（令和6年度入学生）

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
自主自律 支援科目	基礎ゼミナール	2	2			
	キャリア形成支援科目 キャリアデザイン入門	1		2		
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	【英語コア科目】 Reading and Discussion 1	1		1	英語コア科目及び選択英語科目より6単位 選択必修 英語コア科目は1年次に必ず受講すること。	
	Reading and Discussion 2	1		1		
	Listening and Speaking 1	1		1		
	Listening and Speaking 2	1		1		
	Writing 1	1		1		
	Writing 2	1		1		
	【選択英語科目】 Intensive English 1	2~4		1		
	Intensive English 2	2~4		1		
	Communicative English Basic 1	2~4		1		
	Communicative English Basic 2	2~4		1		
	【選択英語科目その他】 TOEIC総合1	2~4		1	※英語選択必修6単位には含まない	
	TOEIC総合2	2~4		1		
	科学技術英語 1	2~4		1		
	科学技術英語 2	2~4		1		
	英語海外研修	1~4		2		
	〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉 英語実習	1		1	GLEP必修	
	英語表現	1		1	GLEP必修	
外 国 語	中国語1	1		1		
	中国語2	1		1		
	フランス語1	1		1		
	フランス語2	1		1		
	ドイツ語1	1		1		
	ドイツ語2	1		1		
	韓国・朝鮮語1	1		1		
	韓国・朝鮮語2	1		1		
	中国語海外研修	1		2		
統 計 ・ 情 報	データサイエンス入門	1	2			
	情報科学 I	2		2		
	情報科学 II A	2		2		
	情報科学 II B	2		2		
教 養 教 育 科 目	人 と 文 化	哲学	1		2	人と文化から2単位以上必要
		論理学	1		2	
		心理学	1		2	
		国文学（演劇）	1		2	
		国文学（小説）	1		2	
		国際社会と文化	2		2	
		教育学	1		2	
		日本史	1		2	
		東洋史	1		2	
		環境芸術論	1		2	
		芸術学	1		2	
		文化人類学	1		2	
		食文化と環境	1		2	
		暮らしと道具	1		2	

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考		
			必修	選択			
人間性の基盤教育科目	人と社会	法学	1		2	人と社会から2単位以上必要	
		生活の中の法律	1		2		
		政治学	1		2		
		環境と政治	1		2		
		社会学	1		2		
		現代社会論	1		2		
		男女共同参画社会	1		2		
		現代都市社会とまちづくり	1		2		
		経営学	1		2		
		経営戦略論	2		2		
		日本国憲法	1		2		1年次 通常講義（前期と後期）※抽選科目 2年次 夏期集中講義（教職希望者で1年次に抽選に外れた者優先）
		人文地理学概論	1		2		
		ひょうごの子育て支援	1		2		
		福祉と社会	1		2		
		環境の社会学	1		2		
情報技術と現代社会	1		2				
人間性の基盤教育科目	人と自然	医療と工学のフロンティア	1		2	人と自然から2単位以上必要	
		科学技術論	1		2		
		宇宙科学	1		2		
		生命倫理	2		2		(春)と(理)で隔年開講
		応用倫理	1		2		
		生物科学	1		2		
		生命体の科学	1		2		
		分子生物学とバイオテクノロジー	1		2		
		社会統計学	1		2		
		マテリアル科学への招待	1		2		
		現代化学への招待	1		2		
		一般有機化学	1		2		
		放射光科学のフロンティア	1		2		
		環境問題と国際協力	1		2		
		人と自然の共生	1		2		
物質科学入門	1	2		物質科学科必修			
生命科学入門	1	2		生命科学科必修			
物理学の基本概念	1		2				
人間性の基盤教育科目	人と健康	健康・スポーツ科学演習1	1		1		
		健康・スポーツ科学演習2	1		1		
		栄養健康科学入門	1		2		
		ヒューマンヘルスサイエンス	1		2		
ひょうご県大特色科目	地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論	1		2	2024年度 開講せず	
		緑景観マネジメント論	1		2		
		地域資源の保全と活用	1		2		
		地方公共団体の行政を学ぶ	1		2		
		地域プロジェクト概論	1		2		
		地域資源マネジメント概論	1		2		
		兵庫のものづくり	1		2		
		化学と環境技術	1		2		
		地域気候と住環境	1		2		
		兵庫の里山	1		2		
		ジオパークと地域	1		2		
		共生博物館	1		2		
		地域社会とマネジメント	1		2		
		地域社会と健康	1		2		
		地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	3		2		
地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	3		2				

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考		
			必修	選択			
教 養 教 育 科 目	地域課題探究科目	フィールドワーク基礎技術論	1	1	地域創生人材教育プログラムの科目		
		フィールドワーク基礎技術演習	1	1	地域創生人材教育プログラムの科目		
		地域プロジェクト実践論	2	2	地域創生人材教育プログラムの科目		
		地域プロジェクト演習	2	2	地域創生人材教育プログラムの科目		
	グ ロ ー バ ル 教 育 科 目	現代の経営問題	1		2	2024年度 開講せず	
		宗教概論	1		2		
		建築文化ツーリズム学	1		2		
		グローバル科学入門	1		2		
		グローバル社会と文化	1		2		
		播磨学	1		2		
		グローバルリーダー入門	1		2		
		〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉					グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
		グローバル教養概論	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ必修
		グローバルプロジェクト入門 (海外) (A)	1~4		2		原則グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可 (A) または(B) のどちらか一方のみ履修可。GLEP必修。
	グローバルプロジェクト入門 (海外) (B)	2~4		2			
	グローバル社会を学ぶ	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修	
	日本の思想と文化を学ぶ	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修	
	先端科学を学ぶ	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修	
	防 災 教 育 科 目	地球の営みと災害	1		2		
		兵庫の歴史と自然災害史	1		2		
		生活と防災	1		2		
社会特性と減災復興		1		2			
災害支援とボランティア		1		2			
兵庫の災害と防災		1		2	2023年度以降入学生履修不可		
減災復興まちづくり		1		2	2023年度以降入学生履修不可		
災害現場と防災	1		2	2023年度以降入学生履修不可			
卒業所要単位					28単位以上		

#### 履修上の注意

- ・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。
- ・英語コア科目（6科目）及び選択英語科目（Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2）から、6単位以上修得しなければならない。
- ・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。

## 別表第1（第5条関係）

## 全学共通科目（令和5年度入学生）

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考	
			必修	選択		
自主自律 支援科目	基礎ゼミナール	2	2			
	キャリア形成支援科目 キャリアデザイン入門	1		2		
グローバル化時代のアカデミックス スキル科目	【英語コア科目】 Reading and Discussion 1	1		1	英語コア科目及び選択英語科目より6単位 選択必修 英語コア科目は1年次に必ず受講すること。	
	Reading and Discussion 2	1		1		
	Listening and Speaking 1	1		1		
	Listening and Speaking 2	1		1		
	Writing 1	1		1		
	Writing 2	1		1		
	【選択英語科目】 Intensive English 1	2～4		1		
	Intensive English 2	2～4		1		
	Communicative English Basic 1	2～4		1		
	Communicative English Basic 2	2～4		1		
	【選択英語科目その他】 TOEIC総合1	2～4		1	※英語選択必修6単位には含まない	
	TOEIC総合2	2～4		1		
	科学技術英語 1	2～4		1		
	科学技術英語 2	2～4		1		
	英語海外研修	1～4		2		
〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉 英語実習	1		1	グローバルリーダー教育プログラム ※英語選択必修6単位には含まない		
英語表現	1		1			
外国語	中国語1	1		1		
	中国語2	1		1		
	フランス語1	1		1		
	フランス語2	1		1		
	ドイツ語1	1		1		
	ドイツ語2	1		1		
	韓国・朝鮮語1	1		1		
	韓国・朝鮮語2	1		1		
	中国語海外研修	1		2		
	データサイエンス入門	1	2			
統計・情報	情報科学 I	2		2		
	情報科学 II A	2		2		
	情報科学 II B	2		2		
教養 教育科目	人間性の基盤教育科目 人と文化	哲学	1		2	人と文化から2単位以上必要
		論理学	1		2	
		心理学	1		2	
		国文学（演劇）	1		2	
		国文学（小説）	1		2	
		国際社会と文化	2		2	
		教育学	1		2	
		日本史	1		2	
		東洋史	1		2	
		環境芸術論	1		2	
		芸術学	1		2	
		文化人類学	1		2	
		食文化と環境	1		2	
		暮らしと道具	1		2	

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考			
			必修	選択				
教 養 教 育 科 目	人 と 社 会	法学	1		2	人と社会から2単位以上必要		
		生活の中の法律	1		2			
		政治学	1		2			
		環境と政治	1		2			
		社会学	1		2			
		現代社会論	1		2			
		男女共同参画社会	1		2			
		現代都市社会とまちづくり	1		2			
		経営学	1		2			
		経営戦略論	2		2			
		日本国憲法	1		2		1年次 通常講義（前期と後期）※抽選科目 2年次 夏期集中講義（教職希望者で1年次に抽選に外れた者優先）	
		人文地理学概論	1		2			
		ひょうごの子育て支援	1		2			
		福祉と社会	1		2			
		環境の社会学	1		2			
		情報技術と現代社会	1		2			
	人 と 自 然	医療と工学のフロンティア	1		2	人と自然から2単位以上必要		
		科学技術論	1		2			
		宇宙科学	1		2			
		生命倫理	2		2			(看)と(理)で隔年開講
		応用倫理	1		2			
		生物科学	1		2			
		生命体の科学	1		2			
		分子生物学とバイオテクノロジー	1		2			
		社会統計学	1		2			
		マテリアル科学への招待	1		2			
		現代化学への招待	1		2			
		一般有機化学	1		2			
		放射光科学のフロンティア	1		2			
		環境問題と国際協力	1		2			
		人と自然の共生	1		2			
	人 と 健 康	健康・スポーツ科学演習1	1		1	物質科学科必修 生命科学科必修		
		健康・スポーツ科学演習2	1		1			
		栄養健康科学入門	1		2			
		ヒューマンヘルスサイエンス	1		2		R5年度非開講	
	ひ よ う ご 県 大 特 色 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	ひょうご地域課題概論	1		2	R5年度非開講	
			緑景観マネジメント論	1		2		
地域資源の保全と活用			1		2			
地方公共団体の行政を学ぶ			1		2			
地域プロジェクト概論			1		2			
地域資源マネジメント概論			1		2			
兵庫のものづくり			1		2			
化学と環境技術			1		2			
地域気候と住環境			1		2			
兵庫の里山			1		2			
ジオパークと地域			1		2			
共生博物学			1		2			
地域社会とマネジメント			1		2			
地域社会と健康			1		2			
地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）			3		2			
地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）			3		2			

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開 講 年 次	単 位 数		備 考		
			必 修	選 択			
教 養 教 育 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	フィールドワーク基礎技術論	1		1	地域創生人材教育プログラムの科目	
		フィールドワーク基礎技術演習	1		1	地域創生人材教育プログラムの科目	
		地域プロジェクト実践論	2		2	地域創生人材教育プログラムの科目	
		地域プロジェクト演習	2		2	地域創生人材教育プログラムの科目	
	グ ロー バ ル 教 育 科 目	現代の経営問題	1		2		
		宗教概論	1		2		
		建築文化ツーリズム学	1		2		
		グローバル科学入門	1		2		
		グローバル社会と文化	1		2		
		播磨学	1		2		
		グローバルリーダー入門	1		2		
		兵庫の国際交流	1		2		
		(副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目)					グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
		グローバル教養概論	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ必修
	グローバルプロジェクト入門 (海外) (A)	1~4		2		原則グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可 (A) または(B)のどちらか一方のみ履修可。GLEP必修。	
	グローバルプロジェクト入門 (海外) (B)	2~4		2			
	グローバル社会を学ぶ	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修	
	日本の思想と文化を学ぶ	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修	
	先端科学を学ぶ	1		2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修	
	防 災 教 育 科 目	地球の営みと災害	1		2		
兵庫の歴史と自然災害史		1		2			
生活と防災		1		2			
社会特性と減災復興		1		2			
災害支援とボランティア		1		2			
兵庫の災害と防災		1		2	2023年度以降入学生履修不可		
減災復興まちづくり		1		2	2023年度以降入学生履修不可		
災害現場と防災	1		2	2023年度以降入学生履修不可			
卒業所要単位					28単位以上		

履修上の注意

- ・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。
- ・英語コア科目（6科目）及び選択英語科目（Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2）から、6単位以上修得しなければならない。
- ・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。

別表第1 (第5条関係)  
全学共通科目 (令和4年度入学生)

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
自主自律 支援科目	基礎ゼミナール	2	2			
	キャリア形成支援科目 キャリアデザイン入門	1		2		
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	【英語コア科目】				英語コア科目及び選択英語科目より6単位 選択必修 英語コア科目は1年次に必ず受講すること。	
	Reading and Discussion 1	1		1		
	Reading and Discussion 2	1		1		
	Listening and Speaking 1	1		1		
	Listening and Speaking 2	1		1		
	Writing 1	1		1		
	Writing 2	1		1		
	【選択英語科目】					
	Intensive English 1	2~4		1		
	Intensive English 2	2~4		1		
	Communicative English Basic 1	2~4		1		
	Communicative English Basic 2	2~4		1		
	【選択英語科目その他】				※英語選択必修6単位には含まない	
	TOEIC総合1	2~4		1		
	TOEIC総合2	2~4		1		
	科学技術英語 1	2~4		1		
	科学技術英語 2	2~4		1		
	英語海外研修	1~4		2		
	(副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目)				グローバルリーダー教育プログラム	
	英語実習	1		1	※英語選択必修6単位には含まない	
英語表現	1		1			
外 国 語	中国語1	1		1		
	中国語2	1		1		
	フランス語1	1		1		
	フランス語2	1		1		
	ドイツ語1	1		1		
	ドイツ語2	1		1		
	韓国・朝鮮語1	1		1		
	韓国・朝鮮語2	1		1		
	中国語海外研修	1		2		
	統計・情報	データサイエンス入門	1	2		
情報科学 I		2		2		
情報科学 II A		2		2		
情報科学 II B		2		2		
教 養 教 育 科 目	人 と 文 化	哲学	1		2	人と文化から2単位以上必要
		論理学	1		2	
		心理学	1		2	
		国文学 (演劇)	1		2	
		国文学 (小説)	1		2	
		国際社会と文化	2		2	
		教育学	1		2	
		日本史	1		2	
		東洋史	1		2	
		環境芸術論	1		2	
		芸術学	1		2	
		文化人類学	1		2	
		食文化と環境	1		2	
		日本文化	1		2	
		暮らしと道具	1		2	

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
教 養 教 育 科 目	人 と 社 会	法学	1		2	人と社会から2単位以上必要  1年次 通常講義（前期と後期）※抽選科目 2年次 夏期集中講義（教職希望者で1年次に抽選に外れた者優先）
		生活の中の法律	1		2	
		政治学	1		2	
		環境と政治	1		2	
		社会学	1		2	
		現代社会論	1		2	
		男女共同参画社会	1		2	
		現代都市社会とまちづくり	1		2	
		経営学	1		2	
		経営戦略論	2		2	
		日本国憲法	1		2	
			2		2	
		人文地理学概論	1		2	
		ひょうごの子育て支援	1		2	
		福祉と社会	1		2	
		環境の社会学	1		2	
	情報技術と現代社会	1		2		
	スポーツと生活	1		2		
	人 と 自 然	医療と工学のフロンティア	1		2	人と自然から2単位以上必要  (看)と(理)で隔年開講
		科学技術論	1		2	
		宇宙科学	1		2	
		生命倫理	2		2	
		応用倫理	1		2	
		生物科学	1		2	
		生命体の科学	1		2	
		分子生物学とバイオテクノロジー	1		2	
		社会統計学	1		2	
		マテリアル科学への招待	1		2	
		現代化学への招待	1		2	
		バイオセンシングの化学	1		2	
		放射光科学のフロンティア	1		2	
		環境問題と国際協力	1		2	
		人と自然の共生	1		2	
		物質科学入門	1	2		
	生命科学入門	1	2		生命科学科必修	
	物理学の基本概念	1		2		
人 と 健 康	健康・スポーツ科学演習1	1		1		
	健康・スポーツ科学演習2	1		1		
	栄養健康科学入門	1		2		
	ヒューマンヘルスサイエンス	1		2		
ひょうご 地 域 課 題 探 究 科 目	ひょうご地域課題概論	1		2		
	緑景観マネジメント論	1		2		
	地域資源の保全と活用	1		2		
	地方公共団体の行政を学ぶ	1		2		
	地域プロジェクト概論	1		2		
	地域資源マネジメント概論	1		2		
	兵庫のものづくり	1		2		
	化学と環境技術	1		2		
	地域気候と住環境	1		2		
	兵庫の里山	1		2		
	ジオパークと地域	1		2		
	共生博物学	1		2		
	地域社会とマネジメント	1		2		
	地域社会と健康	1		2		
	地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	3		2		
	地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	3		2		

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開 講 年 次	単 位 数		備 考
			必 修	選 択	
教 養 教 育 科 目	地域課題探究科目	フィールドワーク基礎技術論	1	1	地域創生人材教育プログラムの科目
		フィールドワーク基礎技術演習	1	1	地域創生人材教育プログラムの科目
		地域プロジェクト実践論	2	2	地域創生人材教育プログラムの科目
		地域プロジェクト演習	2	2	地域創生人材教育プログラムの科目
	グ ロー バ ル 教 育 科 目	現代の経営問題	1	2	
		宗教概論	1	2	
		建築文化ツーリズム学	1	2	
		グローバル科学入門	1	2	
		グローバル社会と文化	1	2	
		播磨学	1	2	
		姫路城特別講義	1	2	
		グローバルリーダー入門	1	2	
		兵庫の国際交流	1	2	
		(副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目)			
	グローバル教養概論	1	2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ必修
	グローバルプロジェクト入門 (海外) (A)	1~4	2		原則グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
	グローバルプロジェクト入門 (海外) (B)	2~4			(A) または(B) のどちらか一方のみ履修可
	グローバル社会を学ぶ	1	2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修
	日本の思想と文化を学ぶ	1	2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修
	先端科学を学ぶ	1	2		グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ選択必修
	防 災 教 育 科 目	地球の営みと災害	1	2	
		兵庫の歴史と自然災害史	1	2	
		生活と防災	1	2	
社会特性と減災復興		1	2		
災害支援とボランティア		1	2		
兵庫の災害と防災		1	2		
減災復興まちづくり		1	2		
災害現場と防災	1	2			
卒業所要単位					28単位以上

## 履修上の注意

・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。

・英語コア科目（6科目）及び選択英語科目（Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2）から、6単位以上修得しなければならない。

・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。

別表第1（第5条関係）  
全学共通科目（令和3年度入学生）

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
自主自律 支援科目	基礎ゼミナール	2	2			
	キャリア形成支援科目 キャリアデザイン入門	1		2		
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	【英語コア科目】				次の科目の中から6単位選択必修 ・英語コア科目（6科目） ・Communicative English Basic 1 ・Communicative English Basic 2 ・Intensive English 1 ・Intensive English 2	
	Reading and Discussion 1	1		1		
	Reading and Discussion 2	1		1		
	Listening and Speaking 1	1		1		
	Listening and Speaking 2	1		1		
	Writing 1	1		1		
	Writing 2	1		1		
	【選択英語科目】					英語コア科目は一年次に必ず受講する。
	TOEIC総合1	2～4		1	前期集中	
	TOEIC総合2	2～4		1	後期集中	
	Intensive English 1	2～4		1		
	Intensive English 2	2～4		1		
	科学技術英語 1	2～4		1		
	科学技術英語 2	2～4		1		
	Communicative English Basic 1	2～4		1		
	Communicative English Basic 2	2～4		1		
	英語海外研修	1～4		2		
	〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉					グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
	英語実習	1		1		
	英語表現	1		1		
外 国 語	中国語1	1		1		
	中国語2	1		1		
	フランス語1	1		1		
	フランス語2	1		1		
	ドイツ語1	1		1		
	ドイツ語2	1		1		
	韓国・朝鮮語1	1		1		
	韓国・朝鮮語2	1		1		
	中国語海外研修	1		2		
統計・情報	情報処理基礎	1	2			
	情報科学 I	2		2		
教 養 教 育 科 目	人 間 性 の 基 盤 教 育 科 目  人 と 文 化	哲学	1		2	人と文化から2単位以上必要  前期集中  (S)は前期集中、(A)は通常講義
		論理学	1		2	
		倫理学	1		2	
		心理学	1		2	
		国文学（演劇）	1		2	
		国文学（小説）	1		2	
		国際社会と文化	2		2	
		教育学	1		2	
		日本史	1		2	
		東洋史	1		2	
		環境芸術論	1		2	
		芸術学	1		2	
		文化人類学	1		2	
		食文化と環境	1		2	
		日本文化	1		2	
		暮らしと道具	1		2	

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	人間性の基盤教育科目	法学	1	2	人と社会から2単位以上必要
		生活の中の法律	1	2	
		政治学	1	2	
		環境と政治	1	2	
		社会学	1	2	
		現代社会論	1	2	
		男女共同参画社会	1	2	
		現代都市社会とまちづくり	1	2	
		経営学	1	2	
		経営戦略論	2	2	
		日本国憲法	1	2	
			2	2	
		人文地理学概論	1	2	
		ひょうごの子育て支援	1	2	
		福祉と社会	1	2	
		社会思想入門	1	2	
		芸術社会学	1	2	
		環境の社会学	1	2	
		情報技術と現代社会	1	2	
	スポーツと生活	1	2		
	人と自然	医療と工学のフロンティア	1	2	人と自然から2単位以上必要
		科学技術論	1	2	
		宇宙科学	1	2	
		生命倫理	2	2	
		応用倫理	1	2	
		生物科学	1	2	
		生命体の科学	1	2	
		分子生物学とバイオテクノロジー	1	2	
		社会統計学	1	2	
		マテリアル科学への招待	1	2	
		現代化学への招待	1	2	
		バイオセンシングの化学	1	2	
		放射光科学のフロンティア	1	2	
		環境問題と国際協力	1	2	
		人と自然の共生	1	2	
		物質科学入門	1	2	
生命科学入門		1	2		
物理学の基本概念	1	2			
人と健康	健康・スポーツ科学演習1	1	1	人と健康から2単位以上必要	
	健康・スポーツ科学演習2	1	1		
	栄養健康科学入門	1	2		
	ヒューマンヘルスサイエンス	1	2		
ひょうご県大特色科目	地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論	1	2	前期集中
		緑景観マネジメント論	1	2	
		地域資源の保全と活用	1	2	
		地方公共団体の行政を学ぶ	1	2	
		地域プロジェクト概論	1	2	
		地域資源マネジメント概論	1	2	
		兵庫のものづくり	1	2	
		化学と環境技術	1	2	
		地域気候と住環境	1	2	
		兵庫の里山	1	2	
		ジオパークと地域	1	2	
		共生博物学	1	2	
		地域社会とマネジメント	1	2	
		地域社会と健康	1	2	
		地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	3	2	
		地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	3	2	

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
教 養 教 育 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	〈副専攻の地域創生人材教育プログラムの科目〉			地域創生人材教育プログラム履修者のみ受講可	
		フィールドワーク基礎技術演習1	1	1	※1) 後期集中	
		フィールドワーク基礎技術演習2(地域と暮らし)	1	1	※2) 後期集中	
		フィールドワーク基礎技術演習2(地域と自然)	2	1	※3) 前期集中	
		地域プロジェクト実践論	2	2	※4) 集中講義	
	地域プロジェクト演習	2	2	※5) 集中講義		
	ひ よ う ご 県 大 特 色 科 目	グ ロ ー バ ル 教 育 科 目	現代の経営問題	1	2	
			宗教概論	1	2	
			建築文化ツーリズム学	1	2	
			グローバル科学入門	1	2	
			グローバル社会と文化	1	2	
			播磨学	1	2	前期集中
			姫路城特別講義	1	2	
			グローバルリーダー入門	1	2	
			兵庫の国際交流	1	2	令和3年度開講せず
			〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉			グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
	グローバル教養概論	1	2			
	グローバルプロジェクト入門(海外)(A)	1	2			
	グローバルプロジェクト入門(海外)(B)	1	2			
	グローバル社会を学ぶ	1	2	後期集中		
	日本の思想と文化を学ぶ	1	2			
	先端科学を学ぶ	1	2	後期集中		
	防 災 教 育 科 目	地球の営みと災害	1~4	2		
		兵庫の歴史と自然災害史	1~4	2		
		生活と防災	1~4	2		
		社会特性と減災復興	1~4	2		
		災害支援とボランティア	1~4	2		
兵庫の災害と防災		1~4	2	前期集中		
減災復興まちづくり		1~4	2	前期集中		
災害現場と防災	1~4	2	前期集中			
卒業所要単位					28単位以上	

- ※1) ひょうご地域課題概論を履修し、単位修得していること  
 ※2) フィールドワーク基礎技術演習1を履修していること  
 ※3) フィールドワーク基礎技術演習1を履修していること  
 ※4) 1年次にフィールドワーク基礎技術演習1を履修し、単位修得していること  
 ※5) 地域プロジェクト実践論を履修し、単位修得していること

## 履修上の注意

- ・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。
- ・英語コア科目(6科目)及び指定された選択英語科目(Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2)から、6単位以上修得しなければならない。
- ・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。
- ・集中科目については、CAP(キャップ)の対象外とする。

別表第1（第5条関係）  
全学共通科目（令和2年度）入学生

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
自主自律 支援科目	基礎ゼミ ナール	基礎ゼミナール	2	2		
	キャリア形 成支援科目	キャリアデザイン入門	1		2	
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	英 語	【英語コア科目】				
		Reading and Discussion 1	1	1	次の科目の中から6単位選択必修 ・英語コア科目（6科目） ・Communicative English Basic 1 ・Communicative English Basic 2 ・Intensive English 1	
		Reading and Discussion 2	1	1		
		Listening and Speaking 1	1	1		
		Listening and Speaking 2	1	1		
		Writing 1	1	1		
		Writing 2	1	1		
		【選択英語科目】				
		TOEIC総合1	2～4	1		
		TOEIC総合2	2～4	1		
		Intensive English 1	2～4	1		
		Intensive English 2	2～4	1		
	科学英語基礎 1	2～4	1			
	科学英語基礎 2	2～4	1			
	Communicative English Basic 1	2～4	1			
	Communicative English Basic 2	2～4	1			
	英語海外研修	1～4	2			
	〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉			グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可		
	英語実習	1	1			
	英語表現	1	1			
外 国 語	中国語1	1	1			
	中国語2	1	1			
	フランス語1	1	1			
	フランス語2	1	1			
	ドイツ語1	1	1			
	ドイツ語2	1	1			
	韓国・朝鮮語1	1	1			
	韓国・朝鮮語2	1	1			
	中国語海外研修	1	2			
	統計・情報	情報処理基礎	1	2		
情報科学Ⅰ		2	2			
教 養 教 育 科 目	人 と 文 化	哲学	1	2	人と文化から2単位以上必修	
		論理学	1	2		
		倫理学	1	2		
		心理学	1	2		
		国文学（演劇）	1	2		
		国文学（小説）	1	2		
		物語と文化	2	2		
		教育学	1	2		
		日本史	1	2		
		東洋史	1	2		
		環境芸術論	1	2		
		芸術学	1	2		
		文化人類学	1	2		
		食文化と環境	1	2		
		日本文化	1	2		

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	人 と 社 会	法学	1	2	人と社会から2単位以上必修  1年次 通常講義（前期と後期）※抽選科目 2年次 夏期集中講義（教職希望者で1年次に抽選に外れた者優先）
		生活の中の法律	1	2	
		政治学	1	2	
		環境と政治	1	2	
		社会学	1	2	
		現代社会論	1	2	
		男女共同参画社会	1	2	
		現代都市社会とまちづくり論	1	2	
		経営学	1	2	
		経営戦略論	2	2	
		日本国憲法	1	2	
			2	2	
		人文地理学概論	1	2	
		ひょうごの子育て支援	1	2	
		福祉と社会	1	2	
		社会思想入門	1	2	
		芸術社会学	1	2	
		環境の社会学	1	2	
		情報技術と社会	1	2	
	人 と 自 然	医療と工学のフロンティア	1	2	人と自然から2単位以上必修  (看)と(理)で隔年開講
		科学技術論	1	2	
		宇宙科学	1	2	
		生命倫理	2	2	
		応用倫理	1	2	
		生物科学	1	2	
		生命体の科学	1	2	
		分子生物学とバイオテクノロジー	1	2	
		社会統計学	1	2	
		マテリアル科学への招待	1	2	
		現代化学への招待	1	2	
		バイオセンシングの化学	1	2	
		放射光科学のフロンティア	1	2	
		環境問題と国際協力	1	2	
		人と自然の共生	1	2	
		人 と 健 康	物質科学入門	1	
生命科学入門	1		2	生命科学科必修	
物理学の基本概念	1		2		
健康・スポーツ科学演習1	1		1		
健康・スポーツ科学演習2	1	1			
栄養健康科学入門	1	2			
ヒューマンヘルスサイエンス	1	2			
ひ よ う ご 県 大 特 色 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	ひょうご地域課題概論	1	2	「地域課題探求科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から計4単位以上選択  令和2年度は開講せず
		緑景観マネジメント論	1	2	
		地域資源の保全と活用	1	2	
		地方公共団体の行政を学ぶ	1	2	
		地域プロジェクト概論	1	2	
		地域資源マネジメント概論	1	2	
		兵庫のものづくり	1	2	
		化学と環境技術	1	2	
		地域気候と住環境	1	2	
		兵庫の里山	1	2	
		ジオパークと地域	1	2	
		共生博物学	1	2	
		地域社会とマネジメント	1	2	
		地域社会と健康	1	2	
		地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	3	2	
		地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	3	2	

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
教 養 教 育 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	〈副専攻の地域創生人材教育プログラムの科目〉			地域創生人材教育プログラム履修者のみ受講可	
		フィールドワーク基礎技術演習 1	1	1	※1)	
		フィールドワーク基礎技術演習 2 (地域と暮らし)	1	1	※2)	
		フィールドワーク基礎技術演習 2 (地域と自然)	2	1	※3)	
		地域プロジェクト実践論	2	2	※4)	
	地域プロジェクト演習	2	2	※5)		
	ひ よ う ご 県 大 特 色 科 目	グ ロ ー バ ル 教 育 科 目	現代の経営問題	1	2	令和2年度は開講せず
			宗教概論	1	2	
			建築文化ツーリズム学	1	2	
			グローバル科学入門	1	2	
			グローバル社会と文化	1	2	
			播磨学	1	2	
			姫路城特別講義	1	2	
			グローバルリーダー入門	1	2	
			兵庫の国際交流	1	2	
			〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉			グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
	グローバル教養概論	1	2			
グローバルプロジェクト入門 (海外) (A)	1	2				
グローバル社会を学ぶ	1	2				
日本の思想と文化を学ぶ	1	2				
先端科学を学ぶ	1	2				
防 災 教 育 科 目	地球の営みと災害	1~4	2			
	兵庫の歴史と自然災害史	1~4	2			
	生活と防災	1~4	2			
	社会特性と減災復興	1~4	2			
	災害支援とボランティア	1~4	2			
	兵庫の災害と防災	1~4	2			
	減災復興まちづくり	1~4	2			
	災害現場と防災	1~4	2			
卒業所要単位					28単位以上	

- ※1) ひょうご地域課題概論を履修し、単位修得していること  
 ※2) フィールドワーク基礎技術演習 1 を履修していること  
 ※3) フィールドワーク基礎技術演習 1 を履修していること  
 ※4) 1年次にフィールドワーク基礎技術演習 1 を履修し、単位修得していること  
 ※5) 地域プロジェクト実践論を履修し、単位修得していること

## 履修上の注意

- ・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。
- ・英語コア科目（6科目）及び指定された選択英語科目（Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2）から、6単位以上修得しなければならない。
- ・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。

別表第1 (第5条関係)

全学共通科目 (2019年度(平成31年度)入学生)

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考
			必修	選択	
自主自律 支援科目	基礎ゼミナール	2	2		
	キャリア形成支援科目 キャリアデザイン入門	1		2	
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	【英語コア科目】				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           次の科目の中から6単位選択必修            ・英語コア科目(6科目)            ・Communicative English Basic 1            ・Communicative English Basic 2            ・Intensive English 1            ・Intensive English 2         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           英語コア科目は一年次に必ず受講する。         </div>
	Reading and Discussion 1	1		1	
	Reading and Discussion 2	1		1	
	Listening and Speaking 1	1		1	
	Listening and Speaking 2	1		1	
	Writing 1	1		1	
	Writing 2	1		1	
	【選択英語科目】				
	TOEIC総合1	2~4		1	
	TOEIC総合2	2~4		1	
	Intensive English 1	2~4		1	
	Intensive English 2	2~4		1	
	科学英語基礎 1	2~4		1	
	科学英語基礎 2	2~4		1	
	Communicative English Basic 1	2~4		1	
	Communicative English Basic 2	2~4		1	
	英語海外研修	1~4		2	
	〈副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目〉				グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
	英語実習	1		1	
	英語表現	1		1	
外 国 語	中国語1	1		1	
	中国語2	1		1	
	フランス語1	1		1	
	フランス語2	1		1	
	ドイツ語1	1		1	
	ドイツ語2	1		1	
	韓国・朝鮮語1	1		1	
	韓国・朝鮮語2	1		1	
	中国語海外研修	1		2	
統計・情報	情報処理基礎	1	2		
	情報科学 I	2		2	
教 養 教 育 科 目	人 と 文 化	哲学	1		2
		論理学	1		2
		倫理学	1		2
		心理学	1		2
		国文学(演劇)	1		2
		国文学(小説)	1		2
		物語と文化	2		2
		教育学	1		2
		日本史	1		2
		東洋史	1		2
		環境芸術論	1		2
		芸術学	1		2
		文化人類学	1		2
		食文化と環境	1		2
日本文化	1		2		

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考		
			必修	選択			
教 養 教 育 科 目	人 と 社 会	法学	1		2	人と社会から2単位以上必要	
		生活の中の法律	1		2		
		政治学	1		2		
		環境と政治	1		2		
		社会学	1		2		
		現代社会論	1		2		
		男女共同参画社会	1		2		
		経済学(ミクロ経済学)	1		2		
		経済学(マクロ経済学)	1		2		
		社会保障と経済	1		2		
		経営学	1		2		
		経営戦略論	2		2		
		日本国憲法	1		2		1年次 通常講義(前期と後期)※抽選科目 2年次 夏期集中講義(教職希望者で1年次に抽選に外れた者優先)
		人文地理学概論	1		2		
		ひょうごの子育て支援	1		2		
	福祉と社会						
	社会思想入門						
	生活の中の認知科学	1		2			
	人 と 自 然	医療と工学のフロンティア	1		2	人と自然から2単位以上必要	
		科学技術論	1		2		
		宇宙科学	1		2		
		生命倫理	2		2		(看)と(理)で隔年開講
		応用倫理	1		2		
		生物科学	1		2		
		生命体の科学	1		2		
		分子生物学とバイオテクノロジー	1		2		
		社会統計学	1		2		
		マテリアル科学への招待	1		2		
		現代化学への招待	1		2		
		現代物理化学	1		2		
		放射光科学のフロンティア	1		2		
		環境問題と国際協力	1		2		
		人と自然の共生	1		2		
物質科学入門	1	2		物質科学科必修			
生命科学入門	1	2		生命科学科必修			
物理学の基本概念	1		2				
人 と 健 康	健康・スポーツ科学演習1	1		1	平成31年度は開講せず		
	健康・スポーツ科学演習2	1		1			
	栄養健康科学入門	1		2			
	ヒューマンヘルスサイエンス	1		2			
ひ よ う ご 県 大 特 色 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	ひょうご地域課題概論	1		2	平成31年度は開講せず	
		緑景観マネジメント論	1		2		
		地域資源の保全と活用	1		2		
		地方公共団体の行政を学ぶ	1		2		
		地域プロジェクト概論	1		2		
		地域資源マネジメント概論	1		2		
		兵庫のものづくり	1		2		
		化学と環境技術	1		2		
		地域気候と住環境	1		2		
		兵庫の里山	1		2		
		ジオパークと地域	1		2		
		共生生物学	1		2		
		地域社会とマネジメント	1		2		
		地域社会と健康	1		2		
		地域資源フィールドワーク(田園生態系の保全と再生)	3		2		
地域資源フィールドワーク(ジオパークの地質と文化)	3		2				

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
教 養 教 育 科 目	地 域 課 題 探 究 科 目	(副専攻の地域創生人材教育プログラムの科目)			地域創生人材教育プログラム履修者のみ受講可	
		フィールドワーク基礎技術演習1	1	1	※1)	
		フィールドワーク基礎技術演習2(地域と暮らし)	1	1	※2)	
		フィールドワーク基礎技術演習2(地域と自然)	2	1	※3)	
		地域プロジェクト実践論	2	2	※4)	
	地域プロジェクト演習	2	2	※5)		
	ひょうご県大特色科目	グ ロー バ ル 教 育 科 目	現代の日本経済	1	2	
			現代の経営問題	1	2	
			宗教概論	1	2	
			建築文化ツーリズム学	1	2	
			グローバル科学入門	1	2	
			ボーダレス社会と経済	1	2	
			グローバル社会と文化	1	2	
			播磨学	1	2	
			姫路城特別講義	1	2	
			グローバルリーダー入門	1	2	
	兵庫の国際交流	1	2			
	グローバルリーダー教育プログラムの科目	(副専攻のグローバルリーダー教育プログラムの科目)				グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ受講可
		グローバル教養概論	1	2		
		グローバル教養海外実践	1	2		
		多文化を学ぶ	1	2		
		日本の歴史や文化を学ぶ	1	2		
	先端科学を学ぶ	1	2			
	防 災 教 育 科 目	地球の営みと災害	1~4	2		
		兵庫の歴史と自然災害史	1~4	2		
		生活と防災	1~4	2		
		社会特性と減災復興	1~4	2		
災害支援とボランティア		1~4	2			
兵庫の災害と防災		1~4	2			
減災復興まちづくり		1~4	2			
災害現場と防災		1~4	2			
卒業所要単位					28単位以上	

- ※1) ひょうご地域課題概論を履修し、単位修得していること  
 ※2) フィールドワーク基礎技術演習1を履修していること  
 ※3) フィールドワーク基礎技術演習1を履修していること  
 ※4) 1年次にフィールドワーク基礎技術演習1を履修し、単位修得していること  
 ※5) 地域プロジェクト実践論を履修し、単位修得していること

## 履修上の注意

- ・「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。
- ・英語コア科目(6科目)及び指定された選択英語科目(Communicative English Basic 1・2、Intensive English 1・2)から、6単位以上修得しなければならない。
- ・「教養教育科目」は14単位以上修得しなければならない。ただし、「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上修得しなければならない。また、「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野以上から合計4単位以上修得しなければならない。
- ・副専攻生のみが受けられる科目についてはCAP(キャップ)制の対象外とする。

別表第1（第5条関係）  
全学共通科目（平成30年度入学生）

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考
			必修	選択	
自主自律 支援科目	基礎ゼミナール	2	2		2単位必要
	キャリア形成支援科目 キャリアデザイン入門	1		2	
グ ロ ー バ ル 化 時 代 の ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 科 目	【英語コア科目】				8単位以上必要
	Reading and Discussion 1	1		1	
	Reading and Discussion 2	1		1	
	Listening and Speaking 1	1		1	
	Listening and Speaking 2	1		1	
	Writing 1	1		1	
	Writing 2	1		1	
	英語実習	1		1	グローバルリーダー教育プログラム生のみ履修可 ※CAP対象外
	英語表現	1		1	// //
	【選択英語科目】				
	TOEIC総合1	2~4		1	
	TOEIC総合2	2~4		1	
	Intensive English	2~4		1	
	科学英語基礎1	2~4		1	
	科学英語基礎2	2~4		1	
	Communicative English Basic 1	2~4		1	
	Communicative English Basic 2	2~4		1	
	英語海外研修	1~4		2	ワシントン大学、ハワイ大学、サセックス大学
	特別英語1	1~4		1	TOEIC等読替科目（550点以上）
	特別英語2	1~4		1	TOEIC等読替科目（650点以上）
特別英語3	1~4		1	TOEIC等読替科目（750点以上）	
外 国 語	中国語1	1		1	
	中国語2	1		1	
	フランス語1	1		1	
	フランス語2	1		1	
	ドイツ語1	1		1	
	ドイツ語2	1		1	
	韓国・朝鮮語1	1		1	
	韓国・朝鮮語2	1		1	
	日本語・日本文化1	1		1	
	日本語・日本文化2	1		1	
中国語海外研修	1		2	蘇州大学、暨南大学、平成30年度は暨南大学	
統 計 ・ 情 報	情報処理基礎	1	2		
	情報科学 I	2		2	

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考		
			必修	選択			
教 養 教 育 科 目	人 と 文 化	哲学	1		2	人と文化から2単位以上必要	
		論理学	1		2		
		倫理学	1		2		
		心理学	1		2		
		国文学（演劇）	1		2		
		国文学（小説）	1		2		
		現代文芸論	2		2		
		教育学	1		2		
		日本史	1		2		
		東洋史	1		2		
		環境芸術論	1		2		
		芸術学	1		2		
		文化人類学	1		2		夏期集中、後期通常講義
		食文化と環境	1		2		
		日本文化	1		2		
	人 と 社 会	法学	1		2	人と社会から2単位以上必要	
		生活の中の法律	1		2		
		政治学	1		2		
		環境と政治	1		2		
		社会学	1		2		
		現代社会論	1		2		
		男女共同参画社会	1		2		夏期集中
		経済学（ミクロ経済学）	1		2		
		経済学（マクロ経済学）	1		2		
		社会保障と経済	1		2		
		経営学	1		2		
		会計学	1		2		
		経営戦略論	2		2		
		日本国憲法	1		2		1年次 通常講義（前期と後期）※抽選科目 2年次 夏期集中講義（教職希望者で1年次に抽選に外れた者のみ履修可）
		人文地理学概論	1		2		
	ひょうごの子育て支援	1		2	夏期集中		
	福祉と社会	1		2			
	人 と 自 然	医療と工学のフロンティア	1		2	人と自然から2単位以上必要	
		科学技術論	1		2		
		宇宙科学	1		2		
		生命倫理	2		2		夏期集中・（看）と（理）で隔年開講
		応用倫理	1		2		
		生物科学	1		2		
		生命体の科学	1		2		
		分子生物学とバイオテクノロジー	1		2		
社会統計学		1		2			
マテリアル科学への招待		1		2			
現代化学への招待		1		2			
現代物理化学		1		2			
放射光科学のフロンティア		1		2			
環境問題と国際協力		1		2			
人と自然の共生		1		2			
物質科学入門		1	2	2	物質科学科必修		
生命科学入門		1	2	2	生命科学科必修		
物理学の基本概念		1		2			
人 と 健 康	健康・スポーツ科学演習1	1		1			
	健康・スポーツ科学演習2	1		1			
	栄養健康科学入門	1		2			
	ヒューマンヘルスサイエンス	1		2			

区 分	授 業 科 目 の 名 称	開講 年次	単位数		備 考		
			必修	選択			
教 養 教 育 科 目	地域課題探究科目	ひょうご地域課題概論	1		2		
		緑景観マネジメント論	1		2		
		地域資源の保全と活用	1		2		
		地方公共団体の行政を学ぶ	1		2		
		地域プロジェクト概論	1		2		
		地域資源マネジメント概論	1		2		
		兵庫のものづくり	1		2		
		化学と環境技術	1		2		
		地域気候と住環境	1		2		
		兵庫の里山	1		2	夏期集中	
		ジオパークと地域	1		2	夏期集中	
		共生博物学	1		2		
		地域社会と健康	1		2		
		地域資源フィールドワーク（田園生態系の保全と再生）	3		2		
		地域資源フィールドワーク（ジオパークの地質と文化）	3		2		
	フィールドワーク基礎技術演習1	1		2	地域創生人材教育プログラム生のみ履修可 ※CAP対象外		
	フィールドワーク基礎技術演習2	2		2	〃 〃		
	地域プロジェクト実践論	2		2	〃 〃		
	地域プロジェクト演習	2		2	〃 〃		
	ひょうご県大特色科目	グローバル教育科目	現代の日本経済	1		2	
			現代の経営問題	1		2	
			宗教概論	1		2	
			建築文化ツーリズム学	1		2	
			グローバル科学入門	1		2	
			ボーダレス社会と経済	1		2	
			グローバル社会と文化	1		2	
			播磨学	1		2	
			姫路城特別講義	1		2	
			グローバルリーダー入門	1		2	
			兵庫の国際交流	1		2	
			グローバル教養概論	1		2	グローバルリーダー教育プログラム生のみ履修可 ※CAP対象外
			グローバル教養海外実践	1		2	〃 〃
	多文化を学ぶ	1		2	〃 〃		
日本の歴史や文化を学ぶ	1		2	〃 〃			
先端科学を学ぶ	1		2	〃 〃			
防災教育科目	地球の営みと災害	1～4		2			
	兵庫の歴史と自然災害史	1～4		2			
	生活と防災	1～4		2			
	社会特性と減災復興	1～4		2			
	災害支援とボランティア	1～4		2			
	兵庫の災害と防災	1～4		2	夏期集中		
	減災復興まちづくり	1～4		2	夏期集中		
災害現場と防災	1～4		2	夏期集中			
他専攻科目	基礎物理学 I B	1		2			
卒業所要単位					28単位以上		

## 履修上の注意

「グローバル化時代のアカデミックスキル科目」の「英語」のうち「Reading and Discussion 1・2」「Listening and Speaking 1・2」「Writing 1・2」は1年次に必ず受講すること。  
「教養教育科目」は14単位以上必要。「人間性の基盤教育科目」は「人と文化」「人と社会」「人と自然」の各分野からそれぞれ2単位以上必要。「ひょうご県大特色科目」は「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」の3分野のうち2分野から合計4単位以上必要。

別表第2（第6条関係）

（1）専門基礎科目（物質科学科）

（令和5年度以降入学生）

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学Ⅰ	1		2	
	微分積分学Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅰ	1		2	
	線形代数学Ⅱ	1		2	
	数学演習Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅱ	1		2	
	B 物理系	基礎物理学ⅠA	1		2
基礎物理学ⅠB		1		2	
基礎物理学ⅡA		1		2	
基礎物理学ⅡB		1		2	
力学A		2		2	
波動論		2		2	
力学B		2		2	
電磁気学A		2		2	
電磁気学演習		2		2	
応用解析		2		2	
C 化学系		有機化学Ⅰ	1		2
	無機化学Ⅰ	1		2	
	物理化学Ⅰ	2		2	
	有機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅲ	2		2	
	生物化学4	2		2	
	分析化学Ⅰ	2		2	
D 生命系	細胞生物学1	1		2	
	生物化学1	1		2	
	細胞生物学2	2		2	
	生物化学2	2		2	
	生物化学3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学1	2		2	
	分子生物学2	2		2	

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	地震津波と防災・減災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	卒業要件外
	防災教育とリスクコミュニケーション	2		2	卒業要件外
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	1		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	2		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習Ⅰ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習Ⅰ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	物質英語特別講義演習Ⅱ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習Ⅱ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	物質英語特別講義演習Ⅲ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習Ⅲ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
気象・気候変動と災害	2		2		
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
	卒業所要単位（必修7単位を含む。）				

※卒業要件外の科目を除く

## (1) 専門基礎科目 (生命科学科)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学 I	1		2	
	微分積分学 II	1		2	
	線形代数学 I	1		2	
	線形代数学 II	1		2	
	数学演習 I	1		2	
	数学演習 II	1		2	
B 物理系	基礎物理学 I A	1		2	
	基礎物理学 I B	1		2	
	基礎物理学 II A	1		2	
	基礎物理学 II B	1		2	
	力学 A	2		2	
	波動論	2		2	
	力学 B	2		2	
	電磁気学 A	2		2	
	電磁気学演習	2		2	
	応用解析	2		2	
C 化学系	有機化学 I	1		2	
	無機化学 I	1		2	
	物理化学 I	2		2	
	有機化学 II	2		2	
	有機化学 III	2		2	
	生物化学 4	2		2	
	分析化学 I	2		2	
D 生命系	細胞生物学 1	1		2	
	生物化学 1	1		2	
	細胞生物学 2	2		2	
	生物化学 2	2		2	
	生物化学 3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学 1	2		2	
	分子生物学 2	2		2	

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	地震津波と防災・減災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	卒業要件外
	防災教育とリスクコミュニケーション	2		2	卒業要件外
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	1		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	2		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習Ⅰ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習Ⅰ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	物質英語特別講義演習Ⅱ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習Ⅱ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	物質英語特別講義演習Ⅲ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習Ⅲ	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
気象・気候変動と災害	2		2		
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
	卒業所要単位（必修7単位を含む。）				

※卒業要件外の科目を除く

## 別表第2 (第6条関係)

## (1) 専門基礎科目 (物質科学科)

(令和4年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学Ⅰ	1		2	
	微分積分学Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅱ	1		2	
	B 物理系	基礎物理学ⅠA	1		2
基礎物理学ⅠB		1		2	
基礎物理学ⅡA		1		2	
基礎物理学ⅡB		1		2	
力学A		2		2	
波動論		2		2	
力学B		2		2	
電磁気学A		2		2	
電磁気学演習		2		2	
応用解析		2		2	
C 化学系	有機化学Ⅰ	1		2	
	無機化学Ⅰ	1		2	
	物理化学Ⅰ	2		2	
	有機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅲ	2		2	
	生物化学4	2		2	
	分析化学Ⅰ	2		2	
D 生命系	細胞生物学1	1		2	
	生物化学1	1		2	
	細胞生物学2	2		2	
	生物化学2	2		2	
	生物化学3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学1	2		2	
	分子生物学2	2		2	

(令和4年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	自然災害と防災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	
	防災教育と心のケア概論	3		2	
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	3		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	4		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験 I	2	1		
	物質科学基礎実験 II	2	1		
	生命科学基礎実験 I	2	1		
	生命科学基礎実験 II	2	1		
	地学実験	3		1	
卒業所要単位（必修7単位を含む。）					17単位以上

## (1) 専門基礎科目 (生命科学科)

(令和4年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学Ⅰ	1		2	
	微分積分学Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅱ	1		2	
	B 物理系	基礎物理学ⅠA	1		2
基礎物理学ⅠB		1		2	
基礎物理学ⅡA		1		2	
基礎物理学ⅡB		1		2	
力学A		2		2	
波動論		2		2	
力学B		2		2	
電磁気学A		2		2	
電磁気学演習		2		2	
応用解析		2		2	
C 化学系		有機化学Ⅰ	1		2
	無機化学Ⅰ	1		2	
	物理化学Ⅰ	2		2	
	有機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅲ	2		2	
	生物化学4	2		2	
	分析化学Ⅰ	2		2	
D 生命系	細胞生物学1	1		2	
	生物化学1	1		2	
	細胞生物学2	2		2	
	生物化学2	2		2	
	生物化学3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学1	2		2	
	分子生物学2	2		2	

(令和4年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	自然災害と防災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	
	防災教育と心のケア概論	3		2	
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	3		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	4		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
卒業所要単位（必修7単位を含む。）					17単位以上

## 別表第2 (第6条関係)

## (1) 専門基礎科目 (物質科学科)

(令和2・3年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学Ⅰ	1		2	
	微分積分学Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅱ	1		2	
	B 物理系	基礎物理学ⅠA	1		2
基礎物理学ⅠB		1		2	
基礎物理学ⅡA		1		2	
基礎物理学ⅡB		1		2	
力学A		2		2	
波動論		2		2	
力学B		2		2	
電磁気学A		2		2	
電磁気学演習		2		2	
応用解析		2		2	
C 化学系		有機化学Ⅰ	1		2
	無機化学Ⅰ	1		2	
	物理化学Ⅰ	2		2	
	有機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅲ	2		2	
	生物化学4	2		2	
	分析化学Ⅰ	2		2	
D 生命系	細胞生物学1	1		2	
	生物化学1	1		2	
	細胞生物学2	2		2	
	生物化学2	2		2	
	生物化学3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学1	2		2	
	分子生物学2	2		2	

(令和2・3年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	情報科学Ⅱ	2		2	
	自然災害と防災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	
	防災教育と心のケア概論	3		2	
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	3		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	4		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
卒業所要単位（必修7単位を含む。）					17単位以上

## (1) 専門基礎科目 (生命科学科)

(令和2・3年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学Ⅰ	1		2	
	微分積分学Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅰ	1		2	
	数学演習Ⅱ	1		2	
	線形代数学Ⅱ	1		2	
B 物理系	基礎物理学ⅠA	1		2	
	基礎物理学ⅠB	1		2	
	基礎物理学ⅡA	1		2	
	基礎物理学ⅡB	1		2	
	力学A	2		2	
	波動論	2		2	
	力学B	2		2	
	電磁気学A	2		2	
	電磁気学演習	2		2	
	応用解析	2		2	
C 化学系	有機化学Ⅰ	1		2	
	無機化学Ⅰ	1		2	
	物理化学Ⅰ	2		2	
	有機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅲ	2		2	
	生物化学4	2		2	
	分析化学Ⅰ	2		2	
D 生命系	細胞生物学1	1		2	
	生物化学1	1		2	
	細胞生物学2	2		2	
	生物化学2	2		2	
	生物化学3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学1	2		2	
	分子生物学2	2		2	

(令和2・3年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	情報科学Ⅱ	2		2	
	自然災害と防災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	
	防災教育と心のケア概論	3		2	
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	3		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	4		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
卒業所要単位（必修7単位を含む。）					17単位以上

## 別表第2 (第6条関係)

## (2) 専門基礎科目 (物質科学科)

(平成 29~31 年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学 I	1		2	
	微分積分学 II	1		2	
	線形代数学 I	1		2	
	数学演習 I	1		2	
	数学演習 II	1		2	
	線形代数学 II	1		2	
	B 物理系	基礎物理学 I A	1		2
基礎物理学 I B		1		2	
基礎物理学 II A		1		2	
基礎物理学 II B		1		2	
力学 A		2		2	
波動論		2		2	
力学 B		2		2	
電磁気学 A		2		2	
電磁気学演習		2		2	
応用解析		2		2	
C 化学系	有機化学 I	1		2	
	無機化学 I	1		2	
	物理化学 I	2		2	
	有機化学 II	2		2	
	有機化学 III	2		2	
	生物化学 4	2		2	
	分析化学 I	2		2	
D 生命系	細胞生物学 1	1		2	
	生物化学 1	1		2	
	細胞生物学 2	2		2	
	生物化学 2	2		2	
	生物化学 3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学 1	2		2	
	分子生物学 2	2		2	

(平成 29～31 年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	情報科学Ⅱ	2		2	
	自然災害と防災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	
	防災教育と心のケア概論	3		2	
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	3		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	4		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
グローバル理・工海外実践	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ単位付与。ただし、卒業所要単位には含まない。	
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
卒業所要単位（必修 7 単位を含む。）					17 単位以上

## (2) 専門基礎科目 (生命科学科)

(平成 29~31 年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	微分積分学 I	1		2	
	微分積分学 II	1		2	
	線形代数学 I	1		2	
	数学演習 I	1		2	
	数学演習 II	1		2	
	線形代数学 II	1		2	
B 物理系	基礎物理学 I A	1		2	
	基礎物理学 I B	1		2	
	基礎物理学 II A	1		2	
	基礎物理学 II B	1		2	
	力学 A	2		2	
	波動論	2		2	
	力学 B	2		2	
	電磁気学 A	2		2	
	電磁気学演習	2		2	
	応用解析	2		2	
C 化学系	有機化学 I	1		2	
	無機化学 I	1		2	
	物理化学 I	2		2	
	有機化学 II	2		2	
	有機化学 III	2		2	
	生物化学 4	2		2	
	分析化学 I	2		2	
D 生命系	細胞生物学 1	1		2	
	生物化学 1	1		2	
	細胞生物学 2	2		2	
	生物化学 2	2		2	
	生物化学 3	2		2	
	微生物学	2		2	
	分子生物学 1	2		2	
	分子生物学 2	2		2	

(平成 29～31 年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
E	地球惑星科学	1		2	
	地球物質科学	2		2	
	天文学	2		2	
	情報科学Ⅱ	2		2	
	自然災害と防災	2		2	
	減災復興政策概論	2		2	
	防災教育と心のケア概論	3		2	
	計算機プログラミング	3		2	
	コンピューターリテラシー	3		2	
	科学英語	4		1	
	生命科学特別講義	4		1	
	英語科学問題演習	2		2	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	天体観測	3		1	
	生態学と生物多様性の保全	3		2	
	グローバルサイエンス	2		2	
	物質英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
	生命英語特別講義演習	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者優先
グローバル理・工海外実践	2		1	グローバルリーダー教育プログラム履修者のみ単位付与。ただし、卒業所要単位には含まない。	
F	生物学実験	1	1		
	物理学実験	2	1		
	化学実験	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	物質科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅰ	2	1		
	生命科学基礎実験Ⅱ	2	1		
	地学実験	3		1	
卒業所要単位（必修7単位を含む。）					17単位以上

別表第3 (第7条関係)

(1) 専門教育科目

(令和5年度以降入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	(物質科学科)				
	代数構造	3		2	
	幾何構造	3		2	
	位相解析	3		2	
	関数解析	3		2	
B 物理系	統計力学Ⅰ	2		2	
	量子力学Ⅰ	2		2	
	結晶学	2		2	
	電磁気学B	2		2	
	物理数学Ⅰ	2		2	
	物理数学Ⅰ演習	2		2	
	物理数学Ⅱ	3		2	
	物理数学Ⅱ演習	3		2	
	量子力学Ⅱ	3		2	
	量子力学演習	3		2	
	統計力学Ⅱ	3		2	
	物性論Ⅰ	3		2	
	確率統計	3		2	
	量子力学Ⅲ	3		2	
	相対論	3		2	
	物性論Ⅱ	3		2	
	物性論演習	3		2	
	分光学Ⅰ	3		2	
	物性論Ⅲ	3		2	
現代物質科学特論Ⅰ	3		2		
C 化学系	物理化学Ⅱ	2		2	
	無機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅳ	3		2	
	物理化学Ⅲ	3		2	
	物理化学演習Ⅰ	3		2	
	無機化学Ⅲ	3		2	
	有機構造化学	3		2	
	物理化学演習Ⅱ	3		2	
	量子化学Ⅰ	3		2	
	量子化学Ⅱ	3		2	
	分析化学Ⅱ	3		2	
	機能性物質学	3		2	
	表面化学	3		2	
	有機反応論	3		2	
	有機化学演習	3		2	
	現代物質科学特論Ⅱ	3		2	
	化学反応論	4		2	

(令和5年度以降入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
F	物質科学実験Ⅰ	3	2		
	物質科学実験Ⅱ	3	2		
	卒業研究	4	6		
D 生命系	(生命科学科)				
	生物物理学1	2		2	
	細胞生物学3	2		2	
	分子生物学3	2		2	
	発生生物学1	2		2	
	構造生物学1	3		2	
	構造生物学2	3		2	
	細胞生物学4	3		2	
	細胞生物学5	3		2	
	細胞生物学6	3		2	
	神経生物学1	3		2	
	神経生物学2	3		2	
	生物化学5	3		2	
	生物化学6	3		2	
	生物物理学2	3		2	
	生物物理学3	3		2	
	生命科学演習1	3		2	
	生命科学演習2	3		2	
	生命科学演習3	3		2	
	発生生物学2	3		2	
	発生生物学3	3		2	
	分子生物学4	3		2	
	分子生物学5	3		2	
	進化学Ⅰ	3		2	
	進化学Ⅱ	3		2	
	生態学Ⅰ	3		2	
生態学Ⅱ	3		2		
形態学Ⅰ	3		2		
形態学Ⅱ	3		2		
F	生命科学実験Ⅰ	3	4		
	生命科学実験Ⅱ	3	4		
	卒業研究	4	6		
卒業所要単位(物質科学科・必修10単位を含む。)10単位以上 (生命科学科・必修14単位を含む。)34単位以上					専門基礎・専門教育科目の合計95単位以上
卒業所要単位合計(全学共通科目、専門基礎科目、専門教育科目の合計)127単位以上					

別表第3（第7条関係）

（1）専門教育科目

（令和4年度入学生）

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	(物質科学科)				
	代数構造	3		2	
	幾何構造	3		2	
	位相解析	3		2	
	関数解析	3		2	
B 物理系	統計力学Ⅰ	2		2	
	量子力学Ⅰ	2		2	
	結晶学	2		2	
	電磁気学B	2		2	
	物理数学Ⅰ	2		2	
	物理数学Ⅰ演習	2		2	
	物理数学Ⅱ	3		2	
	物理数学Ⅱ演習	3		2	
	量子力学Ⅱ	3		2	
	量子力学演習	3		2	
	統計力学Ⅱ	3		2	
	物性論Ⅰ	3		2	
	確率統計	3		2	
	量子力学Ⅲ	3		2	
	相対論	3		2	
	物性論Ⅱ	3		2	
	物性論演習	3		2	
	分光学Ⅰ	3		2	
	物性論Ⅲ	3		2	
	自然・社会現象と情報科学	3		2	
現代物質科学特論Ⅰ	3		2		
C 化学系	物理化学Ⅱ	2		2	
	無機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅳ	3		2	
	物理化学Ⅲ	3		2	
	物理化学演習Ⅰ	3		2	
	無機化学Ⅲ	3		2	
	有機構造化学	3		2	
	物理化学演習Ⅱ	3		2	
	量子化学Ⅰ	3		2	
	量子化学Ⅱ	3		2	
	分析化学Ⅱ	3		2	
	機能性物質学	3		2	
	表面化学	3		2	
	有機反応論	3		2	
	有機化学演習	3		2	
	現代物質科学特論Ⅱ	3		2	2022年度 開講せず
化学反応論	4		2		

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
F	物質科学実験Ⅰ	3	2		
	物質科学実験Ⅱ	3	2		
	卒業研究	4	6		
D 生命系	(生命科学科)				
	生物物理学 1	2		2	
	細胞生物学 3	2		2	
	分子生物学 3	2		2	
	発生生物学 1	2		2	
	構造生物学 1	3		2	
	構造生物学 2	3		2	
	細胞生物学 4	3		2	
	細胞生物学 5	3		2	
	細胞生物学 6	3		2	
	神経生物学 1	3		2	
	神経生物学 2	3		2	
	生物化学 5	3		2	
	生物化学 6	3		2	
	生物物理学 2	3		2	
	生物物理学 3	3		2	
	生命科学演習 1	3		2	
	生命科学演習 2	3		2	
	生命科学演習 3	3		2	
	発生生物学 2	3		2	
	発生生物学 3	3		2	
	分子生物学 4	3		2	
	分子生物学 5	3		2	
	進化学Ⅰ	3		2	
	進化学Ⅱ	3		2	
	生態学Ⅰ	3		2	
生態学Ⅱ	3		2		
形態学Ⅰ	3		2		
形態学Ⅱ	3		2		
F	生命科学実験Ⅰ	3	4		
	生命科学実験Ⅱ	3	4		
	卒業研究	4	6		
卒業所要単位 (物質科学科・必修10単位を含む。) 10単位以上 (生命科学科・必修14単位を含む。) 34単位以上					専門基礎・専門教育科目の合計95単位以上
卒業所要単位合計 (全学共通科目、専門基礎科目、専門教育科目の合計) 127単位以上					

## 別表第3（第7条関係）

## （1）専門教育科目

（令和3年度入学生）

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	（物質科学科）				
	代数構造	3		2	
	幾何構造	3		2	
	位相解析	3		2	
	関数解析	3		2	
B 物理系	統計力学Ⅰ	2		2	
	量子力学Ⅰ	2		2	
	結晶学	2		2	
	電磁気学B	2		2	
	物理数学Ⅰ	2		2	
	物理数学Ⅰ演習	2		2	
	物理数学Ⅱ	3		2	
	物理数学Ⅱ演習	3		2	
	量子力学Ⅱ	3		2	
	量子力学演習	3		2	
	統計力学Ⅱ	3		2	
	物性論Ⅰ	3		2	
	確率統計	3		2	
	量子力学Ⅲ	3		2	
	相対論	3		2	
	物性論Ⅱ	3		2	
	物性論演習	3		2	
	分光学Ⅰ	3		2	
	物性論Ⅲ	3		2	
	自然・社会現象と情報科学	3		2	
現代物質科学特論Ⅰ	3		2		
C 化学系	物理化学Ⅱ	2		2	
	無機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅳ	3		2	
	物理化学Ⅲ	3		2	
	物理化学演習Ⅰ	3		2	
	無機化学Ⅲ	3		2	
	有機構造化学	3		2	
	物理化学演習Ⅱ	3		2	
	量子化学Ⅰ	3		2	
	量子化学Ⅱ	3		2	
	分析化学Ⅱ	3		2	
	機能性物質学	3		2	
	表面化学	3		2	
	有機反応論	3		2	
	有機化学演習	3		2	
	現代物質科学特論Ⅱ	3		2	
化学反応論	4		2		

(令和3年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
F	物質科学実験Ⅰ	3	2		
	物質科学実験Ⅱ	3	2		
	卒業研究	4	6		
D 生命系	(生命科学科)				
	生物物理学1	2		2	
	細胞生物学3	2		2	
	分子生物学3	2		2	
	発生生物学1	2		2	
	構造生物学1	3		2	
	構造生物学2	3		2	
	細胞生物学4	3		2	
	細胞生物学5	3		2	
	細胞生物学6	3		2	
	神経生物学1	3		2	
	神経生物学2	3		2	
	生物化学5	3		2	
	生物化学6	3		2	
	生物物理学2	3		2	
	生物物理学3	3		2	
	生命科学演習1	3		2	
	生命科学演習2	3		2	
	生命科学演習3	3		2	
	発生生物学2	3		2	
	発生生物学3	3		2	
	分子生物学4	3		2	
	分子生物学5	3		2	
	進化学Ⅰ	3		2	
	進化学Ⅱ	3		2	
	生態学Ⅰ	3		2	
生態学Ⅱ	3		2		
形態学Ⅰ	3		2		
形態学Ⅱ	3		2		
F	生命科学実験Ⅰ	3	4		
	生命科学実験Ⅱ	3	4		
	卒業研究	4	6		
卒業所要単位(物質科学科・必修10単位を含む。)10単位以上 (生命科学科・必修14単位を含む。)34単位以上					専門基礎・専門教育科目の合計95単位以上
卒業所要単位合計(全学共通科目、専門基礎科目、専門教育科目の合計)127単位以上					

## 別表第3 (第7条関係)

## (2) 専門教育科目

(平成29年～令和2年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
A 数学系	(物質科学科)				
	代数構造	3		2	
	幾何構造	3		2	
	位相解析	3		2	
	関数解析	3		2	
B 物理系	統計力学Ⅰ	2		2	
	量子力学Ⅰ	2		2	
	結晶学	2		2	
	電磁気学B	2		2	
	物理数学Ⅰ	2		2	
	物理数学Ⅰ 演習	2		2	
	物理数学Ⅱ	3		2	
	物理数学Ⅱ 演習	3		2	
	量子力学Ⅱ	3		2	
	量子力学演習	3		2	
	統計力学Ⅱ	3		2	
	物性論Ⅰ	3		2	
	確率統計	3		2	
	量子力学Ⅲ	3		2	
	相対論	3		2	
	物性論Ⅱ (固体電子論)	3		2	
	物性論演習	3		2	
	分光学Ⅰ	3		2	
	物性論Ⅲ	3		2	
	自然・社会現象とシミュレーション	3		2	
現代物質科学特論Ⅰ	3		2		
量子力学Ⅳ	4		2		
C 化学系	物理化学Ⅱ	2		2	
	無機化学Ⅱ	2		2	
	有機化学Ⅳ	3		2	
	物理化学Ⅲ	3		2	
	物理化学演習Ⅰ	3		2	
	無機化学Ⅲ	3		2	
	有機構造化学	3		2	
	物理化学演習Ⅱ	3		2	
	量子化学Ⅰ	3		2	
	量子化学Ⅱ	3		2	
	分析化学Ⅱ	3		2	
	機能性物質学	3		2	
	表面化学	3		2	
	有機反応論	3		2	
	有機化学演習	3		2	
	現代物質科学特論Ⅱ	3		2	
化学反応論	4		2		

(平成 29 年～令和 2 年度入学生)

区分	授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
			必修	選択	
F	物質科学実験Ⅰ	3	2		
	物質科学実験Ⅱ	3	2		
	卒業研究	4	6		
D 生命系	(生命科学科)				
	生物物理学 1	2		2	
	細胞生物学 3	2		2	
	分子生物学 3	2		2	
	発生生物学 1	2		2	
	構造生物学 1	3		2	
	構造生物学 2	3		2	
	細胞生物学 4	3		2	
	細胞生物学 5	3		2	
	細胞生物学 6	3		2	
	神経生物学 1	3		2	
	神経生物学 2	3		2	
	生物化学 5	3		2	
	生物化学 6	3		2	
	生物物理学 2	3		2	
	生物物理学 3	3		2	
	生命科学演習 1	3		2	
	生命科学演習 2	3		2	
	生命科学演習 3	3		2	
	発生生物学 2	3		2	
	発生生物学 3	3		2	
	分子生物学 4	3		2	
	分子生物学 5	3		2	
	進化学Ⅰ	3		2	
	進化学Ⅱ	3		2	
	生態学Ⅰ	3		2	
	生態学Ⅱ	3		2	
形態学Ⅰ	3		2		
形態学Ⅱ	3		2		
F	生命科学実験Ⅰ	3	4		
	生命科学実験Ⅱ	3	4		
	卒業研究	4	6		
卒業所要単位 (物質科学科・必修 10 単位を含む。) 10 単位以上 (生命科学科・必修 14 単位を含む。) 34 単位以上					専門基礎・専門教育科目の 合計 95 単位以上
卒業所要単位合計 (全学共通科目、専門基礎科目、専門教育科目の合計) 127 単位以上					

別表第4（第8条関係）

1 教科及び教科の指導法に関する科目

（平成30年度以前入学生は「教科に関する科目」）

（1）令和6年度入学生

① 物質科学科

ア 数学 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	代数構造	2
幾何学	○幾何構造	2
	相対論	2
	数学演習Ⅰ	2
	数学演習Ⅱ	2
解析学	○微分積分学Ⅰ	2
	微分積分学Ⅱ	2
	位相解析	2
	関数解析	2
	応用解析	2
	物理数学Ⅰ	2
	物理数学Ⅰ演習	2
	物理数学Ⅱ	2
	物理数学Ⅱ演習	2
確率論 統計学	○確率統計	2
	統計力学Ⅰ	2
	統計力学Ⅱ	2
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2
	情報科学ⅡA	2
	情報科学ⅡB	2
	計算機プログラミング	2
	コンピューターリテラシー	2
各教科の指導法 （情報通信技術の 活用を含む。）	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	○数学科指導法Ⅲ	2
	○数学科指導法Ⅳ	2

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## イ 理科 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		
	授業科目	単位数		授業科目	単位数	
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	地学	○地球惑星科学	2	
	○基礎物理学ⅠB	2		○地球物質科学	2	
	力学A	2		天文学	2	
	波動論	2		物理学実験、化学実験 生物学実験、地学実験	○物理学実験	1
	○基礎物理学ⅡA	2			物質科学基礎実験Ⅰ	1
	○基礎物理学ⅡB	2			物質科学実験Ⅰ	2
	力学B	2			○化学実験	1
	電磁気学A	2			物質科学基礎実験Ⅱ	1
	電磁気学演習	2			物質科学実験Ⅱ	2
	量子力学Ⅰ	2			○生物学実験	1
	結晶学	2	生命科学基礎実験Ⅰ		1	
	電磁気学B	2	生命科学基礎実験Ⅱ		1	
	量子力学Ⅱ	2	○地学実験		1	
	量子力学演習	2	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ	2	
	物性論Ⅰ	2		○理科指導法Ⅱ	2	
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2		○理科指導法Ⅲ	2	
	物性論演習	2		○理科指導法Ⅳ	2	
	分光学Ⅰ	2				
	物性論Ⅲ	2				
	化学	○有機化学Ⅰ	2			
○無機化学Ⅰ		2				
有機化学Ⅱ		2				
有機化学Ⅲ		2				
物理化学Ⅱ		2				
有機化学Ⅳ		2				
物理化学Ⅲ		2				
無機化学Ⅱ		2				
無機化学Ⅲ		2				
有機構造化学		2				
物理化学演習Ⅱ		2				
量子化学Ⅰ		2				
分析化学Ⅰ		2				
分析化学Ⅱ		2				
機能性物質学		2				
有機反応論		2				
生物学	○細胞生物学1	2				
	○細胞生物学2	2				
	生物物理学1	2				
	細胞生物学3	2				

注1 ○印は免許状を取得する場合の必修科目。(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## ② 生命科学科

イ 理科 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	地学	○地球惑星科学	2
	○基礎物理学ⅠB	2		○地球物質科学	2
	波動論	2		地震津波と防災・減災	2
	○基礎物理学ⅡA	2		天文学	2
	○基礎物理学ⅡB	2	物理学実験、化学実験 生物学実験、地学実験	○物理学実験	1
	電磁気学A	2		物質科学基礎実験Ⅰ	1
	電磁気学演習	2		○化学実験	1
	量子力学Ⅰ	2		物質科学基礎実験Ⅱ	1
	結晶学	2		○生物学実験	1
	化学	○有機化学Ⅰ		2	生命科学基礎実験Ⅰ
有機化学Ⅱ		2		生命科学基礎実験Ⅱ	1
○無機化学Ⅰ		2		生命科学実験Ⅰ	4
分析化学Ⅰ		2		生命科学実験Ⅱ	4
生物化学4		2		○地学実験	1
無機化学Ⅱ		2			
生物学	○細胞生物学1	2	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ	2
	○細胞生物学2	2		○理科指導法Ⅱ	2
	分子生物学1	2		○理科指導法Ⅲ	2
	分子生物学2	2		○理科指導法Ⅳ	2
	分子生物学3	2			
	分子生物学4	2			
	分子生物学5	2			
	構造生物学1	2			
	構造生物学2	2			
	細胞生物学3	2			
	細胞生物学4	2			
	細胞生物学5	2			
	細胞生物学6	2			
	神経生物学1	2			
	神経生物学2	2			
	生命科学演習1	2			
	生命科学演習2	2			
	生命科学演習3	2			
	生物化学2	2			
	生物化学5	2			
	生物化学6	2			
	生物物理学1	2			
	生物物理学2	2			
	微生物学	2			
	発生生物学1	2			
	発生生物学2	2			
	発生生物学3	2			
	生態学Ⅰ	2			
	生態学Ⅱ	2			
	形態学Ⅰ	2			
	形態学Ⅱ	2			

注1 ○印は免許状を取得する場合の必修科目。(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

(2) 令和4・5年度入学生

① 物質科学科

ア 数学 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 代数構造	2 2 2
幾何学	○幾何構造 相対論 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ	2 2 2 2
解析学	○微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 位相解析 関数解析 応用解析 物理数学Ⅰ 物理数学Ⅰ演習 物理数学Ⅱ 物理数学Ⅱ演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2
確率論 統計学	○確率統計 統計力学Ⅰ 統計力学Ⅱ	2 2 2
コンピュータ	○情報科学Ⅰ 情報科学ⅡA 情報科学ⅡB 計算機プログラミング コンピューターリテラシー	2 2 2 2 2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○数学科指導法Ⅰ ○数学科指導法Ⅱ ○数学科指導法Ⅲ ○数学科指導法Ⅳ	2 2 2 2

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## イ 理科 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	生物学	○細胞生物学1	2
	○基礎物理学ⅠB	2		○細胞生物学2	2
	力学A	2		生物物理学1	2
	波動論	2		細胞生物学3	2
	○基礎物理学ⅡA	2			
	○基礎物理学ⅡB	2			
	力学	2			
	電磁気学A	2			
	電磁気学演習	2			
	量子力学Ⅰ	2			
	結晶学	2			
	電磁気学B	2	生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1
	量子力学Ⅱ	2		生命科学基礎実験Ⅰ	1
	量子力学演習	2		生命科学基礎実験Ⅱ	1
	物性論Ⅰ	2			
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2			
	物性論演習	2			
	分光学Ⅰ	2			
物性論Ⅲ	2				
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	地学	○地球惑星科学	2
	物質科学基礎実験Ⅰ	1		○地球物質科学	2
	物質科学実験Ⅰ	2		天文学	2
化学	○有機化学Ⅰ	2	地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1
	○無機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅲ	2			
	物理化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅳ	2			
	物理化学Ⅲ	2			
	無機化学Ⅱ	2			
	無機化学Ⅲ	2			
	有機構造化学	2			
	物理化学演習Ⅱ	2			
	量子化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅱ	2			
	機能性物質学	2			
	有機反応論	2			
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ	2
	物質科学基礎実験Ⅱ	1		○理科指導法Ⅱ	2
	物質科学実験Ⅱ	2		○理科指導法Ⅲ	2
			○理科指導法Ⅳ	2	

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

② 生命科学科

イ 理科 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA ○基礎物理学ⅠB 波動論 ○基礎物理学ⅡA ○基礎物理学ⅡB 電磁気学A 電磁気学演習 量子力学Ⅰ 結晶学	2 2 2 2 2 2 2 2 2	生物学	構造生物学1 構造生物学2 細胞生物学3 細胞生物学4 細胞生物学5 細胞生物学6 神経生物学1 神経生物学2 生命科学演習1 生命科学演習2 生命科学演習3 生物化学2 生物化学5 生物化学6 生物物理学1 生物物理学2 微生物学 発生生物学1 発生生物学2 発生生物学3 生態学Ⅰ 生態学Ⅱ 形態学Ⅰ 形態学Ⅱ	2 2
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験 物質科学基礎実験Ⅰ	1 1	生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験 生命科学基礎実験Ⅰ 生命科学基礎実験Ⅱ 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ	1 1 1 4 4
化学	○有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ ○無機化学Ⅰ 分析化学Ⅰ 生物化学4 無機化学Ⅱ	2 2 2 2 2 2	地学	○地球惑星科学 ○地球物質科学 自然災害と防災 天文学	2 2 2 2
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験 物質科学基礎実験Ⅱ	1 1	地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1
生物学	○細胞生物学1 ○細胞生物学2 分子生物学1 分子生物学2 分子生物学3 分子生物学4 分子生物学5	2 2 2 2 2 2 2	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ ○理科指導法Ⅱ ○理科指導法Ⅲ ○理科指導法Ⅳ	2 2 2 2

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

(3) 2019 年度 (平成 31 年度) ~ 令和 3 年度入学生

① 物質科学科

ア 数学 中一種免 必修 28 単位 高一種免 必修 24 単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	代数構造	2
幾何学	○幾何構造	2
	相対論	2
	数学演習Ⅰ	2
	数学演習Ⅱ	2
解析学	○微分積分学Ⅰ	2
	微分積分学Ⅱ	2
	位相解析	2
	関数解析	2
	応用解析	2
	物理数学Ⅰ	2
	物理数学Ⅰ 演習	2
	物理数学Ⅱ	2
	物理数学Ⅱ 演習	2
確率論 統計学	○確率統計	2
	統計力学Ⅰ	2
	統計力学Ⅱ	2
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2
	情報科学Ⅱ	2
	計算機プログラミング	2
	コンピューターリテラシー	2
各教科の指導法 (情報機器及び教材 の活用を含む。)	○数学科指導法Ⅰ	2
	○数学科指導法Ⅱ	2
	○数学科指導法Ⅲ	2
	○数学科指導法Ⅳ	2

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 数学科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## イ 理科 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	生物学	○細胞生物学1	2
	○基礎物理学ⅠB	2		○細胞生物学2	2
	力学A	2		生物物理学1	2
	波動論	2		細胞生物学3	2
	○基礎物理学ⅡA	2			
	○基礎物理学ⅡB	2			
	力学	2			
	電磁気学A	2			
	電磁気学演習	2			
	量子力学Ⅰ	2			
	結晶学	2			
	電磁気学B	2	生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1
	量子力学Ⅱ	2		生命科学基礎実験Ⅰ	1
	量子力学演習	2		生命科学基礎実験Ⅱ	1
	物性論Ⅰ	2			
	物性論Ⅱ(固体電子論)	2			
	物性論演習	2			
分光学Ⅰ	2				
物性論Ⅲ	2				
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	地学	○地球惑星科学	2
	物質科学基礎実験Ⅰ	1		○地球物質科学	2
	物質科学実験Ⅰ	2		天文学	2
化学	○有機化学Ⅰ	2	地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1
	○無機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅲ	2			
	物理化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅳ	2			
	物理化学Ⅲ	2			
	無機化学Ⅱ	2			
	無機化学Ⅲ	2			
	有機構造化学	2			
	物理化学演習Ⅱ	2			
	量子化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅰ	2			
	分析化学Ⅱ	2			
	機能性物質学	2			
有機反応論	2				
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ	2
	物質科学基礎実験Ⅱ	1		○理科指導法Ⅱ	2
	物質科学実験Ⅱ	2		○理科指導法Ⅲ	2
			○理科指導法Ⅳ	2	

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

## ② 生命科学科

イ 理科 中一種免 必修28単位 高一種免 必修24単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	生物学	構造生物学1	2
	○基礎物理学ⅠB	2		構造生物学2	2
	波動論	2		細胞生物学3	2
	○基礎物理学ⅡA	2		細胞生物学4	2
	○基礎物理学ⅡB	2		細胞生物学5	2
	電磁気学A	2		細胞生物学6	2
	電磁気学演習	2		神経生物学1	2
	量子力学Ⅰ	2		神経生物学2	2
	結晶学	2		生命科学演習1	2
				生命科学演習2	2
				生命科学演習3	2
				生物化学2	2
				生物化学5	2
		生物化学6	2		
		生物物理学1	2		
		生物物理学2	2		
		微生物学	2		
		発生生物学1	2		
		発生生物学2	2		
		発生生物学3	2		
		生態学Ⅰ	2		
		生態学Ⅱ	2		
		形態学Ⅰ	2		
		形態学Ⅱ	2		
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1	生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験	1
	物質科学基礎実験Ⅰ	1		生命科学基礎実験Ⅰ	1
			生命科学基礎実験Ⅱ	1	
			生命科学実験Ⅰ	4	
			生命科学実験Ⅱ	4	
化学	○有機化学Ⅰ	2	地学	○地球惑星科学	2
	有機化学Ⅱ	2		○地球物質科学	2
	○無機化学Ⅰ	2		自然災害と防災	2
	分析化学Ⅰ	2		天文学	2
	生物化学4	2			
	無機化学Ⅱ	2			
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1
	物質科学基礎実験Ⅱ	1			
生物学	○細胞生物学1	2	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○理科指導法Ⅰ	2
	○細胞生物学2	2		○理科指導法Ⅱ	2
	分子生物学1	2		○理科指導法Ⅲ	2
	分子生物学2	2		○理科指導法Ⅳ	2
	分子生物学3	2			
	分子生物学4	2			
	分子生物学5	2			

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 最低取得単位を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

注4 理科指導法Ⅲ、Ⅳは、中一種免のみ必修

(4) 平成30年度入学生（教科に関する科目）

① 物質科学科

ア 数学 必修 20単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数
代数学	○線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	代数構造	2
幾何学	○幾何構造	2
	相対論	2
	数学演習Ⅰ	2
	数学演習Ⅱ	2
解析学	○微分積分学Ⅰ	2
	微分積分学Ⅱ	2
	位相解析	2
	関数解析	2
	応用解析	2
	物理数学Ⅰ	2
	物理数学Ⅰ 演習	2
	物理数学Ⅱ	2
	物理数学Ⅱ 演習	2
確率論 統計学	○確率統計	2
	統計力学Ⅰ	2
	統計力学Ⅱ	2
コンピュータ	○情報科学Ⅰ	2
	情報科学Ⅱ	2
	計算機プログラミング	2
	コンピューターリテラシー	2

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

注2 20単位を超えて修得した単位数については、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

## イ 理科 必修 20単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA ○基礎物理学ⅠB 力学A 波動論 ○基礎物理学ⅡA ○基礎物理学ⅡB 力学B 電磁気学A 電磁気学演習 量子力学Ⅰ 結晶学 電磁気学B 量子力学Ⅱ 量子力学演習 物性論Ⅰ 物性論Ⅱ(固体電子論) 物性論演習 分光学Ⅰ 物性論Ⅲ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	生物学	○細胞生物学1 ○細胞生物学2 生物物理学1 細胞生物学3	2 2 2 2
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験 物質科学基礎実験Ⅰ 物質科学実験Ⅰ	1 1 2	生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	○生物学実験 生命科学基礎実験Ⅰ 生命科学基礎実験Ⅱ	1 1 1
化学	○有機化学Ⅰ ○無機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 物理化学Ⅱ 有機化学Ⅳ 物理化学Ⅲ 無機化学Ⅱ 無機化学Ⅲ 有機構造化学 物理化学演習Ⅱ 量子化学Ⅰ 分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 機能性物質学 有機反応論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	地学	○地球惑星科学 ○地球物質科学 天文学	2 2 2
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験 物質科学基礎実験Ⅱ 物質科学実験Ⅱ	1 1 2	地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 20単位を超えて修得した単位数については、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

## ② 生命科学科

## 理科 必修 20単位

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	
	授業科目	単位数		授業科目	単位数
物理学	○基礎物理学ⅠA	2	生物学	○細胞生物学1	2
	○基礎物理学ⅠB	2		○細胞生物学2	2
	波動論	2		分子生物学1	2
	○基礎物理学ⅡA	2		分子生物学2	2
	○基礎物理学ⅡB	2		分子生物学3	2
	電磁気学A	2		分子生物学4	2
	電磁気学演習	2		分子生物学5	2
	量子力学Ⅰ	2		構造生物学1	2
結晶学	2	構造生物学2		2	
物理学実験 (コンピュータ活用含む。)	○物理学実験	1		細胞生物学3	2
	物質科学基礎実験Ⅰ	1		細胞生物学4	2
化学	○有機化学Ⅰ	2		細胞生物学5	2
	有機化学Ⅱ	2		細胞生物学6	2
	○無機化学Ⅰ	2		神経生物学1	2
	分析化学Ⅰ	2		神経生物学2	2
	生物化学4	2		生命科学演習1	2
	無機化学Ⅱ	2		生命科学演習2	2
				生命科学演習3	2
				生物化学2	2
				生物化学5	2
			生物化学6	2	
		生物物理学1	2		
		生物物理学2	2		
		微生物学	2		
		発生生物学1	2		
		発生生物学2	2		
		発生生物学3	2		
		生態学Ⅰ	2		
		生態学Ⅱ	2		
		形態学Ⅰ	2		
		形態学Ⅱ	2		
		生物学実験 (コンピュータ活用含む。)	1		
		生命科学基礎実験Ⅰ	1		
		生命科学基礎実験Ⅱ	1		
		生命科学実験Ⅰ	4		
		生命科学実験Ⅱ	4		
		○地球惑星科学	2		
		○地球物質科学	2		
		自然災害と防災	2		
		天文学	2		
化学実験 (コンピュータ活用含む。)	○化学実験	1	地学実験 (コンピュータ活用含む。)	○地学実験	1
	物質科学基礎実験Ⅱ	1			

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

(「基礎物理学ⅠA」及び「基礎物理学ⅠB」、「基礎物理学ⅡA」及び「基礎物理学ⅡB」は、それぞれいずれかを選択の上履修すること。)

注2 20単位を超えて修得した単位数については、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入することができる。

注3 開講年次は、別表第2又は別表第3に定めるところによる。

2 教育の基礎的理解に関する科目等（平成30年度以前入学生は「教職に関する科目」）

(1) 令和3年度以降入学生

必修 中一種免 27単位 高一種免 23単位

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する開設授業科目		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	中10 高 8	道徳教育論	2	中一種のみ必修
	・総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	1	
	・特別活動の指導法		特別活動論	1	
	・教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む。)		教育方法・情報通信技術活用論	2	
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	・教育実習	中5 高3	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	3 5	高一種免必修 中一種免必修  中高両方の免許を取得する場合は教育実習Ⅱを必修とする。
	・教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	

注1 最低修得単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。

注2 教職実践演習は、教育実習を履修済みの学生を対象とするので、教育実習履修年度またはそれ以降でなければ履修できない。

(2) 2019年度(平成31年度)～令和2年度入学生

必修 中一種免 27単位 高一種免 23単位

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する開設授業科目		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育論	2	中一種のみ必修
	・総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	1	
	・特別活動の指導法		特別活動論	1	
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法・技術論	2	
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	・教育実習	中5 高3	教育実習 I 教育実習 II	3 5	高一種免必修 中一種免必修  中高両方の免許を取得する場合は教育実習 II を必修とする。
	・教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	

注1 最低修得単位数を超えて修得した単位数については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

注2 教職実践演習は、教育実習を履修済みの学生を対象とするので、教育実習履修年度またはそれ以降でなければ履修できない。

## (3) 平成24～30年度入学生(教職に関する科目)

必修 中一種免31単位 高一種免23単位

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			備考
科目	各科目に含める必要事項	最低必要単位数	授業科目	開講年次	単位数	
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義及び教員の役割</li> <li>・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)</li> <li>・進路選択に資する各種の機会の提供等</li> </ul>	2	○教職論	1	2	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	○教育原論	2	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		○教育心理学	2	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		○教育制度論	2	2	
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の意義及び編成の方法</li> <li>・特別活動の指導法</li> </ul>	中12 (注2)  高6 (注3)	○教育課程論 (特別活動を含む。)	2	2	
	・各教科の指導法		数学科指導法Ⅰ	3	2	該当教科について中一種6単位、高一種4単位必修
			数学科指導法Ⅱ	3	2	
			数学科指導法Ⅲ	3	2	
			数学科指導法Ⅳ	4	2	
		理科指導法Ⅰ	3	2	免許取得希望教科について、Ⅰから順に単位を修得すること。	
		理科指導法Ⅱ	3	2		
		理科指導法Ⅲ	3	2		
		理科指導法Ⅳ	4	2		
	・道徳の指導法		○道徳教育論	2	2	中一種免のみ必修
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		○教育方法・技術論	2	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の理論及び方法</li> <li>・進路指導の理論及び方法</li> </ul>	4	○生徒指導論	3	2	
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○教育相談	2	2	
教育実習		高3	教育実習Ⅰ	4	3	高一種免必修 中一種免必修
		中5	教育実習Ⅱ	4	5	
教職実践演習		2	○教職実践演習	4	2	中高両方の免許を取得する場合は教育実習Ⅱを必修とする。

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

注2 4つの区分すべてから単位を修得すること。

注3 免許法上の最低必要単位数は、6単位であるが、「道徳の指導法」以外の各区分の授業科目を履修し、「道徳の指導法」を除いて、合計8単位以上修得すること。

注4 最低必要単位数を超えて修得した単位数については、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入することができる。

注5 教職実践演習は、教育実習を履修済みの学生を対象とするので、教育実習履修年度またはそれ以降でなければ履修できない。

3 大学が独自に設定する科目（平成30年度以前入学生は「教科又は教職に関する科目」）

(1) 2019年度（平成31年度）以降入学生

必修 中一種免4単位 高一種免12単位

授業科目	開講年次	単位数	備考
○介護等体験	3	2	中一種のみ(事前・事後指導を含む。)
道徳教育論	2	2	高一種のみ

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目

注2 最低修得単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位については、「大学が独自に設定する科目」の単位に算入することができる。

(2) 平成30年度以前入学生（教科又は教職に関する科目）

必修 中一種免8単位 高一種免16単位

授業科目	開講年次	単位数	備考
○介護等体験	3	2	中一種のみ(事前・事後指導を含む。)
道徳教育論	2	2	高一種のみ

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目

注2 最低必要単位数を超えて修得した「教科に関する科目」（免許取得教科の授業科目に限る。）又は「教職に関する科目」の単位を、「教科又は教職に関する科目」の単位に算入することができる。

4 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(1) 令和4年度入学生以降

必修8単位

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目		備考
科目	最低必要単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	○健康・スポーツ科学演習1 ○健康・スポーツ科学演習2	1 1	
外国語コミュニケーション	2	Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 Writing 1 Writing 2 TOEIC 総合1 TOEIC 総合2	1 1 1 1 1 1 1 1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	データサイエンス入門	2	

(2) 平成29年度～令和3年度入学生  
必修8単位

免許法施行規則に定める科目 及び単位数		左記に対応する開設授業科目		備考
科目	最低必要 単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体 育	2	○健康・スポーツ科学演習 1 ○健康・スポーツ科学演習 2	1 1	
外国語コミュニ ケーション	2	Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 Writing 1 Writing 2 TOEIC 総合 1 TOEIC 総合 2	1 1 1 1 1 1 1 1	
情報機器の操作	2	情報処理基礎	2	

注1 ○印は、免許状を取得する場合の必修科目。

注2 開講年次は、別表第1に定めるところによる。

別表第6(第25、26条関係)(1)先修条件及び履修許可(2019年度(平成31年度)以降入学生)

1 2年次実験 条件1、条件2、条件3、条件4をすべて満たすこと。ただし条件4は3つの選択肢のうちどれか1つ満たせばよい。

対象科目	先修条件		履修許可条件対象科目
(両学科共通) 物理学実験 化学実験 物質科学基礎実験Ⅰ 物質科学基礎実験Ⅱ 生命科学基礎実験Ⅰ 生命科学基礎実験Ⅱ	条件1	1年次開講必修実験科目修得	生物学実験
	条件2	全学共通科目(人と自然)必修科目修得	物質科学科:物質科学入門 生命科学科:生命科学入門
	条件3	専門基礎科目(A数学系)1科目以上修得	微分積分学Ⅰ、微分積分学Ⅱ、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、数学演習Ⅰ、数学演習Ⅱ
	条件4	専門基礎科目(B物理系)1科目以上修得	基礎物理学ⅠA(またはⅠB)、基礎物理学ⅡA(またはⅡB)
		専門基礎科目(C化学系)1科目以上修得	有機化学Ⅰ、無機化学Ⅰ
		または	
		専門基礎科目(B物理系)1科目以上修得	基礎物理学ⅠA(またはⅠB)、基礎物理学ⅡA(またはⅡB)
		専門基礎科目(D生命系)1科目以上修得	細胞生物学1、生物化学1
または			
専門基礎科目(C化学系)1科目以上修得	有機化学Ⅰ、無機化学Ⅰ		
専門基礎科目(D生命系)1科目以上修得	細胞生物学1、生物化学1		

2 3年次実験 条件1、条件2をどちらも満たすこと。

対象科目	先修条件		履修許可条件対象科目
(物質科学科) 物質科学実験Ⅰ 物質科学実験Ⅱ	条件1	2年次開講必修実験科目すべて修得	物理学実験
			化学実験
			物質科学基礎実験Ⅰ
			物質科学基礎実験Ⅱ
			生命科学基礎実験Ⅰ
(生命科学科) 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ	条件2	専門基礎科目(A数学系)1科目以上修得 専門基礎科目(B物理系)1科目以上修得 専門基礎科目(C化学系)1科目以上修得 専門基礎科目(D生命系)1科目以上修得 上記4つの系合わせて <b>5科目</b> 以上修得	生命科学基礎実験Ⅱ
			微分積分学Ⅰ、微分積分学Ⅱ、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、数学演習Ⅰ、数学演習Ⅱ
			基礎物理学ⅠA(またはⅠB)、基礎物理学ⅡA(またはⅡB)、力学A、波動論
			有機化学Ⅰ、無機化学Ⅰ、有機化学Ⅱ
			細胞生物学1、生物化学1、細胞生物学2、生物化学2
			上に示す講義科目

3. 卒業研究

1 物質科学科 条件1、条件2、条件3、条件4をすべて満たすこと。

対象科目	先修条件		履修許可条件対象科目
卒業研究	条件1	英語科目6単位修得	R&D1・2、L&S1・2、Writing 1・2、Intensive English 1・2、Communicative English Basic 1・2
		情報処理基礎またはデータサイエンス入門2単位修得	情報処理基礎またはデータサイエンス入門※
		教養教育科目10単位以上修得	人間性の基盤教育科目、ひょうご県大特色科目に分類される科目
	条件2	3年次開講必修実験科目4単位修得	物質科学実験Ⅰ、物質科学実験Ⅱ
	条件3	専門基礎・専門教育から83単位以上修得	専門基礎科目・専門教育科目に分類される科目(実験科目含む)
条件4	2年次・3年次開講の専門基礎・専門教育のうち講義科目(ABC)から36単位以上	専門基礎科目(A数学系)(B物理系)(C化学系)・専門教育科目(A数学系)(B物理系)(C化学系)のうち、2年次・3年次開講科目(別表参照)	

2 生命科学科 条件1、条件2、条件3、条件4をすべて満たすこと。

対象科目	先修条件		履修許可条件対象科目
卒業研究	条件1	英語科目6単位修得	R&D1・2、L&S1・2、Writing 1・2、Intensive English 1・2、Communicative English Basic 1・2
		情報処理基礎またはデータサイエンス入門2単位修得	情報処理基礎またはデータサイエンス入門※
		教養教育科目10単位以上修得	人間性の基盤教育科目、ひょうご県大特色科目に分類される科目
	条件2	3年次開講必修実験科目8単位修得	生命科学実験Ⅰ、生命科学実験Ⅱ
	条件3	専門基礎・専門教育から83単位以上修得	専門基礎科目・専門教育科目に分類される科目(実験科目含む)
条件4	専門教育科目(講義科目)から20単位以上修得	専門教育科目(D生命系)	

※令和3年度以前入学生は「情報処理基礎」、令和4年度入学生は「データサイエンス入門」を修得すること。

別表 物質科学科 卒業研究 先修条件4 対象科目(2年次・3年次開講科目)一覧 (2019年度以降入学生)

★下記科目一覧の中から36単位以上(18科目以上)修得すること。

区分	対象科目	区分	対象科目	
専門基礎科目	(A数学系)	該当科目なし	(A数学系)	代数構造
	(B物理系)	力学A		幾何構造
		波動論		位相解析
		力学B		関数解析
		電磁気学A		統計力学 I
		電磁気学演習	量子力学 I	
		応用解析	結晶学	
	(C化学系)	物理化学 I	電磁気学B	
		有機化学 II	物理数学 I	
		有機化学 III	物理数学 I 演習	
		生物化学4	物理数学 II	
		分析化学 I	物理数学 II 演習	
	(※1)2019・2020年度入学者は「物性論Ⅱ(固体電子論)」  (※2)2019・2020年度入学者は「自然・社会現象とシミュレーション」	専門教育科目	(B物理系)	量子力学 II
量子力学演習				
統計力学 II				
物性論 I				
確率統計				
量子力学 III				
相対論				
物性論Ⅱ(※1)				
物性論演習				
分光学 I				
物性論Ⅲ				
自然・社会現象と情報科学(※2)				
現代物質科学特論 I				
(C化学系)				物理化学 II
				無機化学 II
				有機化学Ⅳ
				物理化学Ⅲ
				物理化学演習 I
			無機化学Ⅲ	
			有機構造化学	
			物理化学演習 II	
			量子化学 I	
量子化学 II				
分析化学 II				
機能性物質学				
表面化学				
有機反応論				
有機化学演習				
現代物質科学特論 II				

4. 卒業要件 物質科学科は条件1～15、生命科学科は条件1～16を全て満たすこと。

条件	卒業要件内容
1	【全学共通科目】 28単位以上修得していること。
2	＜基礎ゼミナール＞ 2単位修得していること。
3	＜英語科目＞英語コア科目および指定された選択英語科目を6単位以上修得していること。
4	＜統計・情報＞（必修）情報処理基礎またはデータサイエンス入門2単位修得していること。※
5	《教養教育科目》 14単位以上修得していること。
6	（人と文化） 2単位以上修得していること。
7	（人と社会） 2単位以上修得していること。
8	（人と自然・必修）物質科学科：物質科学入門、生命科学科：生命科学入門 2単位修得していること。
9	＜ひょうご県大特色科目＞ 3分野のうち2分野から4単位以上修得していること。
10	【専門基礎・専門教育】 95単位以上修得していること。
11	《専門基礎科目》 17単位以上修得していること。
12	《専門基礎科目》＜F実験科目＞（必修） 7単位修得していること。
13	<b>物質科学科</b> ：《専門教育科目》＜F必修科目＞（実験科目） 4単位修得していること。
	<b>生命科学科</b> ：《専門教育科目》＜F必修科目＞（実験科目） 8単位修得していること。
14	《専門教育科目》＜F必修科目＞（卒業研究） 6単位修得していること。
15	合計取得単位が127単位以上になっていること。
16	<b>生命科学科のみ</b> ：《専門教育科目》＜D生命系＞ 20単位以上修得していること。

※令和3年度以前入学生は「情報処理基礎」、令和4年度入学生は「データサイエンス入門」を修得すること。

(2) 先修条件及び履修許可 (平成29・30年度入学生)

先修区分	対象科目等	先修条件	履修許可条件科目
2年次実験	物理学実験 化学実験 物質科学基礎実験Ⅰ 物質科学基礎実験Ⅱ 生命科学基礎実験Ⅰ 生命科学基礎実験Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・2年次実験履修許可条件科目のA、B、C、Dの分野において、Aを含む3分野からそれぞれ最低1科目、合計6単位以上必要</li> <li>・物質科学科については、上記に加えて、物質科学入門を履修していること。</li> <li>・生命科学科については、上記に加えて、生命科学入門を履修していること。</li> </ul>	(実験) 生物学実験 A (数学系) 微積分学Ⅰ、微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ 数学演習Ⅰ、数学演習Ⅱ B (物理系) 基礎物理学ⅠA、基礎物理学ⅠB 基礎物理学ⅡA、基礎物理学ⅡB C (化学系) 有機化学Ⅰ、無機化学Ⅰ D (生命系) 細胞生物学1、生物化学1
3年次実験	(物質科学科) 物質科学実験Ⅰ 物質科学実験Ⅱ (生命科学科) 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・2年次及び3年次実験履修許可条件科目のA、B、C、D (2年次実験履修許可条件科目を含む。)の各分野において、最低1科目、合計10単位以上必要</li> </ul>	(実験) 物理学実験、化学実験、 物質科学基礎実験Ⅰ、物質科学基礎実験Ⅱ 生命科学基礎実験Ⅰ、生命科学基礎実験Ⅱ A (数学系) 開講科目なし B (物理系) 力学A、波動論 C (化学系) 有機化学Ⅱ D (生命系) 細胞生物学2、生物化学2
卒業研究	卒業研究	《専門科目》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・専門科目から83単位以上必要 (実験科目単位を含む。)</li> </ul> (物質科学科) 2、3年次開講の専門科目 (A、B、C分野の専門基礎科目と学科の専門教育科目) から実験科目を除いて36単位以上必要 (上記83単位を含む。) (生命科学科) 学科の専門教育科目から実験科目を除いて20単位以上必要 (上記83単位を含む。) 《全学共通科目》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語科目・外国語科目 6単位</li> <li>・情報処理基礎 2単位</li> <li>・教養科目、他専攻科目 10単位以上</li> </ul>	(物質科学科) 物質科学実験Ⅰ 物質科学実験Ⅱ (生命科学科) 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ ・英語科目 Reading and Discussion 1.2 Listening and Speaking 1.2 Writing 1.2 6科目を受講していること。
卒業要件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表1、別表2及び別表3の条件を満たし、かつ、各区分の上限までの単位数の合計が127単位以上であること。</li> <li>・必修の実験科目をすべて履修していること。</li> </ul> 《全学共通科目》 28単位以上 【グローバル化時代のアカデミックスキル科目】 英語、外国語、統計・情報科目 6単位以上 情報処理基礎 必修2単位 【教養教育科目・自主自律支援科目・他専攻科目】 教養教育科目 14単位以上 基礎ゼミナール 必修2単位 キャリア形成支援科目 0～2単位 他専攻科目 0～2単位 計 16単位以上 《専門科目》 95単位以上 【専門基礎科目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修7単位 (実験) を含む17単位以上</li> </ul> 【専門教育科目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質科学科 必修10単位 (実験) を含む10単位以上</li> <li>・生命科学科 必修14単位 (実験) を含む34単位以上</li> </ul> 《全学共通科目》 + 《専門科目》 = 127単位以上	【教養教育科目】 ・人間性の基盤教育科目 (6単位以上) (人と文化・人と社会・人と自然の各分野から各2単位以上必要) ・ひょうご県大特色科目 (4単位以上) (地域課題研究・グローバル教育・防災教育の3分野のうち2分野から合計4単位以上必要)

(注意) 前期終了段階で先修条件を満たしても、年度途中からの履修は認めない。

## (3) 先修条件及び履修許可 (平成28年度入学生)

先修区分	対象科目等	先修条件	履修許可条件科目
2年次実験	物理学実験 化学実験 物質科学基礎実験Ⅰ 物質科学基礎実験Ⅱ 生命科学基礎実験Ⅰ 生命科学基礎実験Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・2年次実験履修許可条件科目のA、B、C、Dの分野において、Aを含む3分野からそれぞれ最低1科目、合計6単位以上履修していること。</li> <li>・生命科学科については、上記に加えて、生命科学入門を履修していること。</li> </ul>	(実 験) 生物学実験 A (数学系) 微分積分学Ⅰ、微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ 数学演習Ⅰ、数学演習Ⅱ B (物理系) 基礎物理学Ⅰa、基礎物理学Ⅰb 基礎物理学Ⅱa、基礎物理学Ⅱb C (化学系) 有機化学Ⅰ、無機化学Ⅰ D (生命系) 細胞生物学1、生物化学1
3年次実験	(物質科学科) 物質科学実験Ⅰ 物質科学実験Ⅱ (生命科学科) 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・2年次及び3年次実験履修許可条件科目のA、B、C、D (2年次実験履修許可条件科目を含む。)の各分野において、最低1科目、合計10単位以上履修していること。</li> </ul>	(実 験) 物理学実験、化学実験、 物質科学基礎実験Ⅰ、物質科学基礎実験Ⅱ 生命科学基礎実験Ⅰ、生命科学基礎実験Ⅱ A (数学系) 開講科目なし B (物理系) 力学A、波動論 C (化学系) 有機化学Ⅱ D (生命系) 細胞生物学2、生物化学2
卒業研究	卒業研究	《専門科目》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次開講の必修の実験科目をすべて履修していること。</li> <li>・専門科目から83単位を修得していること (実験科目単位を含む)。</li> </ul> (物質科学科) 2、3年次開講の専門科目 (A、B、C分野の専門基礎科目と学科の専門教育科目) から実験科目を除いて36単位以上を履修していること (上記83単位を含む)。 (生命科学科) 学科の専門教育科目から実験科目を除いて20単位以上を履修していること (上記83単位を含む)。 《全学共通科目》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語コミュニケーション科目 4単位 (Reading and Discussion と Writing 各1単位以上を含む4単位)</li> <li>・情報関連科目 2単位</li> <li>・教養科目、他専攻科目 10単位以上</li> </ul>	(物質科学科) 物質科学実験Ⅰ 物質科学実験Ⅱ (生命科学科) 生命科学実験Ⅰ 生命科学実験Ⅱ
卒業要件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表1、別表2及び別表3の条件を満たし、かつ、各区分の上限までの単位数の合計が127単位以上であること。</li> <li>・必修の実験科目をすべて履修していること。</li> </ul> 《全学共通科目》 26単位以上 【グローバルコミュニケーション科目】 英語コミュニケーション科目 4単位以上 (Reading and Discussion と Writing 各1単位以上を含む4単位) 情報リテラシー 必修2単位 【教養科目・基礎ゼミナール・他専攻科目】 共通教養科目 8単位以上 (文化・社会から各2単位必要) 課題別教養科目 4単位以上 (地域入門科目から2単位必要) 基礎ゼミナール 必修2単位 他専攻科目 0～2単位 計 16単位以上 《専門科目》 95単位以上 【専門基礎科目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質科学科 必修7単位 (実験) を含む17単位以上</li> <li>・生命科学科 必修9単位 (実験・生命科学入門) を含む19単位以上</li> </ul> 【専門教育科目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質科学科 必修10単位 (実験) を含む10単位以上</li> <li>・生命科学科 必修14単位 (実験) を含む34単位以上</li> </ul> 《全学共通科目》+《専門科目》 = 127単位以上	

(注意) 前期終了段階で先修条件を満たしても、年度途中からの履修は認めない。

### 3. 兵庫県立大学理学部規程第6号 理学部履修規程

(目 的)

第1条 この規程は、兵庫県立大学理学部規程(兵庫県立大学理学部規程第1号)第31条に基づき、学生の履修に必要な事項を定めるものとする。

(クラス担任・ガイダンス主任)

第2条 本学部では、教員と学生とのコミュニケーションの徹底を期するため、入学時に45名程度のクラスに分け、1年次及び2年次ではそれぞれにクラス担任2名を配する。クラス担任教員は、学生の単位履修の方法、大学での学習の仕方、その他学生生活全般にわたる助言を行う。また各学科にはそれぞれのコースにガイダンス主任1名を配する。3年次は、主にガイダンス主任が、4年次は、卒業研究担当教員が、指導・助言にあたる。

(履修願の提出期間)

第3条 履修願の提出期間については、4月初めに指定する。

2 前項に指定する期間内に履修願を提出しなかった科目については、授業及び試験を受けることができない。ただし、教務委員会においてその事情が正当と認められた場合は、この限りではない。

(履修願の変更)

第4条 願い出た科目の変更は、原則として認めない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りではない。

- 1) ガイダンス主任教員の指示があった場合
- 2) 3年次以上の学生で、後期の初めにおいて、卒業研究履修許可又は卒業の条件に抵触するおそれがある場合。ただし、履修中の通年の科目は変更できない。
- 3) 時間割を変更した場合

2 前項に規定する変更は、いずれの場合も指定する期間内に申請しなければならない。

(履修願の遵守事項)

第5条 履修願は、次の各号の規定を遵守のうえ、提出しなければならない。

- 1) 同一科目が学科別又はクラス別に開講されている場合は、所属学科又は所属クラスの配当時間に履修すること。
- 2) 卒業研究履修者で、卒業研究の時間に他の科目を履修しようとする場合は、卒業研究指導教員の承認を得ること。

2 前項の規定を遵守していない場合は、原則としてその科目の履修を認めない。

(再履修)

**第6条** 試験に合格しなかった者、又は試験を受けなかった者が翌年度において、その授業科目につき単位を取得しようとするときは、改めて受講申請し、再履修しなければならない。

(定期試験等)

**第7条** 試験は、前期末及び後期末の学年暦に示す期間に行う。ただし、科目によって臨時に行うことがある。

2 試験を行わない科目についての評価は、実験、実習、論文、レポート等による。

3 不合格者に対する再試験は行わない。

(教育実習履修の願い出)

**第8条** 教育実習を履修しようとする者は、履修の前年度の指定する期間内に、学務課に願い出なければならない。

(教育実習履修の条件)

**第9条** 教育実習を履修するには、次の条件を備えていなければならない。

1) 卒業研究の履修を許可された者又は履修した者であること。ただし、本学の大学院生はこの限りでない。

2) 特別な事情がある場合を除いて、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等（平成30年度以前入学生は「教職に関する科目）」の必修単位のうち、3分の2以上の単位を修得していること。

3) 「教科及び教科の指導法に関する科目（平成30年度以前入学生は「教科に関する科目）」の必修単位のうち、3分の2以上の単位を修得していること。

4) 教科指導法Ⅰ・Ⅱ（理科・数学のうち免許を取得しようとする科目のもの）の単位を修得していること。

5) 中学校教員免許（理科・数学）取得希望者については、「介護等体験」の単位を修得していること。

(教職実践演習履修の条件)

**第10条** 教職実践演習は、教育実習を履修済みの学生を対象とするので、教育実習履修の年度又はそれ以降でなければ履修できない。

(補則)

**第11条** この規程に定めるもののほか、学生の履修に関して必要な事項は、教務委員長が教務委員会の意見を聴いた上で定める。

**附 則**

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

**附 則**

この規定は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則**

この規定は、令和3年4月1日から施行する。

**附 則**

この規定は、令和6年4月1日から施行する。

## 4. 兵庫県立大学規程第120号 兵庫県立大学定期試験を受験できない者に対する処置規程

(目的)

第1条 この規程は、やむを得ない事由により所定の期日に定期試験を受験できなかつた者に対する処置について必要な事項を定める。

(事由)

第2条 前条に定めるやむを得ない事由は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 病気
- (2) 災害及び不慮の事故
- (3) 父母、配偶者又は子の死亡
- (4) 兄弟姉妹又は祖父母の死亡
- (5) その他前各号に準ずる事由

(手続)

第3条 やむを得ない事由のため定期試験を受けることができない者は、原則として定期試験開始までに、学生が所属する学務所管課に連絡し、その後速やかに試験欠席承認願(別記様式)を提出しなければならない。

2 前項の承認願には、病気の場合にあっては医師の診断書、その他の場合にあっては、その事由を証明する書類を提出しなければならない。

3 試験欠席承認願が提出されたときは、試験科目を開講する教員は、その内容を審査し、その結果を学生が所属する学務所管課を通して学生へ連絡するものとする。

(成績の評価)

第4条 試験科目を開講する教員は、定期試験を受験できない事由が第2条に該当すると認められた場合、適宜の方法により、成績を評価することができる。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

## 5. 兵庫県立大学規程第119号 兵庫県立大学試験の不正行為に対する処置規程

### (目的)

**第1条** この規程は、試験の不正行為が行われた場合について、必要な事項を定めるものとする。

### (不正行為の内容)

**第2条** 試験の不正行為とは、次に掲げる行為をいう。

- (1) 使用を許されない書籍、ノート、紙片、電子機器を用いること。
- (2) 他人の答案をのぞき見ることその他社会通念上受験者として正当でないと認められる行為をすること。

### (不正行為の確認・報告)

**第3条** 試験監督者は、不正行為を確認した場合、直ちに当該行為を実行し又はこれに関与したと疑われる者(以下「対象学生」という。)に対し、その旨を指摘して受験を停止させるとともに、その氏名、所属、連絡先等必要な事項を記録し、答案用紙、使用を許されない書籍その他不正行為に直接関連して使用されたとみられる物品等を預かり、対象学生が所属する学部又は研究科の長(以下「学生所属学部長等」という。)に報告しなければならない。この場合において、試験監督者と当該試験科目を開講している教員(以下「開講教員」という。)が異なる場合であるときは、あわせて開講教員に報告しなければならない。

### (学生所属学部長等の責務)

- 第4条** 学生所属学部長等は、試験監督者から前条の不正行為の報告を受けたときは、正確な事実を確認するため、遅滞なく対象学生、試験監督者その他の関係者から事情聴取を行い、当該事情聴取の結果認定された事実を記載した事情報告書を作成しなければならない。この場合において、学生所属学部長等が、正確な事実の確認のため必要があると認めるときは、当該不正行為に係る試験科目を開講している学部若しくは研究科の長又は関係する高等教育推進機構高等教養教育部長にその調査を依頼することができる。
- 2 前項の規定により、正確な事実の確認のため調査の依頼を受けた者は、当該依頼に応じるものとする。
  - 3 学生所属学部長等は、学生所属学部長等の教授会又はこれに相当する委員会(以下「学生所属学部教授会等」という。)に第1項に規定する事情報告書に基づき報告しなければならない。この場合において、開講教員が学生所属学部教授会等に属さない教員であるときは、その教員が所属する学部又は研究科の長及び開講教員に当該事情報告書の写しを送付しなければならない。

**(処置の原則)**

**第5条** 不正行為の事実が、学生所属学部教授会等において確認された場合は、その者の当該学期の全科目及び通年の全科目の単位を無効とする。この場合において、学生所属学部教授会等での審議の結果、必要と認められた場合は、その氏名を公表するものとする。

- 2 前項に規定するもののほか、特に悪質な不正行為に対しては、兵庫県立大学学則(平成25年法人規程第75号)第35条又は兵庫県立大学大学院学則(平成25年法人規程第76号)第33条の規定に基づき懲戒をするものとする。

**附 則**

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

**附 則**(平成27年3月24日改正)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則**(令和3年3月31日改正)

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

**附 則**(令和6年3月27日改正)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

## 6. 兵庫県立大学規程第107号 兵庫県立大学他大学等における授業科目の履修規程

### (趣旨)

**第1条** 兵庫県立大学学則(平成25年法人規程第75号。以下「大学学則」という。)第14条第3項の規定に基づき、他大学等における授業科目の履修に関して必要な事項を定めるものとする。

### (他大学等授業科目の履修)

**第2条** 他大学等の授業科目の履修を願い出る者は、他大学等との協定に基づいて定められた書類を、所定の期日までに学務所管課に提出しなければならない。

### (全学共通科目の履修)

**第3条** 学長は、前条の規定による願い出に係る他大学等の授業科目について、大学学則第14条第2項の規定により本学の全学共通科目を履修したものとみなす場合は、あらかじめ高等教育推進機構長の意見を聴かなければならない。

### (履修期間)

**第4条** 履修期間については、原則として1年以内とする。

2 前項の規定による履修期間については、本学における在学期間に算入する。

### (単位の認定)

**第5条** 他大学等の授業科目の履修により修得した単位を学則第14条第2項に規定する本学の授業科目を履修したものとして願い出る場合は、単位認定申請書に他大学等の成績証明書を添えて学務所管課に提出しなければならない。

2 学長は、前項の規定による願い出があるときは、教授会の意見を聴いた上で、これを許可することができる。

### (補則)

**第6条** この規程に定めるもののほか、この規程の施行に関して必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

### 附 則(平成27年3月24日改正)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則**(令和3年3月31日改正)

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

**附 則**(令和6年3月27日改正)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

# 兵庫県立大学副専攻規程

## (趣旨)

**第1条** この規程は、兵庫県立大学学則(以下「学則」という。)第10条の2の規定に基づき、副専攻に関し必要な事項を定めるものとする。

## (副専攻名等)

**第2条** 副専攻は、兵庫県立大学全学部共通とし、総合教育機構が設置する。

- 2 副専攻名及び運営機関は別表第1のとおりとする。
- 3 副専攻における授与称号は別表第2のとおりとする。
- 4 各副専攻の運営に関し、必要な事項は別に定める。

## (履修方法等)

**第3条** 副専攻の履修に係る申請方法、授業科目の種類及び取得しなければならない単位数等は、別に定める。

## (修了認定)

**第4条** 副専攻の修了認定は、運営機関に置くその運営を審議する会議の議を経て、総合教育機構長が行う。

## (修了証書の授与)

- 第5条** 学長は、前条により副専攻を修了したと認定された学生に対し、副専攻修了証書を授与する。
- 2 前項により授与する副専攻修了証書は、様式第1号のとおりとする。

## (委任)

**第6条** この規程に定めるもののほか、副専攻の履修に関し必要な事項は、総合教育機構長が定める。

### 附 則

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成31年3月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1

副専攻名	運営機関
地域創生人材教育プログラム	地域創造機構
グローバルリーダー教育プログラム	国際交流機構
防災リーダー教育プログラム	総合教育機構

別表第2

副専攻名	授与称号
五国豊穰プログラム	ひょうご学志
地域創生人材教育プログラム	ひょうご学志又は コミュニティ・プランナーアソシエイト
グローバルリーダー教育プログラム	グローバルリーダー
防災リーダー教育プログラム	防災リーダー

様式第1号

<p>兵庫県立大学</p> <p>副専攻修了証</p>	<p>第○○○○○○○号</p>
<p>氏 名</p> <p>学籍番号</p>	
<p>本学が実施する副専攻「○○○○○○○ ○○」を修了したことを認め、「○○○○ ○○」の称号を授与する</p>	
<p>年 月 日</p>	
<p>兵庫県立大学</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>大学 の印</p> </div>

## 兵庫県立大学GPA制度要綱

### (趣旨)

**第1条** この要綱は、兵庫県立大学(以下「本学」という。)のGPA(Grade Point Average)制度に関し必要な事項を定めるものとする。

### (目的)

**第2条** GPA制度は、学修の状況及び結果を明確化することにより、学生の学習意欲を高め、適切な修学指導に資するとともに、厳格な成績評価を推進し、学びの質を向上させることを目的とする。

### (GPAの種類・運用)

**第3条** GPAは、全学で統一的に運用する全学GPAと、各学部・研究科(以下「学部等」という。)の範囲内で独自に運用する学部・研究科GPA(以下「学部等GPA」という。)に大別する。

2 GPAの運用は、原則としてこの要綱に基づくものとする。

3 学部等GPAは、学部・研究科の独自性を鑑み、この要綱の趣旨・目的に反しない限りにおいて、各学部・研究科長が教授会の意見を聞いたうえで別に定めることができるものとする。ただし、次項で定めるGPについては別に定めることはできないものとする。

### (GP)

**第4条** 学則第13条に基づき各学部・研究科規程で定める成績の評語に与えられるGP(Grade Point)は、次表のとおりとする。

成績の評語		GP
5段階評価	素点	
S	100-90	4.0
A	89-80	3.0
B	79-70	2.0
C	69-60	1.0
D	59-0	0.0

### (GPAの算出方法)

**第5条** 各期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA(以下「学期GPA」という。)、各学年における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA(以下「学年GPA」という。 )及び全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA(以下「通算GPA」という。 )の計算式は、次の各号の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第3位以下は切り捨てるものとする。

#### 2 学期GPAの計算式

学期GPAの計算式は以下のとおりとする。

$$\frac{\text{当該学期に評価を受けた卒業要件となる授業科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた卒業要件となる授業科目の単位数の合計}}$$

#### 3 学年GPAの計算式

学年GPAの計算式は以下のとおりとする。

$$\frac{\text{当該学年に評価を受けた卒業要件となる授業科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数の合計}}{\text{当該学年に評価を受けた卒業要件となる授業科目の単位数の合計}}$$

#### 4 通算GPAの計算式

通算GPAの計算式は以下のとおりとする。

$$\frac{\text{在学全期間に評価を受けた卒業要件となる授業科目のGP} \times \text{当該授業科目の単位数の合計}}{\text{在学全期間に評価を受けた卒業要件となる授業科目の単位数の合計}}$$

### (GPA対象授業科目)

**第6条** GPA対象授業科目は、5段階評語又は素点によって成績認定される授業科目であって、卒業要件に算入できる授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、学部等が設定する履修取消期間中に学生から履修取消の申し出があり履修取消を許可した授業科目は、GPA対象授業科目から除くものとする。

3 学部等は、教育上の理由により、前項に規定による履修取消期間中での取消ができない授業科目を別に定めることができるものとする。

### (再履修科目の取扱い)

**第7条** 「D」又は60点未満と評価された授業科目を、のちに再履修した場合、以前の「D」又は60点未満と評価された授業科目は、再履修による評価にかかわらずGPA対象授業科目に含むものとする。

### (成績証明書への記載)

**第8条** 学期GPA、学年GPA及び通算GPAは、原則として成績証明書に記載しない。ただし、英文成績証明書について、学生からGPAの記載を求められたときはこの限りではない。

**(成績評価の厳格化)**

**第 9 条** GPA制度が的確に運用されるよう、学部等は、授業科目の適切な成績評価の推進について、組織的な取り組みに努めるものとする。

**(雑則)**

**第 10 条** この要綱に定めるもののほか、GPA制度に関し必要な事項は、高等教育推進機構全学教育推進会議の議を経て、教育研究審議会が別に定める。

**附 則**

(施行期日)

1 この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 平成 30 年度以前の入学生は、なお従前の例による。

**附 則**

この要綱は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この要綱は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

## 成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱

### (趣旨)

**第1条** 本要綱は、本学の学士課程、修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する学生(以下「学生」という。)が履修する全ての科目について、その成績に対する確認及び不服申立てに関し必要な事項を定めるものとする。

### (周知)

**第2条** 各学部及び研究科(以下「学部等」という。)は、履修の手引及び講義要目等において、本要綱を学生に周知するものとする。

### (成績に対する確認)

**第3条** 学生は、成績評価の理由など確認すべき事項がある場合は、当該科目を担当する教員(以下「担当教員」という。)に対し、次の方法により確認することができるものとする。

(1) 全学共通科目、専門基礎科目(専門関連科目)、専門教育科目、教職課程科目及び大学院で履修する科目(以下「大学院科目」という。)

① 担当教員に直接確認する。

② 所属学部等の学務所管課(以下「所管課」という。)を通じて、担当教員に別に定める「成績に対する確認書」(以下「確認書」という。)を提出し、確認する。

(2) 全学共通科目、専門基礎科目(専門関連科目)及び専門教育科目に位置付けられない副専攻履修者のみが履修可能な科目(以下「副専攻科目」という。)

副専攻運営部門を通じて、担当教員に確認書を提出し、確認する。

2 前項第1号①により学生から確認依頼を受けた担当教員は、直接、当該学生に確認結果を回答するものとする。

3 第1項1号②及び第1項第2号により学生から所管課又は副専攻運営部門を通じて確認書を受けた担当教員は、確認書により、所管課又は副専攻運営部門を通じて、当該学生に確認結果を回答するものとする。

4 前項の回答については、担当教員の判断により、直接、当該学生に確認結果を回答することができるものとする。この場合において、担当教員は、回答内容及び回答日を所管課又は副専攻運営部門に通知しなければならない。

### (確認依頼受付期間)

**第4条** 前条第1項による確認依頼の受付期間は、成績公開日から原則として7日以内(日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に

規定する休日及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日を除く。以下次項、第 5 条第 1 項、第 7 条及び第 9 条において同じ。)とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該学期に学部等の卒業又は修了判定対象者であり、確認を行おうとする成績が学部等の卒業又は修了判定に関わる場合及び 3 月 1 日以降に開示された成績に対する確認の場合の受付期間は、成績公開日から原則として 3 日以内とする。

#### (確認に伴う措置)

**第 5 条** 第 3 条第 1 項による確認依頼を受けた担当教員は、学生からの確認依頼があった日又は所管課を通じて確認書を受理した日から原則として 7 日以内に確認結果を回答するものとする。ただし、前条第 2 項に規定する場合の確認依頼にあつては、原則として 3 日以内に確認結果を回答するものとする。

- 2 前項の回答に当たっては、担当教員は、確認結果に基づき、成績について変更する措置を採ることができる。この場合において、担当教員は、当該措置の内容及びその理由を記録するとともに、所管課又は副専攻運営部門に報告しなければならない。

#### (不服申立て)

**第 6 条** 学生は、第 3 条により成績に対する確認を行った結果、次の各号に掲げる事案の解決が得られなかった場合に限り、不服申立てができるものとする。

- (1) 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われる事案
- (2) シラバスや授業時間内での指示等により周知している成績評価の方法から明らかに逸脱した評価であると思われる事案
- (3) 担当教員から十分な説明等の対応がなかった事案

2 学生は、前項の不服申立てを行う場合は、次の各号のとおり「成績に対する不服申立書」(以下「不服申立書」という。)を提出するものとする。

- (1) 専門基礎科目(専門関連科目)、専門教育科目及び大学院科目  
所管課を通じて、所属する学部等の長(以下「部局長」という。)に対し提出
- (2) 全学共通科目及び教職課程科目  
所管課を通じて、高等教育推進機構長に対し提出
- (3) 副専攻科目  
副専攻運営部門を通じて、履修する副専攻運営部門の長(以下「副専攻運営部門長」という。)に対し提出

#### (不服申立て受付期間)

**第 7 条** 前条による不服申立ての受付期間は、当該学生が第 3 条による回答を受理した日から原則として 3 日以内とする。

**(審査)**

**第8条** 部局長、高等教育推進機構長及び副専攻運営部門長(以下「部局長等」という。)は、第6条第2項よる不服申立書を受理した場合は、速やかに当該不服申立ての審査を行うものとする。ただし、不服申立書が第6条第1項に該当しないときは、不服申立てを却下することができるものとする。この場合において、所管課及び副専攻運営部門を通じて、速やかに当該学生に「成績に対する不服申立却下通知書」(以下「却下通知書」という。)により通知するものとする。

2 前項の審査方法は、部局長等が別に定めるものとする。

**(審査結果の報告及び対応)**

**第9条** 部局長等は、前条の審査結果について、当該学生及び担当教員に対し、前条第1項の不服申立書を受理した日から14日以内に、所管課又は副専攻運営部門を通じて、「成績に対する不服申立回答書」(以下「不服申立回答書」という。)により、文書で通知する。この場合において、不服申立てを容認する結果であった場合は、担当教員に成績を変更する措置を行わせるものとする。

2 前項の通知は、当該学生又は当該担当教員が希望した場合は、電子媒体によって通知することができるものとする。

**(再審の不可)**

**第10条** 学生は、前条第1項の不服申立回答書及び第8条第1項の却下通知書に該当する科目については、再度の不服申立てができないものとする。

**(雑則)**

**第11条** この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

**附 則**

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

**附 則**

この要綱は、令和4年11月1日から施行する。

**附 則**

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

## 全学共通科目及び教職課程科目に係る成績に対する確認及び不服申立てに関する取扱

### (趣旨)

**第1条** この取扱は、成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱(以下「要綱」という。)  
第8条第2項に基づき、全学共通科目及び教職課程科目の成績に対する不服申立ての審査に関し、必要な事項を定める。

### (周知)

**第2条** 各学部は、要綱第2条に基づき、本取扱について、履修の手引き及び講義要目等により学生に周知するものとする。

### (確認・審査)

**第3条** 学部の学務所管課(以下「所管課」という。)は、要綱第6条に基づく不服申立書を受理した場合は、速やかに、教養教育推進会議東地区及び西地区ワーキンググループ座長(以下「東西WG座長」という。)に当該不服申立書を提出するものとする。

2 東西WG座長は、前項の不服申立書受理後速やかに、WG委員の中から審査に関わる委員(以下「審査委員」という。)を指定し、不服申立書の内容確認及び審査を行うものとする。

3 第1項の不服申立書の学生及び担当教員は、東西WG座長から成績に関する内容確認依頼等があった場合は、真摯に対応しなければならないものとする。

4 東西WG座長は、第2項の審査結果について、当該不服申立書を受理した日から原則として9日以内(日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日及び12月29日から翌年1月3日までの日を除く。以下次項及び第4条において同じ。)に高等教育推進機構長へ報告するものとする。

5 前項の規定にかかわらず、東西WG座長は、第2項の審査結果により、当該不服申立てが不服申立て事案に該当しないと判断した場合は、当該不服申立書を受理した日から原則として2日以内に高等教育推進機構長へ報告するものとする。

### (決定・通知)

**第4条** 高等教育推進機構長は、前条第4項及び第5項の審査結果を受理した場合には、原則として受理した日から3日以内に高等教育推進機構運営委員会を招集し、調査結果を審議・議決する。

2 高等教育推進機構運営委員会の委員のうち、前条第2項の審査に関係したものについては、前項の議決権を有さないものとする。

3 東西WG座長は、前条第4項にかかる審議・議決について、第3条第1項の所管課に対し、要綱第9条第1項の期限までに成績に対する不服申立回答書を提出するものとする。

4 東西 WG 座長は、前条第 5 項にかかる審議・議決について、第 3 条第 1 項の所管課に対し、当該議決後 2 日以内に成績に対する不服申立却下通知書を提出するものとする。

(所管部署)

**第 5 条** この取扱は、本部事務局教育企画部教育改革課が所管する。

**附 則**

この取扱は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この取扱は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

理学部の専門科目及び理学研究科で履修する科目の成績に対する不服申立てに関する取扱

(趣旨)

第1条 この取扱は、成績に対する確認及び不服申立てに関する要綱（以下「要綱」という。）

第8条第2項に基づき、学部の専門基礎科目、専門教育科目および大学院で履修する科目の成績に対する不服申立ての審査に関し、必要な事項を定める。

(周知)

第2条 各学部は、要綱第2条に基づき、本取扱について、履修の手引き及び講義要目等により学生に周知するものとする。

(確認・審査)

第3条 学部の学務所管課（以下「所管課」という。）は、要綱第6条に基づく不服申立書を受理した場合は、速やかに、教務委員長に当該不服申立書を提出するものとする。

2 不服申立ての受付期間は、当該学生が要綱第3条による回答を受理した日から原則として3日以内とする。

3 教務委員長は、前項の不服申立書受理後速やかに、教務委員の中から審査に関わる委員を指定し、不服申立書の内容確認及び審査を行うものとする。

4 第1項の不服申立書の学生及び担当教員は、教務委員長から成績に関する内容確認依頼等があった場合は、真摯に対応しなければならないものとする。

5 教務委員長は、前項の審査結果により、当該不服申立てが不服申立て事案に該当しないと判断した場合は、当該不服申立書を受理した日から原則として3日以内に所管課を通じて、当該学生に「成績に対する不服申し立て却下通知書」により通知するものとする。

(決定・通知)

第4条 教務委員長は、前条第3項にかかる審議・議決について、第3条第1項の所管課に対し、要綱9条第1項の期限までに成績評価に対する不服申立て回答書を提出するものとする。

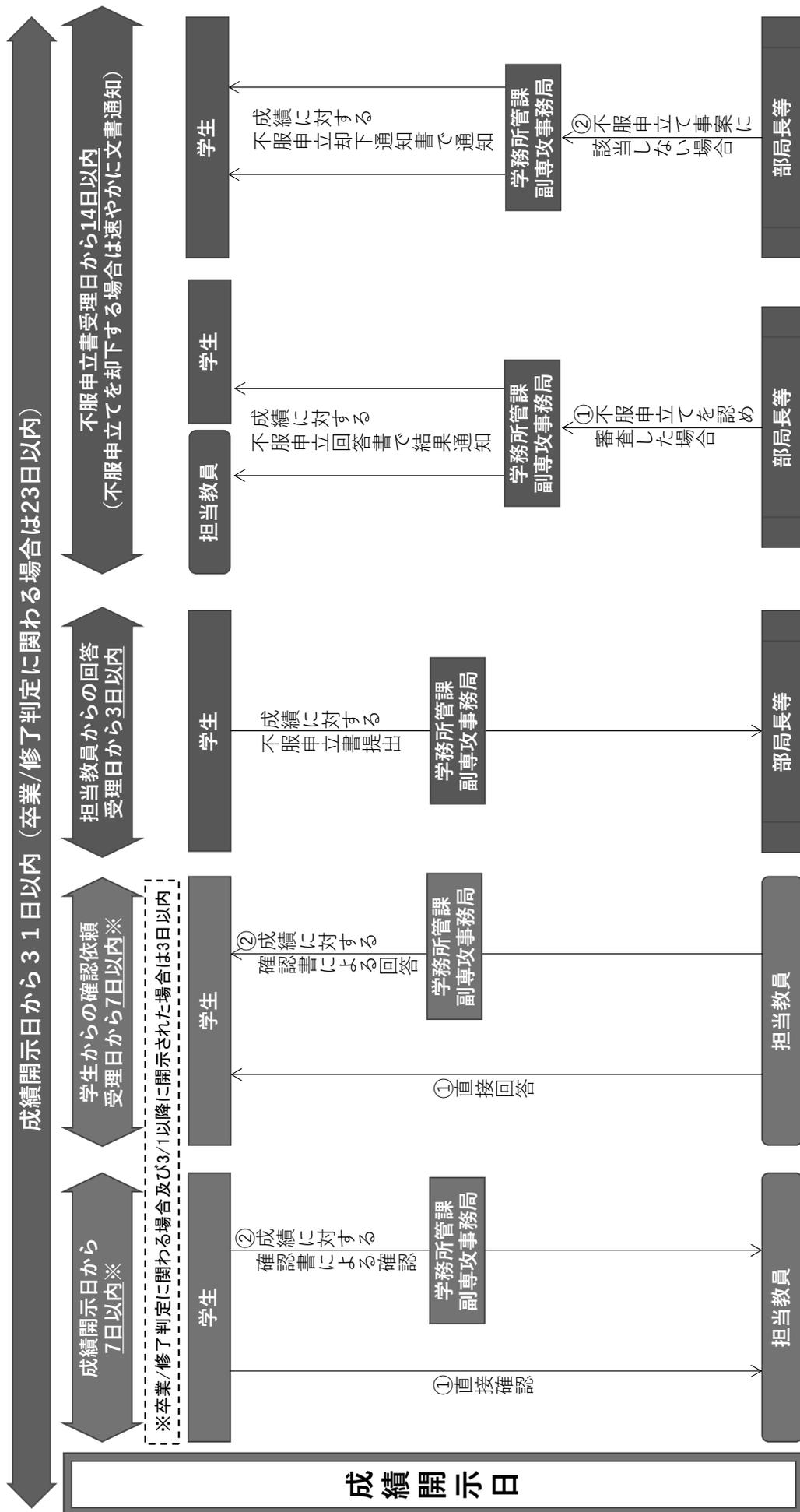
(所管部署)

第5条 この取扱は、播磨理学キャンパス学務課が所管する。

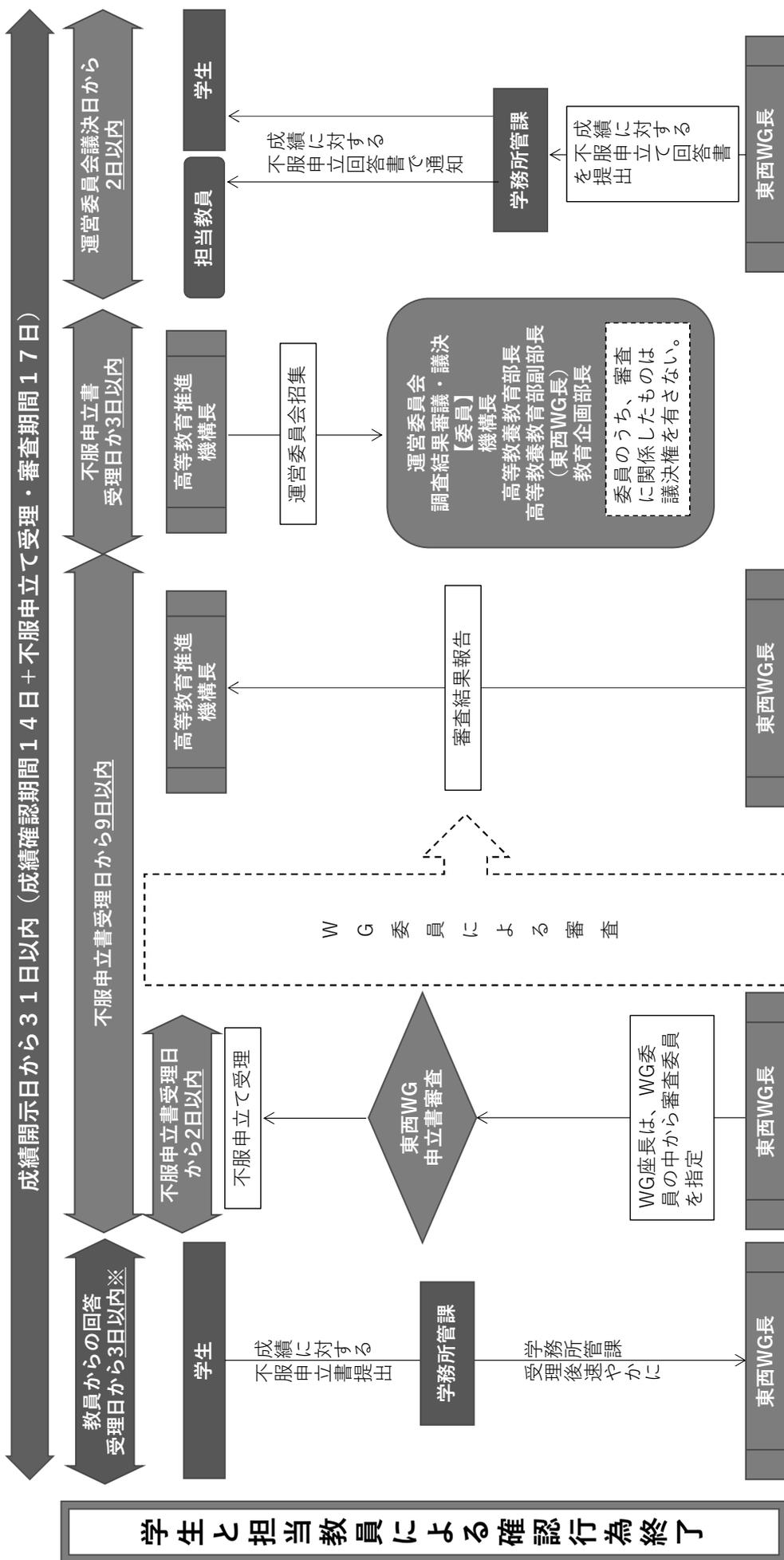
附則

この取扱は、令和3年4月1日から施行する。

## 成績に対する確認及び不服申立ての流れ



# 成績に対する確認及び不服申立てにおける全学教育科目の審査の流れ【受理の場合】



# 成績に対する確認及び不服申立てにおける全学教育科目の審査の流れ【却下の場合】

